

# I 救 急 編



◎ 令和4年4月1日現在の救急業務実施体制

○ 消防本部数	723本部	【第1表参照】
○ 救急業務実施市町村	1,690市町村	【第2表参照】
○ 救急業務未実施町村	29町村	【第3表参照】
○ 救急隊数	5,328隊	
うち救急救命士運用隊数	5,301隊	【第4表及び第10表参照】
○ 救急隊員数	6万5,853人	【第5表参照】
○ 救急救命士資格を有する消防職員数	4万2,495人	【第8表参照】
うち救急隊員として運用している救急救命士数	2万9,389人	【第9表参照】
○ 救急自動車保有台数	6,549台	
	(うち高規格救急車6,436台)	【第12表参照】

◎ 令和3年中の救急自動車による救急業務実施状況

○ 救急出動件数	619万3,581件	【第15表参照】
○ 搬送人員	549万1,744人	【第15表参照】
うち高齢者(満65歳以上)	339万9,802人(61.9%)	【第29表参照】
うち軽症(外来診療)	246万460人(44.8%)	【第33表参照】
○ 現場到着所要時間	全国平均約 9.4分	【第49図参照】
○ 病院収容所要時間	全国平均約42.8分	【第49図参照】



# 第1章 救急業務実施体制の状況

## 1 消防本部及び救急業務実施市町村

### (1) 概要

令和4年4月1日現在の消防本部数は723本部（単独435本部、組合288本部）となっており、全ての消防本部において救急業務が実施されている（第1表参照）。

救急業務実施体制を市町村単位で見ると、消防本部・署を設置して救急業務を実施している市町村及びこれらの市町村に事務委託して救急業務を実施している市町村は、令和4年4月1日現在、全国1,719市町村のうち1,690市町村（98.3%、793市、736町、161村）となっている（第2表、別表1参照）。

第1表 消防本部数の推移

区分 \ 年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年
単 独	442	442	439	437	437	436	435
組 合	291	290	289	289	289	288	288
計	733	732	728	726	726	724	723

(注) 各年とも4月1日現在の数値である。

第2表 救急業務実施市町村数の推移

区分 \ 年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年
救急業務実施市町村数	1,690	1,690	1,690	1,690	1,690	1,690	1,690
対前年増減数	1	0	0	0	0	0	0
対前年増減率(%)	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(注) 各年とも4月1日現在の数値である。

## (2) 実施形態

救急業務実施市町村の中には、人口規模、事故の発生状況、地域の地理的条件等から市町村ごとに単独で実施するよりも複数市町村が共同で実施した方がより効果的であるとの理由により、事務委託又は一部事務組合（広域連合を含む。以下同じ。）による広域的共同処理方式を取り入れている市町村が多い。救急業務を実施している1,690市町村のうち、事務委託方式による市町村が146市町村（8.6%）、一部事務組合方式による市町村が1,109市町村（65.6%）となっており、広域的共同処理方式によるものが、全体の74.3%を占めている（第3表、別表1参照）。

第3表 救急業務実施状況の推移

区分	年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年
全市町村数		1,719	1,719	1,719	1,719	1,719	1,719	1,719
救急業務 実施市町村		1,690 (98.3)	1,690 (98.3)	1,690 (98.3)	1,690 (98.3)	1,690 (98.3)	1,690 (98.3)	1,690 (98.3)
うち 事務委託方式		139 (8.2)	140 (8.3)	143 (8.5)	143 (8.5)	143 (8.5)	145 (8.6)	146 (8.6)
うち 一部事務組合方式		1,109 (65.6)	1,108 (65.6)	1,108 (65.6)	1,110 (65.7)	1,110 (65.7)	1,109 (65.6)	1,109 (65.6)
救急業務 未実施町村		29	29	29	29	29	29	29

(注) 1 各年とも4月1日現在の数値である。

2 「救急業務実施市町村」の欄の（ ）内の数値は「全市町村数」に占める割合（単位%）を示す。

3 「うち事務委託方式」、「うち一部事務組合方式」の欄の（ ）内の数値は「救急業務実施市町村」に占める割合（単位%）を示す。

## (3) 救急業務の実施体制のない地域における補完体制

救急業務の実施体制のない地域においては、役場内に患者搬送車を置き、役場の職員が傷病者の搬送を実施する「役場救急」を行っている。

令和4年4月1日現在、救急業務の実施体制のない地域は、29町村（全市町村1,719市町村の約1.7%）である（第3表参照）。

## 2 救急隊、救急隊員、救急自動車等

### (1) 救急隊

令和4年4月1日現在、救急隊は、救急業務を実施している1,690市町村に5,328隊配備されており、前年の5,302隊に比べて26隊(0.5%)増加している(第4表参照)。

第4表 救急隊数の推移 (単位:隊)

年 区分	平成 28年	平成 29年	平成 30年	平成 31年	令和 2年	令和 3年	令和 4年
救急隊数	5,090	5,140	5,179	5,215	5,270	5,302	5,328
対前年 増減数	21	50	39	36	55	32	26
対前年 増減率(%)	0.4	1.0	0.8	0.7	1.1	0.6	0.5

(注) 各年とも4月1日現在の数値である。

### (2) 救急隊員及び准救急隊員

令和4年4月1日現在、救急隊員数は、6万5,853人(うち女性は1,768人(2.7%))となっており、前年の6万5,181人に比べて672人(1.0%)増加している(第5表参照)。

救急隊員の専任・兼任の状況についてみると、救急業務のみに専従している専任隊員は、2万867人(31.7%)(うち女性は920人(4.4%))となっており、救急業務以外の消防業務を兼務している兼任隊員は4万4,986人(68.3%)(うち女性は848人(1.9%))となっている(第7図、別表2の1及び別表2の2参照)。

また、消防職員のうち、救急隊員の資格を有している職員は、13万1,358人(前年12万9,801人)(うち女性は3,995人(3.0%))となっている(第8表参照)。

なお、消防職員の救急資格の状況についてみると、救急隊員の行う応急処置等の範囲の拡大に対応した救急科修了者(旧救急標準課程修了者を含む。)及び旧救急Ⅱ課程修了者は、それぞれ7万5,346人、1万1,285人となっている(第8表参照)。

これを救急隊員についてみると、救急科修了者(旧救急標準課程修了者を含む。)は、3万1,054人、旧救急Ⅱ課程修了者は2,887人となっている(第5表参照)。

また、近年の人口減少や厳しい財政状況などにより、過疎地域や離島においては、救急隊が配置できない地域や時間帯が生じるなど、救急業務の空白が生じつつある中で、平成28年12月に消防法施行令の一部を改正する政令(平成28年政令第379号)を公布し、平成29年4月1日から過疎地域及び離島において、市町村が適切な救急業務の実施を図るための措置として総務省令で定める事項を記載した計画(実施計画)を定めたときには、救急隊員2人と准救急隊員1人による救急隊の編成が可能となった。

准救急隊員は、救急業務に関する基礎的な講習の課程（92 時間）を修了した常勤の消防職員等とされており、例えば、常勤の消防職員と併任され上記課程を修了した役場職員などを想定している。また、同課程の講習を受けた者以外に、上記課程修了と同等以上の学識経験を有する者についても准救急隊員とすることができることとしており、医師、保健師、看護師、准看護師、救急救命士及び救急科（250 時間）を修了した者としている。令和 4 年 4 月 1 日現在、全国で 16 人（うち女性は 1 人（6.3%））が准救急隊員として救急業務に従事している（第 8 表参照）。



### (3) 救急救命士運用隊、救急救命士の資格を有する消防職員及び救急隊員

救急隊1隊の3人の救急隊員のうち、1人以上を救急救命士としている救急救命士運用隊数は、令和4年4月1日現在、全救急隊5,328隊のうち5,301隊となっており、前年の5,275隊に比べて26隊(0.5%)増加している。これは、全救急隊の99.5%(前年同率)となっており、着実に増加している(第9表、第10表及び第11図参照)。

救急救命士の資格を有する消防職員数は4万2,495人、救急隊員数は3万1,762人となっている。そのうち、運用している救急救命士数は2万9,389人であり、現在、救急救命士を運用していない消防本部は、東京都の三宅村消防本部のみとなっている(第8表、第9表参照)。

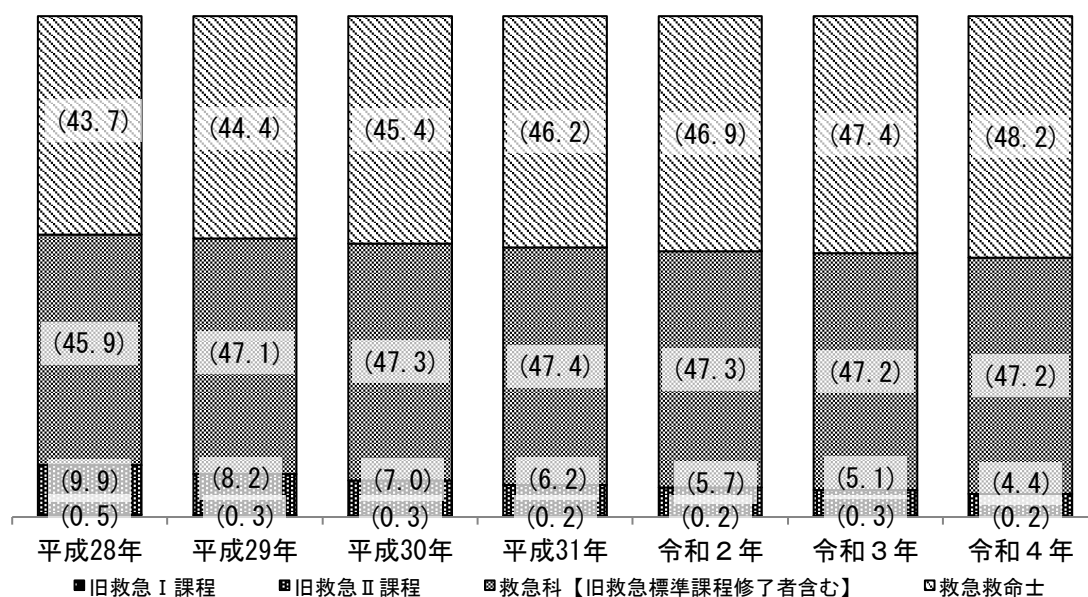
また、救急救命士の資格を有する救急隊員のうち、気管挿管認定救急救命士は1万5,977人、薬剤投与(アドレナリン)認定救急救命士は2万8,827人、気管挿管・薬剤投与(アドレナリン)両認定救急救命士は1万5,743人となっている(別表2の3参照)。

第5表 救急隊員の資格状況 (単位:人)

区 分	年							令和3年～ 令和4年 増減数
	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年	
旧救急Ⅰ課程修了者 (うち女性)	293 (0)	215 (0)	167 (0)	136 (0)	112 (0)	208 (0)	150 (0)	▲ 58 (0)
旧救急Ⅱ課程修了者 (うち女性)	6,060 (6)	5,137 (7)	4,419 (5)	3,955 (4)	3,648 (5)	3,330 (5)	2,887 (6)	▲ 443 (1)
救急科修了者 【旧救急標準課程修了者含む】 (うち女性)	28,041 (335)	29,420 (360)	29,703 (347)	30,181 (400)	30,516 (419)	30,777 (479)	31,054 (587)	277 (108)
救急救命士 (うち女性)	26,659 (858)	27,717 (886)	28,482 (952)	29,451 (991)	30,255 (1,051)	30,866 (1,125)	31,762 (1,175)	896 (50)
救急隊員総数 (うち女性)	61,053 (1,199)	62,489 (1,253)	62,771 (1,304)	63,723 (1,395)	64,531 (1,475)	65,181 (1,609)	65,853 (1,768)	672 (159)

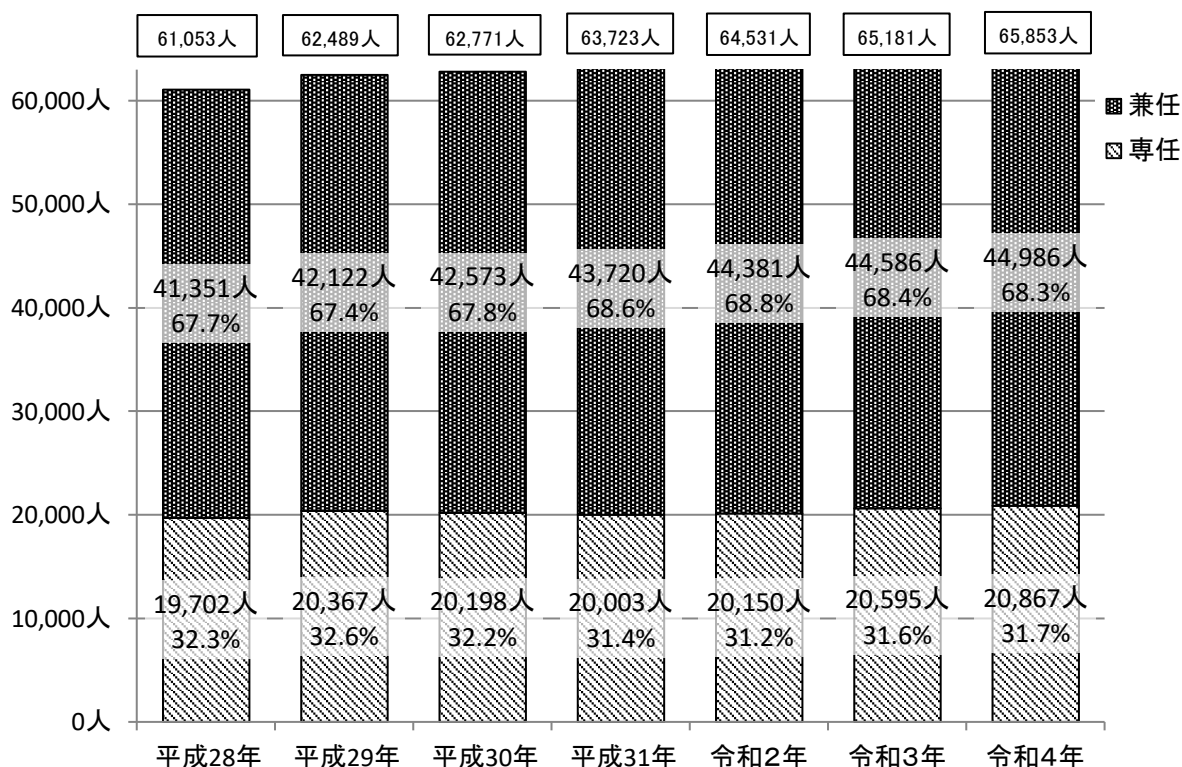
(注) 各年とも4月1日現在の数値である。

第6図 救急隊員の資格状況の割合 (単位:%)



(注) 各年とも4月1日現在の数値である。

第7図 救急隊員の専任・兼任状況の推移



(注) 各年とも4月1日現在の数値である。

第8表 消防職員の救急資格の状況

(単位：人)

区分	年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年	令和3年～令和4年増減
旧救急Ⅰ課程修了者 (うち女性)		5,870 (25)	5,363 (18)	4,119 (18)	3,789 (24)	3,797 (17)	2,879 (60)	2,611 (29)	2,232 (28)	▲ 379 (▲ 1)
旧救急Ⅱ課程修了者 (うち女性)		21,743 (120)	19,842 (118)	17,624 (117)	16,329 (115)	15,186 (130)	13,526 (124)	12,360 (116)	11,285 (123)	▲ 1,075 (7)
救急科修了者 【救急標準課程修了者を含む】 (うち女性)		57,530 (966)	62,149 (1,116)	64,336 (1,094)	67,168 (1,172)	70,251 (1,286)	71,245 (1,343)	73,564 (1,485)	75,346 (1,716)	1,782 (231)
救急救命士 (うち女性)		32,813 (1,329)	34,223 (1,441)	35,775 (1,546)	37,143 (1,639)	38,388 (1,711)	40,043 (1,870)	41,266 (2,013)	42,495 (2,128)	1,229 (115)
救急隊員資格者 (うち女性)		117,956 (2,440)	121,577 (2,693)	121,854 (2,775)	124,429 (2,950)	127,622 (3,144)	127,693 (3,397)	129,801 (3,643)	131,358 (3,995)	1,557 (352)
准救急隊員 (うち女性)					19 (2)	18 (2)	13 (0)	17 (1)	16 (1)	▲ 1 (0)

(注) 各年とも4月1日現在の数値である。

## 第9表 都道府県別の救急救命士運用状況

(令和4年4月1日現在 単位：隊、人)

区分 都道府県名	救急隊					救急救命士			
	救急隊 総数 (a)	うち救命士 運用隊数 (b)	比 率 (b)/(a)	うち救命士 常時運用隊 (c)	比 率 (c)/(a)	総 数 (a)	救命士 有資格者 (b)	うち運用 救命士 (c)	比 率 (c)/(b)
北海道	325	321	98.8%	279	85.8%	4,620	2,597	2,332	89.8%
青森	86	86	100.0%	78	90.7%	1,339	534	503	94.2%
岩手	84	84	100.0%	80	95.2%	1,202	457	424	92.8%
宮城	101	101	100.0%	93	92.1%	1,057	493	458	92.9%
秋田	76	75	98.7%	73	96.1%	1,230	431	395	91.6%
山形	67	66	98.5%	59	88.1%	733	333	306	91.9%
福島	120	116	96.7%	102	85.0%	1,523	567	535	94.4%
茨城	152	152	100.0%	129	84.9%	2,503	1,072	910	84.9%
栃木	90	90	100.0%	89	98.9%	1,145	570	542	95.1%
群馬	95	95	100.0%	92	96.8%	1,099	518	489	94.4%
埼玉	229	229	100.0%	222	96.9%	2,128	1,333	1,270	95.3%
千葉	229	229	100.0%	225	98.3%	2,392	1,246	1,161	93.2%
東京	278	277	99.6%	276	99.3%	2,739	2,142	2,088	97.5%
神奈川	251	251	100.0%	242	96.4%	2,223	1,638	1,560	95.2%
新潟	132	132	100.0%	125	94.7%	1,645	721	688	95.4%
富山	56	56	100.0%	45	80.4%	508	269	260	96.7%
石川	54	54	100.0%	54	100.0%	805	357	311	87.1%
福井	49	49	100.0%	49	100.0%	526	254	237	93.3%
山梨	53	53	100.0%	51	96.2%	663	288	253	87.8%
長野	119	119	100.0%	109	91.6%	1,737	711	672	94.5%
岐阜	128	128	100.0%	118	92.2%	1,742	667	599	89.8%
静岡	139	139	100.0%	134	96.4%	1,644	796	721	90.6%
愛知	247	247	100.0%	243	98.4%	4,216	1,632	1,410	86.4%
三重	106	103	97.2%	83	78.3%	1,805	592	542	91.6%
滋賀	59	59	100.0%	59	100.0%	917	364	333	91.5%
京都	89	89	100.0%	82	92.1%	1,128	539	501	92.9%
大阪	255	255	100.0%	253	99.2%	2,903	1,615	1,525	94.4%
兵庫	200	200	100.0%	198	99.0%	2,480	1,303	1,227	94.2%
奈良	71	71	100.0%	71	100.0%	944	328	304	92.7%
和歌山	67	67	100.0%	63	94.0%	808	343	326	95.0%
鳥取	31	31	100.0%	30	96.8%	561	197	179	90.9%
島根	69	68	98.6%	49	71.0%	643	271	264	97.4%
岡山	103	103	100.0%	98	95.1%	1,760	516	478	92.6%
広島	131	131	100.0%	126	96.2%	1,227	743	691	93.0%
山口	75	75	100.0%	74	98.7%	918	398	366	92.0%
徳島	44	44	100.0%	33	75.0%	588	235	223	94.9%
香川	44	44	100.0%	39	88.6%	562	286	229	80.1%
愛媛	76	76	100.0%	70	92.1%	716	389	359	92.3%
高知	48	48	100.0%	44	91.7%	725	320	309	96.6%
福岡	173	173	100.0%	164	94.8%	1,685	851	762	89.5%
佐賀	43	43	100.0%	43	100.0%	603	232	214	92.2%
長崎	80	76	95.0%	67	83.8%	866	372	338	90.9%
熊本	106	104	98.1%	93	87.7%	1,070	468	434	92.7%
大分	64	60	93.8%	57	89.1%	716	356	338	94.9%
宮崎	45	44	97.8%	42	93.3%	536	259	249	96.1%
鹿児島	117	116	99.1%	91	77.8%	1,259	640	578	90.3%
沖縄	72	72	100.0%	68	94.4%	1,014	519	496	95.6%
合計	5,328	5,301	99.5%	4,964	93.2%	65,853	31,762	29,389	92.5%

- (注) 1 「救命士運用隊」とは、特定行為に必要な資器材を積載する救急自動車に、救急救命士の資格を持つ救急隊員が搭乗し、医師からの指示体制を整えている救急隊をいう。
- 2 「救命士常時運用隊」とは、24時間365日全ての救急事案で救急救命士が搭乗する体制としている救急隊をいう。

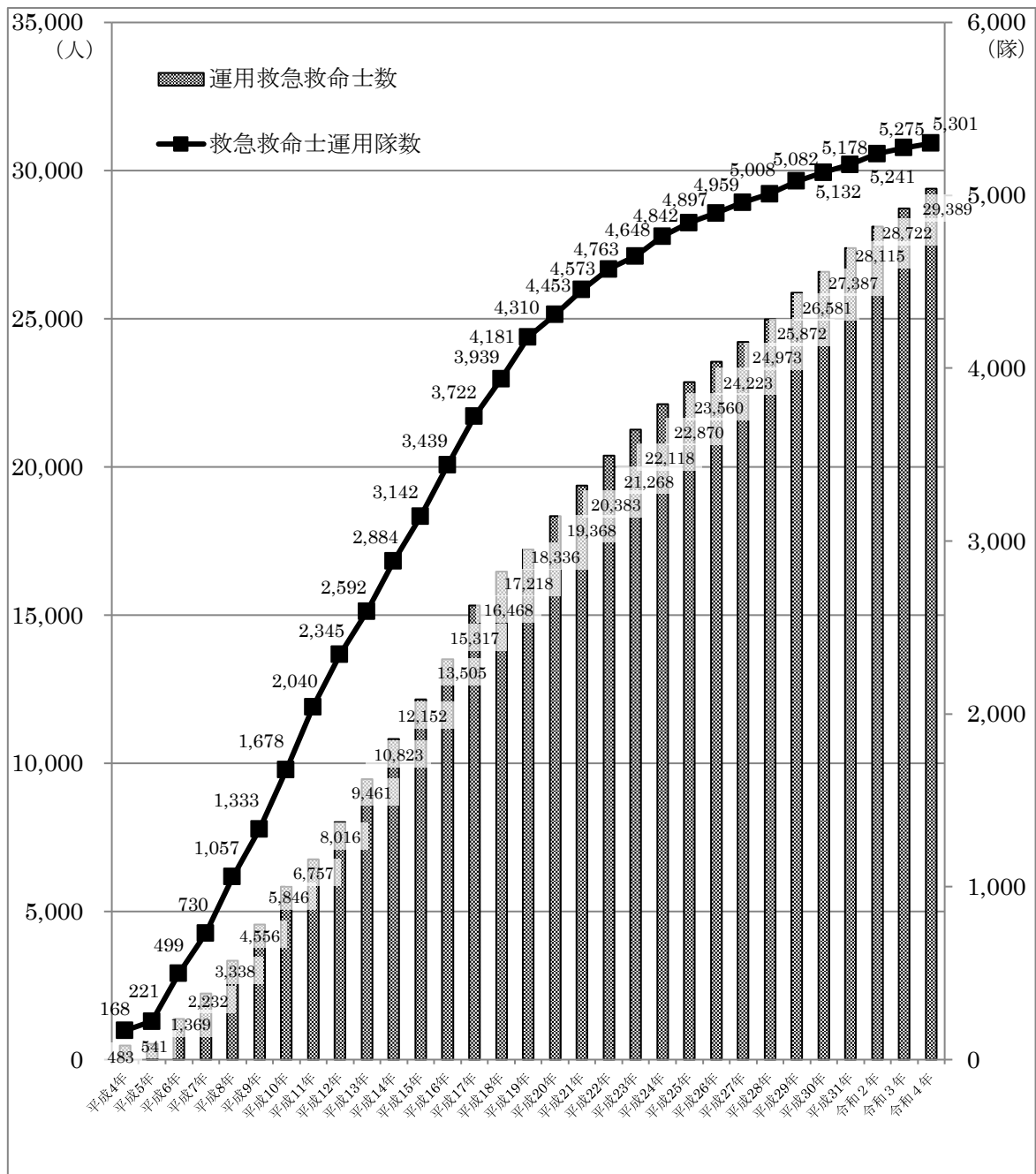
第10表 救急救命士の運用推移

(単位：隊)

年 区分	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	平成 31年	令和 2年	令和 3年	令和 4年
救急隊数	4,927	4,965	5,004	5,028	5,069	5,090	5,140	5,179	5,215	5,270	5,302	5,328
救急救命士 運用隊数	4,648	4,763	4,842	4,897	4,959	5,008	5,082	5,132	5,178	5,241	5,275	5,301
割合(%)	94.3	95.9	96.8	97.4	97.8	98.4	98.9	99.1	99.3	99.4	99.5	99.5

(注) 各年とも4月1日現在の数値である。

第11図 運用救急救命士数・救急救命士運用隊数の推移



(注) 各年とも4月1日現在の数値である。

#### (4) 救急自動車

救急自動車の保有台数は、非常用を含め 6,549 台となっており、前年の 6,579 台に比べて 30 台(0.5%)減少している。そのうち高規格救急自動車の台数は 6,436 台となっている(第 12 表、第 13 図及び別表 2 の 1 参照)。

救急自動車は、交通安全対策特別交付金を含む一般財源、国庫補助金又は民間団体からの寄贈により整備を図っている。

第12表 救急自動車数の推移

(単位:台)

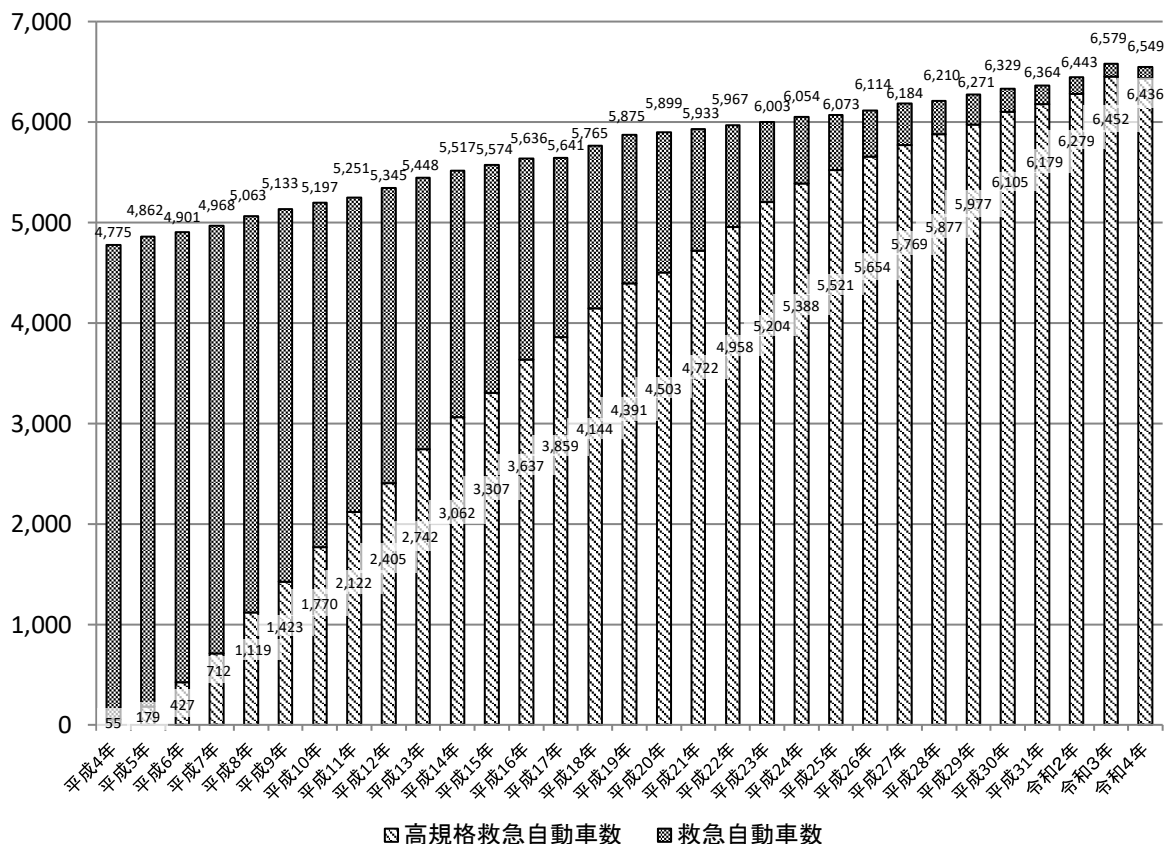
区分	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	平成 31年	令和 2年	令和 3年	令和 4年
救急自動車数 (高規格車数)	6,003 (5,204)	6,054 (5,388)	6,073 (5,521)	6,114 (5,654)	6,184 (5,769)	6,210 (5,877)	6,271 (5,977)	6,329 (6,105)	6,364 (6,179)	6,443 (6,279)	6,579 (6,452)	6,549 (6,436)
対前年増減 (高規格車数)	36 (246)	51 (184)	19 (133)	41 (133)	70 (115)	26 (108)	61 (100)	58 (128)	35 (74)	79 (100)	136 (173)	▲ 30 (▲ 16)
対前年増減率(%) (高規格車数)	0.6 (5.0)	0.8 (3.5)	0.3 (2.5)	0.7 (2.4)	1.1 (2.0)	0.4 (1.9)	1.0 (1.7)	0.9 (2.1)	0.6 (1.2)	1.2 (1.6)	2.1 (2.8)	▲ 0.5 (▲ 0.2)

(注) 1 各年とも4月1日現在の数値である。

2 東日本大震災の影響により平成 23 年の高規格車数については、釜石大槌地区行政事務組合消防本部及び陸前高田市消防本部のデータは除いた数値により集計している。

第13図 高規格救急自動車数と救急自動車数の推移

(単位:台)



(注) 1 各年とも4月1日現在の数値である。

2 東日本大震災の影響により平成 23 年の高規格車数については、釜石大槌地区行政事務組合消防本部及び陸前高田市消防本部のデータは除いた数値により集計している。

### 3 高速自動車国道等における救急業務

令和4年4月1日現在の高速自動車国道、瀬戸中央自動車道及び神戸淡路鳴門自動車道(以下、「高速自動車国道等」という。)の供用延長は9,281 kmとなっており、全ての区間における救急業務を市町村の消防機関が実施している。

高速自動車国道等の救急業務を実施している消防本部は、全国723本部の56.4%にあたる408本部となっており、これらの消防本部の高速自動車国道等への令和3年中救急出動件数は6,680件、搬送人員は5,741人となっている(第14表参照)。

第14表 高速自動車国道等における救急出動件数及び搬送人員の推移

区 分 \ 年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
出動件数(件)	9,704	9,867	9,675	9,545	9,132	6,457	6,680
搬送人員(人)	9,415	9,490	9,240	8,865	8,509	5,862	5,741

## 第2章 救急業務の実施状況

### 1 救急業務の実施状況概要（救急出動件数及び搬送人員）

令和3年中の救急出動件数は、消防防災ヘリコプターによる件数も含め、619万6,069件（対前年比26万375件増、4.4%増）、搬送人員は549万3,658人（対前年比19万7,931人増、3.7%増）となっている（第15表、第16図参照）。

そのうち救急自動車による救急出動件数は619万3,581件（対前年比26万304件増、4.4%増）、搬送人員は549万1,744人（対前年比19万7,914人増、3.7%増）で救急出動件数、搬送人員ともに増加した（第15表、別表3及び別表4参照）。

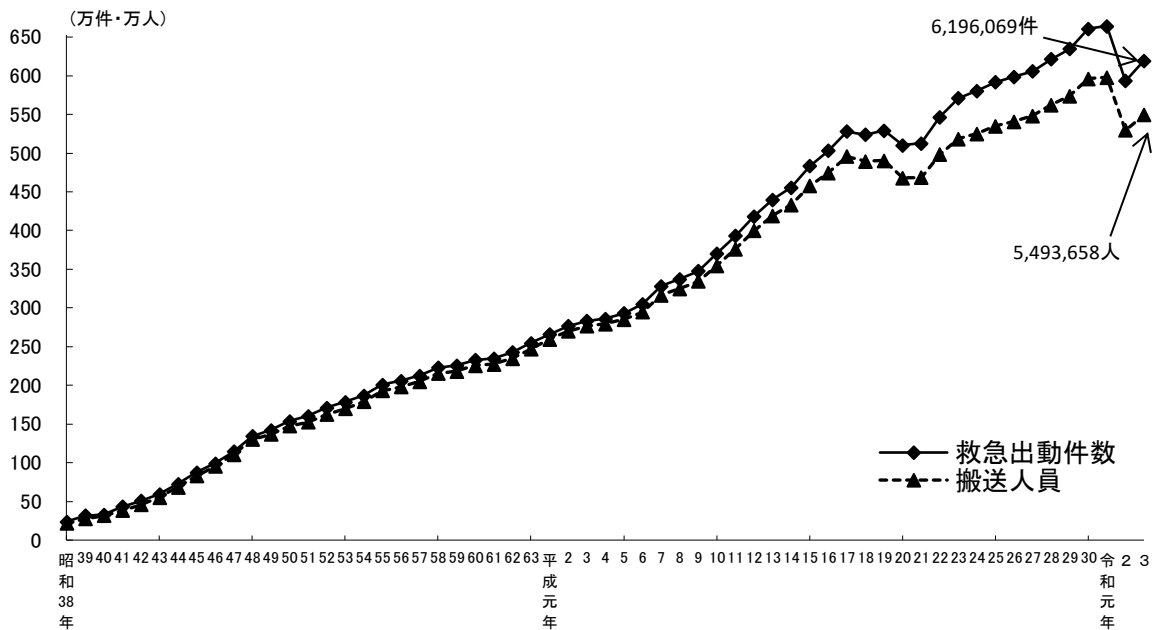
救急自動車は、1日平均1万6,969件（前年1万6,211件）、約5.1秒に1回（前年約5.3秒に1回）の割合で出動しており、国民の23人に1人（前年24人に1人）が搬送されたことになる。

第15表 救急自動車、消防防災ヘリコプターによる救急出動件数及び搬送人員の推移

区 分 年	救急出動件数					搬送人員				
	全出動件数			増加数		全搬送人員			増加数	
	うち 救急自動車に よる 件数	うち 消防防災ヘリ よる 件数	前年比 (%)	うち 救急自動車に よる増加数 前年比 (%)	前年比 (%)	うち 救急自動車に よる 人員	うち 消防防災ヘリ よる 人員	前年比 (%)	うち 救急自動車に よる増加数 前年比 (%)	
平成20年	5,100,370	5,097,094	3,276	▲ 193,033 (▲3.6)	▲ 193,142 (▲3.7)	4,681,447	4,678,636	2,811	▲ 224,138 (▲4.6)	▲ 224,117 (▲4.6)
平成21年	5,125,936	5,122,226	3,710	25,566 (0.5)	25,132 (0.5)	4,686,045	4,682,991	3,054	4,598 (0.1)	4,355 (0.1)
平成22年	5,467,620	5,463,682	3,938	341,684 (6.7)	341,456 (6.7)	4,982,512	4,979,537	2,975	296,467 (6.3)	296,546 (6.3)
平成23年	5,711,102	5,707,655	3,447	243,482 (4.5)	243,973 (4.5)	5,185,313	5,182,729	2,584	202,801 (4.1)	203,192 (4.1)
平成24年	5,805,701	5,802,455	3,246	94,599 (1.7)	94,800 (1.7)	5,252,827	5,250,302	2,525	67,514 (1.3)	67,573 (1.3)
平成25年	5,918,939	5,915,683	3,256	113,238 (2.0)	113,228 (2.0)	5,348,623	5,346,087	2,536	95,796 (1.8)	95,785 (1.8)
平成26年	5,988,377	5,984,921	3,456	69,438 (1.2)	69,238 (1.2)	5,408,635	5,405,917	2,718	60,012 (1.1)	59,830 (1.1)
平成27年	6,058,190	6,054,815	3,375	69,813 (1.2)	69,894 (1.2)	5,481,252	5,478,370	2,882	72,617 (1.3)	72,453 (1.3)
平成28年	6,213,628	6,209,964	3,664	155,438 (2.6)	155,149 (2.6)	5,624,034	5,621,218	2,816	142,782 (2.6)	142,848 (2.6)
平成29年	6,345,517	6,342,147	3,370	131,889 (2.1)	132,183 (2.1)	5,738,664	5,736,086	2,578	114,630 (2.0)	114,868 (2.0)
平成30年	6,608,341	6,605,213	3,128	262,824 (4.1)	263,066 (4.1)	5,962,613	5,960,295	2,318	223,949 (3.9)	224,209 (3.9)
令和元年	6,642,772	6,639,767	3,005	34,431 (0.5)	34,554 (0.5)	5,980,258	5,978,008	2,250	17,645 (0.3)	17,713 (0.3)
令和2年	5,935,694	5,933,277	2,417	▲ 707,078 (▲10.6)	▲ 706,490 (▲10.6)	5,295,727	5,293,830	1,897	▲ 684,531 (▲11.4)	▲ 684,178 (▲11.4)
令和3年	6,196,069	6,193,581	2,488	260,375 (4.4)	260,304 (4.4)	5,493,658	5,491,744	1,914	197,931 (3.7)	197,914 (3.7)

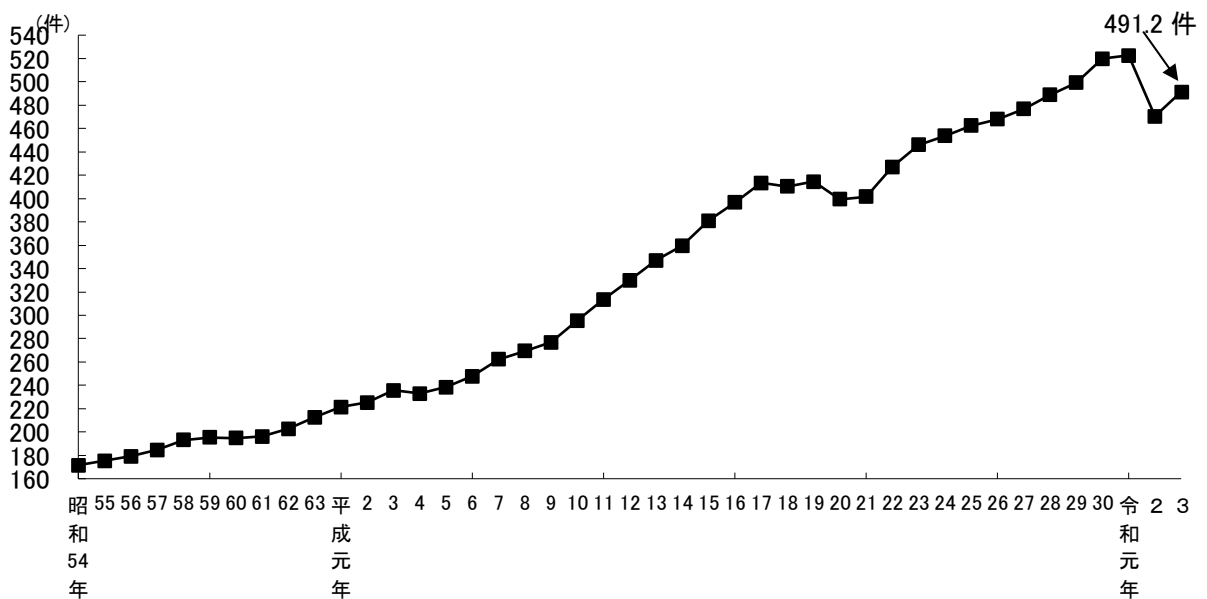
(注) 各年とも1月から12月までの数値である。以後、月別の数値を除き同様とする。

第16図 救急出動件数及び搬送人員の推移



令和3年中の消防防災ヘリコプターを含む救急出動件数619万6,069件について、人口1万人当たりの平均救急出動件数は491.2件である。救急自動車のみでは619万3,581件となっている。救急自動車のみを都道府県別にみると、東京都の74万8,542件が最も多く、鳥取県の2万6,142件が最も少なくなっている（第17図、別表3参照）。

第17図 人口1万人当たりの平均救急出動件数の推移



- (注) 1 各年とも1月から12月までの数値である。  
 2 平均救急出動件数は、管轄市町村の救急出動件数から、それぞれ直近の国勢調査人口（確定値）による管轄人口を基準に算出した値である。



## 2 救急自動車による救急出動件数及び搬送人員

### (1) 事故種別の救急出動件数及び搬送人員

#### 1. 事故種別の救急出動件数及び搬送人員の概要

令和3年中の救急自動車による救急出動件数のうち、最も多い事故種別は急病405万4,706件(65.5%)であり、続いて一般負傷96万9,130件(15.6%)、交通事故36万8,491件(5.9%)となっている。これらの救急出動件数について前年と比較すると、急病、一般負傷、交通事故ともに増加している(第18表、第20図参照)。

令和3年中の救急自動車による搬送人員のうち、最も多い事故種別は急病360万5,179人(65.6%)で、続いて一般負傷87万9,503人(16.0%)、交通事故34万573人(6.2%)となっている(第19表参照)。

なお、令和3年中の救急自動車による救急出動件数のうち、不搬送件数は73万349件で全体の11.8%となっている。

第18表 事故種別の救急出動件数対前年比 (単位：件)

区分 事故種別	令和3年中		令和2年中		対前年比	
	出動件数	構成比(%)	出動件数	構成比(%)	増減数	増減率(%)
急病	4,054,706	65.5	3,850,497	64.9	204,209	5.3
交通事故	368,491	5.9	366,255	6.2	2,236	0.6
一般負傷	969,130	15.6	952,128	16.0	17,002	1.8
加害	24,569	0.4	27,061	0.5	▲ 2,492	▲ 9.2
自損行為	55,752	0.9	54,937	0.9	815	1.5
労働災害	53,397	0.9	52,121	0.9	1,276	2.4
運動競技	28,919	0.5	23,874	0.4	5,045	21.1
火災	21,798	0.4	21,727	0.4	71	0.3
水難	4,487	0.1	4,923	0.1	▲ 436	▲ 8.9
自然災害	736	0.0	544	0.0	192	35.3
転院搬送	518,483	8.4	490,897	8.3	27,586	5.6
その他 (転院搬送除く)	93,113	1.5	88,313	1.5	4,800	5.4
合計	6,193,581	100	5,933,277	100	260,304	4.4

第19表 事故種別の搬送人員対前年比 (単位：人)

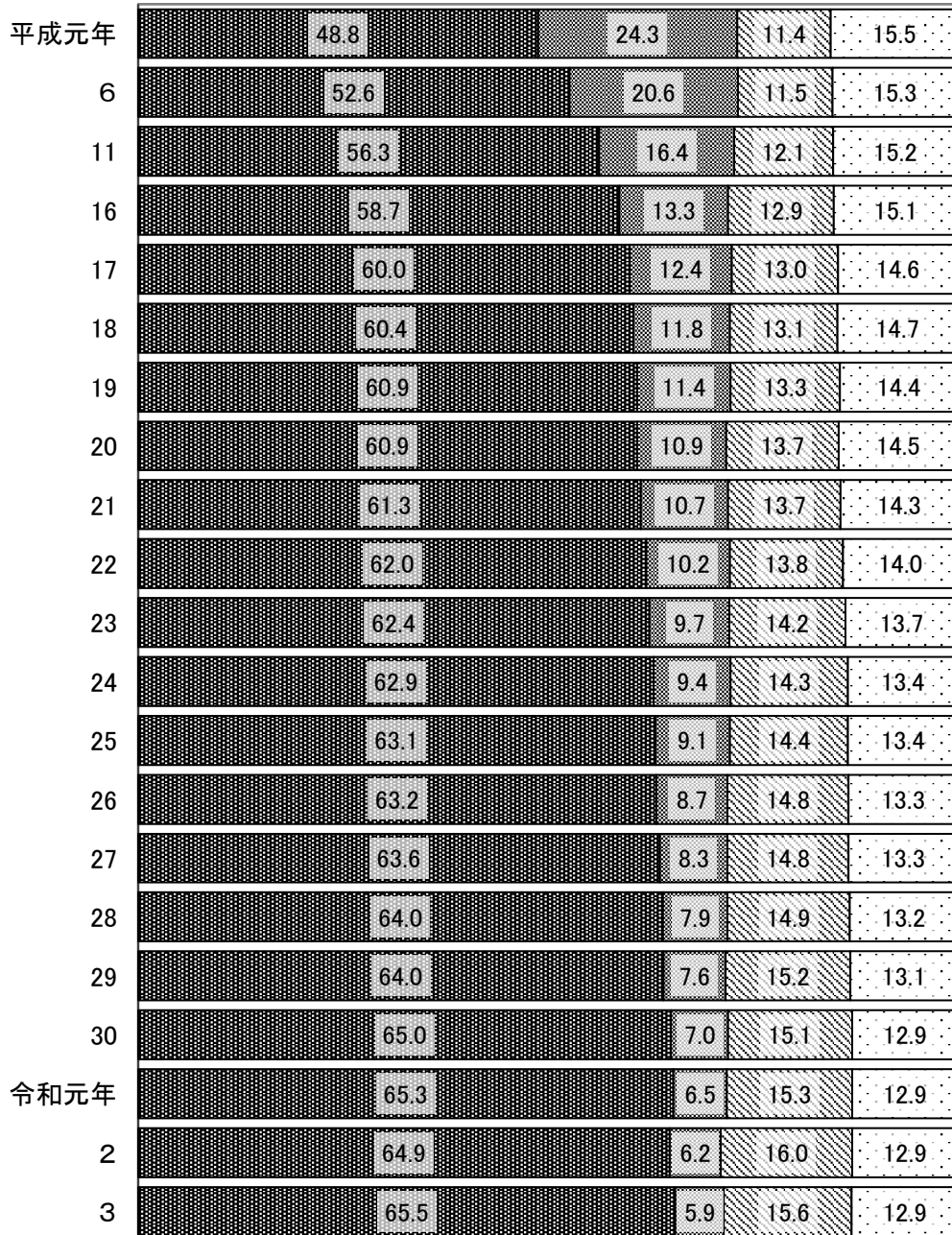
区分 事故種別	令和3年中		令和2年中		対前年比	
	搬送人員	構成比(%)	搬送人員	構成比(%)	増減数	増減率(%)
急病	3,605,179	65.6	3,451,872	65.2	153,307	4.4
交通事故	340,573	6.2	342,250	6.5	▲ 1,677	▲ 0.5
一般負傷	879,503	16.0	866,529	16.4	12,974	1.5
加害	17,945	0.3	20,100	0.4	▲ 2,155	▲ 10.7
自損行為	37,535	0.7	37,256	0.7	279	0.7
労働災害	52,168	0.9	50,948	1.0	1,220	2.4
運動競技	28,521	0.5	23,593	0.4	4,928	20.9
火災	4,746	0.1	4,922	0.1	▲ 176	▲ 3.6
水難	1,833	0.0	1,985	0.0	▲ 152	▲ 7.7
自然災害	547	0.0	413	0.0	134	32.4
その他	523,194	9.5	493,962	9.3	29,232	5.9
合計	5,491,744	100	5,293,830	100	197,914	3.7

- (注) 1 不搬送とは、傷病者又はその関係者が搬送を拒んだ場合や明らかに死亡している場合又は医師が死亡していると診断した場合に医療機関等へ搬送しないものをいう。
- 2 割合の算出に当たっては、端数処理(四捨五入)のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

第20図 事故種別の救急出動件数と構成比の推移

■急病 ■交通事故 ▨一般負傷 □その他(左記以外)

(単位:%)



(注) 割合の算出に当たっては、端数処理(四捨五入)のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

## 2. 事故種別（急病）の疾病分類と年齢区分

令和3年中の救急自動車による急病の搬送人員 360万5,179人の疾病分類別、年齢区分別、傷病程度別の状況を示したのが第21表、第23表及び第24表である。疾病分類別で見ると、脳疾患、心疾患等を含む循環器系が多く、59万1,694人（16.4%）となっている。特に高齢者ではその割合が高くなっており、20.3%を占めている（第21表参照）。

また、傷病程度別年齢区分で見ると、全体では中等症（入院診療）以上（傷病程度「その他」を除く。）の割合は、55.7%となっているが、高齢者では65.5%と高くなっている（第24表参照）。

第21表 急病の疾病分類別の年齢区分別搬送人員（令和3年 単位：人）

分類項目		年齢区分					合計
		新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	
循環器系	脳疾患	5 (0.3)	1,618 (1.2)	1,740 (2.3)	57,623 (5.2)	208,591 (9.1)	269,577 (7.5)
	心疾患等	25 (1.4)	390 (0.3)	1,108 (1.5)	62,733 (5.7)	257,861 (11.2)	322,117 (8.9)
消化器系		63 (3.5)	5,997 (4.6)	6,397 (8.6)	119,007 (10.8)	199,373 (8.7)	330,837 (9.2)
呼吸器系		105 (5.8)	13,917 (10.6)	4,385 (5.9)	57,270 (5.2)	237,289 (10.3)	312,966 (8.7)
精神系		6 (0.3)	210 (0.2)	4,356 (5.9)	65,138 (5.9)	19,430 (0.8)	89,140 (2.5)
感覚系		15 (0.8)	5,589 (4.3)	8,802 (11.9)	62,687 (5.7)	87,774 (3.8)	164,867 (4.6)
泌尿器系		1 (0.1)	298 (0.2)	1,419 (1.9)	60,446 (5.5)	80,645 (3.5)	142,809 (4.0)
新生物		0 (0.0)	27 (0.0)	78 (0.1)	13,005 (1.2)	53,091 (2.3)	66,201 (1.8)
その他		913 (50.7)	15,848 (12.1)	10,855 (14.6)	164,110 (14.9)	285,500 (12.4)	477,226 (13.2)
症状・徴候・診断名 不明確の状態		669 (37.1)	87,281 (66.5)	35,057 (47.2)	439,058 (39.9)	867,374 (37.8)	1,429,439 (39.6)
合計		1,802 (100)	131,175 (100)	74,197 (100)	1,101,077 (100)	2,296,928 (100)	3,605,179 (100)

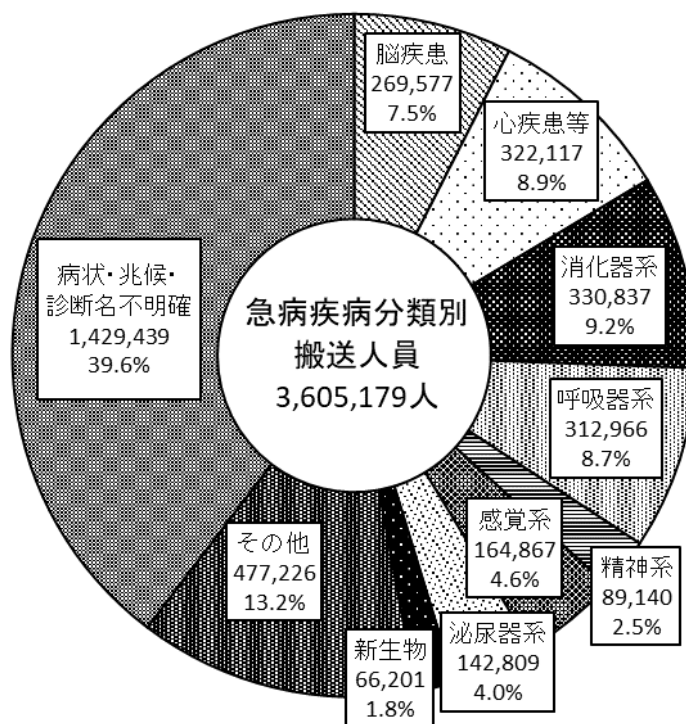
(注) 1 年齢区分は、次によっている。

- (1) 新生児：生後28日未満の者
- (2) 乳幼児：生後28日以上満7歳未満の者
- (3) 少年：満7歳以上満18歳未満の者
- (4) 成人：満18歳以上満65歳未満の者
- (5) 高齢者：満65歳以上の者

2 ( ) 内は、構成比(単位：%)を示す。

3 割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

第22図 急病の疾病分類別の搬送人員 (令和3年 単位:人)



(注) 1 急病とは、疾病が原因で医療機関に搬送されたものであり、初診時の医師の診断名（傷病名）により10分類されている。傷病名はWHO(世界保健機関)で定める国際疾病分類(ICD10)により分類されたものである。

- (1) 「脳疾患」とは「IX循環器系の疾患」のうち「a-0904 脳梗塞」及び「a-0905 その他の脳血管疾患」をいう。
- (2) 「心疾患等」とは「IX循環器系の疾患」のうち「a-0901 高血圧性疾患」から「a-0903 その他の心疾患」まで及び「a-0906 その他循環器系の疾患」をいう。
- (3) 「消化器系」とは、「XI消化器系の疾患」をいう。
- (4) 「呼吸器系」とは、「X呼吸器系の疾患」をいう。
- (5) 「精神系」とは、「V精神及び行動の障害」をいう。
- (6) 「感覚系」とは、「VI神経系の疾患」、「VII眼及び付属器の疾患」及び「VIII耳及び乳様突起の疾患」をいう。
- (7) 「泌尿器系」とは、「XIV腎尿路生殖器系の疾患」をいう。
- (8) 「新生物」とは、「II新生物」をいう。
- (9) 「その他」とは、上記以外の大分類項群「I・III・IV・XII・XIII・XV・XVI・XVII・XIX・XX・XXI」に分類されるもの及び医療機関以外に搬送されたものをいう。
- (10) 「症状・徴候・診断名不明確の状態」とは、「XVIII症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの」をいう。

なお、「〇〇の疑い」は全てその傷病名により分類する。

- 2 割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

第23表 急病の疾病分類別の傷病程度別の搬送人員 (令和3年 単位:人)

程度		死 亡	重 症 (長期入院)	中等症 (入院診療)	軽 症 (外来診療)	その他	合 計
分類項目							
循環器系	脳疾患	1,583 (2.3)	62,570 (21.7)	166,413 (10.1)	39,011 (2.4)	0 (0.0)	269,577 (7.5)
	心疾患等	29,278 (43.5)	64,203 (22.2)	147,471 (8.9)	81,165 (5.1)	0 (0.0)	322,117 (8.9)
	消化器系	1,002 (1.5)	17,549 (6.1)	178,168 (10.8)	134,118 (8.4)	0 (0.0)	330,837 (9.2)
	呼吸器系	2,547 (3.8)	34,725 (12.0)	197,761 (12.0)	77,933 (4.9)	0 (0.0)	312,966 (8.7)
	精神系	6 (0.0)	1,437 (0.5)	17,498 (1.1)	70,199 (4.4)	0 (0.0)	89,140 (2.5)
	感覚系	72 (0.1)	3,173 (1.1)	56,544 (3.4)	105,078 (6.6)	0 (0.0)	164,867 (4.6)
	泌尿器系	285 (0.4)	5,906 (2.0)	64,522 (3.9)	72,096 (4.5)	0 (0.0)	142,809 (4.0)
	新生物	2,586 (3.8)	13,108 (4.5)	43,451 (2.6)	7,056 (0.4)	0 (0.0)	66,201 (1.8)
	その他	3,132 (4.6)	24,632 (8.5)	219,467 (13.3)	229,995 (14.4)	0 (0.0)	477,226 (13.2)
	症状・徴候・診断名 不明確の状態	26,881 (39.9)	61,563 (21.3)	559,292 (33.9)	780,890 (48.9)	813 (100)	1,429,439 (39.6)
	合 計	67,372 (100)	288,866 (100)	1,650,587 (100)	1,597,541 (100)	813 (100)	3,605,179 (100)

第24表 急病の傷病程度別の年齢区別の搬送人員 (令和3年 単位:人)

年齢区分	新生児	乳幼児	少 年	成 人	高齢者	合 計
傷病程度						
死 亡	49 (2.7)	205 (0.2)	61 (0.1)	7,753 (0.7)	59,304 (2.6)	67,372 (1.9)
重 症 (長期入院)	107 (5.9)	1,514 (1.2)	745 (1.0)	53,402 (4.8)	233,098 (10.1)	288,866 (8.0)
中等症 (入院診療)	908 (50.4)	33,155 (25.3)	18,664 (25.2)	384,971 (35.0)	1,212,889 (52.8)	1,650,587 (45.8)
軽 症 (外来診療)	733 (40.7)	96,292 (73.4)	54,721 (73.8)	654,661 (59.5)	791,134 (34.4)	1,597,541 (44.3)
その他	5 (0.3)	9 (0.0)	6 (0.0)	290 (0.0)	503 (0.0)	813 (0.0)
合 計	1,802 (100)	131,175 (100)	74,197 (100)	1,101,077 (100)	2,296,928 (100)	3,605,179 (100)

(注) 1 ( ) 内は構成比(単位:%)を示す。

2 傷病程度とは、救急隊が傷病者を医療機関に搬送し、初診時における医師の診断に基づき、次の5種類に分類している。傷病程度に基づく分類は次のとおりである。

- (1) 死 亡：初診時において死亡が確認されたものをいう。
- (2) 重症(長期入院)：傷病程度が3週間以上の入院加療を必要とするものをいう。
- (3) 中等症(入院診療)：傷病程度が重症または軽症以外のものをいう。
- (4) 軽症(外来診療)：傷病程度が入院加療を必要としないものをいう。
- (5) その他：医師の診断がないもの及び傷病程度が判明しないもの、並びにその他の場所に搬送したものをいう。

なお、傷病程度は入院加療の必要程度を基準に区分しているため、骨折等で入院の必要はないが、通院による治療が必要な者は軽症として分類されている。

3 割合の算出に当たっては、端数処理(四捨五入)のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

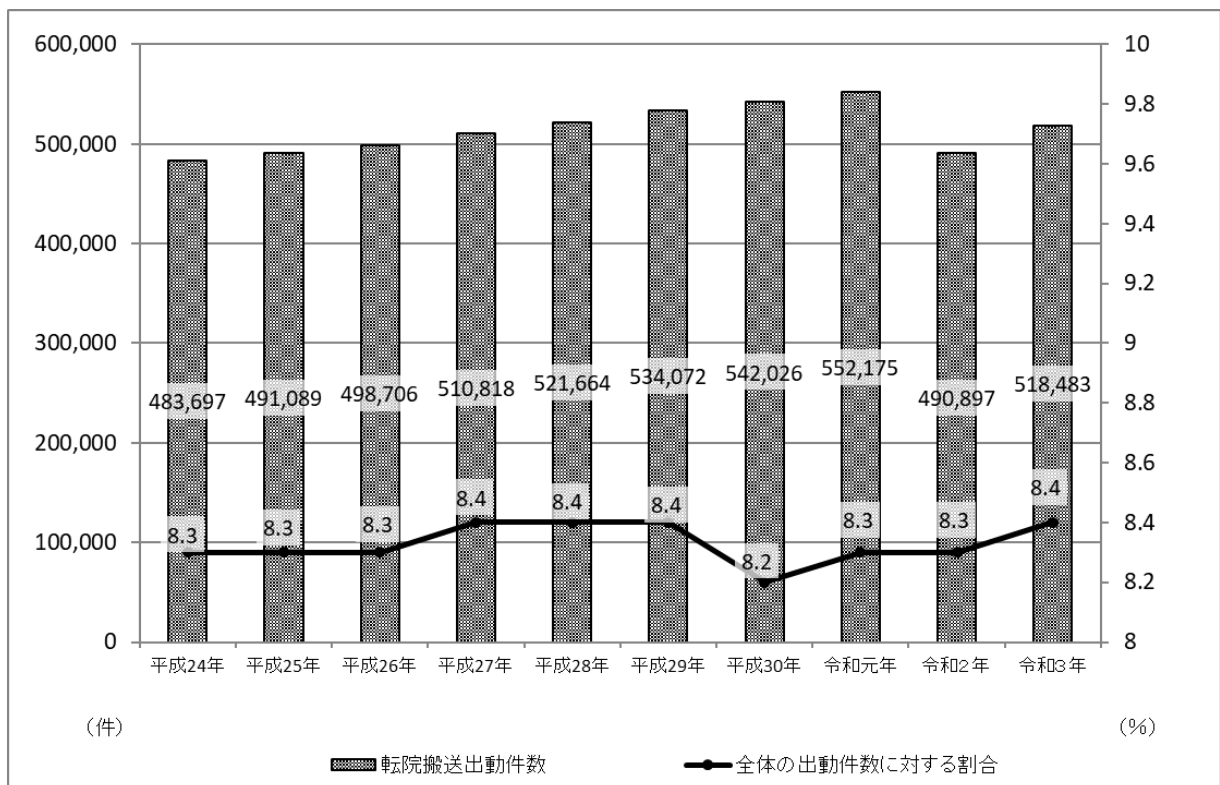
### 3. 事故種別（転院搬送）の救急出動件数

令和3年中の救急自動車による救急出動件数のうち、転院搬送件数は51万8,483件であり、全体の8.4%となっている。救急出動に占める転院搬送件数割合は横ばいである（第25表、第26図参照）。

第25表 救急出動件数に占める転院搬送件数割合の推移（単位：件）

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
転院搬送件数	483,697	491,089	498,706	510,818	521,664	534,072	542,026	552,175	490,897	518,483
転院搬送の割合(%)	8.3	8.3	8.3	8.4	8.4	8.4	8.2	8.3	8.3	8.4
増減数 増減率(%)	5,630 (1.2)	7,392 (1.5)	7,617 (1.6)	12,112 (2.4)	10,846 (2.1)	12,408 (2.4)	7,954 (1.5)	10,149 (1.9)	▲ 61,278 (▲11.1)	27,586 (5.6)

第26図 事故種別（転院搬送）の救急出動件数と構成比の推移



#### 4. 事故種別（人口規模別）の救急出動件数

令和3年中の救急自動車による救急出動件数のうち、事故種別（急病、交通事故、一般負傷及びその他）の全件数に対する割合を人口規模別にみると、大都市の救急出動件数226万689件のうち、急病の占める割合は67.0%（151万4,581件）で、交通事故は5.4%（12万1,914件）、一般負傷は16.3%（36万9,203件）となっている（第27表参照）。

また、その他の市町村の救急出動件数393万2,892件のうち、急病の占める割合は64.6%（254万125件）で、交通事故は6.3%（24万6,577件）、一般負傷は15.3%（59万9,927件）となっており、大都市、その他の市町村ともに急病の占める割合が高くなっている（第27表参照）。

第27表 事故種別（人口規模別）の救急出動件数の推移（単位：件）

区分 年	大 都 市									
	急 病		交通事故		一般負傷		その他(左記以外)		小 計	
	件 数	全件数に 対する 割合(%)	件 数	全件数に 対する 割合(%)	件 数	全件数に 対する 割合(%)	件 数	全件数に 対する 割合(%)	件 数	全件数に 対する 割合(%)
平成24年	1,353,091	64.2%	180,755	8.6%	320,175	15.2%	253,341	12.0%	2,107,362	100%
平成25年	1,384,684	64.4%	176,493	8.2%	330,954	15.4%	256,977	12.0%	2,149,108	100%
平成26年	1,403,046	64.5%	169,025	7.8%	343,428	15.8%	259,133	11.9%	2,174,632	100%
平成27年	1,432,670	64.9%	162,834	7.4%	348,228	15.8%	261,780	11.9%	2,205,512	100%
平成28年	1,486,484	65.5%	158,337	7.0%	361,252	15.9%	262,838	11.6%	2,268,911	100%
平成29年	1,511,795	65.5%	156,768	6.8%	374,967	16.2%	265,780	11.5%	2,309,310	100%
平成30年	1,605,277	66.4%	149,507	6.2%	393,281	16.3%	269,404	11.1%	2,417,469	100%
令和元年	1,631,949	66.8%	141,040	5.8%	397,116	16.3%	273,165	11.2%	2,443,270	100%
令和2年	1,437,952	66.2%	120,960	5.6%	369,112	17.0%	242,512	11.2%	2,170,536	100%
令和3年	1,514,581	67.0%	121,914	5.4%	369,203	16.3%	254,991	11.3%	2,260,689	100%
区分 年	そ の 他 の 市 町 村									
	急 病		交通事故		一般負傷		その他(左記以外)		小 計	
	件 数	全件数に 対する 割合(%)	件 数	全件数に 対する 割合(%)	件 数	全件数に 対する 割合(%)	件 数	全件数に 対する 割合(%)	件 数	全件数に 対する 割合(%)
平成24年	2,294,983	62.1%	362,463	9.8%	508,896	13.8%	528,751	14.3%	3,695,093	100%
平成25年	2,348,269	62.3%	360,314	9.6%	520,487	13.8%	537,505	14.3%	3,766,575	100%
平成26年	2,378,203	62.4%	349,347	9.2%	541,495	14.2%	541,244	14.2%	3,810,289	100%
平成27年	2,419,308	62.9%	338,487	8.8%	546,514	14.2%	544,994	14.2%	3,849,303	100%
平成28年	2,488,896	63.2%	330,524	8.4%	565,104	14.3%	556,529	14.1%	3,941,053	100%
平成29年	2,550,194	63.2%	324,705	8.1%	590,409	14.6%	567,529	14.1%	4,032,837	100%
平成30年	2,689,647	64.2%	310,470	7.4%	604,523	14.4%	583,104	13.9%	4,187,744	100%
令和元年	2,703,738	64.4%	291,452	6.9%	616,319	14.7%	584,988	13.9%	4,196,497	100%
令和2年	2,412,545	64.1%	245,295	6.5%	583,016	15.5%	521,885	13.9%	3,762,741	100%
令和3年	2,540,125	64.6%	246,577	6.3%	599,927	15.3%	546,263	13.9%	3,932,892	100%

- (注) 1 大都市とは、政令指定都市及び東京都特別区（事務委託団体に係わるものを含む。）をいう。
- 2 割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

第28表 事故種別（人口規模別）の救急出動件数

（令和3年 単位：件）

事故種別 人口段階		急病	交通事故	一般負傷	その他 (左記以外)	うち転院	合計
単 独 実 施 市 町 村	大都市	1,514,581 (67.0)	121,914 (5.4)	369,203 (16.3)	254,991 (11.3)	145,485 (6.4)	2,260,689 (100)
	30万人以上	585,606 (65.3)	55,792 (6.2)	137,956 (15.4)	117,107 (13.1)	76,001 (8.5)	896,461 (100)
	10万人以上 30万人未満	575,373 (64.9)	57,600 (6.5)	134,156 (15.1)	119,848 (13.5)	79,380 (8.9)	886,977 (100)
	5万人以上 10万人未満	217,026 (65.0)	20,942 (6.3)	52,355 (15.7)	43,798 (13.1)	30,344 (9.1)	334,121 (100)
	5万人未満	141,497 (62.4)	12,627 (5.6)	36,871 (16.3)	35,868 (15.8)	27,260 (12.0)	226,863 (100)
	小計	3,034,083 (65.9)	268,875 (5.8)	730,541 (15.9)	571,612 (12.4)	358,470 (7.8)	4,605,111 (100)
	消 防 事 務 組 合	30万人以上	288,994 (64.8)	30,127 (6.8)	65,036 (14.6)	61,529 (13.8)	39,897 (9.0)
10万人以上 30万人未満	464,137 (64.7)	46,191 (6.4)	106,847 (14.9)	99,813 (13.9)	69,439 (9.7)	716,988 (100)	
5万人以上 10万人未満	185,606 (63.4)	16,474 (5.6)	46,055 (15.7)	44,423 (15.2)	32,371 (11.1)	292,558 (100)	
5万人未満	81,886 (61.5)	6,824 (5.1)	20,651 (15.5)	23,877 (17.9)	18,306 (13.7)	133,238 (100)	
小計	1,020,623 (64.3)	99,616 (6.3)	238,589 (15.0)	229,642 (14.5)	160,013 (10.1)	1,588,470 (100)	
合 計	4,054,706 (65.5)	368,491 (5.9)	969,130 (15.6)	801,254 (12.9)	518,483 (8.4)	6,193,581 (100)	

(注) 1 ( ) 内は、構成比(単位：%)を示す。

- 2 他の市町村又は消防事務組合に救急業務を委託している市町村における数値は、委託先の市町村又は消防事務組合の数値に含めている。
- 3 消防本部規模の区分は令和2年国勢調査によるもの。
- 4 割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。



## (2) 年齢区分別の搬送人員

### 1. 年齢区分別の搬送人員の概要

令和3年中の救急自動車による搬送人員のうち、最も多い年齢区分は高齢者339万9,802人(61.9%)、続いて成人170万7,782人(31.1%)、乳幼児21万962人(3.8%)となっている。年齢区分別の搬送人員について、前年と比較すると、いずれの区分においても増加している(第29表、第30図参照)。

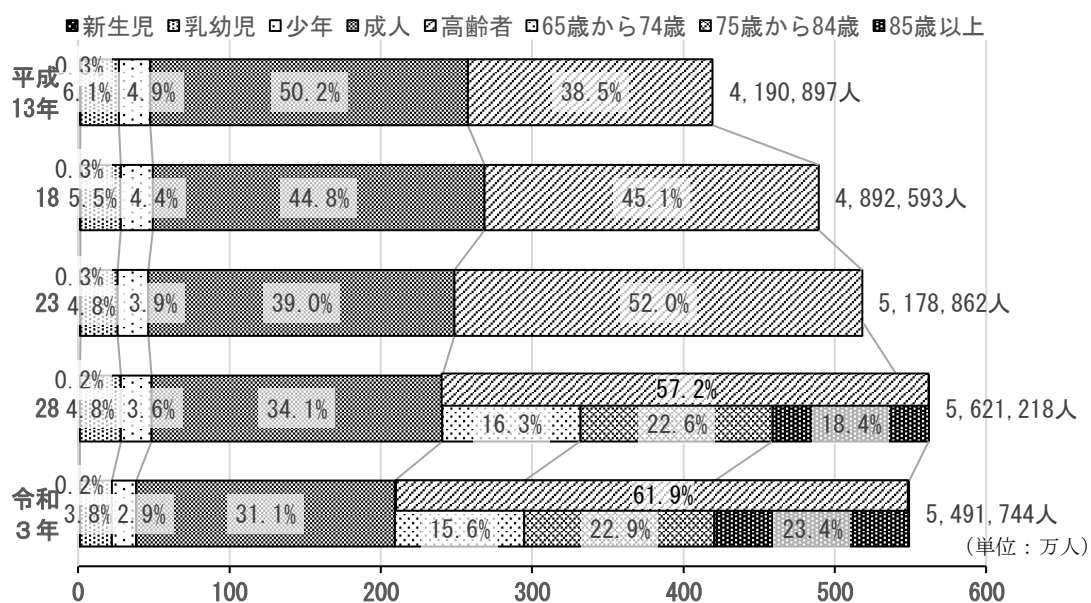
年齢区分別の搬送人員の構成比について、過去からの推移をみると、高齢者の占める割合は増加傾向にある(第30図参照)。

第29表 年齢区分別の搬送人員対前年比 (単位：人)

年齢区分	令和3年中		令和2年中		対前年比	
	搬送人員	構成比(%)	搬送人員	構成比(%)	増減数	増減率(%)
新生児	12,303	0.2	12,180	0.2	123	1.0
乳幼児	210,962	3.8	177,317	3.3	33,645	19.0
少年	160,895	2.9	150,469	2.8	10,426	6.9
成人	1,707,782	31.1	1,655,061	31.3	52,721	3.2
高齢者	3,399,802	61.9	3,298,803	62.3	100,999	3.1
うち、65歳から74歳	857,296	15.6	837,065	15.8	20,231	2.4
うち、75歳から84歳	1,257,394	22.9	1,264,795	23.9	▲7,401	▲0.6
うち、85歳以上	1,285,112	23.4	1,196,943	22.6	88,169	7.4
合計	5,491,744	100	5,293,830	100	197,914	3.7

(注) 割合の算出に当たっては、端数処理(四捨五入)のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

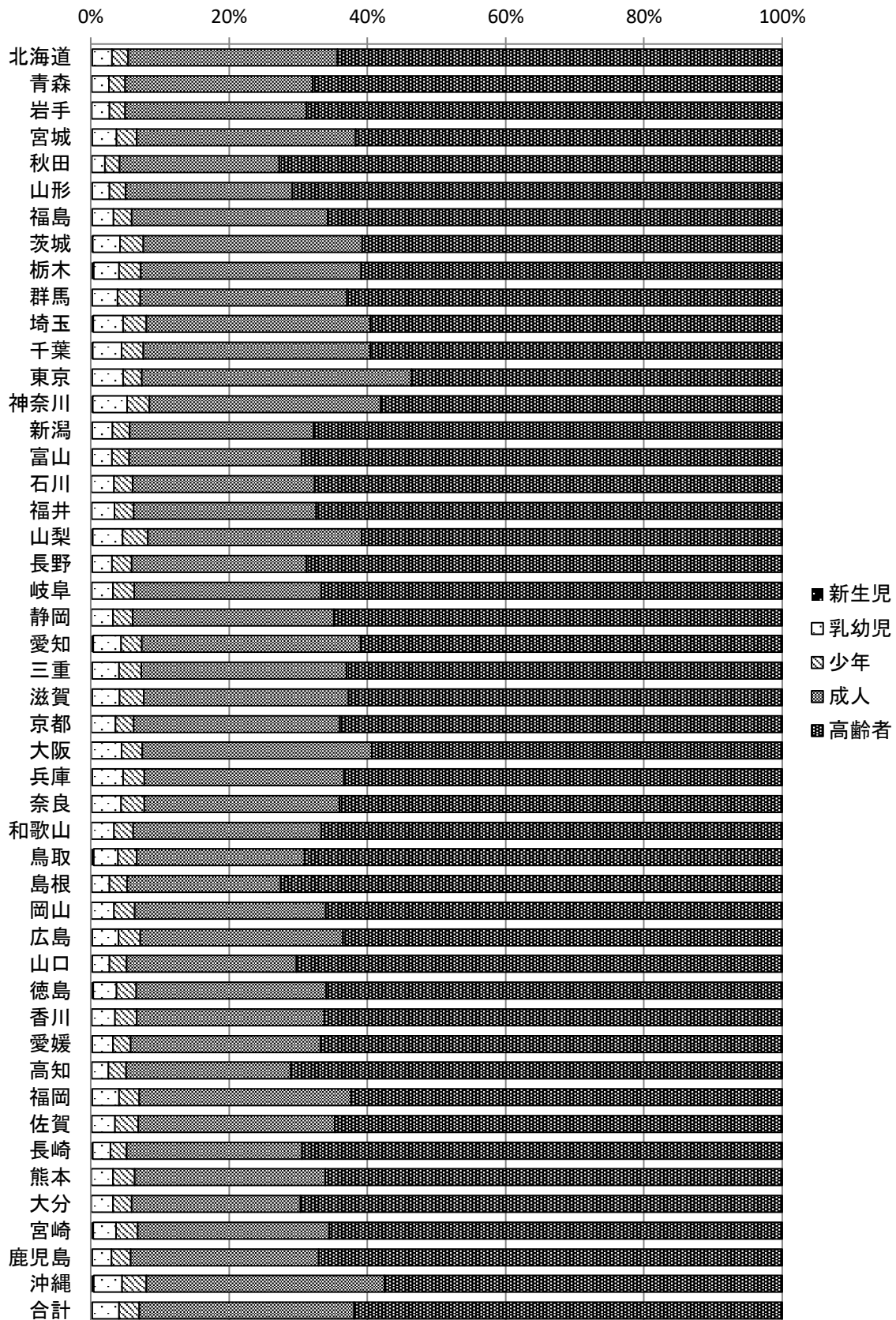
第30図 年齢区分別の搬送人員と5年ごとの構成比の推移



- 割合の算出に当たっては、端数処理(四捨五入)のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。
- 東日本大震災の影響により、平成23年の釜石大槌地区行政事務組合消防本部及び陸前高田市消防本部のデータを除いた数値で集計している。

第31図 救急自動車による都道府県別年齢区分別搬送人員構成比

(令和3年)



## 2. 年齢区分別の事故種別の搬送人員

令和3年中の救急自動車による搬送人員のうち、年齢区分別、事故種別にみると、急病では高齢者229万6,928人(63.7%)、交通事故では成人20万4,713人(60.1%)、一般負傷では高齢者62万9,904人(71.6%)が高い割合で搬送されている。

令和2年国勢調査における高齢者の人口割合(高齢化率)は28.7%であるが、搬送人員に占める高齢者の割合は61.9%となっており、高齢者は概ね10人に1人が搬送されていることとなる。

さらに、満65歳以上の高齢者を年齢段階別の割合で見ると、搬送人員に占める割合が最も多かったのは満85歳以上で23.4%となっている(第32表参照)。

第32表 年齢区分別事故種別の搬送人員 (令和3年 単位:人)

年齢区分	事故種別				合計	(参考) 令和2年 国勢調査人口 (構成比:%)	
	急病	交通事故	一般負傷	その他 (左記以外)			
新生児 (構成比:%)	1,802 (0.0)	27 (0.0)	274 (0.0)	10,200 (1.5)	12,303 (0.2)	6,511,322 (5.3)	
乳幼児 (構成比:%)	131,175 (3.6)	8,639 (2.5)	59,676 (6.8)	11,472 (1.7)	210,962 (3.8)		
少年 (構成比:%)	74,197 (2.1)	31,120 (9.1)	28,487 (3.2)	27,091 (4.1)	160,895 (2.9)		11,751,136 (9.5)
成人 (構成比:%)	1,101,077 (30.5)	204,713 (60.1)	161,162 (18.3)	240,830 (36.1)	1,707,782 (31.1)		69,615,998 (56.5)
高齢者 (構成比:%)	2,296,928 (63.7)	96,074 (28.2)	629,904 (71.6)	376,896 (56.5)	3,399,802 (61.9)		35,335,805 (28.7)
うち、65歳から74歳 (構成比:%)	577,188 (16.0)	45,414 (13.3)	127,101 (14.5)	107,593 (16.1)	857,296 (15.6)		17,087,063 (13.9)
うち、75歳から84歳 (構成比:%)	854,418 (23.7)	37,751 (11.1)	226,706 (25.8)	138,519 (20.8)	1,257,394 (22.9)	12,227,656 (9.9)	
うち、85歳以上 (構成比:%)	865,322 (24.0)	12,909 (3.8)	276,097 (31.4)	130,784 (19.6)	1,285,112 (23.4)	6,021,086 (4.9)	
合計 (構成比:%)	3,605,179 (100)	340,573 (100)	879,503 (100)	666,489 (100)	5,491,744 (100)	123,214,261 (100)	

(注) 1 年齢区分は、次によっている。

- (1) 新生児：生後28日未満の者
- (2) 乳幼児：生後28日以上満7歳未満の者
- (3) 少年：満7歳以上満18歳未満の者
- (4) 成人：満18歳以上満65歳未満の者
- (5) 高齢者：満65歳以上の者
  - ア 65歳から74歳 満65歳以上満75歳未満の者
  - イ 75歳から84歳 満75歳以上満85歳未満の者
  - ウ 85歳以上 満85歳以上の者

2 本表には、令和2年国勢調査人口中の年齢不詳293万1,838人は含まれていない。

3 割合の算出に当たっては、端数処理(四捨五入)のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

### (3) 傷病程度別の搬送人員

#### 1. 傷病程度別の搬送人員の概要

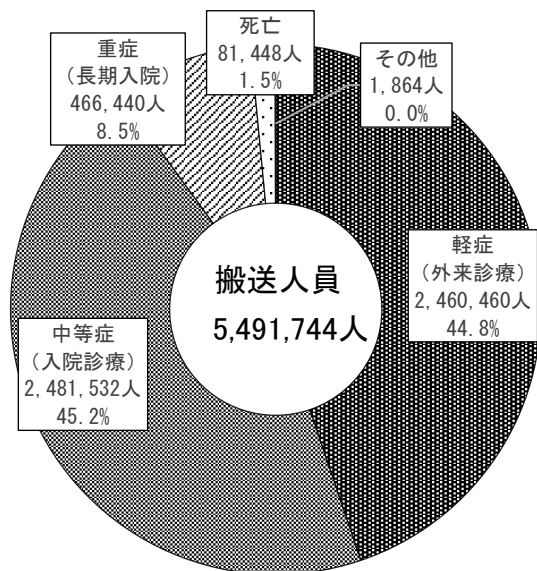
令和3年中の救急自動車による搬送人員のうち、最も多い傷病程度別は中等症（入院診療）248万1,532人（45.2%）、続いて軽症（外来診療）246万460人（44.8%）、重症（長期入院）46万6,440人（8.5%）、死亡8万1,448人（1.5%）となっている。傷病程度別の搬送人員について、前年と比較すると、中等症（入院診療）が増加した（第33表、第34図参照）。

傷病程度別の搬送人員の構成比について、過去からの推移をみると、軽症（外来診療）は減少傾向、中等症（入院診療）は増加傾向にあり、中等症（入院診療）が軽症（外来診療）を上回った（第35図参照）。

第33表 傷病程度別の搬送人員対前年比 (単位：人)

傷病程度	令和3年中		令和2年中		対前年比	
	搬送人員	構成比(%)	搬送人員	構成比(%)	増減数	増減率(%)
死亡	81,448	1.5	77,674	1.5	3,774	4.9
重症(長期入院)	466,440	8.5	458,063	8.7	8,377	1.8
中等症(入院診療)	2,481,532	45.2	2,343,933	44.3	137,599	5.9
軽症(外来診療)	2,460,460	44.8	2,412,001	45.6	48,459	2.0
その他	1,864	0.0	2,159	0.0	▲295	▲13.7
合計	5,491,744	100	5,293,830	100	197,914	3.7

第34図 傷病程度別の搬送人員構成比



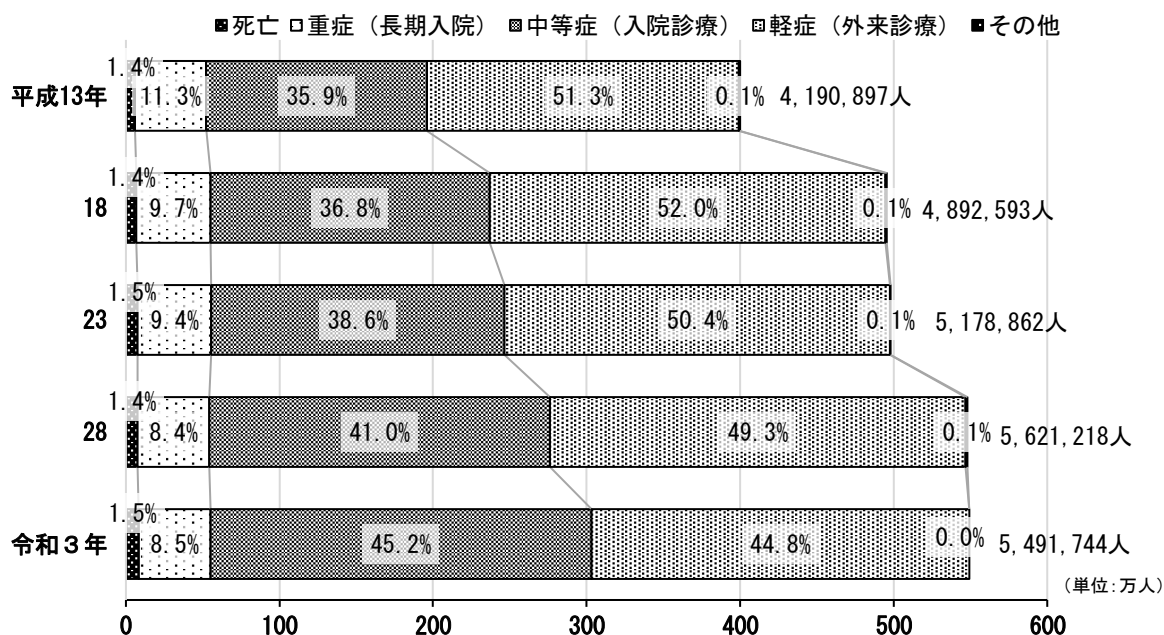
(注) 1 初診時における傷病程度は次によっている。

- (1) 死亡：初診時において死亡が確認されたもの。
- (2) 重症（長期入院）：傷病程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの。
- (3) 中等症（入院診療）：傷病程度が重症または軽症以外のもの。
- (4) 軽症（外来診療）：傷病程度が入院加療を必要としないもの。
- (5) その他：医師の診断がないもの及び傷病程度が判明しないもの、並びにその他の場所に搬送したもの。

なお、傷病程度は入院加療の必要程度を基準に区分しているため、軽症の中には早期に病院での治療が必要だったものや、通院による治療が必要だったものも含まれる。

- 2 割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

第35図 傷病程度別の搬送人員と5年ごとの構成比の推移



- 1 割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。
- 2 東日本大震災の影響により、平成23年の釜石大槌地区行政事務組合消防本部及び陸前高田市消防本部のデータを除いた数値で集計している。

## 2. 傷病程度別（軽症（外来診療））の搬送人員の状況

令和3年中の救急自動車による搬送人員のうち、軽症（外来診療）者の占める割合は44.8%となっている。事故種別ごとに軽症（外来診療）者の占める割合をみると、急病は44.3%、交通事故は74.1%、一般負傷は56.2%となっている（第36表参照）。

第36表 事故種別ごとの軽症（外来診療）者の割合

事故種別	年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
単位：%	軽症（外来診療）者の割合	50.4	50.4	49.9	49.4	49.4	49.3	48.6	48.8	48.0	45.6	44.8
	急病	49.3	49.4	49.1	48.6	48.7	48.8	48.1	48.7	47.9	45.1	44.3
	交通事故	78.0	77.8	76.9	76.6	76.6	76.5	76.0	75.7	75.0	73.7	74.1
	一般負傷	60.4	60.0	59.7	59.2	59.7	59.5	58.8	58.7	58.4	56.7	56.2
	その他	21.8	21.6	21.4	20.9	20.7	20.3	19.9	20.4	19.5	17.6	17.5

（注）東日本大震災の影響により、平成23年の釜石大槌地区行政事務組合消防本部及び陸前高田市消防本部のデータを除いた数値で集計している。

また、軽症（外来診療）者のうち、①接触時、見た目に緊急性がなかった、②脳卒中や急性冠症候群の疑いがなかった、③医師引継ぎまでにバイタルサイン・心電図の異常がなかった、④救急隊が応急処置を行わなかった、以上、4項目全てに該当した（救急搬送の必要性が低かった）者の占める割合は14.8%となっている（第37表参照）。

**第37表 傷病程度別（軽症（外来診療））の搬送人員のうち上記4項目全てに該当した者の割合** (単位：人)

	令和元年	令和2年	令和3年
軽症（外来診療）の搬送人員 (a)	2,869,027	2,412,001	2,460,460
(a)のうち上記4項目全てに該当した者(b)	367,753	274,406	365,346
(a)のうち(b)の占める割合 (%)	12.8	11.4	14.8

(注) 上記(b)の中には、傷病者の状態によっては、①バイタルサイン・心電図を測定できなかった者、②応急処置を行えなかった者、③医療機関での診察や検査の結果、早期に治療が必要だった者も含まれるなど、機械的な簡易フローチャートに基づく概数であることに留意が必要である。

### 3. 傷病程度別の年齢区分別の搬送人員

令和3年中の救急自動車による搬送人員のうち、傷病程度別及び年齢区分別にみると、新生児及び高齢者は中等症（入院診療）、乳幼児、少年及び成人は軽症（外来診療）の割合が高くなっている（第38表参照）。

**第38表 傷病程度別の年齢区分別の搬送人員** (令和3年 単位：人)

年齢区分 程度	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
死亡	52 (0.4)	252 (0.1)	256 (0.2)	12,243 (0.7)	68,645 (2.0)	81,448 (1.5)
重症 (長期入院)	1,492 (12.1)	3,086 (1.5)	2,978 (1.9)	98,923 (5.8)	359,961 (10.6)	466,440 (8.5)
中等症 (入院診療)	9,362 (76.1)	49,232 (23.3)	39,850 (24.8)	607,065 (35.5)	1,776,023 (52.2)	2,481,532 (45.2)
軽症 (外来診療)	1,371 (11.1)	158,327 (75.1)	117,781 (73.2)	988,933 (57.9)	1,194,048 (35.1)	2,460,460 (44.8)
その他	26 (0.2)	65 (0.0)	30 (0.0)	618 (0.0)	1,125 (0.0)	1,864 (0.0)
合計	12,303 (100)	210,962 (100)	160,895 (100)	1,707,782 (100)	3,399,802 (100)	5,491,744 (100)

(注) 1 ( )内は、構成比(単位：%)を示す。

2 割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

#### 4. 傷病程度別の人口規模ごと事故種別搬送人員

令和3年中の救急自動車による搬送人員のうち、軽症（外来診療）の割合は、大都市の方がその他の市町村に比べ高くなっている（第39表参照）。

第39表 傷病程度別の事故種別の搬送人員（人口規模別）（令和3年 単位：人）

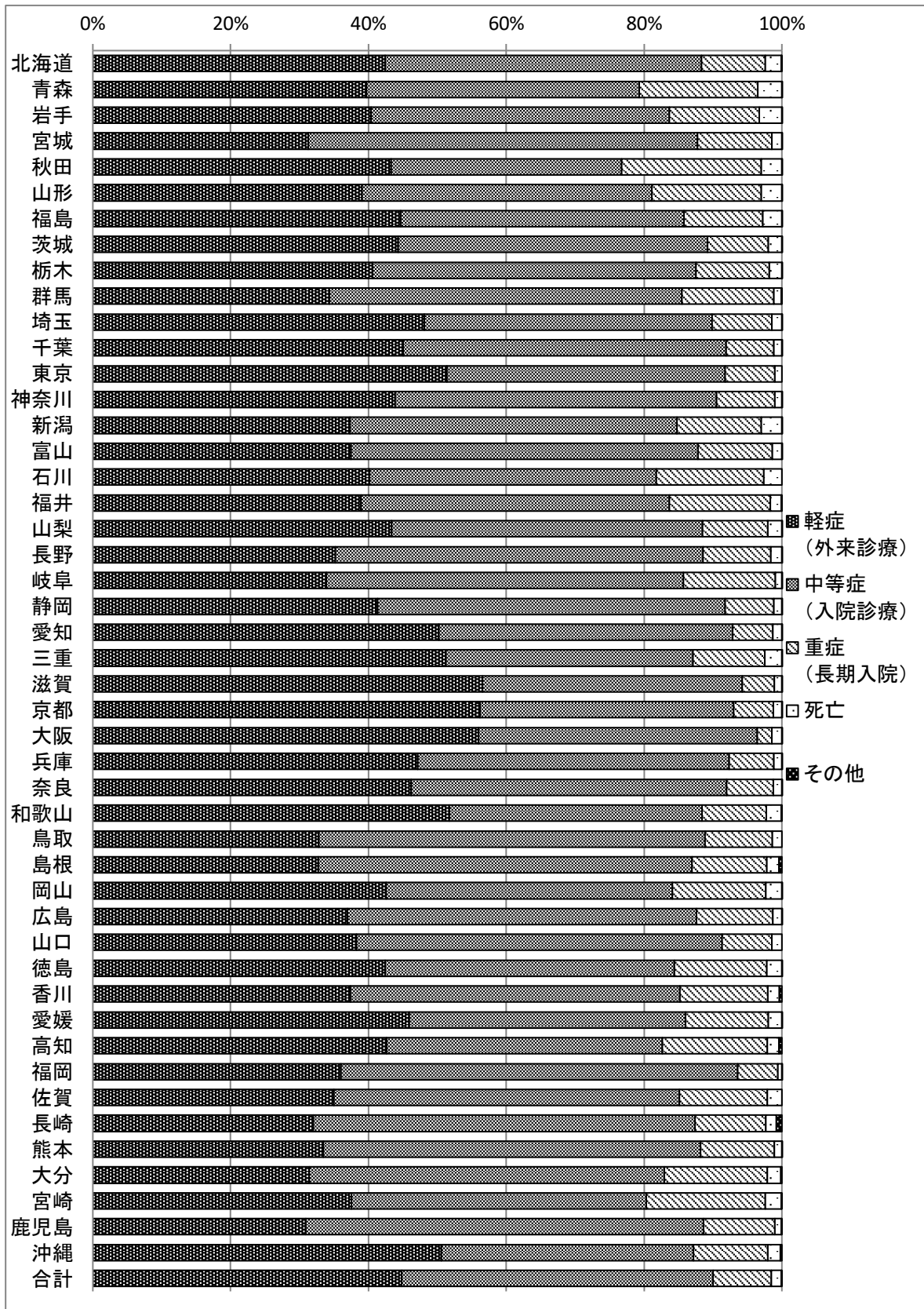
程度	事故種別	急病		交通事故		一般負傷		その他（左記以外）		合計	
		人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)
大都市	死亡	14,664	(1.1)	186	(0.2)	1,288	(0.4)	1,730	(0.9)	17,868	(0.9)
	重症（長期入院）	80,036	(6.1)	2,660	(2.5)	8,213	(2.5)	25,031	(12.7)	115,940	(6.0)
	中等症（入院診療）	596,153	(45.8)	21,942	(20.2)	114,393	(35.4)	131,426	(66.5)	863,914	(44.7)
	軽症（外来診療）	611,273	(46.9)	83,624	(77.1)	199,488	(61.7)	39,356	(19.9)	933,741	(48.3)
	その他	30	(0.0)	3	(0.0)	10	(0.0)	7	(0.0)	50	(0.0)
	計	1,302,156	(100)	108,415	(100)	323,392	(100)	197,550	(100)	1,931,513	(100)
その他の市町村	死亡	52,708	(2.3)	1,257	(0.5)	4,187	(0.8)	5,428	(1.2)	63,580	(1.8)
	重症（長期入院）	208,830	(9.1)	10,246	(4.4)	46,520	(8.4)	84,904	(18.1)	350,500	(9.8)
	中等症（入院診療）	1,054,434	(45.8)	51,949	(22.4)	210,581	(37.9)	300,654	(64.1)	1,617,618	(45.4)
	軽症（外来診療）	986,268	(42.8)	168,617	(72.6)	294,635	(53.0)	77,199	(16.5)	1,526,719	(42.9)
	その他	783	(0.0)	89	(0.0)	188	(0.0)	754	(0.2)	1,814	(0.1)
	計	2,303,023	(100)	232,158	(100)	556,111	(100)	468,939	(100)	3,560,231	(100)
全体	死亡	67,372	(1.9)	1,443	(0.4)	5,475	(0.6)	7,158	(1.1)	81,448	(1.5)
	重症（長期入院）	288,866	(8.0)	12,906	(3.8)	54,733	(6.2)	109,935	(16.5)	466,440	(8.5)
	中等症（入院診療）	1,650,587	(45.8)	73,891	(21.7)	324,974	(36.9)	432,080	(64.8)	2,481,532	(45.2)
	軽症（外来診療）	1,597,541	(44.3)	252,241	(74.1)	494,123	(56.2)	116,555	(17.5)	2,460,460	(44.8)
	その他	813	(0.0)	92	(0.0)	198	(0.0)	761	(0.1)	1,864	(0.0)
	合計	3,605,179	(100)	340,573	(100)	879,503	(100)	666,489	(100)	5,491,744	(100)

(注) 1 ( )内は、構成比(単位：%)を示す。

2 割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

第40図 都道府県別傷病程度別搬送人員構成比

(令和3年)



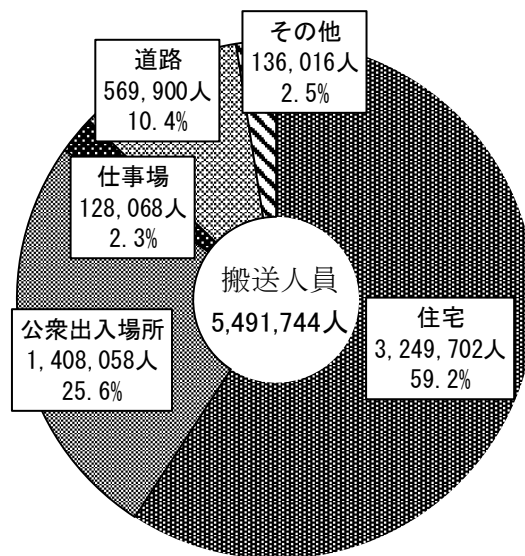


#### (4) 事故発生場所・住居区分別の搬送人員

##### 1. 事故発生場所別の搬送人員の概要

令和3年中の救急自動車による搬送人員を事故発生場所別にみると、住宅で発生した割合が59.2%（324万9,702人）で半数を超えており、続いて公衆出入場所が25.6%（140万8,058人）、道路10.4%（56万9,900人）となっている（第41図、第42表及び別表11参照）。

第41図 事故発生場所別の搬送人員構成比（令和3年）



(注) 割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

第42表 事故発生場所別の搬送人員内訳

(住宅・公衆出入場所・道路：令和3年)

		搬送人員	構成比
住宅	1 居室	2,630,035人	47.9%
	2 廊下・玄関等	298,776人	5.4%
	3 庭・テラス等	72,925人	1.3%
	4 便所	67,979人	1.2%
	5 浴室	56,285人	1.0%
	6 その他(台所・階段等)	123,702人	2.3%
	計	3,249,702人	59.2%
公衆出入場所	1 病院・診療所	518,140人	9.4%
	2 老人ホーム	453,007人	8.2%
	3 マーケット等	66,287人	1.2%
	4 料理店等	43,924人	0.8%
	5 駅構内	42,770人	0.8%
	6 その他(学校・駐車場等)	283,930人	5.2%
	計	1,408,058人	25.6%
道路	1 一般道路等	399,216人	7.3%
	2 自動車専用道路	9,331人	0.2%
	3 高速自動車国道	7,054人	0.1%
	4 その他(交差点・横断歩道等)	154,299人	2.8%
	計	569,900人	10.4%

## 2. 住居区分別（管内・管外別）の搬送人員

令和3年中の救急自動車による搬送人員の住所について、出動した救急隊が所属する消防本部の管轄内に居住（管内）する者と、それ以外に居住（管外）する者の割合をみると、管内の者が501万4,895人（91.3%）、管外の者が46万4,721人（8.5%）となっている（第43表参照）。

**第43表 住居区分別（管内・管外別）の事故種別の搬送人員**

（令和3年 単位：人）

区分 \ 事故種別	急病	交通事故	一般負傷	その他 (左記以外)	合計
管内に住所を有する者 (構成比：%)	3,390,908 (94.1)	263,022 (77.2)	816,922 (92.9)	544,043 (81.6)	5,014,895 (91.3)
管外に住所を有する者 (構成比：%)	207,156 (5.7)	76,677 (22.5)	60,643 (6.9)	120,245 (18.0)	464,721 (8.5)
その他 (構成比：%)	7,115 (0.2)	874 (0.3)	1,938 (0.2)	2,201 (0.3)	12,128 (0.2)
合計 (構成比：%)	3,605,179 (100)	340,573 (100)	879,503 (100)	666,489 (100)	5,491,744 (100)

- (注) 1 「その他」とは、外国人旅行者（外国人のうち日本に住所を有している者を除く外国人）又は住所が判明しない者等をいう。
- 2 割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

(5) 救急要請を入電した月別、曜日別、時刻別の救急出動件数及び搬送人員

1. 救急要請を入電した月別の救急出動件数と搬送人員

令和3年中の救急自動車による救急出動件数を、入電した月別の事故種別で見ると、急病は8月、7月、12月の順に多く、交通事故は12月、10月、11月、一般負傷は12月、10月、11月、転院搬送は12月、3月、1月の順となっている(第44表参照)。

また、搬送人員も類似の傾向となっている(転院搬送を除く。)(第45表参照)。

第44表 救急要請を入電した月別の救急出動件数(事故種別)(令和3年)

区分 月	急病		交通事故		一般負傷		その他(左記以外)		うち転院搬送		合計	
	件数 (件)	割合 (%)	件数 (件)	割合 (%)	件数 (件)	割合 (%)	件数 (件)	割合 (%)	件数 (件)	割合 (%)	件数 (件)	割合 (%)
1月	342,936	8.5%	26,790	7.3%	84,559	8.7%	66,383	8.3%	44,346	8.6%	520,668	8.4%
2月	285,297	7.0%	26,247	7.1%	72,769	7.5%	59,862	7.5%	39,649	7.6%	444,175	7.2%
3月	319,970	7.9%	29,604	8.0%	78,064	8.1%	67,647	8.4%	44,456	8.6%	495,285	8.0%
4月	311,620	7.7%	30,059	8.2%	74,829	7.7%	66,137	8.3%	43,601	8.4%	482,645	7.8%
5月	321,976	7.9%	28,501	7.7%	72,414	7.5%	64,689	8.1%	41,462	8.0%	487,580	7.9%
6月	320,855	7.9%	30,223	8.2%	72,121	7.4%	65,612	8.2%	41,711	8.0%	488,811	7.9%
7月	385,019	9.5%	32,387	8.8%	82,717	8.5%	71,953	9.0%	44,067	8.5%	572,076	9.2%
8月	401,597	9.9%	29,430	8.0%	78,684	8.1%	69,458	8.7%	43,812	8.5%	579,169	9.4%
9月	324,278	8.0%	28,783	7.8%	72,992	7.5%	62,745	7.8%	41,033	7.9%	488,796	7.9%
10月	338,977	8.4%	34,888	9.5%	89,321	9.2%	67,212	8.4%	42,915	8.3%	530,399	8.6%
11月	334,388	8.2%	34,544	9.4%	88,749	9.2%	67,172	8.4%	43,963	8.5%	524,853	8.5%
12月	367,793	9.1%	37,035	10.1%	101,911	10.5%	72,384	9.0%	47,468	9.2%	579,123	9.4%
合計	4,054,706	100%	368,491	100%	969,130	100%	801,254	100%	518,483	100%	6,193,581	100%

(注) 割合の算出に当たっては、端数処理(四捨五入)のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

第45表 救急要請を入電した月別の搬送人員(事故種別)(令和3年)

区分 月	急病		交通事故		一般負傷		その他(左記以外)		合計	
	搬送人員 (人)	割合 (%)	搬送人員 (人)	割合 (%)	搬送人員 (人)	割合 (%)	搬送人員 (人)	割合 (%)	搬送人員 (人)	割合 (%)
1月	303,007	8.4%	24,601	7.2%	76,521	8.7%	54,736	8.2%	458,865	8.4%
2月	253,567	7.0%	24,085	7.1%	65,828	7.5%	49,622	7.4%	393,102	7.2%
3月	285,893	7.9%	27,360	8.0%	70,766	8.0%	56,599	8.5%	440,618	8.0%
4月	278,710	7.7%	27,903	8.2%	67,998	7.7%	55,618	8.3%	430,229	7.8%
5月	287,978	8.0%	26,590	7.8%	65,884	7.5%	54,354	8.2%	434,806	7.9%
6月	288,788	8.0%	27,849	8.2%	65,625	7.5%	55,001	8.3%	437,263	8.0%
7月	344,968	9.6%	30,209	8.9%	75,187	8.5%	59,464	8.9%	509,828	9.3%
8月	345,489	9.6%	27,365	8.0%	71,325	8.1%	57,053	8.6%	501,232	9.1%
9月	287,950	8.0%	26,498	7.8%	66,305	7.5%	52,258	7.8%	433,011	7.9%
10月	303,301	8.4%	32,170	9.4%	81,074	9.2%	55,860	8.4%	472,405	8.6%
11月	299,171	8.3%	31,901	9.4%	80,697	9.2%	56,179	8.4%	467,948	8.5%
12月	326,357	9.1%	34,042	10.0%	92,293	10.5%	59,745	9.0%	512,437	9.3%
合計	3,605,179	100%	340,573	100%	879,503	100%	666,489	100%	5,491,744	100%

(注) 割合の算出に当たっては、端数処理(四捨五入)のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

## 2. 救急要請を入電した曜日別の救急出動件数と搬送人員

令和3年中の救急自動車による救急出動件数を、入電した曜日別の事故種別で見ると、急病は月曜日、金曜日、日曜日の順に多く、交通事故は金曜日、月曜日、木曜日、一般負傷は日曜日、土曜日、金曜日、転院搬送は金曜日、月曜日、火曜日の順となっている（第46表参照）。

また、搬送人員も類似の傾向となっている（転院搬送を除く。）（第47表参照）。

**第46表 救急要請を入電した曜日別の救急出動件数（事故種別）**

（令和3年）

区分 曜日	急病		交通事故		一般負傷		その他(左記以外)		うち転院搬送		合計	
	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)
月曜	619,690	15.3%	53,959	14.6%	140,104	14.5%	132,071	16.5%	91,774	17.7%	945,824	15.3%
火曜	570,205	14.1%	53,162	14.4%	132,738	13.7%	124,078	15.5%	84,221	16.2%	880,183	14.2%
水曜	564,945	13.9%	53,574	14.5%	132,676	13.7%	119,446	14.9%	79,978	15.4%	870,641	14.1%
木曜	568,655	14.0%	53,825	14.6%	135,253	14.0%	115,444	14.4%	75,480	14.6%	873,177	14.1%
金曜	585,258	14.4%	57,925	15.7%	140,569	14.5%	132,497	16.5%	92,046	17.8%	916,249	14.8%
土曜	566,220	14.0%	52,722	14.3%	143,213	14.8%	102,194	12.8%	60,676	11.7%	864,349	14.0%
日曜	579,733	14.3%	43,324	11.8%	144,577	14.9%	75,524	9.4%	34,308	6.6%	843,158	13.6%
合計	4,054,706	100%	368,491	100%	969,130	100%	801,254	100%	518,483	100%	6,193,581	100%

（注）割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

**第47表 救急要請を入電した曜日別の搬送人員（事故種別）**

（令和3年）

区分 曜日	急病		交通事故		一般負傷		その他(左記以外)		合計	
	搬送人員(人)	割合(%)	搬送人員(人)	割合(%)	搬送人員(人)	割合(%)	搬送人員(人)	割合(%)	搬送人員(人)	割合(%)
月曜	547,647	15.2%	48,756	14.3%	127,693	14.5%	108,703	16.3%	832,799	15.2%
火曜	513,055	14.2%	48,916	14.4%	121,286	13.8%	105,298	15.8%	788,555	14.4%
水曜	503,240	14.0%	49,160	14.4%	120,075	13.7%	101,072	15.2%	773,547	14.1%
木曜	505,964	14.0%	49,354	14.5%	123,094	14.0%	96,788	14.5%	775,200	14.1%
金曜	519,470	14.4%	52,821	15.5%	126,804	14.4%	111,658	16.8%	810,753	14.8%
土曜	503,176	14.0%	49,274	14.5%	129,259	14.7%	84,253	12.6%	765,962	13.9%
日曜	512,627	14.2%	42,292	12.4%	131,292	14.9%	58,717	8.8%	744,928	13.6%
合計	3,605,179	100%	340,573	100%	879,503	100%	666,489	100%	5,491,744	100%

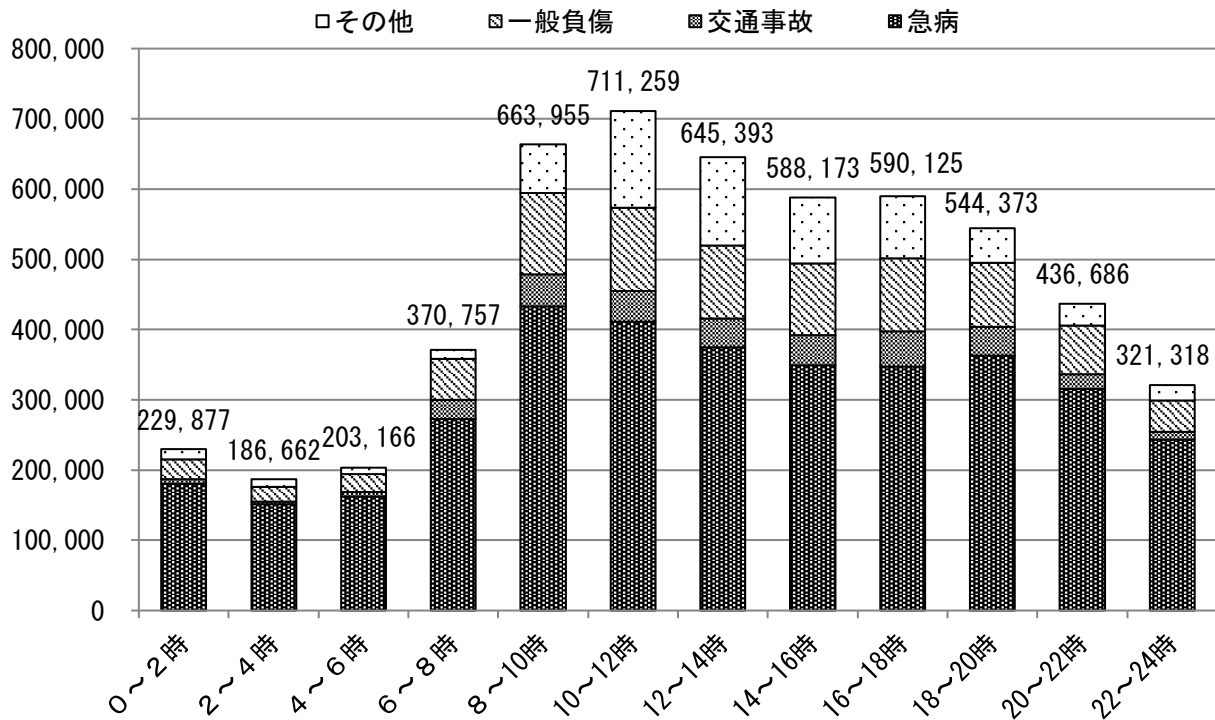
（注）割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

### 3. 救急要請を入電した時刻別の搬送人員

令和3年中の救急自動車による搬送人員を入電時刻別にみると、最も多いのは10時から12時（71万1,259人）となっており、最も少ないのは2時から4時（18万6,662人）となっている（第48図、別表10参照）。

第48図 救急要請を入電した時刻別の搬送人員

（令和3年 単位：人）



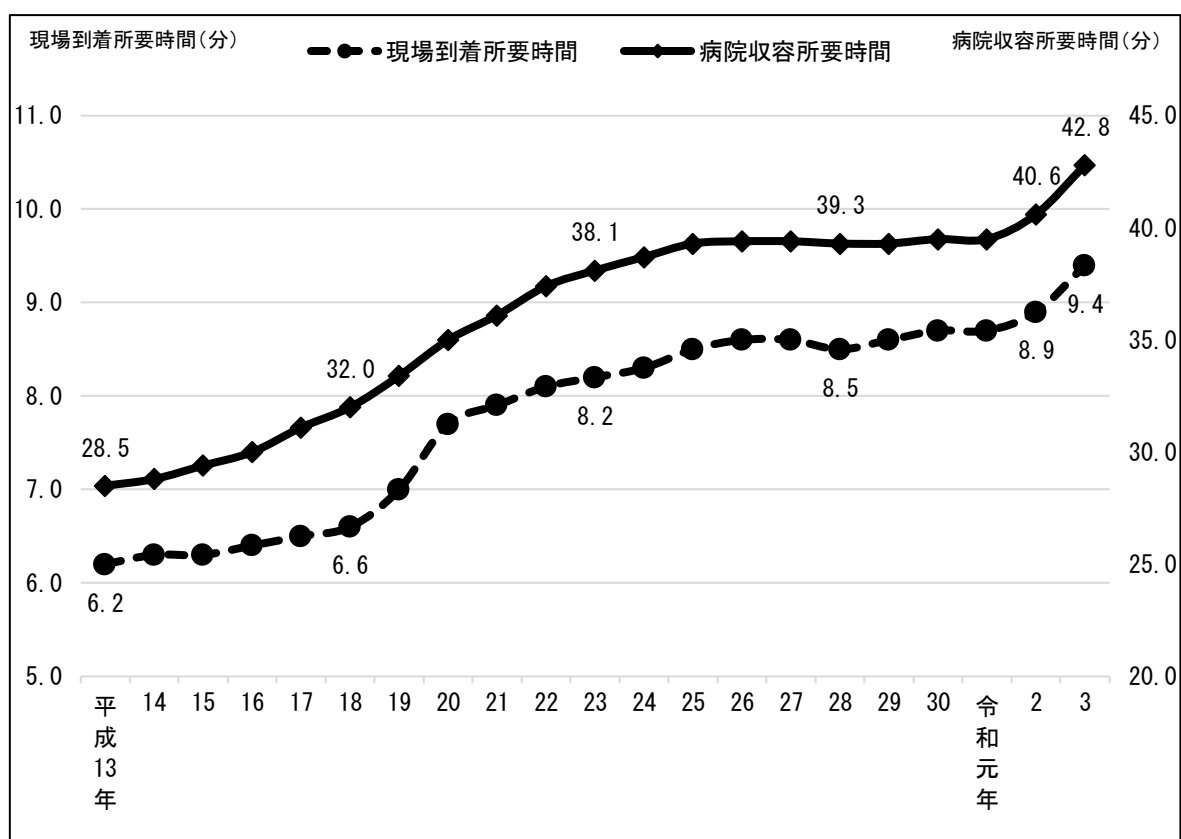
### 3 救急自動車による現場到着所要時間及び病院収容所要時間

#### (1) 現場到着所要時間及び病院収容所要時間

令和3年中の救急自動車による現場到着所要時間（入電から現場に到着するまでに要した時間）は、全国平均で約9.4分（対前年比0.5分増）となっている（第49図、第50表及び別表8の1参照）。

また、救急自動車による病院収容所要時間（入電から医師引継ぎまでに要した時間）は、全国平均で約42.8分（対前年比2.2分増）となっている（第49図、第52表及び別表9の1参照）。

第49図 現場到着所要時間及び病院収容所要時間の推移



(注) 東日本大震災の影響により、平成22年及び平成23年の釜石大槌地区行政事務組合消防本部及び陸前高田市消防本部のデータを除いた数値で集計している。

## 1. 現場到着所要時間別の事故種別、救急出動件数

令和3年中の救急自動車による救急出動件数を現場到着所要時間別にみると、最も多いのが5分以上10分未満の352万9,332件(57.0%)で、続いて10分以上20分未満のものが224万9,759件(36.3%)となっている(第50表、第51図、別表8の1及び別表8の2参照)。

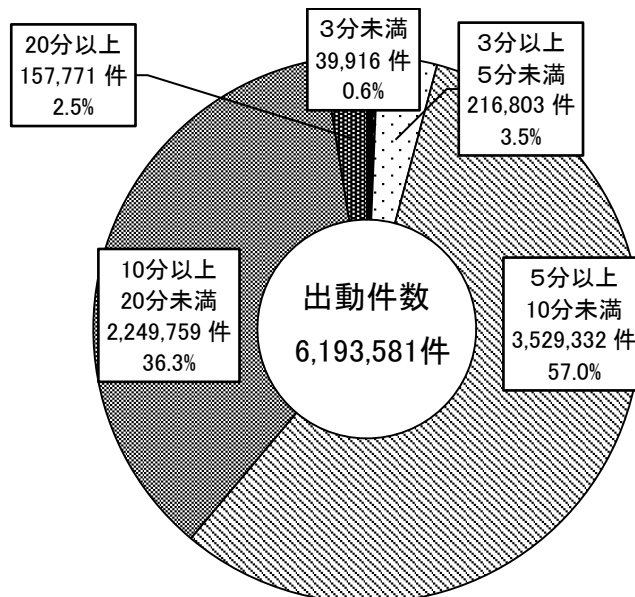
第50表 事故種別及び現場到着所要時間別出動件数(令和3年 単位:件)

現場到着 所要時間		事故種別					合計	平均(分)
		3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上		
件 数		39,916 (0.6)	216,803 (3.5)	3,529,332 (57.0)	2,249,759 (36.3)	157,771 (2.5)	6,193,581 (100)	9.4
	急病	21,111 (0.5)	117,660 (2.9)	2,323,680 (57.3)	1,502,680 (37.1)	89,575 (2.2)	4,054,706 (100)	9.2
	交通事故	2,470 (0.7)	12,397 (3.4)	199,368 (54.1)	137,859 (37.4)	16,397 (4.4)	368,491 (100)	9.8
	一般負傷	5,565 (0.6)	29,841 (3.1)	552,881 (57.0)	356,793 (36.8)	24,050 (2.5)	969,130 (100)	9.2
	その他	10,770 (1.3)	56,905 (7.1)	453,403 (56.6)	252,427 (31.5)	27,749 (3.5)	801,254 (100)	8.6

(注) 1 ( )内は構成比(単位:%)を示す。

2 割合の算出に当たっては、端数処理(四捨五入)のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

第51図 現場到着所要時間と救急出動件数(令和3年)



(注) 割合の算出に当たっては、端数処理(四捨五入)のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

## 2. 病院収容所要時間別の事故種別、搬送人員

令和3年中の救急自動車による搬送人員を病院収容所要時間別にみると、最も多いのは30分以上60分未満の360万9,204人(65.7%)で、続いて20分以上30分未満が107万3,314人(19.5%)となっている(第52表、第53表、第54図、別表9の1及び別表9の2参照)。

第52表 事故種別及び病院収容所要時間別搬送人員

(令和3年 単位：人)

事故種別	収容所要時間						合計	平均(分)
	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分 以上		
搬送人員	428 (0.0)	91,328 (1.7)	1,073,314 (19.5)	3,609,204 (65.7)	677,442 (12.3)	40,028 (0.7)	5,491,744 (100)	42.8
急病	182 (0.0)	46,324 (1.3)	687,304 (19.1)	2,414,533 (67.0)	429,422 (11.9)	27,414 (0.8)	3,605,179 (100)	42.6
交通事故	25 (0.0)	3,909 (1.1)	59,033 (17.3)	230,939 (67.8)	44,980 (13.2)	1,687 (0.5)	340,573 (100)	43.2
一般負傷	43 (0.0)	10,004 (1.1)	151,792 (17.3)	594,502 (67.6)	117,834 (13.4)	5,328 (0.6)	879,503 (100)	43.4
その他 (上記以外)	178 (0.0)	31,091 (4.7)	175,185 (26.3)	369,230 (55.4)	85,206 (12.8)	5,599 (0.8)	666,489 (100)	41.0

(注) 1 ( )内は構成比(単位：%)を示す。

2 割合の算出に当たっては、端数処理(四捨五入)のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

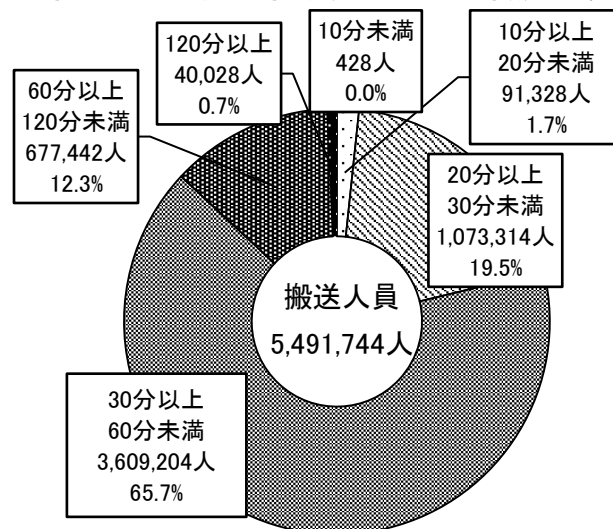
第53表 疾病分類別病院収容平均所要時間

(令和3年 単位：分)

	循環器系		消化器系	呼吸器系	精神系	感覚系	泌尿器系	新生物	その他	病状・兆候・診断名不明確な状態	平均
	脳疾患	心疾患等									
入電から医師引継ぎまでに要した時間	40.5	39.7	40.7	41.9	50.0	43.1	41.3	42.4	44.6	44.2	42.6

第54図 病院収容所要時間別の搬送人員

(令和3年)



(注) 割合の算出に当たっては、端数処理(四捨五入)のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

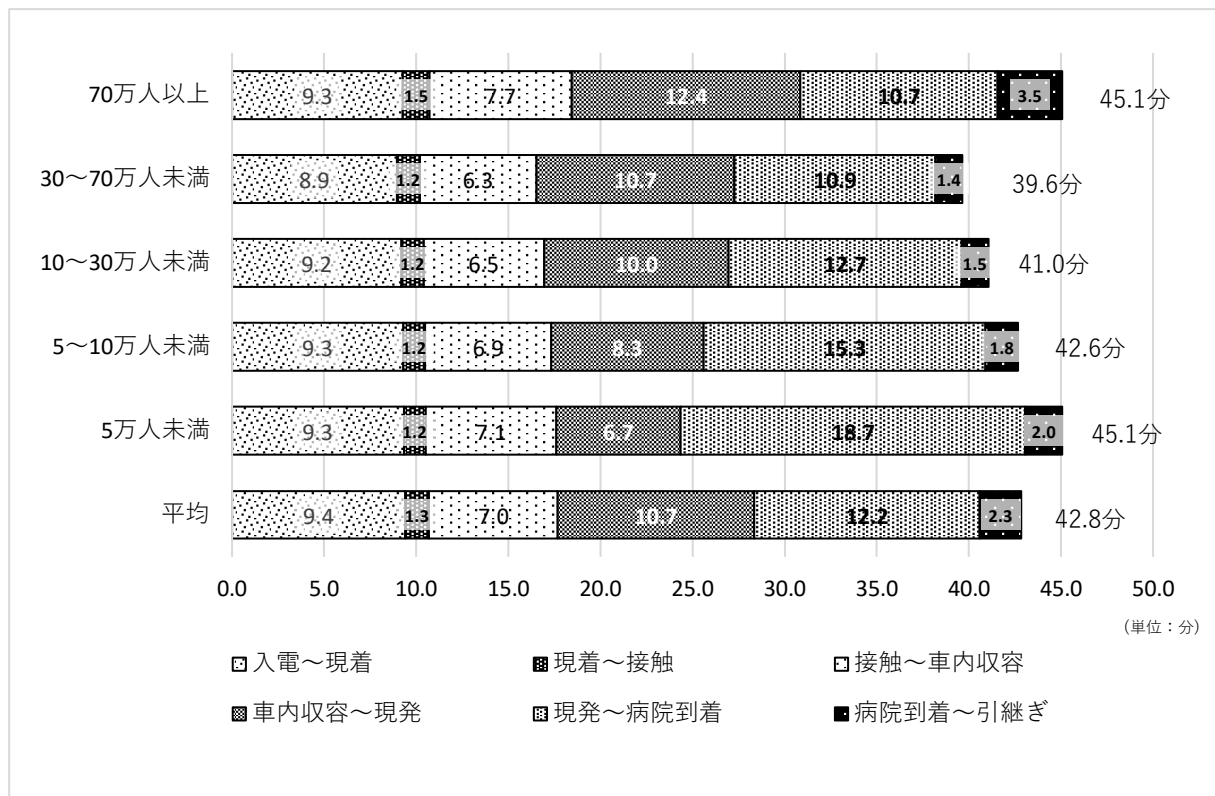


## (2) 入電から医師引継ぎまでの平均所要時間

令和3年中の救急自動車による救急出動要請の入電から医師引継ぎまでの平均所要時間を消防本部規模別で見ると、入電から医師引継ぎまでの平均所要時間が最も早かったのは管轄人口区分が30万人以上70万人未満の消防本部39.6分で、最も時間を要していたのは管轄人口区分が70万人以上の消防本部と、管轄人口区分が5万人未満の消防本部で45.1分となっている（第55図参照）。

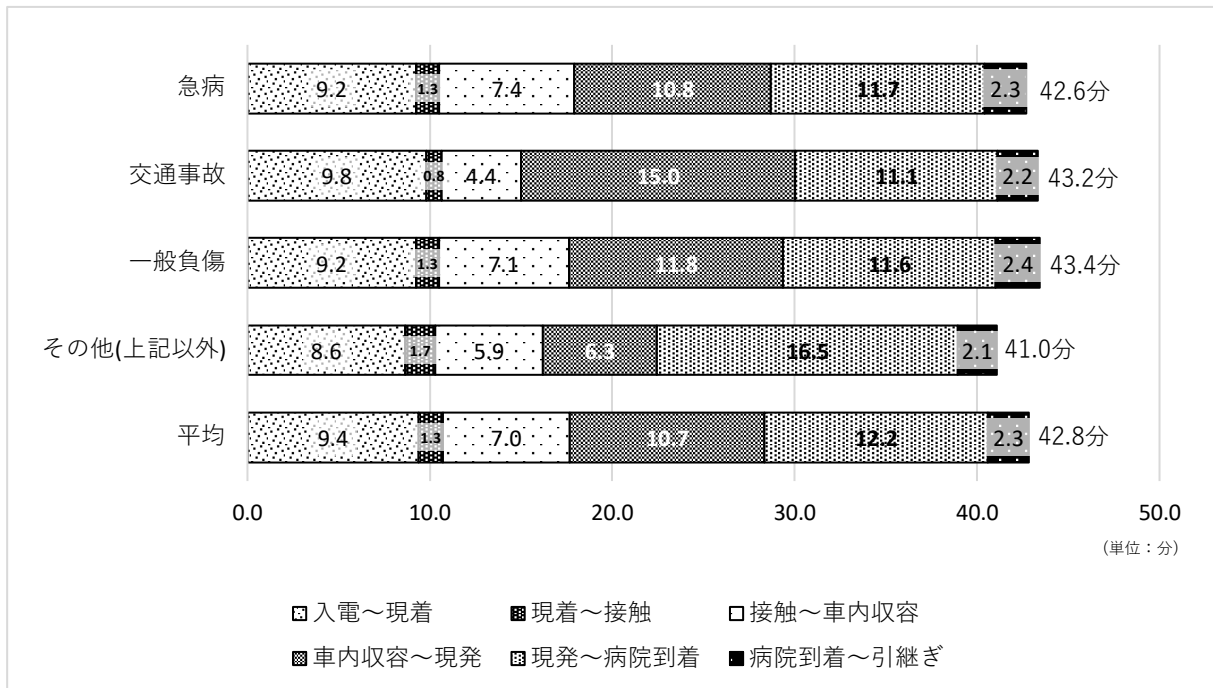
また、入電から医師引継ぎまでの平均所要時間を事故種別で見ると、最も時間を要したのは一般負傷43.4分で、傷病程度別で見ると、最も時間を要したのはその他45.5分、発生場所別で見ると最も時間を要したのは山林・原野63.1分となっている（第56図、第57図及び第58表参照）。

第55図 消防本部規模別による搬送人員の平均所要時間 (令和3年)



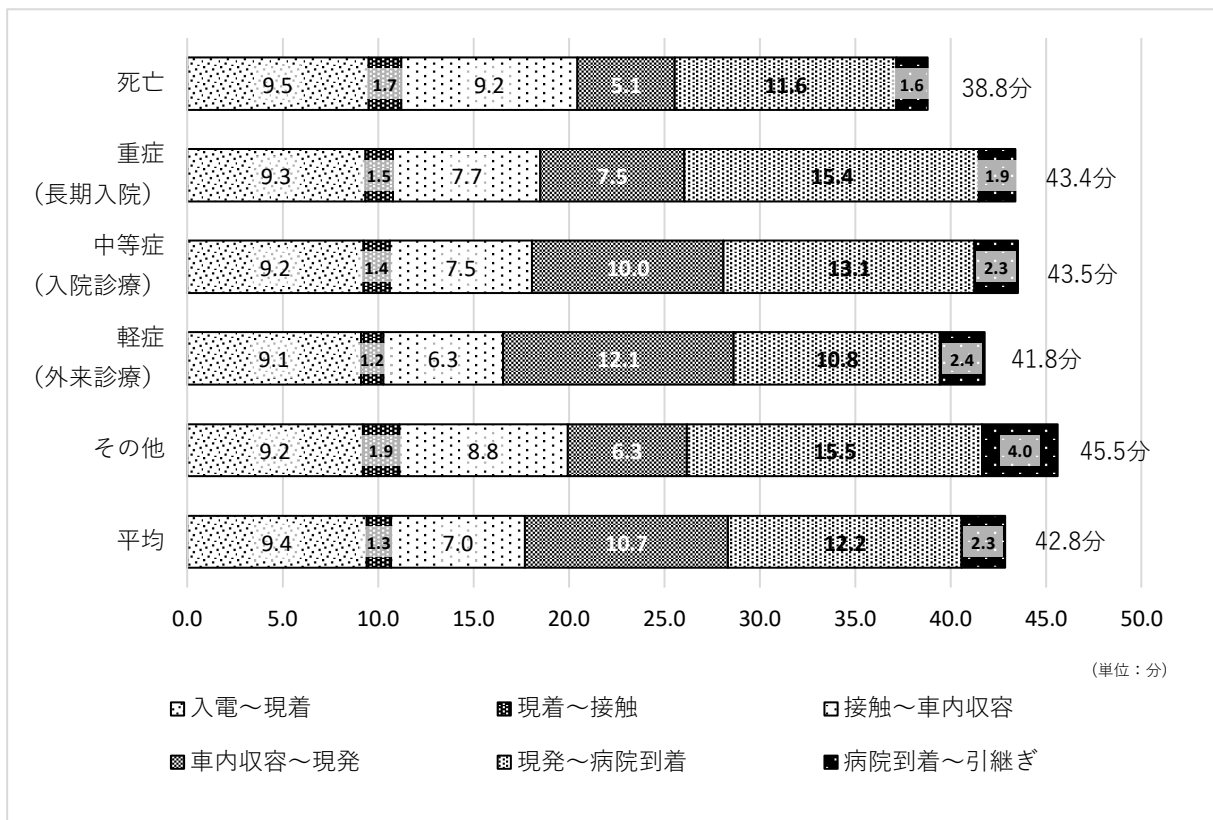
- (注) 1 消防本部規模の区分は令和2年国勢調査によるもの。  
 2 各平均所要時間の合計と、入電から引継ぎまでの平均所要時間は一致しない場合がある。

第56図 事故種別による搬送人員の平均所要時間 (令和3年)



(注) 各平均所要時間の合計と、入電から引継ぎまで平均所要時間は一致しない場合がある。

第57図 傷病程度別による搬送人員の平均所要時間 (令和3年)



(注) 各平均所要時間の合計と、入電から引継ぎまでの平均所要時間は一致しない場合がある。

第58表 発生場所による搬送人員の平均所要時間（令和3年 単位：分）

発生場所		所要時間	
		現場到着 所要時間	令和3年 病院収容 所要時間
住宅	(1) 居間、応接室、寝室等の部屋	8.8	41.1
	(2) 廊下、玄関等の通路	8.9	40.7
	(3) 階段、踊場	8.7	41.2
	(4) 便所：便所	8.6	41.6
	(5) 浴室：浴室、シャワー室、洗面所	8.6	41.8
	(6) 台所：台所、食堂	8.7	40.6
	(7) エレベーター：エレベーター内	8.3	37.4
	(8) 屋根・屋上：屋根、屋上、物干し台、ベランダ、バルコニー等	9.2	42.9
	(9) 庭：庭、テラス（当該建物の敷地内の空地）	9.1	40.5
	(10) その他：上記（1）～（9）に該当しない場所（物置、地下室、車庫）	8.9	39.6
公衆 出入 場所	(1) 劇場、映画館、演芸場、観覧場：劇場、映画館等の観覧場	8.1	39.8
	(2) 公会堂、集会場：会議、社交等の目的で多数の人々が集まる場所	8.4	38.2
	(3) 性風俗関連特殊営業を含む店舗	7.9	39.4
	(4) 遊技場、ダンスホール：ダンスホール、ボウリング場、 ゲームセンター、パチンコ等の各種遊技場	8.0	39.2
	(5) 待合、料理店、飲食店：待合、料理店、飲食店	7.5	38.0
	(6) デパート、百貨店	7.7	36.9
	(7) マーケット、店舗、展示場：物品の販売、賃借、修理業の店舗、 サービス業の店舗等あらゆる店舗	7.9	38.6
	(8) 旅館、ホテル、宿泊所：旅館、ホテル、宿泊所（バンガローを含む）	10.0	46.3
	(9) 病院：病床数20以上の医療機関	8.1	40.4
	(10) 診療所（医院）：病床数19以下の診療所、医院	7.6	33.2
	(11) 老人ホーム：老人ホーム、老人保健施設等の老人の収容施設	8.8	41.2
	(12) 幼稚園（グラウンド、附属設備を含む）：幼稚園、保育園等の保育施設	8.2	35.8
	(13) 盲・ろう学校、養護学校（グラウンド、附属設備を含む）	9.0	40.6
	(14) 小・中・高・大学（グラウンド、附属設備を含む）	8.6	39.3
	(15) 各種学校（グラウンド、附属設備を含む）	9.0	47.3
	(16) 図書館、博物館、美術館、郷土館、記念館、画廊等	8.5	38.5
	(17) 公衆浴場、蒸気・熱気浴場：公衆浴場、蒸気・熱気浴場	9.1	45.2
	(18) 駅構内（ホーム等駅の附属設備を含む）：駅舎、ホール、電車内等	7.8	41.3
	(19) 空港（整備工場、格納庫を除く）：滑走路、誘導路、ヘリポート（建物を除く）	8.4	44.6
	(20) 寺社、教会（境内を含む）：寺、神社、教会（斎場、墓地を含む）	10.1	44.3
	(21) 映画・テレビスタジオ：映画・テレビスタジオ（構内を含む）	7.9	36.1
	(22) 駐車場、車庫：駐車場、車庫（一般住宅、高層住宅の車庫、駐車場を除く）	8.4	38.8
	(23) 地下街	8.2	42.9
	(24) 運動場、競技場（グラウンド、附属設備を含む）	9.5	40.0
	(25) 水泳場、プール（附属設備を含む）：屋内プール、屋外プール	8.2	36.7
	(26) 官公庁	6.3	38.2
	(27) その他：上記（1）～（26）に該当しないもの（動物園、遊園地、キャンプ場等）	9.6	42.6
仕事場	(1) 工場（敷地を含む）：工場	9.3	40.9
	(2) 屋内作業所：工場以外の屋内作業所	8.8	39.5
	(3) 屋外作業所：工場以外の屋外作業所	9.7	41.0
	(4) 屋内工事現場：建設又は建築の屋内の場所	9.3	40.9
	(5) 屋外工事現場：建設又は建築の屋外の場所	9.9	41.8
	(6) 事務所：各種事業所の事務所	8.2	36.9
	(7) 倉庫：倉庫（地下倉庫を除く）	9.3	39.4
	(8) その他：（1）～（7）に該当しないもの	8.9	39.3
道路	(1) 一般道路（歩道及び歩道橋等を含む）	9.8	43.8
	(2) 交差点	8.7	39.7
	(3) 自動車専用道路	12.5	47.8
	(4) 高速自動車国道	17.2	57.6
	(5) その他：上記（1）から（4）に該当しないもの	9.7	43.6
その他	(1) 公園：公園、庭園、児童公園、遊歩道等	9.3	41.2
	(2) 広場（公共用）	9.8	42.1
	(3) 空地（庭、広場以外）：河川敷、堤防、更地等の空地	10.8	47.7
	(4) 河・池：河川、運河、池、沼、貯水池等	11.6	54.0
	(5) 山林・原野：山、森林、原野、ゴルフ場	15.7	63.1
	(6) 農地：田、畑等の農地	10.8	45.4
	(7) 海	12.0	49.9
	(8) 軌道敷、踏切：軌道敷内及び踏切	9.8	44.1
	(9) その他：上記（1）から（8）に該当しないもの（発生場所が不明なものを含む）	9.6	43.0
全体平均		9.4	42.8

## 4 救急活動の内容

### (1) 救急隊の行った応急処置等

令和3年中の救急自動車による搬送人員のうち、救急隊が応急処置等を実施した傷病者は547万7,016人(99.7%)となっており、平成3年8月の「救急隊員の行う応急処置等の基準」(昭和53年消防庁告示第2号)の改正により拡大された応急処置等が実施された件数は1,568万1,593件となっている(第59表、第60表参照)。

また、救急隊の行った応急処置等の状況を事故種別ごとに示したのが第60表である。

**第59表 拡大された応急処置等実施件数及び特定行為等の件数の推移(単位:件)**

区 分	年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
拡大された 応急処置等件数		13,229,998	13,702,686	14,144,953	14,714,256	15,232,969	16,003,545	16,618,225	14,712,934	15,681,593
特定行為等		134,717	135,668	161,381	188,533	215,821	235,749	241,675	243,618	262,645

(注) 1 拡大された応急処置等とは次のもの、及び2に掲げるものをいう。

- (1) 自動式心マッサージ器
- (2) 在宅療法の継続
- (3) ショックパンツを使用した血圧保持等
- (4) 血圧測定
- (5) 聴診器を使用した心音・呼吸音聴取
- (6) 血中酸素飽和度測定
- (7) 心電図測定
- (8) 経鼻エアウェイによる気道確保
- (9) 喉頭鏡、マギール鉗子による異物除去

2 特定行為等とは、医師による指示を必要とする応急処置等で、次のものをいう。

- (1) 自動体外式除細動器による除細動(救急隊の救急救命士以外が実施可能となった平成16年7月以降の実施分も含む。)
- (2) 静脈路確保のための輸液
- (3) ラリングアルマスク等、器具による気道確保
- (4) 気管挿管(救急救命士が実施可能とされた平成16年7月以降の数値)
- (5) 薬剤投与(アドレナリン)(救急救命士が実施可能とされた平成18年4月以降の数値)
- (6) 自己注射が可能なアドレナリン製剤の使用(救急救命士が実施可能とされた平成21年4月以降の数値)
- (7) 血糖測定、ブドウ糖投与、心肺機能停止前輸液(救急救命士が実施可能とされた平成26年4月以降の数値)

3 各年とも1月から12月までの数値である。

4 1人につき複数の応急処置等を行うこともあるため、応急処置等対象搬送人員と事故種別ごとの応急処置等の計の数とは一致しない。

第60表 救急隊の行った応急処置等の状況（事故種別による分類）

（令和3年 単位：人）

事故種別	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計	
応急処置等対象搬送人員	3,598,851	339,561	877,037	661,567	5,477,016	
応急処置等項目	止血	17,641 (0.1)	16,257 (1.2)	73,419 (2.2)	14,731 (0.6)	122,048 (0.5)
	被覆	16,797 (0.1)	60,295 (4.4)	176,366 (5.2)	30,861 (1.2)	284,319 (1.3)
	固定	29,101 (0.2)	130,031 (9.4)	135,887 (4.0)	36,796 (1.4)	331,815 (1.5)
	保温	883,169 (5.9)	59,682 (4.3)	197,858 (5.8)	146,552 (5.7)	1,287,261 (5.8)
	酸素吸入	735,920 (5.0)	21,761 (1.6)	49,285 (1.5)	176,725 (6.8)	983,691 (4.4)
	人工呼吸	32,170 (0.2)	630 (0.0)	3,020 (0.1)	4,432 (0.2)	40,252 (0.2)
	胸骨圧迫	9,770 (0.1)	247 (0.0)	1,034 (0.0)	1,143 (0.0)	12,194 (0.1)
	●うち自動式心マッサージ器	3,841	58	387	385	4,671
	心肺蘇生	102,170 (0.7)	2,104 (0.2)	10,043 (0.3)	10,299 (0.4)	124,616 (0.6)
	●うち自動式心マッサージ器	23,917	328	2,276	2,161	28,682
	●在宅療法継続	48,196 (0.3)	301 (0.0)	4,662 (0.1)	4,485 (0.2)	57,644 (0.3)
	●ショックパンプ	23 (0.0)	4 (0.0)	12 (0.0)	7 (0.0)	46 (0.0)
	●血圧測定	3,418,733 (23.0)	331,729 (24.0)	833,846 (24.6)	616,561 (23.8)	5,200,869 (23.4)
	●心音・呼吸音聴取	1,222,445 (8.2)	107,945 (7.8)	182,626 (5.4)	142,295 (5.5)	1,655,311 (7.4)
	●血中酸素飽和度測定	3,507,505 (23.6)	335,955 (24.3)	862,980 (25.5)	646,468 (24.9)	5,352,908 (24.1)
	●心電図測定	2,332,110 (15.7)	108,649 (7.8)	319,721 (9.4)	342,572 (13.2)	3,103,052 (14.0)
	気道確保	155,692 (1.0)	3,314 (0.2)	14,762 (0.4)	16,560 (0.6)	190,328 (0.9)
	●うち経鼻エアウェイ	6,025	61	503	723	7,312
	●うち喉頭鏡、鉗子等	5,251	70	2,747	385	8,453
	●うちラリゲアルマスク等	42,361	629	3,071	3,010	49,071
	●うち気管挿管	7,663	105	2,103	750	10,621
	●除細動	11,011 (0.1)	145 (0.0)	415 (0.0)	589 (0.0)	12,160 (0.1)
	●静脈路確保	66,456 (0.4)	1,808 (0.1)	5,684 (0.2)	4,651 (0.2)	78,599 (0.4)
	うち心肺機能停止前	26,307	1,091	1,394	1,217	30,009
	うち心肺機能停止後	40,149	717	4,290	3,434	48,590
	●薬剤投与(アドレナリン)	30,057 (0.2)	603 (0.0)	3,345 (0.1)	2,630 (0.0)	36,635 (0.2)
	●血糖測定	63,055 (0.4)	467 (0.0)	1,698 (0.1)	1,159 (0.0)	66,379 (0.3)
	●ブドウ糖投与	8,843 (0.1)	23 (0.0)	23 (0.0)	41 (0.0)	8,930 (0.0)
	●自己注射が可能なアドレナリン製剤使用	194 (0.0)	3 (0.0)	35 (0.0)	18 (0.0)	250 (0.0)
	その他の処置	2,205,298 (14.8)	208,358 (15.0)	523,655 (15.5)	403,428 (15.6)	3,340,739 (15.0)
	合計	14,863,186 (100)	1,384,487 (100)	3,383,322 (100)	2,591,244 (100)	22,222,239 (100)
	●うち、拡大された応急処置等	10,797,686	888,883	2,226,134	1,768,890	15,681,593
◎特定行為等	229,640	3,783	16,374	12,848	262,645	

(注) 第60表解説

- 1 1人につき複数の応急処置等を行うこともあるため、応急処置等対象搬送人員と事故種別ごとの応急処置等の計の数とは一致しない。
- 2 ( )内は構成比を示し、単位は%である。
- 3 ●は拡大された応急処置等の項目で、◎は救急救命士が行う特定行為等の項目である。
- 4 応急処置等の項目は、次により記載した。

- |           |  |
|-----------|--|
| (1) 止     | 血:止血帯・包帯等による止血処置                       |
| (2) 被     | 覆:創傷をガーゼ等で被覆し、包帯をする創面保護                |
| (3) 固     | 定:副子等による固定又は安静保持                       |
| (4) 保     | 温:傷病者の傷病状況から体温を維持する必要がある場合に行う保温処置      |
| (5) 酸 素 吸 | 入:酸素吸入器による酸素吸入                         |
| (6) 人 工 呼 | 吸:口対口又は器具等による人工呼吸                      |
| (7) 胸 骨 圧 | 迫:胸骨圧迫による心マッサージ                        |
| (8) 心 肺 蘇 | 生:心肺機能停止状態の傷病者に行う気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫を合わせた処置 |

※自動式心マッサージ器:自動式心マッサージ器を使用した胸骨圧迫、心肺蘇生

- (9) 在宅療法継続:在宅療法継続中の傷病者に対して、その療法維持のために行った必要な処置(安全確保等に留意し観察等を行ったことを含む。)及び在宅療法に異常のあった場合に行った応急処置
- (10) ショックパンツ:ショックパンツを使用した血圧保持(骨折肢の固定を含む。)
- (11) 血 圧 測 定:血圧計を使用しての血圧測定
- (12) 心音・呼吸音聴取:聴診器を使用しての心音・呼吸音の聴取
- (13) 血中酸素飽和度測定:血中酸素飽和度測定器を使用しての血中酸素飽和度測定
- (14) 心電図測定:心電計を使用しての心電図測定及び伝送
- (15) 気道確保:気道確保のための処置並びに口腔内の清拭及び吸引。(経鼻エアウェイ、喉頭鏡・マギール鉗子等による異物除去法、救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、ラリングアルマスク等を使用しての気道確保については内数として記載)
- ※気管挿管:救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、気管チューブを用いて行う気道確保
- (16) 除細動:救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、自動体外式除細動器による除細動
- (17) 静脈路確保:救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、静脈路確保のための輸液(心肺機能停止前の輸液及び心肺機能停止後の輸液を含む。)
- (18) 薬剤投与:救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、静脈路からの薬剤(アドレナリン)の投与
- (19) 血糖測定:自己検査用グルコース測定器による血糖値の測定
- (20) ブドウ糖投与:低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与
- (21) 自己注射が可能なアドレナリン製剤の使用
- (22) その他の処置:上記以外の応急処置

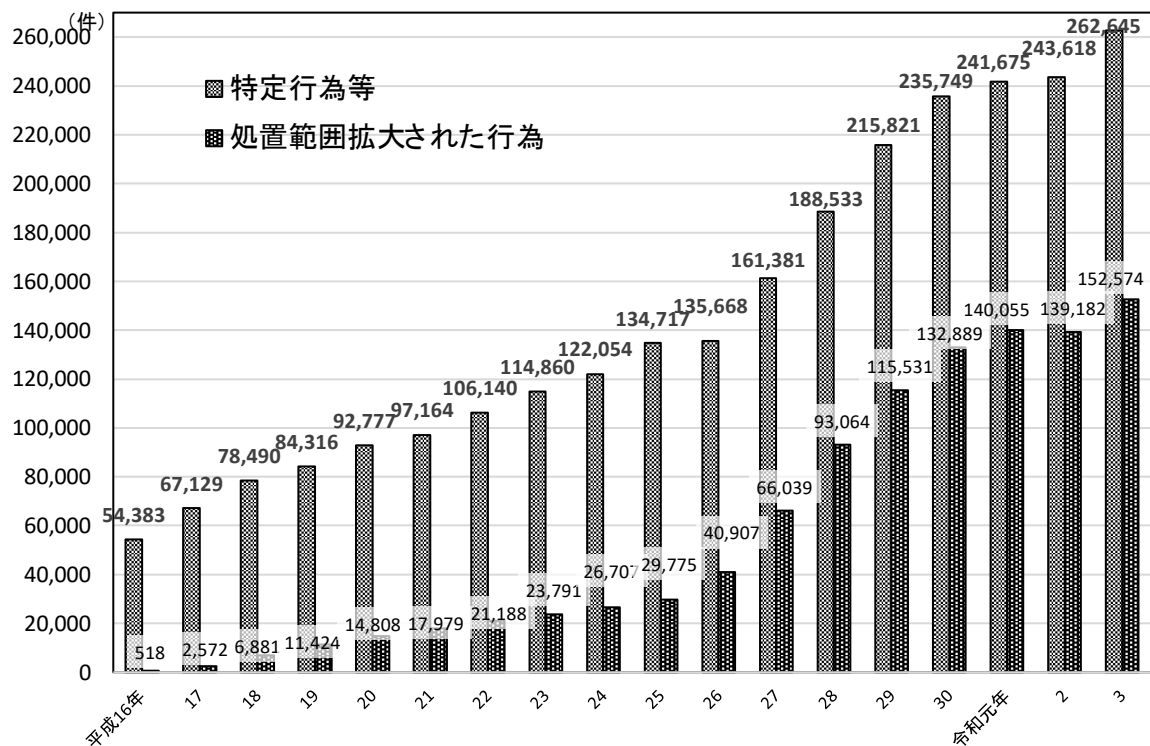
- 5 気管挿管処置件数は、救急救命士が実施可能とされた平成16年7月以降の実施件数
- 6 除細動処置件数は、救急隊の救急救命士以外が実施可能となった平成16年7月以降の実施分も含む
- 7 薬剤投与処置件数は、救急救命士が実施可能とされた平成18年4月以降、静脈路からの薬剤投与(アドレナリン)の実施件数
- 8 自己注射が可能なアドレナリン製剤の使用件数は、救急救命士が実施可能とされた平成21年4月以降の実施件数
- 9 血糖測定件数は、救急救命士が実施可能とされた平成26年4月以降の実施件数
- 10 ブドウ糖投与の件数は、救急救命士が実施可能とされた平成26年4月以降の実施件数
- 11 心肺機能停止前輸液の件数は、救急救命士が実施可能とされた平成26年4月以降の実施件数
- 12 割合の算出に当たっては、端数処理(四捨五入)のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

## (2) 特定行為等の実施状況

令和3年中の救急救命士が行った特定行為等(除細動、器具を用いた気道確保、静脈路確保、薬剤投与(アドレナリン)、血糖測定、ブドウ糖投与、自己注射が可能なアドレナリン製剤使用)は26万2,645件で、前年と比較して1万9,027件(7.8%)増加している。

また、平成16年から処置範囲が拡大されてきた行為(気管挿管、薬剤投与(アドレナリン)、血糖測定、ブドウ糖投与、心肺機能停止前輸液)は15万2,574件で、前年と比較して1万3,392件(9.6%)増加している(第60表、第61図参照)。

第61図 特定行為等の実施状況



(注) 東日本大震災の影響により、平成22年の陸前高田市消防本部及び平成23年の釜石大槌地区行政事務組合消防本部及び陸前高田市消防本部のデータを除いた数値で集計している。

## (3) 医師の現場出動の状況

傷病者が重篤な状態や救出困難な状況の場合、医師による医療行為を早期に開始するために、現場に医師を要請する事案がある。

このような事案に対応するため、一部の消防機関において、医療機関に隣接した救急ワークステーションなどの拠点施設から、重篤事案の際に医師と共に出動するものや、ドクターカー・ドクターヘリにより医師が現場出動する形態がある。

令和3年中の医師が現場に赴いた件数は4万2,843件であり、このうち急病によるものが2万5,717件(60.0%)となっている。

## 5 応急手当の普及啓発

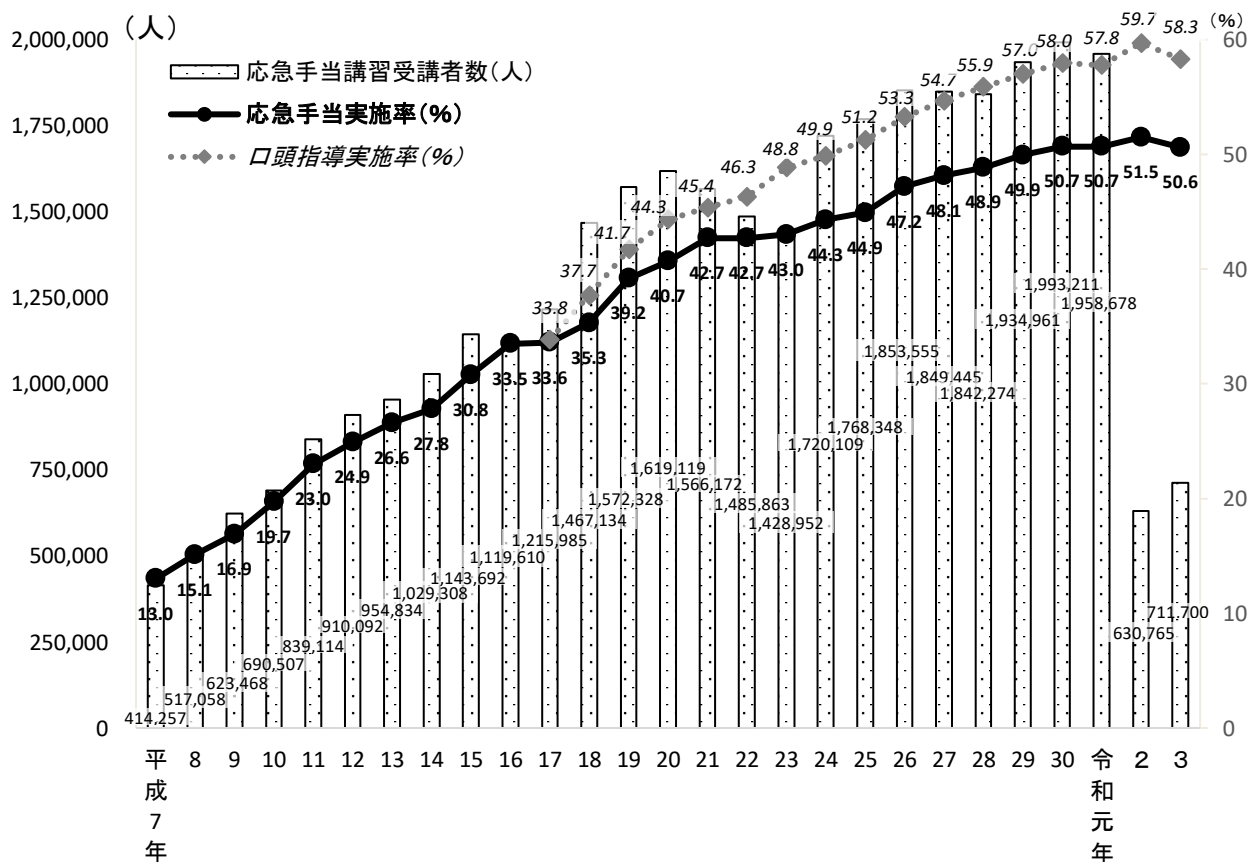
### (1) 普及啓発活動等の概要

応急手当の普及啓発活動については、「応急手当の普及啓発活動の推進に関する実施要綱」（平成5年3月30日付け消防救第41号消防庁次長通知。平成28年4月25日最終改正。）に基づき各消防本部において応急手当指導員講習、応急手当普及員講習、普通救命講習及び上級救命講習等が行われている。

令和3年中の消防本部が実施する応急手当講習の受講者数は71万1,700人で、前年と比較すると増加したが、令和元年以前の水準には達していない(第62図、別表12参照)。

令和3年には心肺機能停止傷病者の50.6%に一般市民(救急現場に居合わせた人)による応急手当(胸骨圧迫・人工呼吸・AEDによる除細動)が実施されている(第62図参照)。

第62図 応急手当講習受講者数と心肺機能停止傷病者への応急手当実施率及び通報者への口頭指導実施率の推移



- (注) 1 口頭指導実施割合については、データの収集が平成17年からとなる。  
 2 東日本大震災の影響により、平成22年及び平成23年の釜石大槌地区行政事務組合消防本部及び陸前高田市消防本部のデータを除いた数値で集計している。  
 3 応急手当受講者数とは、普通救命講習、上級救命講習、救命入門コースの受講者数をいう。



## (2) 応急手当講習の実施状況

令和3年中の応急手当指導員養成講習は915回開催され、修了者数は7,645人であり、応急手当普及員養成講習は845回開催され、修了者数は8,698人であった。

地域住民等に対する応急手当普及啓発活動については、全国で普通救命講習は3万2,830回開催され、42万1,240人が受講し、上級救命講習は3,675回開催され、4万8,912人が受講し、救命入門コースは8,819回開催され、24万1,548人が受講した。

消防機関における普及啓発用資器材の保有状況は、蘇生訓練用人形が成人用2万8,936体、乳幼児用1万4,584体、外傷用模型セットが510セット、訓練用AEDが1万9,925台である（第63表、別表12及び別表13参照）。

第63表 応急手当の普及に係る講習修了者数及び受講者数（単位：人）

区分 年	指導員 講習等 修了者数	普及員 講習等 修了者数	普通救命講習 受講者数	上級救命講習 受講者数	救命入門コース 受講者数
平成6年中	20,887	4,646	246,356	10,680	—
平成7年中	13,690	7,292	395,045	19,212	—
平成8年中	10,144	6,208	491,300	25,758	—
平成9年中	9,329	7,037	589,798	33,670	—
平成10年中	8,983	7,244	655,700	34,807	—
平成11年中	9,796	8,006	797,979	41,135	—
平成12年中	10,175	7,966	861,699	48,393	—
平成13年中	7,996	7,626	901,039	53,795	—
平成14年中	7,579	7,999	970,898	58,410	—
平成15年中	7,979	8,983	1,081,946	61,746	—
平成16年中	6,918	9,494	1,053,715	65,895	—
平成17年中	9,004	10,385	1,147,904	68,081	—
平成18年中	9,391	10,612	1,388,212	78,922	—
平成19年中	9,253	13,948	1,499,485	72,843	—
平成20年中	9,117	15,776	1,541,459	77,660	—
平成21年中	8,592	12,199	1,490,246	75,926	—
平成22年中	8,733	12,050	1,408,864	76,999	—
平成23年中	10,203	11,463	1,345,591	79,959	3,402
平成24年中	9,527	12,346	1,410,981	84,898	224,230
平成25年中	9,924	12,053	1,392,325	50,547	325,476
平成26年中	8,866	11,929	1,376,149	84,864	392,542
平成27年中	10,076	11,927	1,355,791	84,307	409,347
平成28年中	9,601	11,819	1,315,946	82,385	443,943
平成29年中	9,055	12,416	1,287,848	88,659	558,454
平成30年中	8,518	13,015	1,245,971	91,014	656,226
令和元年中	8,204	12,608	1,184,689	84,578	689,411
令和2年中	7,450	6,410	369,750	39,723	221,292
令和3年中	7,645	8,698	421,240	48,912	241,548

(注) 応急手当講習の内容

- 1 応急手当指導員講習：普通救命講習又は上級救命講習の指導に当たる応急手当指導員を養成する講習
- 2 応急手当普及員講習：事業所又は防災組織等において、当該事業所の従業員又は防災組織等の構成員に対して行う普通救命講習の指導に当たる応急手当普及員を養成する講習
- 3 普通救命講習：自動体外式除細動器(AED)の使用法を含む成人に対する心肺蘇生法及び大出血時の止血法の講習
- 4 上級救命講習：普通救命講習の内容に加え、小児・乳児・新生児に対する心肺蘇生法、傷病者管理法、手当の要領及び搬送法の講習
- 5 救命入門コース：応急手当の導入として、胸骨圧迫や自動体外式除細動器(AED)の使用法を中心とした講習

東日本大震災の影響により、平成22年の陸前高田市消防本部及び平成23年の釜石大槌地区行政事務組合消防本部及び陸前高田市消防本部のデータを除いた数値で集計している。

### (3) 応急手当の実施及び救命効果

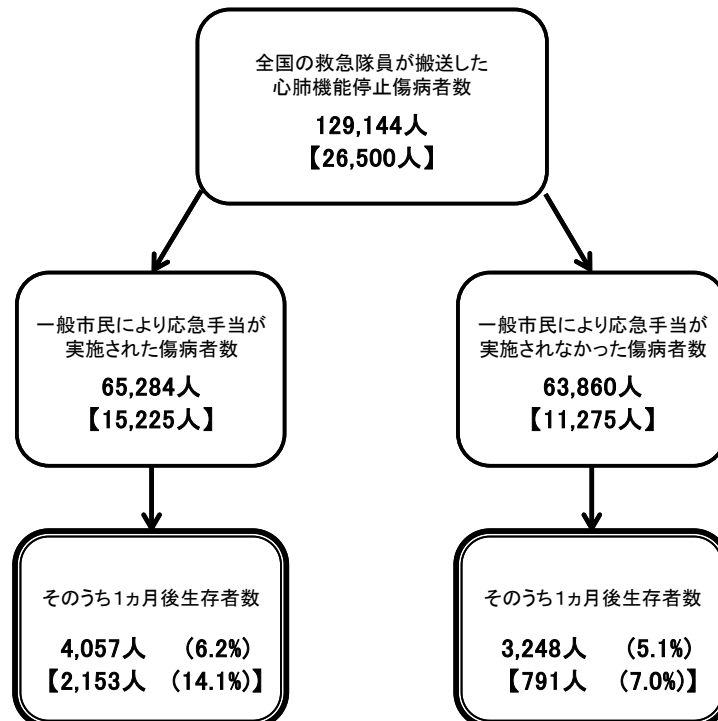
令和3年中の救急自動車による現場到着所要平均時間は約9.4分であるが、それまでに一般市民による応急手当が適切に実施されれば、より高い救命効果が期待できる。

令和3年中における全国の救急隊が搬送した全ての心肺機能停止傷病者のうち、救急隊到着時に一般市民により応急手当が実施されている場合の傷病者の1ヵ月後の生存者数の割合は6.2%で、応急手当が実施されていない場合の割合5.1%を比較すると約1.2倍救命効果が高い。

全国の救急隊が搬送した心肺機能停止傷病者数のうち、心原性かつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された傷病者で、救急隊が到着するまでに一般市民により応急手当が実施されている場合の傷病者の1ヵ月後の生存者数の割合は14.1%で、応急手当が実施されていない場合の割合7.0%と比較すると約2.0倍救命効果が高い(第64図参照)。

なお、一般市民により応急手当が実施された傷病者の割合はこれまで増加傾向で推移してきていたが、令和3年はわずかに減少した(第65表参照)。

第64図 応急手当の実施及び救命効果 (令和3年)



(注) 各々の項目のうち【 】内は、心原性かつ心肺機能停止の時点が一般市民により目撃された傷病者数である。一般市民がAEDを使用した応急手当の詳細は、第4章救急蘇生統計に記載。

第65表 応急手当の実施及び救命効果の推移

(単位：人)

区分 年	救急隊が搬送した 全ての心肺機能停 止 傷病者数	一般市民により 応急手当が 実施された 傷病者数		一般市民による 応急手当が 実施されなかった 傷病者数	
			うち 1か月後 生存者数		うち 1か月後 生存者数
平成8年	72,542 (100)	10,954 (15.1)	446 (4.1)	61,588 (84.9)	1,488 (2.4)
平成9年	76,272 (100)	12,901 (16.9)	605 (4.7)	63,371 (83.1)	1,541 (2.4)
平成10年	80,970 (100)	15,923 (19.7)	830 (5.2)	65,047 (80.3)	1,733 (2.7)
平成11年	83,353 (100)	19,212 (23.0)	861 (4.5)	64,141 (77.0)	1,807 (2.8)
平成12年	84,899 (100)	21,121 (24.9)	881 (4.2)	63,778 (75.1)	1,964 (3.1)
平成13年	88,058 (100)	23,398 (26.6)	879 (3.8)	64,660 (73.4)	2,003 (3.1)
平成14年	91,691 (100)	25,491 (27.8)	1,065 (4.2)	66,200 (72.2)	2,160 (3.3)
平成15年	94,845 (100)	29,255 (30.8)	1,267 (4.3)	65,590 (69.2)	2,245 (3.4)
平成16年	94,920 (100)	31,815 (33.5)	1,376 (4.3)	63,105 (66.5)	2,363 (3.7)
平成17年	102,738 (100)	34,539 (33.6)	1,553 (4.5)	68,199 (66.4)	2,816 (4.1)
平成18年	105,942 (100)	37,381 (35.3)	1,912 (5.1)	68,561 (64.7)	3,029 (4.4)
平成19年	109,461 (100)	42,892 (39.2)	2,393 (5.6)	66,569 (60.8)	3,254 (4.9)
平成20年	113,827 (100)	46,306 (40.7)	2,770 (6.0)	67,521 (59.3)	3,264 (4.8)
平成21年	115,250 (100)	49,249 (42.7)	3,101 (6.3)	66,001 (57.3)	3,393 (5.1)
平成22年	123,095 (100)	52,541 (42.7)	3,414 (6.5)	70,554 (57.3)	3,813 (5.4)
平成23年	127,109 (100)	54,652 (43.0)	3,390 (6.2)	72,457 (57.0)	3,695 (5.1)
平成24年	127,866 (100)	56,692 (44.3)	3,635 (6.4)	71,174 (55.7)	3,801 (5.3)
平成25年	123,987 (100)	55,695 (44.9)	3,732 (6.7)	68,292 (55.1)	3,803 (5.6)
平成26年	125,951 (100)	59,445 (47.2)	4,042 (6.8)	66,506 (52.8)	3,674 (5.5)
平成27年	123,421 (100)	59,420 (48.1)	4,155 (7.0)	64,001 (51.9)	3,647 (5.7)
平成28年	123,554 (100)	60,363 (48.9)	4,489 (7.4)	63,191 (51.1)	3,773 (6.0)
平成29年	127,018 (100)	63,439 (49.9)	4,633 (7.3)	63,579 (50.1)	3,716 (5.8)
平成30年	127,718 (100)	64,745 (50.7)	5,007 (7.7)	62,973 (49.3)	3,697 (5.9)
令和元年	126,271 (100)	64,013 (50.7)	4,933 (7.7)	62,258 (49.3)	3,748 (6.0)
令和2年	125,928 (100)	64,852 (51.5)	4,344 (6.7)	61,076 (48.5)	3,314 (5.4)
令和3年	129,144 (100)	65,284 (50.6)	4,057 (6.2)	63,860 (49.4)	3,248 (5.1)
合計	2,825,830 (100)	1,121,578 (39.7)	69,770 (6.2)	1,704,252 (60.3)	76,989 (4.5)

(注) 1 ( ) 内は構成比(単位：%)を示す。

- 2 平成8年～平成16年については、救急蘇生指標に基づいた数値である。
- 3 平成17年～令和3年については、ウツタイン様式に基づいた数値である。
- 4 東日本大震災の影響により、平成22年及び平成23年の釜石大槌地区行政事務組合消防本部及び陸前高田市消防本部のデータを除いた数値で集計している。
- 5 割合の算出に当たっては、端数処理(四捨五入)のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

## 6 医療機関等への搬送状況

### (1) 医療機関等への受入照会回数（事故種別及び傷病程度別）

令和3年中の救急自動車による搬送人員 549 万 1,744 人のうち、医療機関等への受入照会回数が1回で決定したものは全搬送人員の 80.1%で、2～3回は 15.7%、4回以上は 4.2%となっている（第66表、第67表参照）。

**第66表 事故種別の受入照会回数** (令和3年 単位:人)

区分 照会回数	急病		交通事故		一般負傷		その他		合計	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1回	2,837,243	78.7%	265,490	78.0%	672,151	76.4%	621,366	93.2%	4,396,250	80.1%
2回	432,986	12.0%	47,595	14.0%	124,280	14.1%	24,846	3.7%	629,707	11.5%
3回	164,176	4.6%	15,822	4.6%	44,156	5.0%	9,537	1.4%	233,691	4.3%
4回	75,349	2.1%	6,266	1.8%	19,217	2.2%	4,365	0.7%	105,197	1.9%
5回	38,882	1.1%	2,658	0.8%	9,402	1.1%	2,436	0.4%	53,378	1.0%
6～8回	38,454	1.1%	2,165	0.6%	7,891	0.9%	2,513	0.4%	51,023	0.9%
9～10回	7,544	0.2%	313	0.1%	1,269	0.1%	530	0.1%	9,656	0.2%
11回以上	10,545	0.3%	264	0.1%	1,137	0.1%	896	0.1%	12,842	0.2%
合計件数	3,605,179	100%	340,573	100%	879,503	100%	666,489	100%	5,491,744	100%

**第67表 傷病程度別の受入照会回数** (令和3年 単位:人)

区分 照会回数	死亡		重症		中等症		軽症		その他		合計	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1回	64,962	79.8%	393,009	84.3%	2,023,995	81.6%	1,912,631	77.7%	1,653	88.7%	4,396,250	80.1%
2回	9,242	11.3%	42,119	9.0%	249,972	10.1%	328,250	13.3%	124	6.7%	629,707	11.5%
3回	3,757	4.6%	15,172	3.3%	97,123	3.9%	117,589	4.8%	50	2.7%	233,691	4.3%
4回	1,603	2.0%	6,656	1.4%	46,184	1.9%	50,736	2.1%	18	1.0%	105,197	1.9%
5回	832	1.0%	3,409	0.7%	24,915	1.0%	24,216	1.0%	6	0.3%	53,378	1.0%
6～8回	818	1.0%	3,764	0.8%	25,752	1.0%	20,679	0.8%	10	0.5%	51,023	0.9%
9～10回	126	0.2%	840	0.2%	5,445	0.2%	3,243	0.1%	2	0.1%	9,656	0.2%
11回以上	108	0.1%	1,471	0.3%	8,146	0.3%	3,116	0.1%	1	0.1%	12,842	0.2%
合計件数	81,448	100%	466,440	100%	2,481,532	100%	2,460,460	100%	1,864	100%	5,491,744	100%

- (注) 1 医療機関への受入照会回数とは、傷病者の受入れ先医療機関が決定するまでの受入れ先医療機関への選定を目的とした電話連絡回数をいう。
- 2 割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

## (2) 医療機関等（経営主体別）への搬送人員

令和3年中の救急自動車による搬送人員549万1,744人について、搬送された医療機関等の種別をみると、私的病院への搬送が296万1,055人で最も多く、続いて、公立が125万7,312人となっている（第68表、第69図参照）。

医療機関に搬送された548万8,715人について、救急病院等を定める省令（昭和39年厚生省令第8号）に基づく告示の有無ごとに、開設者別に搬送人員をみると、国立、公立、公的及び私的病院ともに告示医療機関への搬送が9割を超えている一方で、私的診療所については、非告示医療機関への搬送が77.6%に上っている（第70図、別表6参照）。

第68表 医療機関等（経営主体別）への搬送人員の状況

（令和3年 単位：人）

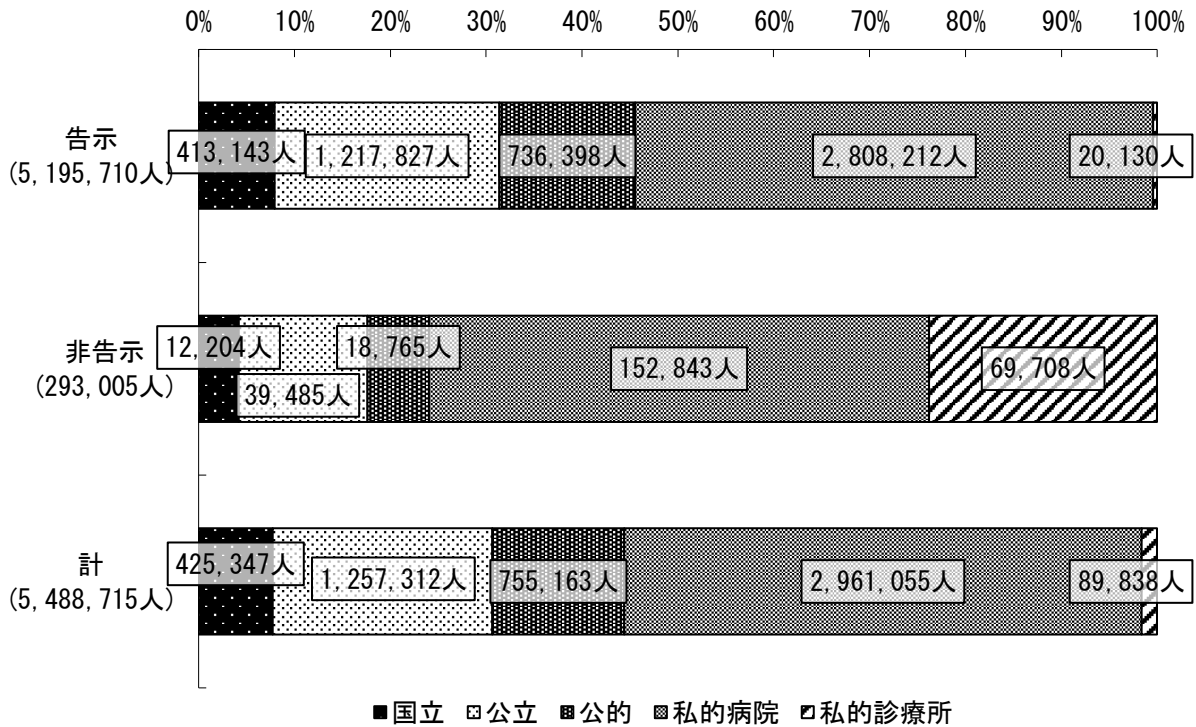
		告示	(うち管外)	非告示	(うち管外)	合計	(うち管外)
医療機関	国立	413,143	70,454	12,204	5,428	425,347	75,882
	公立	1,217,827	199,443	39,485	13,730	1,257,312	213,173
	公的	736,398	143,416	18,765	1,885	755,163	145,301
	私的病院	2,808,212	472,440	152,843	40,997	2,961,055	513,437
	私的診療所	20,130	1,849	69,708	5,994	89,838	7,843
	計	5,195,710	887,602	293,005	68,034	5,488,715	955,636
その他の場所	接骨院等	—	—	60	4	60	4
	その他	—	—	2,969	1,083	2,969	1,083
	計	—	—	3,029	1,087	3,029	1,087
合計		5,195,710	887,602	296,034	69,121	5,491,744	956,723

(注) 1 医療機関等の分類は次により記載した。

- (1) 「国立」とは、開設者が国であるもの。（国立大学法人、独立行政法人労働者健康安全機構、独立行政法人国立病院機構等を含む。）
- (2) 「公立」とは、開設者が都道府県、市町村及び地方自治法（昭和22年法律第67号）第284条第1項に規定する地方自治体の組合であるもの。
- (3) 「公的」とは開設者が次のものであるもの。
  - a 国民健康保険団体連合会
  - b 日本赤十字社
  - c 社会福祉法人恩賜財団済生会
  - d 全国厚生農業協同組合の会員である厚生（医療）農業協同組合連合会
  - e 社会福祉法人北海道社会事業協会
- 2 医療機関以外の場所へ搬送した場合は「その他の場所」の欄に、その搬送人員を記載した。
- 3 「その他の場所」へ搬送した場合で、搬送先があんま、はり、灸、接骨院及び助産所の場合は「接骨院等」の欄に、その他の場合は「その他」の欄に、その搬送人員を記載した。
- 4 医療機関等の区分は、傷病者を最終収容した医療機関等区分とした。
- 5 1つの搬送事例で、傷病者を2以上の医療機関等へ搬送した場合は、最終収容した医療機関等に計上した。

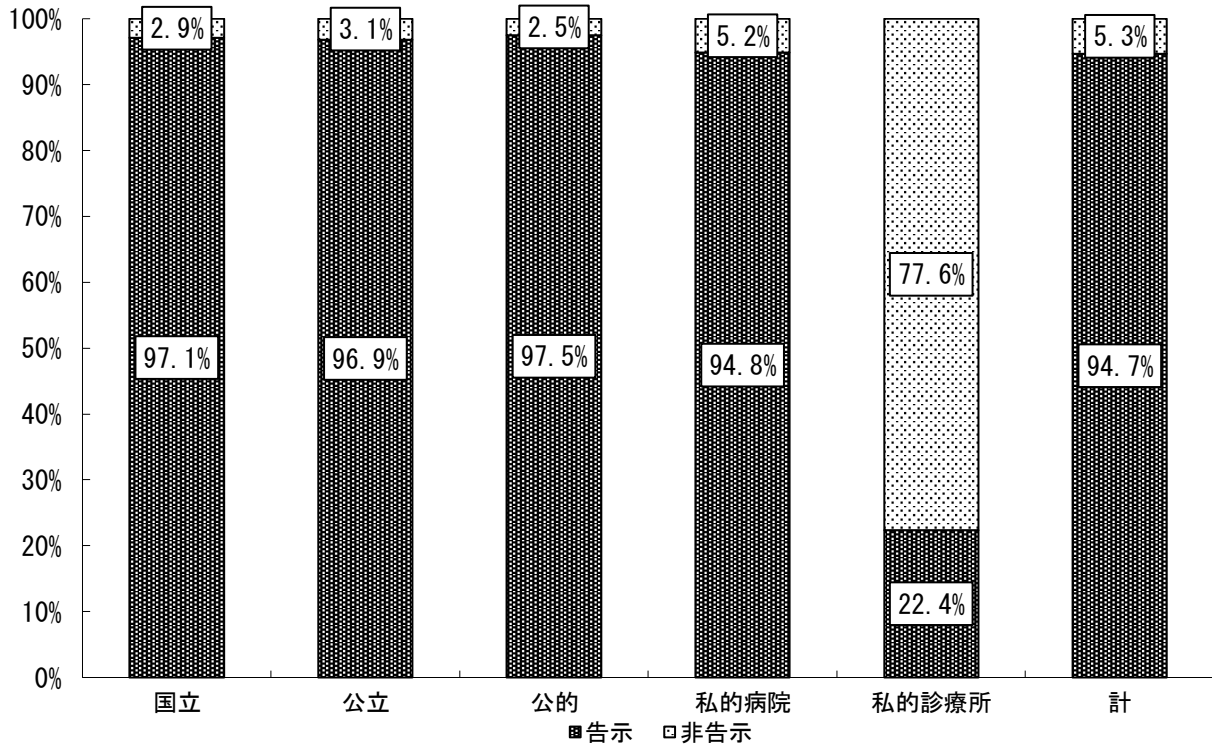
第69図 告示・非告示別の開設者別搬送人員の割合

(令和3年)



第70図 開設者別の告示・非告示別搬送人員の割合

(令和3年)



### (3) 管外医療機関等への搬送状況

令和3年中の救急自動車による搬送人員のうち、出動した救急隊が所属する消防本部の管轄外の医療機関等に搬送されているのは95万6,723人(17.4%)となっている。

これを人口規模別にみると、救急業務の実施形態の別にかかわらず、人口規模が小さくなるほど管外搬送率が高くなる傾向があり、単独消防本部では大都市が5.5%となっているのに対し、人口5万人未満では50.3%となっている(第71表参照)。

第71表 救急自動車による人口規模別管外搬送状況

(令和3年 単位：人)

実施形態・人口規模		搬送人員		
		搬送人員	うち管外搬送人員	管外搬送率
単独消防本部	大都市	1,931,513	106,467	5.5%
	30万人以上	795,271	92,876	11.7%
	10万人以上30万人未満	800,334	172,666	21.6%
	5万人以上10万人未満	306,465	126,098	41.1%
	5万人未満	212,124	106,726	50.3%
	計	4,045,707	604,833	14.9%
組合消防本部	30万人以上	399,817	50,716	12.7%
	10万人以上30万人未満	651,614	154,062	23.6%
	5万人以上10万人未満	269,801	98,794	36.6%
	5万人未満	124,805	48,318	38.7%
	計	1,446,037	351,890	24.3%
合 計		5,491,744	956,723	17.4%

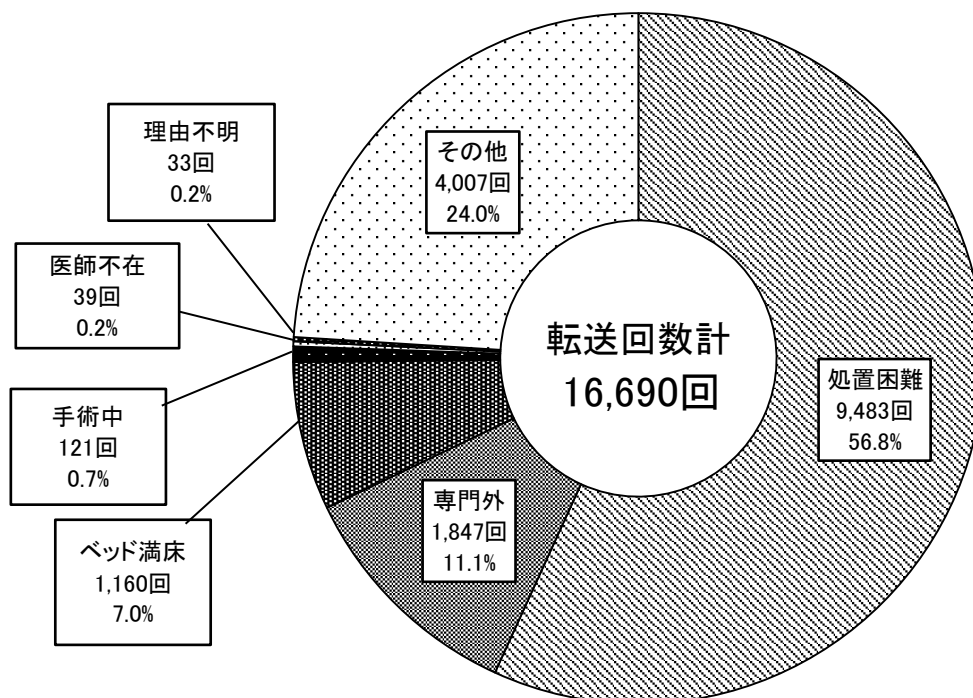
(注) 1 他の市町村又は消防事務組合に救急業務を委託している市町村における数値は、委託先の市町村又は消防事務組合の数値に含めている。

2 大都市とは、政令指定都市及び東京都特別区(事務委託団体に係わるものを含む。)をいう。

#### (4) 救急自動車による転送件数

令和3年中の救急自動車による搬送人員のうち、1回以上転送された人は、1万6,640人(0.3%)となっている。転送回数計1万6,690回について、転送理由をみると、処置困難が9,483回で全体の56.8%を占め、最も多くなっている(第72図、第73表参照)。

第72図 救急自動車による転送理由の状況 (令和3年)



- (注) 1 「転送」とは、傷病者を搬送した医療機関が収容不能であったために、同一救急隊が引き続いて同一傷病者を他の医療機関に搬送した場合をいう。
- 2 1件の事故で2人以上転送した場合は、搬送人員ごとにその転送理由を記載している。したがって、1件の事故で2人を転送した場合は、その理由が同じであっても、転送回数(理由)は2回となる。
- 3 割合の算出に当たっては、端数処理(四捨五入)のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

第73表 搬送人員に占める転送者数の割合の推移 (単位:人)

区分	年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
転送者数		27,491	25,883	24,724	24,027	22,407	21,218	17,532	16,640
搬送人員に占める 転送者数の割合(%)		0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3
対前年増減数 (増減率%)		▲ 1,978 (▲6.7)	▲ 1,608 (▲5.8)	▲ 1,159 (▲4.5)	▲ 697 (▲2.8)	▲ 1,620 (▲6.7)	▲ 1,189 (▲5.3)	▲ 3,686 (▲17.4)	▲ 892 (▲5.1)



## 第3章 救急医療体制等

### 1 救急医療機関

救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)に基づき、救急隊により搬送される傷病者に関する医療を担当する医療機関として、都道府県知事の告示を受けた救急病院及び救急診療所(以下「救急医療機関」という。)の状況を見ると、全国で4,175箇所の救急医療機関があり、人口10万人あたりの救急医療機関数の全国平均は、3.3箇所となっている(第74表、別表14参照)。

第74表 開設者別救急医療機関の状況 (令和4年4月1日現在)

開設者 区分	公設医療機関				私的 医療機関	合計
	国立	公立	公的等	小計		
救急病院	212	756	312	1,280	2,673	3,953
救急診療所					222	222
合計	212	756	312	1,280	2,895	4,175

### 2 救急搬送及び受入体制の構築

救急搬送については、現状の医療資源を前提に、傷病者の状況に応じたより適切で円滑な救急搬送及び受入体制の構築を図るため、消防法の一部を改正する法律(平成21年法律第34号)が、平成21年10月30日から施行された。この消防法改正により、都道府県は、消防機関や医療機関等で構成する協議会を設置するとともに、地域の実情に応じた傷病者の搬送及び受入れの実施に関する基準を策定することが義務付けられ、令和4年4月1日現在、全ての都道府県において傷病者の搬送及び受入れの実施に関する基準が策定されている。

### 3 メディカルコントロール体制の構築と救急救命士の処置範囲の拡大

救急隊が行う応急処置等の質を向上させ、救急業務を円滑に実施するためには、消防機関と医療機関等との連携が必要不可欠であり、消防庁では、それぞれの地域における救急に係る諸課題について関係機関が恒常的に協議する場として、消防機関と医療機関等との連絡協議会(メディカルコントロール協議会)を設置するよう推進してきた。平成16年中に各都道府県単位及び各地域単位のメディカルコントロール協議会が設置され、救急業務の質的向上に積極的に取り組んでいるところである。

救命効果の向上を図るための救急救命士の処置範囲の拡大については、メディカルコントロール体制の整備を前提とした上で、平成15年4月から医師の包括的指示下による除細動、平成16年7月からは、医師の具体的な指示下による気管挿管が可能となり、さらに平成18年4月からは、薬剤（アドレナリン）の使用が認められている。

また、平成21年7月には、自己注射が可能なアドレナリン製剤の使用が認められ、平成23年8月からはビデオ硬性挿管用喉頭鏡による気管挿管の実施が可能となった。

平成26年4月には病院前救護体制をより一層強化し、傷病者の救命効果の向上や後遺症の軽減等を図るため、①心肺機能停止前の静脈路確保と輸液、②血糖測定と低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与の2行為について救急救命士の処置範囲が拡大されている。

# 別 表

別表1 救急業務実施市町村数及び人口

(令和4年4月1日 単位：市町村、人)

区分	市町村数				R2国勢調査 人口	救急業務実施市町村数及び人口																
	市	町	村	計		単独実施				組合実施				委託実施				計				人口
						市	町	村	計	市	町	村	計	市	町	村	計	市	町	村	計(C)	
北海道	35	129	15	179	5,224,614	17	5	0	22	18	121	15	154	0	3	0	3	35	129	15	179	5,224,614
青森	10	22	8	40	1,237,984	2	0	0	2	8	22	8	38	0	0	0	0	10	22	8	40	1,237,984
岩手	14	15	4	33	1,210,534	4	0	0	4	10	14	4	28	0	1	0	1	14	15	4	33	1,210,534
宮城	14	20	1	35	2,301,996	4	0	0	4	10	20	1	31	0	0	0	0	14	20	1	35	2,301,996
秋田	13	9	3	25	959,502	6	1	0	7	7	8	2	17	0	0	1	1	13	9	3	25	959,502
山形	13	19	3	35	1,068,027	7	0	0	7	6	15	3	24	0	4	0	4	13	19	3	35	1,068,027
福島	13	31	15	59	1,833,152	2	0	0	2	11	31	15	57	0	0	0	0	13	31	15	59	1,833,152
茨城	32	10	2	44	2,867,009	14	3	0	17	18	6	2	26	0	1	0	1	32	10	2	44	2,867,009
栃木	14	11	0	25	1,933,146	7	0	0	7	7	10	0	17	0	1	0	1	14	11	0	25	1,933,146
群馬	12	15	8	35	1,939,110	4	0	0	4	7	13	8	28	1	2	0	3	12	15	8	35	1,939,110
埼玉	40	22	1	63	7,344,765	13	1	0	14	27	20	1	48	0	1	0	1	40	22	1	63	7,344,765
千葉	37	16	1	54	6,284,480	22	1	0	23	15	14	1	30	0	1	0	1	37	16	1	54	6,284,480
東京	27	5	8	40	14,047,594	2	2	1	5	0	0	0	0	25	3	1	29	27	5	2	34	14,039,550
神奈川	19	13	1	33	9,237,337	17	6	0	23	0	0	0	0	2	7	1	10	19	13	1	33	9,237,337
新潟	20	6	4	30	2,201,272	13	1	0	14	7	3	1	11	0	2	3	5	20	6	4	30	2,201,272
富山	10	4	1	15	1,034,814	3	1	0	4	6	3	1	10	1	0	0	1	10	4	1	15	1,034,814
石川	11	8	0	19	1,132,526	6	2	0	8	5	5	0	10	0	1	0	1	11	8	0	19	1,132,526
福井	9	8	0	17	766,863	3	1	0	4	6	7	0	13	0	0	0	0	9	8	0	17	766,863
山梨	13	8	6	27	809,974	5	0	0	5	8	8	3	19	0	0	3	3	13	8	6	27	809,974
長野	19	23	35	77	2,048,011	2	0	0	2	17	20	33	70	0	3	2	5	19	23	35	77	2,048,011
岐阜	21	19	2	42	1,978,742	13	1	0	14	5	17	1	23	3	1	1	5	21	19	2	42	1,978,742
静岡	23	12	0	35	3,633,202	10	0	0	10	11	10	0	21	2	2	0	4	23	12	0	35	3,633,202
愛知	38	14	2	54	7,542,415	24	2	0	26	14	10	1	25	0	2	1	3	38	14	2	54	7,542,415
三重	14	15	0	29	1,770,254	11	1	0	12	2	6	0	8	1	8	0	9	14	15	0	29	1,770,254
滋賀	13	6	0	19	1,413,610	3	0	0	3	10	3	0	13	0	3	0	3	13	6	0	19	1,413,610
京都	15	10	1	26	2,578,087	9	2	0	11	6	6	1	13	0	2	0	2	15	10	1	26	2,578,087
大阪	33	9	1	43	8,837,685	19	2	0	21	12	3	0	15	2	4	1	7	33	9	1	43	8,837,685
兵庫	29	12	0	41	5,465,002	18	1	0	19	11	5	0	16	0	6	0	6	29	12	0	41	5,465,002
奈良	12	15	12	39	1,324,473	2	0	0	2	10	15	12	37	0	0	0	0	12	15	12	39	1,324,473
和歌山	9	20	1	30	922,584	7	6	0	13	2	10	0	12	0	3	1	4	9	20	1	29	919,793
鳥取	4	14	1	19	553,407	0	0	0	0	4	14	1	19	0	0	0	0	4	14	1	19	553,407
島根	8	10	1	19	671,126	5	0	0	5	3	10	1	14	0	0	0	0	8	10	1	19	671,126
岡山	15	10	2	27	1,888,432	10	0	0	10	5	8	0	13	0	2	2	4	15	10	2	27	1,888,432
広島	14	9	0	23	2,799,702	9	2	0	11	4	1	0	5	1	6	0	7	14	9	0	23	2,799,702
山口	13	6	0	19	1,342,059	8	0	0	8	5	5	0	10	0	1	0	1	13	6	0	19	1,342,059
徳島	8	15	1	24	719,559	5	1	0	6	3	12	0	15	0	0	0	0	8	13	0	21	711,284
香川	8	9	0	17	950,244	4	1	0	5	4	4	0	8	0	3	0	3	8	8	0	16	947,141
愛媛	11	9	0	20	1,334,841	7	3	0	10	4	6	0	10	0	0	0	0	11	9	0	20	1,334,841
高知	11	17	6	34	691,527	8	0	0	8	3	16	5	24	0	1	1	2	11	17	6	34	691,527
福岡	29	29	2	60	5,135,214	10	1	0	11	19	28	2	49	0	0	0	0	29	29	2	60	5,135,214
佐賀	10	10	0	20	811,442	1	0	0	1	9	9	0	18	0	1	0	1	10	10	0	20	811,442
長崎	13	8	0	21	1,312,317	7	1	0	8	5	0	0	5	1	7	0	8	13	8	0	21	1,312,317
熊本	14	23	8	45	1,738,301	2	0	0	2	12	22	7	41	0	1	1	2	14	23	8	45	1,738,301
大分	14	3	1	18	1,123,852	12	0	0	12	2	3	0	5	0	0	1	1	14	3	1	18	1,123,852
宮崎	9	14	3	26	1,069,576	7	0	0	7	2	9	0	11	0	4	0	4	9	13	0	22	1,059,761
鹿児島	19	20	4	43	1,588,256	10	1	0	11	9	19	2	30	0	0	0	0	19	20	2	41	1,587,111
沖縄	11	11	19	41	1,467,480	10	1	0	11	1	8	9	18	0	0	0	0	11	9	9	29	1,449,724
計	793	743	183	1,719	126,146,099	384	50	1	435	370	599	140	1,109	39	87	20	146	793	736	161	1,690	126,095,170

## 別表 2 の 1 都道府県別救急体制

(令和 4 年 4 月 1 日 単位：台、隊、人)

区分	救急自動車数					救急 隊数	救急隊員数					
	合 計 (a)	高規格の 救急自動 車数(b)	高規格の 救急自動 車以外	比率 (b)/(a)	(a)の うち 非常用		合 計	うち 女性	専任	うち 女性	兼任	うち 女性
北海道	429	412	17	96.0%	97	325	4,620	53	820	20	3,800	33
青 森	111	98	13	88.3%	25	86	1,339	23	222	2	1,117	21
岩 手	102	101	1	99.0%	15	84	1,202	32	102	2	1,100	30
宮 城	122	122	0	100.0%	21	101	1,057	34	484	25	573	9
秋 田	86	85	1	98.8%	10	76	1,230	22	159	13	1,071	9
山 形	82	82	0	100.0%	13	67	733	7	89	2	644	5
福 島	136	123	13	90.4%	17	120	1,523	27	139	8	1,384	19
茨 城	175	174	1	99.4%	22	152	2,503	58	848	34	1,655	24
栃 木	110	110	0	100.0%	20	90	1,145	20	381	13	764	7
群 馬	114	114	0	100.0%	20	95	1,099	40	311	25	788	15
埼 玉	289	289	0	100.0%	57	229	2,128	95	1,440	72	688	23
千 葉	277	272	5	98.2%	50	229	2,392	103	1,357	76	1,035	27
東 京	370	370	0	100.0%	90	278	2,739	148	2,695	147	44	1
神奈川	330	330	0	100.0%	79	251	2,223	127	2,026	123	197	4
新 潟	161	153	8	95.0%	28	132	1,645	47	337	13	1,308	34
富 山	64	64	0	100.0%	7	56	508	12	54	4	454	8
石 川	66	64	2	97.0%	12	54	805	16	175	8	630	8
福 井	57	57	0	100.0%	8	49	526	11	100	1	426	10
山 梨	64	63	1	98.4%	10	53	663	10	133	1	530	9
長 野	145	141	4	97.2%	26	119	1,737	45	134	7	1,603	38
岐 阜	152	149	3	98.0%	23	128	1,742	31	182	7	1,560	24
静 岡	176	170	6	96.6%	37	139	1,644	61	491	19	1,153	42
愛 知	289	289	0	100.0%	44	247	4,216	91	522	20	3,694	71
三 重	122	122	0	100.0%	17	106	1,805	39	60	5	1,745	34
滋 賀	67	67	0	100.0%	8	59	917	25	244	10	673	15
京 都	117	117	0	100.0%	28	89	1,128	27	395	12	733	15
大 阪	330	329	1	99.7%	76	255	2,903	102	1,880	74	1,023	28
兵 庫	235	235	0	100.0%	37	200	2,480	71	965	36	1,515	35
奈 良	82	82	0	100.0%	11	71	944	17	105	1	839	16
和歌山	86	85	1	98.8%	16	67	808	19	86	5	722	14
鳥 取	34	34	0	100.0%	3	31	561	15	91	4	470	11
島 根	77	76	1	98.7%	5	69	643	4	38	1	605	3
岡 山	120	118	2	98.3%	16	103	1,760	49	40	0	1,720	49
広 島	169	167	2	98.8%	29	131	1,227	30	608	23	619	7
山 口	94	94	0	100.0%	15	75	918	18	216	8	702	10
徳 島	55	55	0	100.0%	10	44	588	6	57	1	531	5
香 川	54	54	0	100.0%	7	44	562	17	261	8	301	9
愛 媛	95	92	3	96.8%	14	76	716	19	197	8	519	11
高 知	73	71	2	97.3%	20	48	725	6	91	3	634	3
福 岡	201	199	2	99.0%	35	173	1,685	53	952	38	733	15
佐 賀	52	52	0	100.0%	9	43	603	15	104	8	499	7
長 崎	98	88	10	89.8%	17	80	866	22	148	3	718	19
熊 本	122	116	6	95.1%	20	106	1,070	27	362	16	708	11
大 分	75	75	0	100.0%	9	64	716	13	142	4	574	9
宮 崎	57	57	0	100.0%	11	45	536	1	198	1	338	0
鹿 児 島	142	137	5	96.5%	24	117	1,259	53	339	8	920	45
沖 縄	85	82	3	96.5%	13	72	1,014	7	87	1	927	6
合 計	6,549	6,436	113	98.3%	1,181	5,328	65,853	1,768	20,867	920	44,986	848

## 別表 2 の 2 資格別救急隊員数調

(令和 4 年 4 月 1 日 単位：人)

区分 都道府県	専任 合計	旧救急 I 課程 修了者	旧救急 II 課程 修了者	救急科【旧救急 標準課程 修了者含む】	救急 救命士 資格者	兼任 合計	旧救急 I 課程 修了者	旧救急 II 課程 修了者	救急科【旧救急 標準課程 修了者含む】	救急 救命士 資格者
北海道	820	0	11	179	630	3,800	6	234	1,593	1,967
青森	222	0	0	23	199	1,117	10	26	746	335
岩手	102	0	0	0	102	1,100	0	7	738	355
宮城	484	0	1	135	348	573	0	0	428	145
秋田	159	0	0	12	147	1,071	0	9	778	284
山形	89	0	0	27	62	644	0	2	371	271
福島	139	0	2	30	107	1,384	22	52	850	460
茨城	848	0	6	161	681	1,655	0	10	1,254	391
栃木	381	0	6	78	297	764	0	32	459	273
群馬	311	0	4	54	253	788	1	15	507	265
埼玉	1,440	0	0	438	1,002	688	2	1	354	331
千葉	1,357	0	9	403	945	1,035	12	44	678	301
東京	2,695	0	98	477	2,120	44	0	1	21	22
神奈川	2,026	0	25	429	1,572	197	1	21	109	66
新潟	337	0	0	83	254	1,308	2	62	777	467
富山	54	0	0	13	41	454	0	46	180	228
石川	175	0	0	62	113	630	1	21	364	244
福井	100	0	0	21	79	426	0	2	249	175
山梨	133	0	0	3	130	530	1	28	343	158
長野	134	3	12	30	89	1,603	1	278	702	622
岐阜	182	0	2	6	174	1,560	0	198	869	493
静岡	491	0	0	137	354	1,153	2	8	701	442
愛知	522	0	3	110	409	3,694	65	252	2,154	1,223
三重	60	0	0	8	52	1,745	1	283	921	540
滋賀	244	0	1	42	201	673	0	31	479	163
京都	395	0	0	116	279	733	1	35	437	260
大阪	1,880	0	3	610	1,267	1,023	2	22	651	348
兵庫	965	0	2	208	755	1,515	1	149	817	548
奈良	105	0	12	26	67	839	0	150	428	261
和歌山	86	0	1	25	60	722	0	56	383	283
鳥取	91	0	0	13	78	470	0	20	331	119
島根	38	0	0	9	29	605	0	74	289	242
岡山	40	0	0	2	38	1,720	1	172	1,069	478
広島	608	0	1	140	467	619	0	27	316	276
山口	216	0	3	33	180	702	8	18	458	218
徳島	57	0	0	26	31	531	0	19	308	204
香川	261	0	0	88	173	301	1	3	184	113
愛媛	197	0	2	45	150	519	0	25	255	239
高知	91	0	8	26	57	634	0	80	291	263
福岡	952	1	17	345	589	733	1	8	462	262
佐賀	104	0	0	28	76	499	0	30	313	156
長崎	148	0	0	32	116	718	1	30	431	256
熊本	362	0	6	104	252	708	3	1	488	216
大分	142	0	1	40	101	574	0	6	313	255
宮崎	198	0	0	65	133	338	0	12	200	126
鹿児島	339	0	0	46	293	920	0	38	535	347
沖縄	87	0	0	21	66	927	0	13	461	453
合計	20,867	4	236	5,009	15,618	44,986	146	2,651	26,045	16,144

### 別表2の3 資格別救急隊員数（救急救命士）調

（令和4年4月1日 単位：人）

区分	救急救命士 有資格者 数	第34条 第4号 以外	男性	女性	気管挿管 認定(A)	薬剤 (アドレナリン) 投与 認定(B)	(A)、(B)うち 気管挿管 薬剤 (アドレナリン) 投与 両認定	ビデオ 喉頭鏡 認定	ブドウ糖 投与 認定	CPA前 静脈路確保 認定	救急救命 士として運 用している もの
北海道	2,597	1,463	2,558	39	1,211	2,305	1,198	905	1,927	1,932	2,332
青森	534	154	523	11	409	492	396	223	495	462	503
岩手	457	134	437	20	387	425	384	281	423	423	424
宮城	493	83	473	20	307	459	307	51	459	459	458
秋田	431	91	415	16	147	396	147	119	399	399	395
山形	333	59	329	4	92	307	92	0	307	307	306
福島	567	159	550	17	240	529	235	38	504	504	535
茨城	1,072	442	1,028	44	642	985	638	0	969	969	910
栃木	570	249	552	18	296	510	289	75	507	507	542
群馬	518	243	488	30	116	402	110	69	387	387	489
埼玉	1,333	415	1,252	81	770	1,244	770	659	1,238	1,238	1,270
千葉	1,246	506	1,169	77	662	1,159	659	262	1,153	1,154	1,161
東京	2,142	752	2,013	129	549	1,941	545	232	1,627	1,627	2,088
神奈川	1,638	681	1,536	102	633	1,532	610	499	1,528	1,527	1,560
新潟	721	281	684	37	110	693	110	20	700	700	688
富山	269	85	260	9	178	234	175	0	231	231	260
石川	357	81	347	10	147	265	147	0	265	265	311
福井	254	33	251	3	207	249	207	63	249	249	237
山梨	288	69	283	5	140	272	140	103	266	272	253
長野	711	356	677	34	554	661	543	107	657	657	672
岐阜	667	255	646	21	299	568	291	128	438	438	599
静岡	796	301	756	40	500	750	494	399	711	711	721
愛知	1,632	456	1,579	53	422	1,331	422	25	1,232	1,232	1,410
三重	592	79	567	25	179	548	177	107	545	545	542
滋賀	364	117	347	17	147	327	146	0	318	318	333
京都	539	122	523	16	352	505	352	16	502	502	501
大阪	1,615	257	1,560	55	1,146	1,476	1,134	825	1,420	1,420	1,525
兵庫	1,303	268	1,259	44	761	1,130	756	618	1,123	1,123	1,227
奈良	328	56	318	10	124	306	124	68	304	304	304
和歌山	343	121	331	12	283	283	266	0	280	282	326
鳥取	197	24	192	5	167	188	167	14	188	188	179
島根	271	69	269	2	150	262	150	139	257	257	264
岡山	516	73	506	10	366	479	365	225	460	460	478
広島	743	176	720	23	245	660	245	204	659	660	691
山口	398	148	389	9	235	386	234	34	379	379	366
徳島	235	46	231	4	188	223	188	142	225	225	223
香川	286	83	274	12	225	251	210	177	237	237	229
愛媛	389	78	381	8	304	365	303	263	361	361	359
高知	320	26	317	3	291	311	289	15	311	311	309
福岡	851	192	819	32	352	753	313	11	723	723	762
佐賀	232	54	223	9	65	216	65	16	208	208	214
長崎	372	102	362	10	235	332	225	3	327	327	338
熊本	468	177	447	21	238	438	227	0	429	429	434
大分	356	180	346	10	159	339	156	129	338	338	338
宮崎	259	108	259	0	130	246	126	0	236	236	249
鹿児島	640	187	628	12	385	593	385	257	583	583	578
沖縄	519	271	513	6	232	501	231	54	469	469	496
合計	31,762	10,362	30,587	1,175	15,977	28,827	15,743	7,575	27,554	27,535	29,389

（注）「第34条第4号以外」とは、救急救命士法第34条第4号の受験資格による救急救命士資格取得者以外の職員数を示す。

別表3 救急自動車による都道府県別事故種別救急出動件数

区分 都道府県	区分											
	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送
北海道	1,113	26	173	10,049	2,595	742	37,381	678	2,895	168,148	28,065	209
青森	368	11	77	2,680	405	203	6,494	168	557	32,542	5,127	56
岩手	165	0	42	2,312	575	248	6,514	91	451	33,853	5,913	23
宮城	386	57	59	5,273	998	487	13,868	305	1,140	69,991	12,472	561
秋田	181	12	34	2,136	452	166	5,935	89	424	27,967	2,961	7
山形	162	0	35	2,047	420	181	6,315	56	376	28,100	4,637	16
福島	285	58	49	4,479	859	380	10,823	198	829	52,578	7,339	95
茨城	735	4	152	9,006	1,385	597	17,477	491	1,317	83,072	9,909	575
栃木	388	7	39	5,966	845	388	10,256	286	908	50,471	8,296	11
群馬	427	2	36	6,246	892	520	12,520	234	883	56,787	8,274	806
埼玉	1,336	17	113	23,367	3,087	1,920	50,724	1,837	3,548	226,948	25,121	46
千葉	1,317	45	247	19,016	2,965	1,385	47,243	1,494	2,837	208,028	25,392	57
東京	3,250	19	592	39,912	4,658	3,539	131,393	4,921	5,922	500,375	42,745	189
神奈川	1,556	65	310	24,651	3,221	2,330	80,180	2,267	4,082	322,681	28,129	1,133
新潟	307	28	123	4,828	1,299	465	15,561	231	971	64,209	10,718	829
富山	112	3	93	2,235	448	205	7,087	76	368	27,659	4,131	16
石川	95	16	39	2,302	513	237	7,395	119	328	28,854	3,737	56
福井	77	8	50	1,851	322	204	4,808	43	241	17,929	2,958	3
山梨	144	1	40	2,814	622	284	6,350	116	371	23,763	2,725	21
長野	388	7	46	4,995	888	421	15,161	210	729	59,376	9,280	254
岐阜	281	3	87	6,303	997	449	13,670	168	705	53,720	7,024	45
静岡	544	42	173	10,274	1,650	782	23,557	342	1,297	99,421	17,763	71
愛知	983	8	142	20,405	3,053	1,464	47,152	973	3,216	231,424	24,007	157
三重	310	3	74	5,880	877	444	14,130	230	668	59,886	7,524	1
滋賀	216	4	49	4,529	687	417	9,294	167	536	40,890	3,869	2
京都	447	10	53	9,448	944	583	22,105	482	1,048	89,210	7,378	47
大阪	1,686	31	189	37,557	4,275	2,094	89,348	3,411	4,987	377,032	31,854	1,177
兵庫	779	12	129	17,305	2,194	1,229	45,526	964	2,353	177,045	21,774	332
奈良	257	0	31	4,648	780	419	12,149	177	669	46,963	6,525	1,145
和歌山	93	10	74	3,701	454	195	8,098	120	463	31,250	3,958	238
鳥取	117	4	38	1,311	231	151	3,863	39	197	17,295	2,706	56
島根	86	30	49	1,586	294	152	4,828	42	288	19,663	3,193	92
岡山	286	2	54	6,117	742	378	13,658	277	716	53,465	9,982	273
広島	401	18	77	8,795	1,092	529	20,797	445	1,106	79,932	14,252	187
山口	222	43	71	3,749	619	408	10,468	212	515	40,102	8,432	421
徳島	69	1	37	2,498	356	160	5,434	67	252	20,735	4,205	16
香川	199	5	28	3,356	367	229	7,048	132	308	27,252	5,824	3
愛媛	192	2	51	4,591	525	303	10,327	185	500	40,102	8,532	68
高知	45	2	47	2,438	345	169	6,660	130	357	25,327	4,465	60
福岡	456	45	175	13,114	1,885	1,164	39,960	772	2,381	164,557	21,884	30
佐賀	244	34	31	2,430	315	227	5,005	93	298	20,129	5,325	7
長崎	75	4	82	2,889	460	293	11,020	122	592	40,543	9,020	53
熊本	376	7	56	5,293	764	525	13,096	197	694	53,998	8,896	18
大分	87	6	58	3,060	436	295	8,522	136	397	30,842	7,825	154
宮崎	159	6	43	2,663	430	243	6,436	119	466	29,070	6,069	32
鹿児島	159	5	94	4,545	734	440	11,760	233	774	49,544	12,512	55
沖縄	237	13	146	3,841	442	275	11,734	424	792	51,978	5,756	27
合計	21,798	736	4,487	368,491	53,397	28,919	969,130	24,569	55,752	4,054,706	518,483	9,730
令和2年中	21,727	544	4,923	366,255	52,121	23,874	952,128	27,061	54,937	3,850,497	490,897	8,859
増減数	71	192	▲ 436	2,236	1,276	5,045	17,002	▲ 2,492	815	204,209	27,586	871
増減率	0.3	35.3	▲ 8.9	0.6	2.4	21.1	1.8	▲ 9.2	1.5	5.3	5.6	9.8



(令和3年中 単位：件、%、人)

資器材等 搬送	その他	合計	令和2年中	増減数	対前年 増減率 (%)	平成28年中	増減数	対H28年 増減率 (%)	人口 (R2年国勢調 査確定値)	救急業務実施市 町村人口	人口1万人 あたりの救急出 動件数	区分
												都道府県
9	8,761	<b>260,844</b>	241,616	19,228	8.0	248,143	12,701	5.1	5,224,614	5,224,614	499.3	北海道
2	398	<b>49,088</b>	46,130	2,958	6.4	47,452	1,636	3.4	1,237,984	1,237,984	396.5	青森
0	380	<b>50,567</b>	48,041	2,526	5.3	50,242	325	0.6	1,210,534	1,210,534	417.7	岩手
51	1,119	<b>106,767</b>	100,737	6,030	6.0	103,755	3,012	2.9	2,301,996	2,301,996	463.8	宮城
0	408	<b>40,772</b>	37,658	3,114	8.3	39,558	1,214	3.1	959,502	959,502	424.9	秋田
1	277	<b>42,623</b>	40,115	2,508	6.3	43,430	▲ 807	▲ 1.9	1,068,027	1,068,027	399.1	山形
58	707	<b>78,737</b>	75,604	3,133	4.1	80,246	▲ 1,509	▲ 1.9	1,833,152	1,833,152	429.5	福島
9	1,385	<b>126,114</b>	121,600	4,514	3.7	126,066	48	0.0	2,867,009	2,867,009	439.9	茨城
43	798	<b>78,702</b>	76,280	2,422	3.2	80,035	▲ 1,333	▲ 1.7	1,933,146	1,933,146	407.1	栃木
63	1,010	<b>88,700</b>	84,591	4,109	4.9	89,549	▲ 849	▲ 0.9	1,939,110	1,939,110	457.4	群馬
91	7,586	<b>345,741</b>	327,778	17,963	5.5	336,751	8,990	2.7	7,344,765	7,344,765	470.7	埼玉
74	9,522	<b>319,622</b>	305,253	14,369	4.7	310,602	9,020	2.9	6,284,480	6,284,480	508.6	千葉
558	10,469	<b>748,542</b>	725,439	23,103	3.2	782,123	▲ 33,581	▲ 4.3	14,047,594	14,039,550	533.2	東京
40	6,129	<b>476,774</b>	454,115	22,659	5.0	458,686	18,088	3.9	9,237,337	9,237,337	516.1	神奈川
4	1,384	<b>100,957</b>	93,666	7,291	7.8	100,034	923	0.9	2,201,272	2,201,272	458.6	新潟
58	197	<b>42,688</b>	39,778	2,910	7.3	41,387	1,301	3.1	1,034,814	1,034,814	412.5	富山
0	285	<b>43,976</b>	40,630	3,346	8.2	42,679	1,297	3.0	1,132,526	1,132,526	388.3	石川
13	250	<b>28,757</b>	26,253	2,504	9.5	28,512	245	0.9	766,863	766,863	375.0	福井
70	228	<b>37,549</b>	35,445	2,104	5.9	39,617	▲ 2,068	▲ 5.2	809,974	809,974	463.6	山梨
1	503	<b>92,259</b>	86,693	5,566	6.4	95,329	▲ 3,070	▲ 3.2	2,048,011	2,048,011	450.5	長野
47	760	<b>84,259</b>	80,409	3,850	4.8	86,590	▲ 2,331	▲ 2.7	1,978,742	1,978,742	425.8	岐阜
17	1,644	<b>157,577</b>	152,779	4,798	3.1	159,240	▲ 1,663	▲ 1.0	3,633,202	3,633,202	433.7	静岡
695	3,431	<b>337,110</b>	323,150	13,960	4.3	335,262	1,848	0.6	7,542,415	7,542,415	447.0	愛知
53	380	<b>90,460</b>	87,314	3,146	3.6	91,492	▲ 1,032	▲ 1.1	1,770,254	1,770,254	511.0	三重
0	536	<b>61,196</b>	57,660	3,536	6.1	60,829	367	0.6	1,413,610	1,413,610	432.9	滋賀
1	1,263	<b>133,019</b>	128,558	4,461	3.5	136,939	▲ 3,920	▲ 2.9	2,578,087	2,578,087	516.0	京都
3	3,534	<b>557,178</b>	551,557	5,621	1.0	566,509	▲ 9,331	▲ 1.6	8,837,685	8,837,685	630.5	大阪
8	5,170	<b>274,820</b>	266,899	7,921	3.0	275,769	▲ 949	▲ 0.3	5,465,002	5,465,002	502.9	兵庫
0	264	<b>74,027</b>	69,782	4,245	6.1	69,462	4,565	6.6	1,324,473	1,324,473	558.9	奈良
6	415	<b>49,075</b>	47,488	1,587	3.3	50,458	▲ 1,383	▲ 2.7	922,584	919,793	533.5	和歌山
0	134	<b>26,142</b>	24,541	1,601	6.5	25,716	426	1.7	553,407	553,407	472.4	鳥取
0	204	<b>30,507</b>	28,800	1,707	5.9	30,085	422	1.4	671,126	671,126	454.6	島根
6	494	<b>86,450</b>	83,288	3,162	3.8	87,343	▲ 893	▲ 1.0	1,888,432	1,888,432	457.8	岡山
5	1,346	<b>128,982</b>	121,365	7,617	6.3	128,973	9	0.0	2,799,702	2,799,702	460.7	広島
6	526	<b>65,794</b>	62,929	2,865	4.6	68,699	▲ 2,905	▲ 4.2	1,342,059	1,342,059	490.2	山口
8	257	<b>34,095</b>	31,965	2,130	6.7	34,019	76	0.2	719,559	711,284	479.3	徳島
13	116	<b>44,880</b>	43,561	1,319	3.0	47,346	▲ 2,466	▲ 5.2	950,244	947,141	473.8	香川
5	512	<b>65,895</b>	63,611	2,284	3.6	67,016	▲ 1,121	▲ 1.7	1,334,841	1,334,841	493.7	愛媛
2	165	<b>40,212</b>	39,022	1,190	3.0	40,463	▲ 251	▲ 0.6	691,527	691,527	581.5	高知
180	3,860	<b>250,463</b>	237,239	13,224	5.6	252,265	▲ 1,802	▲ 0.7	5,135,214	5,135,214	487.7	福岡
0	743	<b>34,881</b>	33,252	1,629	4.9	36,129	▲ 1,248	▲ 3.5	811,442	811,442	429.9	佐賀
1	407	<b>65,561</b>	63,057	2,504	4.0	65,863	▲ 302	▲ 0.5	1,312,317	1,312,317	499.6	長崎
12	934	<b>84,866</b>	81,545	3,321	4.1	91,815	▲ 6,949	▲ 7.6	1,738,301	1,738,301	488.2	熊本
3	552	<b>52,373</b>	50,796	1,577	3.1	54,177	▲ 1,804	▲ 3.3	1,123,852	1,123,852	466.0	大分
2	167	<b>45,905</b>	43,529	2,376	5.5	44,804	1,101	2.5	1,069,576	1,059,761	433.2	宮崎
3	756	<b>81,614</b>	79,479	2,135	2.7	82,941	▲ 1,327	▲ 1.6	1,588,256	1,587,111	514.2	鹿児島
14	782	<b>76,461</b>	72,280	4,181	5.8	75,564	897	1.2	1,467,480	1,449,724	527.4	沖縄
<b>2,235</b>	<b>81,148</b>	<b>6,193,581</b>	5,933,277	260,304	4.4	6,209,964	▲ 16,383	▲ 0.3	126,146,099	126,095,170	491.2	合計・平均
1,944	77,510	5,933,277										
291	3,638	260,304										
15.0	4.7	4.4										

別表４ 救急自動車による都道府県別事故種別救急搬送人員

区分	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為
北海道	213	16	72	9,243	2,525	722	34,393	493	2,018
青森	93	5	29	2,319	395	209	6,061	126	348
岩手	49	0	25	2,207	556	248	6,163	68	322
宮城	97	55	29	4,884	972	482	12,547	225	740
秋田	42	9	15	1,947	447	164	5,681	75	310
山形	36	0	18	1,972	416	180	5,969	45	246
福島	92	53	21	4,275	844	376	10,089	148	568
茨城	110	3	63	8,857	1,348	595	16,242	371	896
栃木	74	4	15	5,525	823	378	9,306	193	573
群馬	74	1	12	5,796	856	511	11,556	166	579
埼玉	207	17	22	20,718	2,982	1,878	44,833	1,133	2,317
千葉	233	34	80	17,998	2,898	1,383	42,830	1,038	1,847
東京	566	10	263	35,843	4,543	3,506	115,535	3,608	4,083
神奈川	300	52	67	22,381	3,149	2,300	71,686	1,639	2,753
新潟	92	26	54	4,538	1,273	460	14,533	179	648
富山	29	2	43	2,273	446	202	6,864	68	257
石川	25	15	15	2,170	503	232	6,897	105	232
福井	25	3	25	1,939	316	205	4,568	35	154
山梨	30	1	21	2,820	610	283	6,078	97	251
長野	119	6	16	5,027	862	421	14,554	184	509
岐阜	78	2	28	6,189	983	448	13,099	144	452
静岡	104	10	81	9,461	1,591	760	21,771	259	886
愛知	264	3	40	19,243	2,998	1,454	44,014	778	2,276
三重	69	1	41	5,614	853	439	13,196	182	446
滋賀	38	2	17	4,457	671	415	8,741	142	351
京都	120	10	24	8,970	929	584	20,525	376	730
大阪	347	27	65	33,364	4,239	2,100	75,859	2,321	3,272
兵庫	193	10	48	15,764	2,139	1,204	40,698	710	1,503
奈良	57	0	7	4,336	749	420	11,358	144	467
和歌山	34	9	43	3,634	452	197	7,691	99	314
鳥取	29	5	16	1,290	222	151	3,727	35	135
島根	27	13	23	1,480	279	150	4,656	35	209
岡山	78	2	26	5,843	727	372	12,875	217	485
広島	89	5	26	7,700	1,059	514	18,681	310	694
山口	59	39	28	3,355	598	345	9,521	160	334
徳島	30	1	26	2,383	348	160	5,091	55	170
香川	43	5	17	3,167	381	229	6,581	108	210
愛媛	68	2	20	4,444	516	301	9,762	167	337
高知	17	2	32	2,253	349	171	6,259	108	256
福岡	156	40	73	12,248	1,838	1,122	36,787	589	1,605
佐賀	38	19	16	2,365	315	231	4,806	77	221
長崎	43	2	43	2,614	446	280	10,155	93	396
熊本	75	4	27	4,942	752	520	12,349	169	496
大分	39	5	34	2,757	413	287	7,906	95	246
宮崎	53	5	14	2,390	427	239	5,787	98	303
鹿児島	55	1	45	4,121	693	428	10,901	183	557
沖縄	37	11	68	3,457	437	265	10,322	295	533
合計	4,746	547	1,833	340,573	52,168	28,521	879,503	17,945	37,535
令和2年中	4,922	413	1,985	342,250	50,948	23,593	866,529	20,100	37,256
増減数	▲ 176	134	▲ 152	▲ 1,677	1,220	4,928	12,974	▲ 2,155	279
増減率	▲ 3.6	32.4	▲ 7.7	▲ 0.5	2.4	20.9	1.5	▲ 10.7	0.7

(令和3年中) 単位：人、%

急病	その他	合計	令和2年中	増減数	対前年増減率(%)	平成28年中	増減数	対H28年増減率(%)	区分
									都道府県
149,843	31,743	<b>231,281</b>	215,744	15,537	7.2	224,029	7,252	3.2	北海道
29,781	5,106	<b>44,472</b>	42,014	2,458	5.9	44,080	392	0.9	青森
31,516	5,896	<b>47,050</b>	44,582	2,468	5.5	46,838	212	0.5	岩手
62,881	12,436	<b>95,348</b>	90,199	5,149	5.7	94,288	1,060	1.1	宮城
26,443	2,947	<b>38,080</b>	35,106	2,974	8.5	36,935	1,145	3.1	秋田
26,229	4,659	<b>39,770</b>	37,637	2,133	5.7	41,359	▲ 1,589	▲ 3.8	山形
48,104	7,429	<b>71,999</b>	69,855	2,144	3.1	74,442	▲ 2,443	▲ 3.3	福島
75,244	9,961	<b>113,690</b>	109,887	3,803	3.5	115,365	▲ 1,675	▲ 1.5	茨城
44,847	8,275	<b>70,013</b>	68,186	1,827	2.7	72,157	▲ 2,144	▲ 3.0	栃木
51,392	8,305	<b>79,248</b>	75,781	3,467	4.6	82,621	▲ 3,373	▲ 4.1	群馬
194,692	25,084	<b>293,883</b>	281,124	12,759	4.5	297,366	▲ 3,483	▲ 1.2	埼玉
181,167	26,475	<b>275,983</b>	266,219	9,764	3.7	277,167	▲ 1,184	▲ 0.4	千葉
424,659	42,062	<b>634,678</b>	629,764	4,914	0.8	695,814	▲ 61,136	▲ 8.8	東京
278,768	28,212	<b>411,307</b>	394,671	16,636	4.2	410,376	931	0.2	神奈川
58,506	10,768	<b>91,077</b>	84,431	6,646	7.9	90,788	289	0.3	新潟
26,196	4,124	<b>40,504</b>	37,733	2,771	7.3	39,310	1,194	3.0	富山
26,643	3,720	<b>40,557</b>	37,410	3,147	8.4	39,744	813	2.0	石川
16,860	2,970	<b>27,100</b>	24,822	2,278	9.2	27,331	▲ 231	▲ 0.8	福井
22,357	2,725	<b>35,273</b>	33,275	1,998	6.0	37,409	▲ 2,136	▲ 5.7	山梨
56,069	9,244	<b>87,011</b>	81,795	5,216	6.4	90,172	▲ 3,161	▲ 3.5	長野
50,441	7,140	<b>79,004</b>	75,288	3,716	4.9	82,308	▲ 3,304	▲ 4.0	岐阜
90,405	17,758	<b>143,086</b>	139,080	4,006	2.9	147,271	▲ 4,185	▲ 2.8	静岡
211,612	23,980	<b>306,662</b>	294,980	11,682	4.0	308,297	▲ 1,635	▲ 0.5	愛知
55,029	7,567	<b>83,437</b>	81,021	2,416	3.0	85,491	▲ 2,054	▲ 2.4	三重
37,863	3,856	<b>56,553</b>	53,002	3,551	6.7	56,838	▲ 285	▲ 0.5	滋賀
80,745	7,336	<b>120,349</b>	116,971	3,378	2.9	125,778	▲ 5,429	▲ 4.3	京都
324,334	31,872	<b>477,800</b>	476,110	1,690	0.4	491,423	▲ 13,623	▲ 2.8	大阪
157,005	21,780	<b>241,054</b>	235,689	5,365	2.3	245,257	▲ 4,203	▲ 1.7	兵庫
43,035	6,501	<b>67,074</b>	63,975	3,099	4.8	64,375	2,699	4.2	奈良
29,016	3,944	<b>45,433</b>	43,673	1,760	4.0	47,130	▲ 1,697	▲ 3.6	和歌山
16,371	2,706	<b>24,687</b>	23,217	1,470	6.3	24,411	276	1.1	鳥取
18,734	3,186	<b>28,792</b>	27,095	1,697	6.3	28,244	548	1.9	島根
49,610	10,049	<b>80,284</b>	77,465	2,819	3.6	81,975	▲ 1,691	▲ 2.1	岡山
70,101	14,097	<b>113,276</b>	106,401	6,875	6.5	114,188	▲ 912	▲ 0.8	広島
35,630	8,439	<b>58,508</b>	55,826	2,682	4.8	61,509	▲ 3,001	▲ 4.9	山口
19,031	4,182	<b>31,477</b>	29,590	1,887	6.4	31,780	▲ 303	▲ 1.0	徳島
24,794	5,818	<b>41,353</b>	39,954	1,399	3.5	43,161	▲ 1,808	▲ 4.2	香川
37,090	8,520	<b>61,227</b>	58,986	2,241	3.8	62,614	▲ 1,387	▲ 2.2	愛媛
23,245	4,477	<b>37,169</b>	36,047	1,122	3.1	37,608	▲ 439	▲ 1.2	高知
149,952	22,260	<b>226,670</b>	215,396	11,274	5.2	230,899	▲ 4,229	▲ 1.8	福岡
18,746	5,608	<b>32,442</b>	30,852	1,590	5.2	33,230	▲ 788	▲ 2.4	佐賀
36,146	9,047	<b>59,265</b>	57,225	2,040	3.6	60,215	▲ 950	▲ 1.6	長崎
49,577	8,858	<b>77,769</b>	74,898	2,871	3.8	83,770	▲ 6,001	▲ 7.2	熊本
27,986	7,741	<b>47,509</b>	45,822	1,687	3.7	49,657	▲ 2,148	▲ 4.3	大分
25,442	6,048	<b>40,806</b>	38,896	1,910	4.9	40,622	184	0.5	宮崎
44,543	12,436	<b>73,963</b>	71,999	1,964	2.7	76,089	▲ 2,126	▲ 2.8	鹿児島
46,499	5,847	<b>67,771</b>	64,137	3,634	5.7	69,487	▲ 1,716	▲ 2.5	沖縄
<b>3,805,179</b>	<b>523,194</b>	<b>5,491,744</b>	5,293,830	197,914	3.7	5,621,218	▲ 129,474	▲ 2.3	合計・平均
3,451,872	493,962	5,293,830							
153,307	29,232	197,914							
4.4	5.9	3.7							

別表5 都道府県別年齢区分別搬送人員構成比

(令和3年中 単位：人、%)

区分 都道府県	新生児		乳幼児		少年		成人		高齢者		合計
		割合(%)		割合(%)		割合(%)		割合(%)		割合(%)	
北海道	563	(0.2)	6,580	(2.8)	5,387	(2.3)	69,893	(30.2)	148,858	(64.4)	231,281
青森	69	(0.2)	1,094	(2.5)	1,044	(2.3)	12,053	(27.1)	30,212	(67.9)	44,472
岩手	72	(0.2)	1,191	(2.5)	1,090	(2.3)	12,342	(26.2)	32,355	(68.8)	47,050
宮城	210	(0.2)	3,346	(3.5)	2,798	(2.9)	30,192	(31.7)	58,802	(61.7)	95,348
秋田	56	(0.1)	725	(1.9)	793	(2.1)	8,807	(23.1)	27,699	(72.7)	38,080
山形	82	(0.2)	996	(2.5)	938	(2.4)	9,575	(24.1)	28,179	(70.9)	39,770
福島	147	(0.2)	2,212	(3.1)	1,902	(2.6)	20,406	(28.3)	47,332	(65.7)	71,999
茨城	373	(0.3)	4,459	(3.9)	3,848	(3.4)	35,932	(31.6)	69,078	(60.8)	113,690
栃木	285	(0.4)	2,579	(3.7)	2,214	(3.2)	22,289	(31.8)	42,646	(60.9)	70,013
群馬	191	(0.2)	2,886	(3.6)	2,610	(3.3)	23,678	(29.9)	49,883	(62.9)	79,248
埼玉	1,075	(0.4)	12,710	(4.3)	9,741	(3.3)	95,344	(32.4)	175,013	(59.6)	293,883
千葉	862	(0.3)	11,396	(4.1)	8,627	(3.1)	90,610	(32.8)	164,488	(59.6)	275,983
東京	1,466	(0.2)	28,422	(4.5)	16,953	(2.7)	247,999	(39.1)	339,838	(53.5)	634,678
神奈川	1,146	(0.3)	20,577	(5.0)	13,094	(3.2)	137,643	(33.5)	238,847	(58.1)	411,307
新潟	227	(0.2)	2,608	(2.9)	2,319	(2.5)	24,174	(26.5)	61,749	(67.8)	91,077
富山	77	(0.2)	1,171	(2.9)	1,012	(2.5)	10,085	(24.9)	28,159	(69.5)	40,504
石川	31	(0.1)	1,318	(3.2)	1,121	(2.8)	10,667	(26.3)	27,420	(67.6)	40,557
福井	46	(0.2)	893	(3.3)	754	(2.8)	7,150	(26.4)	18,257	(67.4)	27,100
山梨	96	(0.3)	1,532	(4.3)	1,278	(3.6)	10,905	(30.9)	21,462	(60.8)	35,273
長野	198	(0.2)	2,463	(2.8)	2,474	(2.8)	21,994	(25.3)	59,882	(68.8)	87,011
岐阜	129	(0.2)	2,394	(3.0)	2,426	(3.1)	21,409	(27.1)	52,646	(66.6)	79,004
静岡	131	(0.1)	4,515	(3.2)	4,010	(2.8)	41,701	(29.1)	92,729	(64.8)	143,086
愛知	1,093	(0.4)	12,380	(4.0)	9,235	(3.0)	97,058	(31.6)	186,896	(60.9)	306,662
三重	195	(0.2)	3,244	(3.9)	2,665	(3.2)	24,772	(29.7)	52,561	(63.0)	83,437
滋賀	125	(0.2)	2,211	(3.9)	2,006	(3.5)	16,760	(29.6)	35,451	(62.7)	56,553
京都	87	(0.1)	4,188	(3.5)	3,239	(2.7)	35,845	(29.8)	76,990	(64.0)	120,349
大阪	225	(0.0)	21,088	(4.4)	14,416	(3.0)	158,393	(33.2)	283,678	(59.4)	477,800
兵庫	491	(0.2)	10,718	(4.4)	7,388	(3.1)	69,696	(28.9)	152,761	(63.4)	241,054
奈良	96	(0.1)	2,858	(4.3)	2,251	(3.4)	18,915	(28.2)	42,954	(64.0)	67,074
和歌山	36	(0.1)	1,500	(3.3)	1,244	(2.7)	12,356	(27.2)	30,297	(66.7)	45,433
鳥取	114	(0.5)	863	(3.5)	673	(2.7)	5,981	(24.2)	17,056	(69.1)	24,687
島根	38	(0.1)	747	(2.6)	720	(2.5)	6,402	(22.2)	20,885	(72.5)	28,792
岡山	65	(0.1)	2,662	(3.3)	2,400	(3.0)	22,185	(27.6)	52,972	(66.0)	80,284
広島	266	(0.2)	4,323	(3.8)	3,556	(3.1)	33,158	(29.3)	71,973	(63.5)	113,276
山口	118	(0.2)	1,449	(2.5)	1,473	(2.5)	14,373	(24.6)	41,095	(70.2)	58,508
徳島	107	(0.3)	1,064	(3.4)	900	(2.9)	8,643	(27.5)	20,763	(66.0)	31,477
香川	47	(0.1)	1,395	(3.4)	1,305	(3.2)	11,218	(27.1)	27,388	(66.2)	41,353
愛媛	155	(0.3)	1,805	(2.9)	1,565	(2.6)	16,827	(27.5)	40,875	(66.8)	61,227
高知	53	(0.1)	899	(2.4)	956	(2.6)	8,839	(23.8)	26,422	(71.1)	37,169
福岡	574	(0.3)	8,711	(3.8)	6,600	(2.9)	69,449	(30.6)	141,336	(62.4)	226,670
佐賀	49	(0.2)	1,082	(3.3)	1,103	(3.4)	9,225	(28.4)	20,983	(64.7)	32,442
長崎	163	(0.3)	1,506	(2.5)	1,390	(2.3)	15,054	(25.4)	41,152	(69.4)	59,265
熊本	65	(0.1)	2,455	(3.2)	2,454	(3.2)	21,396	(27.5)	51,399	(66.1)	77,769
大分	40	(0.1)	1,499	(3.2)	1,269	(2.7)	11,614	(24.4)	33,087	(69.6)	47,509
宮崎	145	(0.4)	1,357	(3.3)	1,270	(3.1)	11,302	(27.7)	26,732	(65.5)	40,806
鹿児島	138	(0.2)	2,101	(2.8)	2,022	(2.7)	20,141	(27.2)	49,561	(67.0)	73,963
沖縄	286	(0.4)	2,790	(4.1)	2,362	(3.5)	23,332	(34.4)	39,001	(57.5)	67,771
合計	12,303	(0.2)	210,962	(3.8)	160,895	(2.9)	1,707,782	(31.1)	3,399,802	(61.9)	5,491,744

(注) 割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

別表6 救急自動車による都道府県別の医療機関等別搬送人員の状況

(令和3年中 単位：人)

区分	告示医療機関						非告示医療機関						区分	医療機関合計						その他			救急医療機関 に対する搬送 割合((A)/ (C)×100)	救急医療 機関数 (D)	左の1が所 あたりの 搬送人員 ((A)/(D))	
	国立	公立	私的		計 (A)	国立	公立	私的		計 (B)	国立	公立		私的		計 (C)	接骨院	その他	計							
			公的	病院				診療所	公的					病院	診療所					公的	病院	診療所				
北海道	13,528	52,542	32,841	104,909	1,188	205,008	663	2,511	95	13,191	9,550	26,010	北海道	14,191	55,053	32,936	118,100	10,738	231,018	0	263	263	231,281	88.7	278	737
青森	5,014	26,870	3,499	6,803	68	42,254	10	94	166	952	982	2,204	青森	5,024	26,964	3,665	7,755	1,050	44,458	0	14	14	44,472	95.0	47	899
岩手	34	33,945	3,314	4,372	4	41,669	691	292	2,815	909	665	5,372	岩手	725	34,237	6,129	5,281	669	47,041	0	9	9	47,050	88.6	48	868
宮城	11,129	28,174	10,786	39,845	25	89,959	69	1,000	597	1,806	1,911	5,383	宮城	11,198	29,174	11,383	41,651	1,936	95,342	0	6	6	95,348	94.4	73	1,232
秋田	3,078	9,309	20,139	5,134	0	37,660	6	127	45	189	51	418	秋田	3,084	9,436	20,184	5,323	51	38,078	0	2	2	38,080	98.9	27	1,395
山形	2,497	27,324	2,642	6,588	3	39,054	45	42	1	327	300	715	山形	2,542	27,366	2,643	6,915	303	39,769	0	1	1	39,770	98.2	34	1,149
福島	2,335	12,909	9,140	43,162	1	67,547	33	644	123	2,651	998	4,449	福島	2,368	13,553	9,263	45,813	999	71,996	0	3	3	71,999	93.8	55	1,228
茨城	8,259	6,028	33,347	60,930	210	108,774	78	1,696	83	1,753	1,289	4,899	茨城	8,337	7,724	33,430	62,683	1,499	113,673	2	15	17	113,690	95.7	93	1,170
栃木	5,529	4,514	22,874	34,674	666	68,257	4	285	23	322	1,112	1,746	栃木	5,533	4,799	22,897	34,996	1,778	70,003	0	10	10	70,013	97.5	72	948
群馬	9,606	17,216	10,337	39,145	537	76,841	13	697	3	921	763	2,397	群馬	9,619	17,913	10,340	40,066	1,300	79,238	0	10	10	79,248	97.0	78	985
埼玉	12,881	32,072	21,832	213,613	3,106	283,504	367	2,664	37	4,468	2,791	10,327	埼玉	13,248	34,736	21,869	218,081	5,897	293,831	6	46	52	293,883	96.5	200	1,418
千葉	17,680	42,055	23,895	172,880	1,173	257,683	1,078	2,846	206	9,822	4,299	18,251	千葉	18,758	44,901	24,101	182,702	5,472	275,934	1	48	49	275,983	93.4	155	1,662
東京	44,076	58,013	38,092	471,390	2,813	614,384	2,456	1,872	256	13,081	2,326	19,991	東京	46,532	59,885	38,348	484,471	5,139	634,375	0	303	303	634,678	96.8	322	1,908
神奈川	25,878	82,143	36,257	235,751	540	380,569	191	4,754	1,805	21,951	1,882	30,583	神奈川	26,069	86,897	38,062	257,702	2,422	411,152	2	153	155	411,307	92.6	176	2,162
新潟	3,954	26,420	27,191	26,558	15	84,138	926	300	701	1,608	3,390	6,925	新潟	4,880	26,720	27,892	28,166	3,405	91,063	0	14	14	91,077	92.4	63	1,336
富山	2,934	21,532	12,555	2,801	16	39,838	18	239	0	164	220	641	富山	2,952	21,771	12,555	2,965	236	40,479	0	25	25	40,504	98.4	39	1,021
石川	4,553	19,099	3,363	12,720	163	39,898	126	89	18	316	109	658	石川	4,679	19,188	3,381	13,036	272	40,556	0	1	1	40,557	98.4	51	782
福井	2,933	9,350	7,258	6,805	260	26,606	48	36	16	168	170	438	福井	2,981	9,386	7,274	6,973	430	27,044	0	56	56	27,100	98.4	51	522
山梨	2,789	16,372	2,895	12,102	326	34,484	1	83	1	185	482	752	山梨	2,790	16,455	2,896	12,287	808	35,236	0	37	37	35,273	97.9	43	802
長野	7,213	26,017	31,495	20,079	175	84,979	31	300	16	1,184	469	2,000	長野	7,244	26,317	31,511	21,263	644	86,979	0	32	32	87,011	97.7	90	944
岐阜	1,878	36,196	18,395	21,611	34	78,114	29	62	1	588	176	856	岐阜	1,907	36,258	18,396	22,199	210	78,970	0	34	34	79,004	98.9	66	1,184
静岡	12,269	62,694	19,120	36,094	678	130,855	111	4,780	163	2,509	4,640	12,203	静岡	12,380	67,474	19,283	38,603	5,318	143,058	1	27	28	143,086	91.5	76	1,722
愛知	23,503	97,724	51,003	126,265	190	298,685	230	345	30	5,987	1,366	7,958	愛知	23,733	98,069	51,033	132,252	1,556	306,643	2	17	19	306,662	97.4	164	1,821
三重	5,869	30,931	27,435	16,876	51	81,162	688	80	55	659	786	2,268	三重	6,557	31,011	27,490	17,535	837	83,430	0	7	7	83,437	97.3	59	1,376
滋賀	3,906	24,480	16,673	10,768	0	55,827	51	182	13	412	57	715	滋賀	3,957	24,662	16,686	11,180	57	56,542	0	11	11	56,553	98.7	31	1,801
京都	11,604	19,604	20,403	67,457	1	119,069	63	54	35	958	156	1,266	京都	11,667	19,658	20,438	68,415	157	120,335	0	14	14	120,349	98.9	88	1,353
大阪	21,652	53,882	38,805	342,010	728	457,077	762	1,576	9,385	6,994	1,933	20,650	大阪	22,414	55,458	48,190	349,004	2,661	477,727	8	65	73	477,800	95.7	301	1,519
兵庫	13,609	77,054	18,995	112,790	355	222,803	435	1,880	192	13,015	2,446	17,968	兵庫	14,044	78,934	19,187	125,805	2,801	240,771	1	282	283	241,054	92.5	186	1,198
奈良	980	26,701	3,463	34,168	0	65,312	94	87	70	1,182	326	1,759	奈良	1,074	26,788	3,533	35,350	326	67,071	0	3	3	67,074	97.4	42	1,555
和歌山	5,869	16,492	10,529	9,388	320	42,598	22	686	319	1,099	695	2,821	和歌山	5,891	17,178	10,848	10,487	1,015	45,419	0	14	14	45,433	93.8	55	775
鳥取	6,894	9,555	2,733	4,444	0	23,626	37	0	0	914	106	1,057	鳥取	6,931	9,555	2,733	5,358	106	24,683	0	4	4	24,687	95.7	18	1,313
島根	5,838	11,437	7,781	3,103	2	28,161	83	155	8	189	66	501	島根	5,921	11,592	7,789	3,292	68	28,662	0	130	130	28,792	98.3	25	1,126
岡山	7,374	10,011	8,845	50,566	667	77,463	1	278	43	1,541	917	2,780	岡山	7,375	10,289	8,888	52,107	1,584	80,243	33	8	41	80,284	96.5	89	870
広島	15,713	31,485	15,397	42,486	1,218	106,299	176	165	164	3,254	3,121	6,880	広島	15,889	31,650	15,561	45,740	4,339	113,179	1	96	97	113,276	93.9	134	793
山口	15,904	10,264	14,968	12,753	305	54,194	162	229	57	1,262	2,589	4,299	山口	16,066	10,493	15,025	14,015	2,894	58,493	0	15	15	58,508	92.7	66	821
徳島	1,317	12,363	9,657	6,581	11	29,929	15	8	2	992	528	1,545	徳島	1,332	12,371	9,659	7,573	539	31,474	0	3	3	31,477	95.1	38	788
香川	7,865	12,901	8,052	10,603	344	39,765	2	145	4	632	651	1,434	香川	7,867	13,046	8,056	11,235	995	41,199	1	153	154	41,353	96.5	59	674
愛媛	2,435	13,322	11,121	28,686	474	56,038	178	1,815	39	2,376	764	5,172	愛媛	2,613	15,137	11,160	31,062	1,238	61,210	0	17	17	61,227	91.6	60	934
高知	3,735	9,830	7,300	14,334	289	35,488	3	411	4	1,087	165	1,670	高知	3,738	10,241	7,304	15,421	454	37,158	0	11	11	37,169	95.5	41	866
福岡	14,073	13,519	23,811	158,588	30	210,021	836	4,798	500	8,453	1,939	16,526	福岡	14,909	18,317	24,311	167,041	1,969	226,547	0	123	123	226,670	92.7	149	1,410
佐賀	7,375	4,832	3,939	13,127	209	29,482	64	199	46	1,548	1,100	2,957	佐賀	7,439	5,031	3,985	14,675	1,309	32,439	0	3	3	32,442	90.9	45	655
長崎	9,611	16,562	9,433	19,208	31	54,845	59	324	124	1,947	1,754	4,208	長崎	9,670	16,886	9,557	21,155	1,785	59,053	0	212	212	59,265	92.9	57	962
熊本	14,105	13,099	24,600	19,380	291	71,475	44	59	102	4,																

別表7 都道府県別傷病程度別搬送人員及び構成比

(令和3年中 単位：人、%)

区分 都道府県	死亡		重症(長期入院)		中等症(入院診療)		軽症(外来診療)		その他		合計
	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	
北海道	5,438	(2.4)	21,275	(9.2)	106,333	(46.0)	98,055	(42.4)	180	(0.1)	231,281
青森	1,540	(3.5)	7,665	(17.2)	17,581	(39.5)	17,672	(39.7)	14	(0.0)	44,472
岩手	1,545	(3.3)	6,117	(13.0)	20,373	(43.3)	19,010	(40.4)	5	(0.0)	47,050
宮城	1,363	(1.4)	10,304	(10.8)	53,849	(56.5)	29,827	(31.3)	5	(0.0)	95,348
秋田	1,140	(3.0)	7,698	(20.2)	12,741	(33.5)	16,499	(43.3)	2	(0.0)	38,080
山形	1,192	(3.0)	6,307	(15.9)	16,716	(42.0)	15,550	(39.1)	5	(0.0)	39,770
福島	1,973	(2.7)	8,231	(11.4)	29,640	(41.2)	32,151	(44.7)	4	(0.0)	71,999
茨城	2,227	(2.0)	10,030	(8.8)	51,004	(44.9)	50,412	(44.3)	17	(0.0)	113,690
栃木	1,265	(1.8)	7,446	(10.6)	32,884	(47.0)	28,415	(40.6)	3	(0.0)	70,013
群馬	907	(1.1)	10,552	(13.3)	40,540	(51.2)	27,216	(34.3)	33	(0.0)	79,248
埼玉	4,147	(1.4)	25,553	(8.7)	122,821	(41.8)	141,318	(48.1)	44	(0.0)	293,883
千葉	3,211	(1.2)	19,193	(7.0)	129,292	(46.8)	124,270	(45.0)	17	(0.0)	275,983
東京	6,396	(1.0)	46,094	(7.3)	256,281	(40.4)	325,907	(51.3)	0	(0.0)	634,678
神奈川	4,064	(1.0)	34,685	(8.4)	192,074	(46.7)	180,394	(43.9)	90	(0.0)	411,307
新潟	2,704	(3.0)	11,126	(12.2)	43,274	(47.5)	33,963	(37.3)	10	(0.0)	91,077
富山	565	(1.4)	4,378	(10.8)	20,388	(50.3)	15,172	(37.5)	1	(0.0)	40,504
石川	1,073	(2.6)	6,322	(15.6)	16,879	(41.6)	16,283	(40.1)	0	(0.0)	40,557
福井	443	(1.6)	3,977	(14.7)	12,116	(44.7)	10,553	(38.9)	11	(0.0)	27,100
山梨	706	(2.0)	3,347	(9.5)	15,912	(45.1)	15,307	(43.4)	1	(0.0)	35,273
長野	1,343	(1.5)	8,618	(9.9)	46,420	(53.3)	30,611	(35.2)	19	(0.0)	87,011
岐阜	756	(1.0)	10,543	(13.3)	40,938	(51.8)	26,764	(33.9)	3	(0.0)	79,004
静岡	1,645	(1.1)	10,155	(7.1)	72,181	(50.4)	59,103	(41.3)	2	(0.0)	143,086
愛知	4,057	(1.3)	17,835	(5.8)	130,769	(42.6)	153,995	(50.2)	6	(0.0)	306,662
三重	2,053	(2.5)	8,680	(10.4)	29,922	(35.9)	42,760	(51.2)	22	(0.0)	83,437
滋賀	622	(1.1)	2,636	(4.7)	21,308	(37.7)	31,982	(56.6)	5	(0.0)	56,553
京都	1,508	(1.3)	6,897	(5.7)	44,330	(36.8)	67,605	(56.2)	9	(0.0)	120,349
大阪	7,091	(1.5)	9,921	(2.1)	193,351	(40.5)	267,416	(56.0)	21	(0.0)	477,800
兵庫	2,876	(1.2)	15,544	(6.4)	108,880	(45.2)	113,748	(47.2)	6	(0.0)	241,054
奈良	810	(1.2)	4,565	(6.8)	30,703	(45.8)	30,983	(46.2)	13	(0.0)	67,074
和歌山	1,016	(2.2)	4,226	(9.3)	16,655	(36.7)	23,519	(51.8)	17	(0.0)	45,433
鳥取	336	(1.4)	2,409	(9.8)	13,852	(56.1)	8,090	(32.8)	0	(0.0)	24,687
島根	488	(1.7)	3,142	(10.9)	15,607	(54.2)	9,424	(32.7)	131	(0.5)	28,792
岡山	1,863	(2.3)	10,907	(13.6)	33,335	(41.5)	34,166	(42.6)	13	(0.0)	80,284
広島	1,480	(1.3)	12,492	(11.0)	57,420	(50.7)	41,855	(36.9)	29	(0.0)	113,276
山口	837	(1.4)	4,254	(7.3)	31,014	(53.0)	22,403	(38.3)	0	(0.0)	58,508
徳島	696	(2.2)	4,219	(13.4)	13,212	(42.0)	13,349	(42.4)	1	(0.0)	31,477
香川	688	(1.7)	5,279	(12.8)	19,764	(47.8)	15,467	(37.4)	155	(0.4)	41,353
愛媛	1,178	(1.9)	7,394	(12.1)	24,537	(40.1)	28,112	(45.9)	6	(0.0)	61,227
高知	635	(1.7)	5,659	(15.2)	14,863	(40.0)	15,858	(42.7)	154	(0.4)	37,169
福岡	1,369	(0.6)	13,105	(5.8)	130,580	(57.6)	81,607	(36.0)	9	(0.0)	226,670
佐賀	674	(2.1)	4,139	(12.8)	16,273	(50.2)	11,356	(35.0)	0	(0.0)	32,442
長崎	883	(1.5)	6,103	(10.3)	32,839	(55.4)	18,954	(32.0)	486	(0.8)	59,265
熊本	803	(1.0)	8,335	(10.7)	42,605	(54.8)	26,008	(33.4)	18	(0.0)	77,769
大分	930	(2.0)	7,111	(15.0)	24,488	(51.5)	14,906	(31.4)	74	(0.2)	47,509
宮崎	976	(2.4)	7,047	(17.3)	17,453	(42.8)	15,313	(37.5)	17	(0.0)	40,806
鹿児島	739	(1.0)	7,622	(10.3)	42,729	(57.8)	22,837	(30.9)	36	(0.0)	73,963
沖縄	1,197	(1.8)	7,303	(10.8)	24,806	(36.6)	34,295	(50.6)	170	(0.3)	67,771
合計	81,448	(1.5)	466,440	(8.5)	2,481,532	(45.2)	2,460,460	(44.8)	1,864	(0.0)	5,491,744

(注) 割合の算出に当たっては、端数処理(四捨五入)のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

### 別表 8 の 1 現場到着所要時間別出動件数の状況

(入電から現場到着までの所要時間別出動件数)

(令和 3 年中 単位：件、分)

区分 都道府県	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	合計	平均 (分)	令和2年中 平均 (分)	令和元年中 平均 (分)
北海道	2,680	17,384	164,504	70,125	6,151	260,844	8.6	8.3	8.0
青森	469	1,944	27,869	17,528	1,278	49,088	9.5	8.7	8.5
岩手	474	2,423	26,041	18,893	2,736	50,567	10.0	9.7	9.5
宮城	734	4,303	61,587	37,366	2,777	106,767	9.3	8.9	8.6
秋田	729	2,087	22,926	13,778	1,252	40,772	9.4	8.9	8.7
山形	279	1,648	23,898	15,574	1,224	42,623	9.4	8.9	8.7
福島	998	1,337	33,345	39,383	3,674	78,737	10.8	10.1	9.7
茨城	1,162	1,809	61,088	59,050	3,005	126,114	10.1	9.6	9.3
栃木	856	5,312	45,623	25,026	1,885	78,702	8.9	9.0	8.7
群馬	1,322	5,970	57,405	22,239	1,764	88,700	8.4	8.1	7.8
埼玉	1,095	6,072	205,275	128,597	4,702	345,741	9.3	8.9	8.5
千葉	1,474	4,883	165,412	139,004	8,849	319,622	10.0	9.4	9.3
東京	1,221	3,546	275,561	428,513	39,701	748,542	11.5	10.4	10.5
神奈川	2,067	11,397	273,097	183,067	7,146	476,774	9.3	8.9	8.5
新潟	763	2,694	53,610	40,792	3,098	100,957	9.8	9.2	8.9
富山	378	2,364	28,632	10,807	507	42,688	8.3	7.7	7.2
石川	315	2,561	30,512	9,976	612	43,976	8.2	7.9	7.6
福井	397	2,721	18,211	6,955	473	28,757	8.1	7.7	7.4
山梨	250	700	19,428	15,677	1,494	37,549	10.2	9.9	9.3
長野	681	3,530	52,253	32,217	3,578	92,259	9.7	9.3	9.1
岐阜	836	3,144	53,498	24,771	2,010	84,259	8.9	8.4	8.0
静岡	875	3,508	88,218	60,800	4,176	157,577	9.6	9.1	8.7
愛知	2,423	19,957	235,176	76,533	3,021	337,110	8.1	7.7	7.5
三重	1,291	3,336	54,570	29,204	2,059	90,460	9.0	8.6	8.3
滋賀	362	2,521	37,160	20,124	1,029	61,196	9.0	8.6	8.3
京都	712	10,245	96,473	23,910	1,679	133,019	7.8	7.4	7.1
大阪	2,805	26,616	383,679	138,730	5,348	557,178	8.5	7.8	7.7
兵庫	1,238	8,046	170,914	89,814	4,808	274,820	9.0	8.6	8.3
奈良	371	1,435	42,246	27,809	2,166	74,027	9.6	9.1	9.1
和歌山	436	3,097	30,801	13,512	1,229	49,075	8.7	8.5	8.3
鳥取	251	982	14,659	9,523	727	26,142	9.3	9.1	9.0
島根	228	1,372	17,386	10,125	1,396	30,507	9.6	9.3	9.1
岡山	591	3,079	50,161	30,100	2,519	86,450	9.3	9.1	8.8
広島	1,203	6,730	75,414	42,397	3,238	128,982	9.1	8.7	8.2
山口	530	2,742	35,004	25,269	2,249	65,794	9.7	9.4	9.0
徳島	543	2,360	19,504	10,517	1,171	34,095	9.1	8.8	8.4
香川	314	1,259	23,953	18,625	729	44,880	9.5	9.1	8.5
愛媛	872	2,826	38,559	21,191	2,447	65,895	9.4	8.8	8.6
高知	627	2,520	21,890	13,379	1,796	40,212	9.5	9.4	9.1
福岡	1,216	7,170	148,362	89,664	4,051	250,463	9.2	8.9	8.3
佐賀	197	751	16,930	15,845	1,158	34,881	10.2	9.7	9.6
長崎	795	3,492	32,922	25,736	2,616	65,561	9.8	9.4	9.1
熊本	672	3,401	50,069	28,522	2,202	84,866	9.2	8.9	8.5
大分	477	3,237	31,499	15,335	1,825	52,373	9.1	8.7	8.4
宮崎	285	1,212	23,546	18,804	2,058	45,905	10.1	9.7	9.7
鹿児島	964	4,839	42,596	30,608	2,607	81,614	9.5	9.3	9.1
沖縄	458	2,241	47,866	24,345	1,551	76,461	9.0	8.8	8.6
合計 (割合)	39,916 (0.6)	216,803 (3.5)	3,529,332 (57.0)	2,249,759 (36.3)	157,771 (2.5)	6,193,581 (100)	9.4 —	8.9 —	8.7 —

(注) 割合の算出に当たっては、端数処理(四捨五入)のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

## 別表 8 の 2 現場到着所要時間別出動件数の構成比

(入電から現場到着までの所要時間別出動件数の構成比)

(令和 3 年中 単位：%)

区分	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	合計
北海道	1.0	6.7	63.1	26.9	2.4	100
青森	1.0	4.0	56.8	35.7	2.6	100
岩手	0.9	4.8	51.5	37.4	5.4	100
宮城	0.7	4.0	57.7	35.0	2.6	100
秋田	1.8	5.1	56.2	33.8	3.1	100
山形	0.7	3.9	56.1	36.5	2.9	100
福島	1.3	1.7	42.3	50.0	4.7	100
茨城	0.9	1.4	48.4	46.8	2.4	100
栃木	1.1	6.7	58.0	31.8	2.4	100
群馬	1.5	6.7	64.7	25.1	2.0	100
埼玉	0.3	1.8	59.4	37.2	1.4	100
千葉	0.5	1.5	51.8	43.5	2.8	100
東京	0.2	0.5	36.8	57.2	5.3	100
神奈川	0.4	2.4	57.3	38.4	1.5	100
新潟	0.8	2.7	53.1	40.4	3.1	100
富山	0.9	5.5	67.1	25.3	1.2	100
石川	0.7	5.8	69.4	22.7	1.4	100
福井	1.4	9.5	63.3	24.2	1.6	100
山梨	0.7	1.9	51.7	41.8	4.0	100
長野	0.7	3.8	56.6	34.9	3.9	100
岐阜	1.0	3.7	63.5	29.4	2.4	100
静岡	0.6	2.2	56.0	38.6	2.7	100
愛知	0.7	5.9	69.8	22.7	0.9	100
三重	1.4	3.7	60.3	32.3	2.3	100
滋賀	0.6	4.1	60.7	32.9	1.7	100
京都	0.5	7.7	72.5	18.0	1.3	100
大阪	0.5	4.8	68.9	24.9	1.0	100
兵庫	0.5	2.9	62.2	32.7	1.7	100
奈良	0.5	1.9	57.1	37.6	2.9	100
和歌山	0.9	6.3	62.8	27.5	2.5	100
鳥取	1.0	3.8	56.1	36.4	2.8	100
島根	0.7	4.5	57.0	33.2	4.6	100
岡山	0.7	3.6	58.0	34.8	2.9	100
広島	0.9	5.2	58.5	32.9	2.5	100
山口	0.8	4.2	53.2	38.4	3.4	100
徳島	1.6	6.9	57.2	30.8	3.4	100
香川	0.7	2.8	53.4	41.5	1.6	100
愛媛	1.3	4.3	58.5	32.2	3.7	100
高知	1.6	6.3	54.4	33.3	4.5	100
福岡	0.5	2.9	59.2	35.8	1.6	100
佐賀	0.6	2.2	48.5	45.4	3.3	100
長崎	1.2	5.3	50.2	39.3	4.0	100
熊本	0.8	4.0	59.0	33.6	2.6	100
大分	0.9	6.2	60.1	29.3	3.5	100
宮崎	0.6	2.6	51.3	41.0	4.5	100
鹿児島	1.2	5.9	52.2	37.5	3.2	100
沖縄	0.6	2.9	62.6	31.8	2.0	100
合計	0.6	3.5	57.0	36.3	2.5	100

(注) 割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は 100%にならない場合がある。



### 別表9の1 病院収容所要時間別搬送人員の状況

(入電から医師引継ぎまでに要した時間別搬送人員)

(令和3年中 単位:人)

区分	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	合計	平均 (分)	令和2年中 平均(分)	区分
都道府県										都道府県
北海道	32 ( 0 )	6,320 ( 39 )	50,517 ( 1,146 )	144,787 ( 16,880 )	27,900 ( 10,597 )	1,825 ( 1,232 )	231,281 ( 29,994 )	41.9	40.5	北海道
青森	1 ( 0 )	860 ( 9 )	9,344 ( 255 )	29,472 ( 2,221 )	4,611 ( 1,127 )	184 ( 112 )	44,472 ( 3,724 )	40.9	38.8	青森
岩手	3 ( 0 )	529 ( 4 )	6,210 ( 202 )	32,651 ( 3,080 )	7,248 ( 1,857 )	409 ( 263 )	47,050 ( 5,406 )	45.7	44.7	岩手
宮城	7 ( 0 )	817 ( 6 )	13,357 ( 486 )	66,136 ( 9,783 )	14,525 ( 5,427 )	506 ( 238 )	95,348 ( 15,940 )	44.9	43.0	宮城
秋田	2 ( 0 )	1,160 ( 2 )	10,704 ( 100 )	22,540 ( 3,534 )	3,487 ( 1,761 )	187 ( 99 )	38,080 ( 5,496 )	39.1	37.7	秋田
山形	1 ( 0 )	391 ( 9 )	7,359 ( 462 )	27,849 ( 6,152 )	4,040 ( 2,207 )	130 ( 96 )	39,770 ( 8,926 )	41.3	39.3	山形
福島	5 ( 0 )	354 ( 1 )	7,287 ( 152 )	47,322 ( 5,168 )	16,131 ( 4,787 )	900 ( 453 )	71,999 ( 10,561 )	50.0	47.4	福島
茨城	5 ( 0 )	762 ( 49 )	14,979 ( 1,376 )	81,327 ( 25,533 )	16,656 ( 12,139 )	561 ( 472 )	113,690 ( 39,569 )	44.9	44.1	茨城
栃木	17 ( 0 )	1,180 ( 20 )	10,973 ( 559 )	47,422 ( 9,371 )	10,042 ( 4,593 )	379 ( 225 )	70,013 ( 14,768 )	44.1	42.6	栃木
群馬	11 ( 0 )	2,023 ( 63 )	19,050 ( 1,235 )	51,218 ( 10,598 )	6,672 ( 3,295 )	274 ( 182 )	79,248 ( 15,373 )	39.4	38.3	群馬
埼玉	7 ( 0 )	1,209 ( 84 )	31,262 ( 2,965 )	208,753 ( 46,191 )	48,985 ( 25,143 )	3,667 ( 2,663 )	293,883 ( 77,046 )	47.4	44.5	埼玉
千葉	9 ( 1 )	1,099 ( 38 )	23,031 ( 1,960 )	191,658 ( 44,970 )	56,415 ( 25,794 )	3,771 ( 2,453 )	275,983 ( 75,216 )	49.7	46.5	千葉
東京	2 ( 0 )	317 ( 6 )	22,600 ( 243 )	430,148 ( 8,771 )	167,763 ( 5,741 )	13,848 ( 487 )	634,678 ( 15,248 )	55.5	50.9	東京
神奈川	14 ( 0 )	2,637 ( 68 )	56,672 ( 5,170 )	299,901 ( 46,815 )	49,900 ( 11,783 )	2,183 ( 646 )	411,307 ( 64,482 )	43.8	41.7	神奈川
新潟	6 ( 0 )	607 ( 11 )	11,188 ( 260 )	62,001 ( 6,745 )	16,506 ( 5,995 )	789 ( 473 )	91,077 ( 13,484 )	46.9	44.8	新潟
富山	1 ( 0 )	1,334 ( 26 )	14,740 ( 627 )	23,406 ( 3,735 )	978 ( 321 )	45 ( 17 )	40,504 ( 4,726 )	33.6	32.2	富山
石川	4 ( 0 )	1,130 ( 29 )	11,925 ( 973 )	25,308 ( 6,591 )	2,111 ( 1,196 )	79 ( 64 )	40,557 ( 8,853 )	36.5	34.8	石川
福井	4 ( 0 )	1,632 ( 12 )	9,240 ( 573 )	14,820 ( 5,674 )	1,356 ( 924 )	48 ( 40 )	27,100 ( 7,223 )	35.1	34.0	福井
山梨	3 ( 1 )	293 ( 7 )	5,194 ( 269 )	24,818 ( 5,569 )	4,780 ( 2,730 )	185 ( 114 )	35,273 ( 8,690 )	44.0	43.2	山梨
長野	8 ( 0 )	1,464 ( 12 )	19,143 ( 261 )	57,672 ( 5,384 )	8,482 ( 2,291 )	242 ( 76 )	87,011 ( 8,024 )	40.3	39.4	長野
岐阜	4 ( 1 )	1,986 ( 113 )	24,874 ( 2,052 )	47,181 ( 13,996 )	4,793 ( 2,628 )	166 ( 119 )	79,004 ( 18,909 )	36.4	34.8	岐阜
静岡	7 ( 0 )	1,263 ( 18 )	24,821 ( 743 )	102,354 ( 11,853 )	14,092 ( 4,851 )	549 ( 264 )	143,086 ( 17,729 )	41.6	40.4	静岡
愛知	16 ( 0 )	10,758 ( 259 )	114,466 ( 12,113 )	172,811 ( 49,789 )	8,271 ( 4,084 )	340 ( 213 )	306,662 ( 66,458 )	33.5	32.6	愛知
三重	16 ( 0 )	1,880 ( 17 )	18,970 ( 474 )	53,321 ( 8,301 )	8,941 ( 5,041 )	309 ( 210 )	83,437 ( 14,043 )	40.6	38.7	三重
滋賀	6 ( 0 )	2,178 ( 26 )	18,843 ( 773 )	33,365 ( 3,716 )	2,083 ( 770 )	78 ( 38 )	56,553 ( 5,323 )	34.8	33.6	滋賀
京都	3 ( 0 )	3,546 ( 135 )	42,483 ( 3,937 )	68,760 ( 12,657 )	5,395 ( 2,088 )	162 ( 81 )	120,349 ( 18,898 )	34.8	33.1	京都
大阪	44 ( 3 )	7,380 ( 454 )	119,253 ( 13,876 )	312,580 ( 78,836 )	34,952 ( 16,243 )	3,591 ( 1,834 )	477,800 ( 111,246 )	39.4	36.5	大阪
兵庫	29 ( 0 )	3,799 ( 138 )	52,266 ( 4,005 )	161,526 ( 29,313 )	22,479 ( 9,360 )	955 ( 613 )	241,054 ( 43,429 )	40.4	37.9	兵庫
奈良	3 ( 0 )	927 ( 15 )	11,403 ( 824 )	46,164 ( 6,726 )	8,150 ( 1,903 )	427 ( 111 )	67,074 ( 9,579 )	43.0	40.7	奈良
和歌山	5 ( 0 )	1,174 ( 128 )	11,219 ( 1,001 )	27,934 ( 8,173 )	4,842 ( 3,140 )	259 ( 194 )	45,433 ( 12,636 )	40.4	39.1	和歌山
鳥取	0 ( 0 )	1,151 ( 0 )	7,882 ( 24 )	14,331 ( 206 )	1,294 ( 132 )	29 ( 11 )	24,687 ( 373 )	35.9	35.6	鳥取
島根	2 ( 0 )	1,438 ( 1 )	8,797 ( 50 )	15,509 ( 2,179 )	2,986 ( 1,330 )	60 ( 53 )	28,792 ( 3,613 )	38.2	37.6	島根
岡山	7 ( 0 )	1,593 ( 13 )	18,944 ( 717 )	52,353 ( 9,822 )	7,215 ( 3,971 )	172 ( 117 )	80,284 ( 14,640 )	39.6	38.3	岡山
広島	22 ( 0 )	1,976 ( 18 )	21,149 ( 655 )	75,950 ( 7,451 )	13,652 ( 3,780 )	527 ( 184 )	113,276 ( 12,088 )	42.5	40.8	広島
山口	5 ( 0 )	1,333 ( 20 )	10,266 ( 365 )	39,020 ( 3,565 )	7,671 ( 2,203 )	213 ( 120 )	58,508 ( 6,273 )	42.7	41.1	山口
徳島	5 ( 0 )	1,006 ( 44 )	7,293 ( 979 )	19,423 ( 7,655 )	3,548 ( 2,485 )	202 ( 156 )	31,477 ( 11,319 )	40.9	39.4	徳島
香川	5 ( 0 )	1,038 ( 9 )	10,116 ( 737 )	27,354 ( 6,529 )	2,750 ( 1,285 )	90 ( 57 )	41,353 ( 8,617 )	38.2	36.7	香川
愛媛	20 ( 3 )	2,014 ( 16 )	15,930 ( 426 )	37,235 ( 6,605 )	5,811 ( 2,712 )	217 ( 102 )	61,227 ( 9,864 )	39.1	36.9	愛媛
高知	1 ( 0 )	776 ( 21 )	7,685 ( 826 )	23,907 ( 9,017 )	4,615 ( 3,554 )	185 ( 153 )	37,169 ( 13,565 )	42.0	42.1	高知
福岡	20 ( 1 )	7,535 ( 384 )	76,173 ( 7,650 )	134,947 ( 32,577 )	7,716 ( 3,526 )	279 ( 145 )	226,670 ( 44,289 )	34.6	33.1	福岡
佐賀	7 ( 0 )	636 ( 6 )	6,988 ( 292 )	22,482 ( 3,415 )	2,272 ( 850 )	57 ( 20 )	32,442 ( 4,583 )	39.2	38.1	佐賀
長崎	5 ( 0 )	1,703 ( 8 )	11,383 ( 95 )	38,671 ( 2,108 )	7,319 ( 1,454 )	184 ( 55 )	59,265 ( 3,720 )	42.1	40.9	長崎
熊本	3 ( 0 )	1,333 ( 5 )	18,014 ( 625 )	51,332 ( 10,361 )	6,878 ( 3,067 )	209 ( 125 )	77,769 ( 14,183 )	39.7	38.9	熊本
大分	10 ( 0 )	1,774 ( 17 )	14,034 ( 543 )	26,577 ( 5,422 )	4,997 ( 2,897 )	117 ( 70 )	47,509 ( 8,949 )	38.7	37.5	大分
宮崎	23 ( 0 )	881 ( 5 )	7,186 ( 40 )	26,972 ( 2,081 )	5,601 ( 2,046 )	143 ( 85 )	40,806 ( 4,257 )	43.1	41.3	宮崎
鹿児島	12 ( 3 )	2,490 ( 17 )	16,834 ( 198 )	45,759 ( 6,034 )	8,606 ( 3,994 )	262 ( 156 )	73,963 ( 10,402 )	40.9	40.4	鹿児島
沖縄	6 ( 1 )	1,642 ( 322 )	21,867 ( 8,444 )	42,177 ( 24,804 )	2,025 ( 1,478 )	54 ( 40 )	67,771 ( 35,089 )	34.6	33.3	沖縄
合計	428 ( 14 )	91,328 ( 2,704 )	1,073,314 ( 81,738 )	3,609,204 ( 635,956 )	677,442 ( 220,580 )	40,028 ( 15,731 )	5,491,744 ( 956,723 )	42.8	40.6	合計

(注) ( ) 書きは、管外搬送分で内書きである。

## 別表 9 の 2 病院収容所要時間別搬送人員の構成比

(入電から医師引継ぎまでに要した時間別搬送人員の構成比) (令和3年中 単位：%)

区分	区分						合計	区分
	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上		
北海道	0.0 ( 0.0 )	2.7 ( 0.0 )	21.8 ( 0.5 )	62.6 ( 7.3 )	12.0 ( 4.6 )	0.8 ( 0.5 )	100	北海道
青森	0.0 ( 0.0 )	1.9 ( 0.0 )	21.0 ( 0.6 )	66.3 ( 5.0 )	10.4 ( 2.5 )	0.4 ( 0.3 )	100	青森
岩手	0.0 ( 0.0 )	1.1 ( 0.0 )	13.2 ( 0.4 )	69.4 ( 6.5 )	15.4 ( 3.9 )	0.9 ( 0.6 )	100	岩手
宮城	0.0 ( 0.0 )	0.9 ( 0.0 )	14.0 ( 0.5 )	69.4 ( 10.3 )	15.2 ( 5.7 )	0.5 ( 0.2 )	100	宮城
秋田	0.0 ( 0.0 )	3.0 ( 0.0 )	28.1 ( 0.3 )	59.2 ( 9.3 )	9.2 ( 4.6 )	0.5 ( 0.3 )	100	秋田
山形	0.0 ( 0.0 )	1.0 ( 0.0 )	18.5 ( 1.2 )	70.0 ( 15.5 )	10.2 ( 5.5 )	0.3 ( 0.2 )	100	山形
福島	0.0 ( 0.0 )	0.5 ( 0.0 )	10.1 ( 0.2 )	65.7 ( 7.2 )	22.4 ( 6.6 )	1.3 ( 0.6 )	100	福島
茨城	0.0 ( 0.0 )	0.7 ( 0.0 )	12.6 ( 1.2 )	71.5 ( 22.5 )	14.7 ( 10.7 )	0.5 ( 0.4 )	100	茨城
栃木	0.0 ( 0.0 )	1.7 ( 0.0 )	15.7 ( 0.8 )	67.7 ( 13.4 )	14.3 ( 6.6 )	0.5 ( 0.3 )	100	栃木
群馬	0.0 ( 0.0 )	2.6 ( 0.1 )	24.0 ( 1.6 )	64.6 ( 13.4 )	8.4 ( 4.2 )	0.3 ( 0.2 )	100	群馬
埼玉	0.0 ( 0.0 )	0.4 ( 0.0 )	10.6 ( 1.0 )	71.0 ( 15.7 )	16.7 ( 8.6 )	1.2 ( 0.9 )	100	埼玉
千葉	0.0 ( 0.0 )	0.4 ( 0.0 )	8.3 ( 0.7 )	69.4 ( 16.3 )	20.4 ( 9.3 )	1.4 ( 0.9 )	100	千葉
東京	0.0 ( 0.0 )	0.0 ( 0.0 )	3.6 ( 0.0 )	67.8 ( 1.4 )	26.4 ( 0.9 )	2.2 ( 0.1 )	100	東京
神奈川	0.0 ( 0.0 )	0.6 ( 0.0 )	13.8 ( 1.3 )	72.9 ( 11.4 )	12.1 ( 2.9 )	0.5 ( 0.2 )	100	神奈川
新潟	0.0 ( 0.0 )	0.7 ( 0.0 )	12.3 ( 0.3 )	68.1 ( 7.4 )	18.1 ( 6.6 )	0.8 ( 0.5 )	100	新潟
富山	0.0 ( 0.0 )	3.3 ( 0.1 )	36.4 ( 1.5 )	57.8 ( 9.2 )	2.4 ( 0.8 )	0.1 ( 0.0 )	100	富山
石川	0.0 ( 0.0 )	2.8 ( 0.1 )	29.4 ( 2.4 )	62.4 ( 16.3 )	5.2 ( 2.9 )	0.2 ( 0.2 )	100	石川
福井	0.0 ( 0.0 )	6.0 ( 0.0 )	34.1 ( 2.1 )	54.7 ( 20.9 )	5.0 ( 3.4 )	0.2 ( 0.1 )	100	福井
山梨	0.0 ( 0.0 )	0.8 ( 0.0 )	14.7 ( 0.8 )	70.4 ( 15.8 )	13.6 ( 7.7 )	0.5 ( 0.3 )	100	山梨
長野	0.0 ( 0.0 )	1.7 ( 0.0 )	22.0 ( 0.3 )	66.3 ( 6.2 )	9.7 ( 2.6 )	0.3 ( 0.1 )	100	長野
岐阜	0.0 ( 0.0 )	2.5 ( 0.1 )	31.5 ( 2.6 )	59.7 ( 17.7 )	6.1 ( 3.3 )	0.2 ( 0.2 )	100	岐阜
静岡	0.0 ( 0.0 )	0.9 ( 0.0 )	17.3 ( 0.5 )	71.5 ( 8.3 )	9.8 ( 3.4 )	0.4 ( 0.2 )	100	静岡
愛知	0.0 ( 0.0 )	3.5 ( 0.1 )	37.3 ( 3.9 )	56.4 ( 16.2 )	2.7 ( 1.3 )	0.1 ( 0.1 )	100	愛知
三重	0.0 ( 0.0 )	2.3 ( 0.0 )	22.7 ( 0.6 )	63.9 ( 9.9 )	10.7 ( 6.0 )	0.4 ( 0.3 )	100	三重
滋賀	0.0 ( 0.0 )	3.9 ( 0.0 )	33.3 ( 1.4 )	59.0 ( 6.6 )	3.7 ( 1.4 )	0.1 ( 0.1 )	100	滋賀
京都	0.0 ( 0.0 )	2.9 ( 0.1 )	35.3 ( 3.3 )	57.1 ( 10.5 )	4.5 ( 1.7 )	0.1 ( 0.1 )	100	京都
大阪	0.0 ( 0.0 )	1.5 ( 0.1 )	25.0 ( 2.9 )	65.4 ( 16.5 )	7.3 ( 3.4 )	0.8 ( 0.4 )	100	大阪
兵庫	0.0 ( 0.0 )	1.6 ( 0.1 )	21.7 ( 1.7 )	67.0 ( 12.2 )	9.3 ( 3.9 )	0.4 ( 0.3 )	100	兵庫
奈良	0.0 ( 0.0 )	1.4 ( 0.0 )	17.0 ( 1.2 )	68.8 ( 10.0 )	12.2 ( 2.8 )	0.6 ( 0.2 )	100	奈良
和歌山	0.0 ( 0.0 )	2.6 ( 0.3 )	24.7 ( 2.2 )	61.5 ( 18.0 )	10.7 ( 6.9 )	0.6 ( 0.4 )	100	和歌山
鳥取	0.0 ( 0.0 )	4.7 ( 0.0 )	31.9 ( 0.1 )	58.1 ( 0.8 )	5.2 ( 0.5 )	0.1 ( 0.0 )	100	鳥取
島根	0.0 ( 0.0 )	5.0 ( 0.0 )	30.6 ( 0.2 )	53.9 ( 7.6 )	10.4 ( 4.6 )	0.2 ( 0.2 )	100	島根
岡山	0.0 ( 0.0 )	2.0 ( 0.0 )	23.6 ( 0.9 )	65.2 ( 12.2 )	9.0 ( 4.9 )	0.2 ( 0.1 )	100	岡山
広島	0.0 ( 0.0 )	1.7 ( 0.0 )	18.7 ( 0.6 )	67.0 ( 6.6 )	12.1 ( 3.3 )	0.5 ( 0.2 )	100	広島
山口	0.0 ( 0.0 )	2.3 ( 0.0 )	17.5 ( 0.6 )	66.7 ( 6.1 )	13.1 ( 3.8 )	0.4 ( 0.2 )	100	山口
徳島	0.0 ( 0.0 )	3.2 ( 0.1 )	23.2 ( 3.1 )	61.7 ( 24.3 )	11.3 ( 7.9 )	0.6 ( 0.5 )	100	徳島
香川	0.0 ( 0.0 )	2.5 ( 0.0 )	24.5 ( 1.8 )	66.1 ( 15.8 )	6.7 ( 3.1 )	0.2 ( 0.1 )	100	香川
愛媛	0.0 ( 0.0 )	3.3 ( 0.0 )	26.0 ( 0.7 )	60.8 ( 10.8 )	9.5 ( 4.4 )	0.4 ( 0.2 )	100	愛媛
高知	0.0 ( 0.0 )	2.1 ( 0.1 )	20.7 ( 2.2 )	64.3 ( 24.3 )	12.4 ( 9.6 )	0.5 ( 0.4 )	100	高知
福岡	0.0 ( 0.0 )	3.3 ( 0.2 )	33.6 ( 3.4 )	59.5 ( 14.4 )	3.4 ( 1.6 )	0.1 ( 0.1 )	100	福岡
佐賀	0.0 ( 0.0 )	2.0 ( 0.0 )	21.5 ( 0.9 )	69.3 ( 10.5 )	7.0 ( 2.6 )	0.2 ( 0.1 )	100	佐賀
長崎	0.0 ( 0.0 )	2.9 ( 0.0 )	19.2 ( 0.2 )	65.3 ( 3.6 )	12.3 ( 2.5 )	0.3 ( 0.1 )	100	長崎
熊本	0.0 ( 0.0 )	1.7 ( 0.0 )	23.2 ( 0.8 )	66.0 ( 13.3 )	8.8 ( 3.9 )	0.3 ( 0.2 )	100	熊本
大分	0.0 ( 0.0 )	3.7 ( 0.0 )	29.5 ( 1.1 )	55.9 ( 11.4 )	10.5 ( 6.1 )	0.2 ( 0.1 )	100	大分
宮崎	0.1 ( 0.0 )	2.2 ( 0.0 )	17.6 ( 0.1 )	66.1 ( 5.1 )	13.7 ( 5.0 )	0.4 ( 0.2 )	100	宮崎
鹿児島	0.0 ( 0.0 )	3.4 ( 0.0 )	22.8 ( 0.3 )	61.9 ( 8.2 )	11.6 ( 5.4 )	0.4 ( 0.2 )	100	鹿児島
沖縄	0.0 ( 0.0 )	2.4 ( 0.5 )	32.3 ( 12.5 )	62.2 ( 36.6 )	3.0 ( 2.2 )	0.1 ( 0.1 )	100	沖縄
合計	0.0 ( 0.0 )	1.7 ( 0.0 )	19.5 ( 1.5 )	65.7 ( 11.6 )	12.3 ( 4.0 )	0.7 ( 0.3 )	100	合計

(注) 1 ( ) 書きは、管外搬送分で内書きである。

2 割合の算出に当たっては、端数処理(四捨五入)のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

別表10 入電時刻別事故種別搬送人員の状況及び構成比

(令和3年中 単位：人・%)

時刻		事故種別	急病	交通	一般負傷	その他	合計
合計			3,605,179 (100)	340,573 (100)	879,503 (100)	666,489 (100)	5,491,744 (100)
時            刻	0～2時 (構成比)		181,037 (5.0)	6,029 (1.8)	27,724 (3.2)	15,087 (2.3)	229,877 (4.2)
	2～4時 (構成比)		151,035 (4.2)	4,149 (1.2)	20,963 (2.4)	10,515 (1.6)	186,662 (3.4)
	4～6時 (構成比)		162,360 (4.5)	6,388 (1.9)	25,405 (2.9)	9,013 (1.4)	203,166 (3.7)
	6～8時 (構成比)		272,959 (7.6)	27,346 (8.0)	57,589 (6.5)	12,863 (1.9)	370,757 (6.8)
	8～10時 (構成比)		433,319 (12.0)	45,370 (13.3)	115,697 (13.2)	69,569 (10.4)	663,955 (12.1)
	10～12時 (構成比)		411,427 (11.4)	43,694 (12.8)	118,196 (13.4)	137,942 (20.7)	711,259 (13.0)
	12～14時 (構成比)		375,068 (10.4)	41,015 (12.0)	103,237 (11.7)	126,073 (18.9)	645,393 (11.8)
	14～16時 (構成比)		349,325 (9.7)	42,908 (12.6)	101,611 (11.6)	94,329 (14.2)	588,173 (10.7)
	16～18時 (構成比)		347,068 (9.6)	50,456 (14.8)	103,550 (11.8)	89,051 (13.4)	590,125 (10.7)
	18～20時 (構成比)		362,689 (10.1)	41,092 (12.1)	91,516 (10.4)	49,076 (7.4)	544,373 (9.9)
	20～22時 (構成比)		315,121 (8.7)	21,216 (6.2)	69,587 (7.9)	30,762 (4.6)	436,686 (8.0)
	22～24時 (構成比)		243,771 (6.8)	10,910 (3.2)	44,428 (5.1)	22,209 (3.3)	321,318 (5.9)

(注) 割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

別表11 発生場所別傷病程度別搬送人員

(令和3年中 単位:人)

		R3年					
		死亡	重症 (長期入院)	中等症 (入院診療)	軽症 (外来診療)	その他	合計
住宅	(1) 居間、応接室、寝室等の部屋	40,018	197,713	1,208,312	1,183,415	577	2,630,035
	(2) 廊下、玄関等の通路	3,000	19,416	120,914	155,364	82	298,776
	(3) 階段、踊場	366	2,408	14,109	19,553	4	36,440
	(4) 便所:便所	2,621	7,451	30,684	27,205	18	67,979
	(5) 浴室:浴室、シャワー室、洗面所	6,683	7,408	20,098	22,077	19	56,285
	(6) 台所:台所、食堂	1,222	5,064	17,068	20,461	9	43,824
	(7) エレベーター:エレベーター内	5	23	189	272	0	489
	(8) 屋根・屋上:屋根、屋上、物干し台、ベランダ、バルコニー等	159	687	2,122	2,204	3	5,175
	(9) 庭:庭、テラス(当該建物の敷地内の空地)	1,185	7,706	29,355	34,648	31	72,925
	(10) その他:上記(1)～(9)に該当しない場所(物置、地下室、車庫)	1,354	3,594	13,964	18,844	18	37,774
公衆出入場所	(1) 劇場、映画館、演芸場、観覧場:劇場、映画館等の観覧場	74	484	1,272	1,898	0	3,728
	(2) 公会堂、集会場:会議、社交等の目的で多数の人々が集まる場所	51	503	2,663	5,272	1	8,490
	(3) 性風俗関連特殊営業を含む店舗	11	109	686	1,752	2	2,560
	(4) 遊技場、ダンスホール:ダンスホール、ボウリング場、ゲームセンター、パチンコ等の各種遊技場	127	885	3,652	6,521	1	11,186
	(5) 待合、料理店、飲食店:待合、料理店、飲食店	174	1,541	11,733	30,464	12	43,924
	(6) デパート、百貨店	99	960	7,573	19,658	0	28,290
	(7) マーケット、店舗、展示場:物品の販売、賃借、修理業の店舗、サービス業の店舗等あらゆる店舗	337	3,016	19,631	43,289	14	66,287
	(8) 旅館、ホテル、宿泊所:旅館、ホテル、宿泊所(バンガローを含む)	377	1,680	15,471	14,357	11	31,896
	(9) 病院:病床数20以上の医療機関	796	73,749	235,461	17,297	498	327,801
	(10) 診療所(医院):病床数19以下の診療所、医院	523	21,898	141,168	26,582	168	190,339
	(11) 老人ホーム:老人ホーム、老人保健施設等の老人の収容施設	14,248	59,566	282,772	96,333	88	453,007
	(12) 幼稚園(グラウンド、附属設備を含む):幼稚園、保育園等の保育施設	5	187	2,487	6,111	1	8,791
	(13) 盲・ろう学校、養護学校(グラウンド、附属設備を含む)	26	116	855	1,168	1	2,166
	(14) 小・中・高・大学(グラウンド、附属設備を含む)	39	729	10,416	30,119	2	41,305
	(15) 各種学校(グラウンド、附属設備を含む)	2	76	933	2,332	1	3,344
	(16) 図書館、博物館、美術館、郷土館、記念館、画廊等	4	75	366	912	0	1,357
	(17) 公衆浴場、蒸気・熱気浴場:公衆浴場、蒸気・熱気浴場	311	696	2,788	6,042	3	9,840
	(18) 駅構内(ホーム等駅の附属設備を含む):駅舎、ホール、電車内等	105	1,023	10,048	31,592	2	42,770
	(19) 空港(整備工場、格納庫を除く):滑走路、誘導路、ヘリポート(建物は除く)	5	203	556	566	1	1,331
	(20) 寺社、教会(境内を含む):寺、神社、教会(斎場、墓地を含む)	58	405	1,925	3,422	0	5,810
	(21) 映画・テレビスタジオ:映画・テレビスタジオ(構内を含む)	0	6	28	76	0	110
	(22) 駐車場、車庫:駐車場、車庫(一般住宅、高層住宅の車庫、駐車場を除く)	364	2,193	11,209	22,445	7	36,218
	(23) 地下街	3	22	164	580	0	769
	(24) 運動場、競技場(グラウンド、附属設備を含む)	106	1,218	7,775	18,153	7	27,259
	(25) 水泳場、プール(附属設備を含む):屋内プール、屋外プール	3	18	50	100	0	171
	(26) 官公庁	92	1,206	9,353	19,516	8	30,175
	(27) その他:上記(1)～(26)に該当しないもの(動物園、遊園地、キャンプ場等)	301	1,519	9,185	18,121	8	29,134
仕事場	(1) 工場(敷地を含む):工場	155	1,549	6,678	10,836	5	19,223
	(2) 屋内作業所:工場以外の屋内作業所	167	1,605	8,156	14,530	9	24,467
	(3) 屋外作業所:工場以外の屋外作業所	176	1,510	5,288	6,578	6	13,558
	(4) 屋内工事現場:建設又は建築の屋内の場所	20	233	710	877	0	1,840
	(5) 屋外工事現場:建設又は建築の屋外の場所	102	822	2,414	2,437	4	5,779
	(6) 事務所:各種事業所の事務所	194	2,212	12,328	23,038	6	37,778
	(7) 倉庫:倉庫(地下倉庫を除く)	48	226	799	1,279	2	2,354
	(8) その他:(1)～(7)に該当しないもの	232	1,574	7,538	13,717	8	23,069
道路	(1) 一般道路(歩道及び歩道橋等を含む)	2,267	16,259	104,308	276,265	117	399,216
	(2) 交差点	227	3,089	18,806	73,340	20	95,482
	(3) 自動車専用道路	73	524	2,250	6,483	1	9,331
	(4) 高速自動車国道	85	437	1,874	4,656	2	7,054
	(5) その他:上記(1)から(4)に該当しないもの	373	2,611	15,030	40,788	15	58,817
その他	(1) 公園:公園、庭園、児童公園、遊歩道等	135	522	3,519	10,155	3	14,334
	(2) 広場(公共用)	15	97	408	807	4	1,331
	(3) 空地(庭、広場以外):河川敷、堤防、更地等の空地	130	535	1,653	2,246	3	4,567
	(4) 河・池:河川、運河、池、沼、貯水池等	443	680	1,789	1,930	3	4,845
	(5) 山林・原野:山、森林、原野、ゴルフ場	180	979	3,061	3,857	23	8,100
	(6) 農地:田、畑等の農地	419	1,775	5,011	5,172	9	12,386
	(7) 海	308	387	1,031	1,722	5	3,453
	(8) 軌道敷、踏切:軌道敷内及び踏切	95	145	315	801	0	1,356
	(9) その他:上記(1)から(8)に該当しないもの(発生場所が不明なもの含む)	750	3,116	31,531	50,225	22	85,644
合計		81,448	466,440	2,481,532	2,460,460	1,864	5,491,744

別表12 応急手当普及啓発講習活動状況

(令和3年中 単位：人・回・体・台)

区分 都道府県	普通救命 講習 受講者数	普通救命 講習 実施回数	上級救命 講習 受講者数	上級救命 講習 実施回数	普通・上級救命講 習人口1万人あた りの受講者数	その他講習 受講者数	救命入門 コース 受講者数	蘇生訓練用人数		外備用 模型セット 台数	訓練用 AED 台数	R2国勢調査 人口
								成人	乳幼児			
北海道	15,415	1,980	321	60	30.1	14,367	4,886	1,675	640	34	987	5,224,614
青森	5,292	338	61	5	43.2	1,507	433	470	202	6	349	1,237,984
岩手	3,616	317	165	10	31.2	5,813	2,331	471	193	7	328	1,210,534
宮城	14,829	1,312	539	53	66.8	8,506	3,294	465	203	6	428	2,301,996
秋田	4,381	330	88	8	46.6	4,866	2,872	339	137	11	213	959,502
山形	3,076	229	182	8	30.5	4,595	2,162	294	176	10	238	1,068,027
福島	4,608	468	16	2	25.2	6,979	396	503	177	11	361	1,833,152
茨城	7,603	623	19	3	26.6	4,820	2,984	646	447	15	470	2,867,009
栃木	3,798	308	14	2	19.7	7,859	1,652	521	249	11	337	1,933,146
群馬	2,197	168	30	2	11.5	2,572	2,531	595	287	8	458	1,939,110
埼玉	18,829	1,515	574	46	26.4	26,251	26,272	1,591	1,046	39	1,160	7,344,765
千葉	11,046	1,038	1,081	75	19.3	14,050	6,937	1,128	498	23	850	6,284,480
東京	91,008	6,498	36,720	2,718	90.9	55,544	5,781	1,506	470	11	1,298	14,047,594
神奈川	19,142	1,252	2,631	145	23.6	30,987	6,820	1,030	500	11	829	9,237,337
新潟	9,518	706	256	14	44.4	13,563	14,599	831	525	21	645	2,201,272
富山	5,141	350	290	23	52.5	7,205	3,323	242	115	4	179	1,034,814
石川	4,331	504	140	15	39.5	4,319	756	237	127	11	204	1,132,526
福井	2,825	237	26	7	37.2	4,924	1,327	445	203	5	166	766,863
山梨	2,099	141	29	2	26.3	1,572	130	213	186	4	167	809,974
長野	8,638	618	331	30	43.8	14,333	1,377	668	318	12	449	2,048,011
岐阜	6,234	553	286	23	33.0	10,702	6,399	1,263	573	14	575	1,978,742
静岡	7,314	755	152	14	20.5	17,102	4,333	926	529	19	645	3,633,202
愛知	24,938	2,067	707	64	34.0	23,860	25,228	1,193	713	18	1,017	7,542,415
三重	4,421	403	135	13	25.7	3,602	4,061	508	240	7	301	1,770,254
滋賀	2,489	239	47	4	17.9	8,653	1,777	277	146	7	186	1,413,610
京都	20,375	1,592	467	43	80.8	6,234	2,920	619	239	13	358	2,578,087
大阪	18,402	1,484	1,115	81	22.1	20,156	26,251	1,562	664	20	746	8,837,685
兵庫	15,022	932	322	25	28.1	9,962	6,120	1,275	727	12	1,003	5,465,002
奈良	1,347	220	53	6	10.6	662	1,288	217	109	3	154	1,324,473
和歌山	3,985	296	183	15	45.2	6,884	1,672	312	167	5	246	922,584
鳥取	2,052	178	1	1	37.1	3,488	691	116	154	1	128	553,407
島根	2,901	238	74	4	44.3	6,829	1,549	620	237	7	311	671,126
岡山	4,922	352	99	9	26.6	8,993	1,637	427	267	10	359	1,888,432
広島	8,389	586	119	10	30.4	6,821	8,668	472	267	17	356	2,799,702
山口	4,278	341	76	21	32.4	3,363	5,569	343	251	8	287	1,342,059
徳島	4,239	168	22	1	59.2	2,784	2,070	149	95	1	274	719,559
香川	923	117	42	3	10.2	2,050	2,038	242	90	4	116	950,244
愛媛	5,949	433	116	7	45.4	11,613	2,478	462	197	14	304	1,334,841
高知	2,285	245	50	5	33.8	2,999	1,050	387	203	11	249	691,527
福岡	17,302	719	544	25	34.8	16,919	19,994	939	345	8	435	5,135,214
佐賀	2,235	187	86	4	28.6	5,659	2,573	133	78	4	113	811,442
長崎	3,061	259	134	9	24.3	10,783	1,228	502	349	10	325	1,312,317
熊本	2,090	145	180	10	13.1	10,647	2,686	539	366	8	331	1,738,301
大分	4,156	316	115	5	38.0	4,924	464	268	147	12	206	1,123,852
宮崎	2,289	172	12	3	21.5	5,274	12,899	371	200	4	220	1,069,576
鹿児島	9,603	531	198	31	61.7	24,403	3,804	646	260	5	376	1,588,256
沖縄	2,647	370	64	11	18.5	418	1,238	298	272	8	188	1,467,480
合計	421,240	32,830	48,912	3,675	37.3	470,416	241,548	28,936	14,584	510	19,925	126,146,099
前年	369,750	25,799	39,723	2,689	32.5	437,775	221,292	28,918	14,401	533	19,689	
前年増減数	51,490	7,031	9,189	986	4.8	32,641	20,256	18	183	▲ 23	236	

別表13 応急手当指導員養成状況

(令和3年中 単位：人・回)

区分	応急手当指導員養成講習							
	令和3年中 修了者	講習Ⅰ 修了者	講習Ⅱ 修了者	講習Ⅲ 修了者	消防長 認定者	講習Ⅰ 免除者	講習 回数	応急手当 指導員数
都道府県								
北海道	394	322	36	0	28	8	54	10,947
青森	134	48	6	0	80	0	11	2,890
岩手	62	52	2	0	8	0	6	1,930
宮城	272	272	0	0	0	0	5	3,636
秋田	61	18	31	12	0	0	16	2,065
山形	68	28	28	12	0	0	13	2,095
福島	179	133	46	0	0	0	3	2,640
茨城	205	140	57	0	8	0	24	4,525
栃木	77	63	0	0	6	8	7	3,112
群馬	114	79	34	1	0	0	39	2,717
埼玉	319	42	176	0	100	1	47	10,979
千葉	487	338	109	0	39	1	51	7,232
東京	698	111	497	45	26	19	18	2,191
神奈川	403	314	7	0	80	2	61	11,764
新潟	191	9	176	0	6	0	11	8,733
富山	39	6	14	3	0	16	1	978
石川	62	18	40	1	1	2	11	952
福井	193	131	6	0	14	42	5	1,265
山梨	81	50	0	0	2	29	4	1,150
長野	87	83	0	4	0	0	27	2,873
岐阜	214	148	0	34	14	18	9	3,316
静岡	117	6	70	19	12	10	8	5,157
愛知	411	377	6	26	2	0	142	11,397
三重	113	92	15	0	0	6	19	3,206
滋賀	44	44	0	0	0	0	20	1,858
京都	121	116	0	0	4	1	9	1,815
大阪	441	251	20	0	165	5	34	12,395
兵庫	216	125	23	0	28	40	26	8,297
奈良	110	110	0	0	0	0	16	2,323
和歌山	57	55	0	2	0	0	3	1,530
鳥取	64	19	0	15	30	0	8	1,803
島根	41	27	9	0	5	0	3	1,533
岡山	57	55	0	0	2	0	4	2,644
広島	232	10	123	71	28	0	7	4,962
山口	53	52	0	0	1	0	23	2,607
徳島	21	19	0	0	2	0	8	864
香川	36	29	0	6	1	0	0	757
愛媛	117	36	4	0	12	65	13	2,468
高知	18	18	0	0	0	0	5	1,281
福岡	141	89	36	0	7	9	19	6,727
佐賀	49	48	0	1	0	0	16	972
長崎	56	48	3	0	5	0	13	1,570
熊本	380	325	43	4	7	1	40	2,976
大分	101	85	16	0	0	0	11	1,912
宮崎	20	0	19	1	0	0	2	1,511
鹿児島	193	9	76	0	101	7	28	2,903
沖縄	96	35	0	2	57	2	15	1,255
合計	7,645	4,485	1,728	259	881	292	915	174,713

別表14 都道府県別経営主体別救急病院及び診療所告示状況

(令和4年4月1日)

都道府県	病 院				病院 計	診療所	合 計	人口10万人 対救急医療 機関数
	国立	公立	公的	私的				
北海道	13	83	36	131	263	15	278	5.3
青森	4	22	1	18	45	2	47	3.8
岩手	1	22	4	21	48	0	48	4.0
宮城	3	27	6	34	70	3	73	3.2
秋田	3	10	8	6	27	0	27	2.8
山形	1	17	2	14	34	0	34	3.2
福島	2	10	9	34	55	0	55	3.0
茨城	4	3	14	63	84	9	93	3.2
栃木	3	2	6	46	57	15	72	3.7
群馬	4	11	3	55	73	5	78	4.0
埼玉	4	11	7	163	185	15	200	2.7
千葉	8	27	2	113	150	5	155	2.5
東京	15	21	5	273	314	8	322	2.3
神奈川	10	19	10	130	169	7	176	1.9
新潟	3	22	14	24	63	0	63	2.9
富山	3	12	5	17	37	2	39	3.8
石川	2	16	4	23	45	6	51	4.5
福井	2	5	5	28	40	11	51	6.7
山梨	3	14	2	19	38	5	43	5.3
長野	4	20	19	39	82	8	90	4.4
岐阜	2	15	10	35	62	4	66	3.3
静岡	6	21	10	35	72	4	76	2.1
愛知	7	26	10	109	152	12	164	2.2
三重	4	13	8	29	54	5	59	3.3
滋賀	3	12	4	12	31	0	31	2.2
京都	5	15	5	63	88	0	88	3.4
大阪	9	26	9	244	288	13	301	3.4
兵庫	6	34	4	137	181	5	186	3.4
奈良	2	9	3	28	42	0	42	3.2
和歌山	3	14	3	32	52	3	55	6.0
鳥取	3	8	2	5	18	0	18	3.3
島根	2	11	4	8	25	0	25	3.7
岡山	4	15	4	62	85	4	89	4.7
広島	6	17	10	85	118	16	134	4.8
山口	7	16	8	34	65	1	66	4.9
徳島	2	8	5	23	38	0	38	5.3
香川	5	8	4	32	49	10	59	6.2
愛媛	2	15	5	36	58	2	60	4.5
高知	3	9	2	25	39	2	41	5.9
福岡	7	17	14	108	146	3	149	2.9
佐賀	5	7	2	26	40	5	45	5.5
長崎	7	13	4	32	56	1	57	4.3
熊本	7	16	6	50	79	5	84	4.8
大分	4	5	4	43	56	0	56	5.0
宮崎	5	14	3	38	60	3	63	5.9
鹿児島	3	12	4	74	93	8	101	6.4
沖縄	1	6	3	17	27	0	27	1.8
合 計	212	756	312	2,673	3,953	222	4,175	3.3

(注) この表に計上されている数値は、救急業務を実施している市町村（消防の事務を処理する組合を含む。）にある病院及び診療所である。





## 第4章 救急蘇生統計

### 1 心肺蘇生統計の概要

#### (1) 心肺蘇生統計

我が国では、平成17年1月から全国の消防本部で一斉にウツタイン様式の導入を開始しており、消防庁としては、ウツタイン様式による調査結果をオンラインで集計・分析するためのシステムの運用も開始している。この結果、救急救命士が行う救急救命処置の効果等の検証や諸外国との比較が客観的データに基づき可能となることから、プレホスピタル・ケアの一層の充実強化を図ることが期待されている。

この調査では、心肺機能停止傷病者を原因別に分類（心疾患が原因となったものか、それ以外か）し、目撃の有無による分類（目撃した、又は音を聞いた）、目撃者による分類（一般市民か、救急隊）でデータを集計しているものである。さらに、救急隊接触時の初期心電図波形（VF/無脈性VTか、それ以外の波形か）や、心肺蘇生実施の有無、除細動実施の有無から、傷病者の1ヵ月後生存率、及び1ヵ月後社会復帰率の統計を取っているものである。

#### (2) ウツタイン様式（救急蘇生統計）

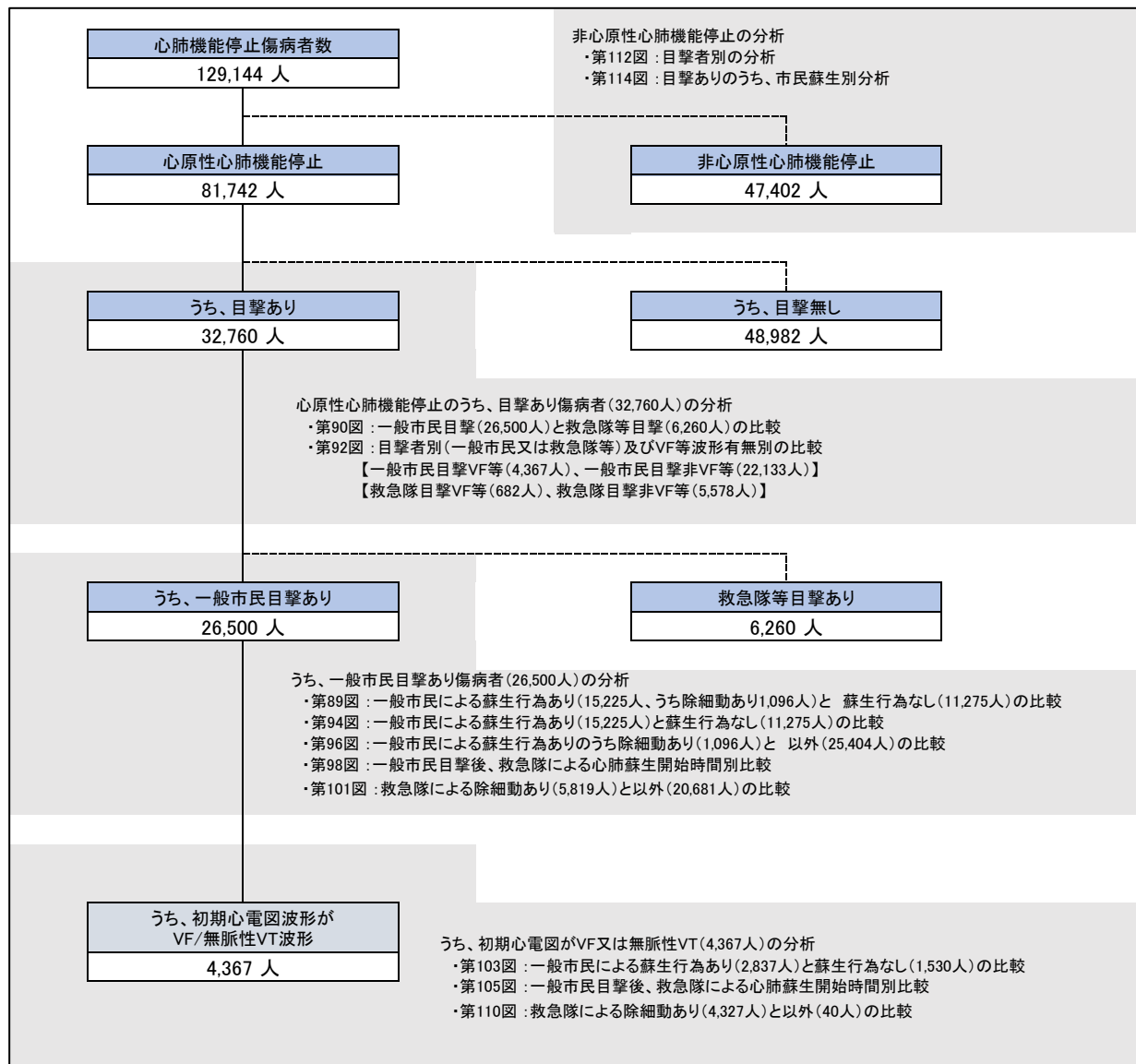
ウツタイン様式とは、心肺機能停止傷病者について地域間・国際間での蘇生率等の統計比較を可能とするために、その原因別（心臓に原因があるものか、それ以外か）の分類、心肺機能停止時点の目撃の有無、バイスタンダー（その場に居合わせた人）や救急隊による心肺蘇生の有無やその開始時期、除細動の有無などに応じた傷病者の経過の記録に関するガイドラインのことを指した様式を言う。

(注) 東日本大震災の影響により「第4章 救急蘇生統計」については、釜石大槌地区行政事務組合消防本部及び陸前高田市消防本部の平成23年分データは除いた数値で集計している。

## ウツタイン様式（救急蘇生統計）に基づく分析

令和3年中に救急搬送された心肺機能停止傷病者数は12万9,144人で、心原性心肺機能停止傷病者数は8万1,742人、非心原性心肺機能停止傷病者数は4万7,402人であった。また、救急蘇生統計で重要視されている心原性心肺機能停止の目撃あり傷病者（3万2,760人）と、うち、一般市民による目撃あり傷病者（2万6,500人）及び初期心電図で除細動が必要となる傷病者（4,367人）等を分析している。

### ウツタインの統計系統図



※ 初期心電図とは、救急隊等が傷病者に接触し最初に確認した心電図波形をいう。

用語の詳細は「用語の定義及び収集方法について」を参照

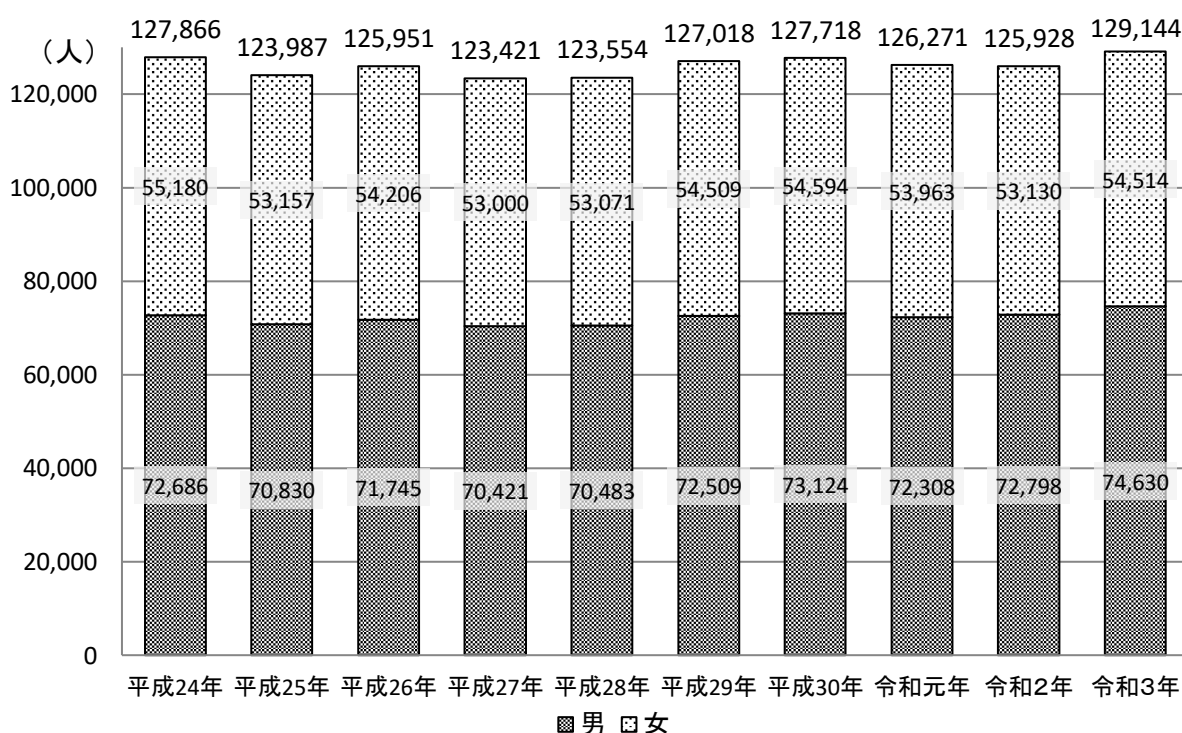
### (3) 心肺機能停止傷病者の性別及び年齢区分別の搬送人員

令和3年中に救急搬送された心肺機能停止傷病者数は12万9,144人で、男女別の割合をみると男性は57.8%、女性は42.2%で、年齢区分では満80～89歳が多い(第75表、第76図、第77表、第78図及び第79図参照)。

第75表 心肺機能停止傷病者の男女別人員(10ヵ年比較)

	男		女		合計
平成24年	72,686人	56.8%	55,180人	43.2%	127,866人
平成25年	70,830人	57.1%	53,157人	42.9%	123,987人
平成26年	71,745人	57.0%	54,206人	43.0%	125,951人
平成27年	70,421人	57.1%	53,000人	42.9%	123,421人
平成28年	70,483人	57.0%	53,071人	43.0%	123,554人
平成29年	72,509人	57.1%	54,509人	42.9%	127,018人
平成30年	73,124人	57.3%	54,594人	42.7%	127,718人
令和元年	72,308人	57.3%	53,963人	42.7%	126,271人
令和2年	72,798人	57.8%	53,130人	42.2%	125,928人
令和3年	74,630人	57.8%	54,514人	42.2%	129,144人

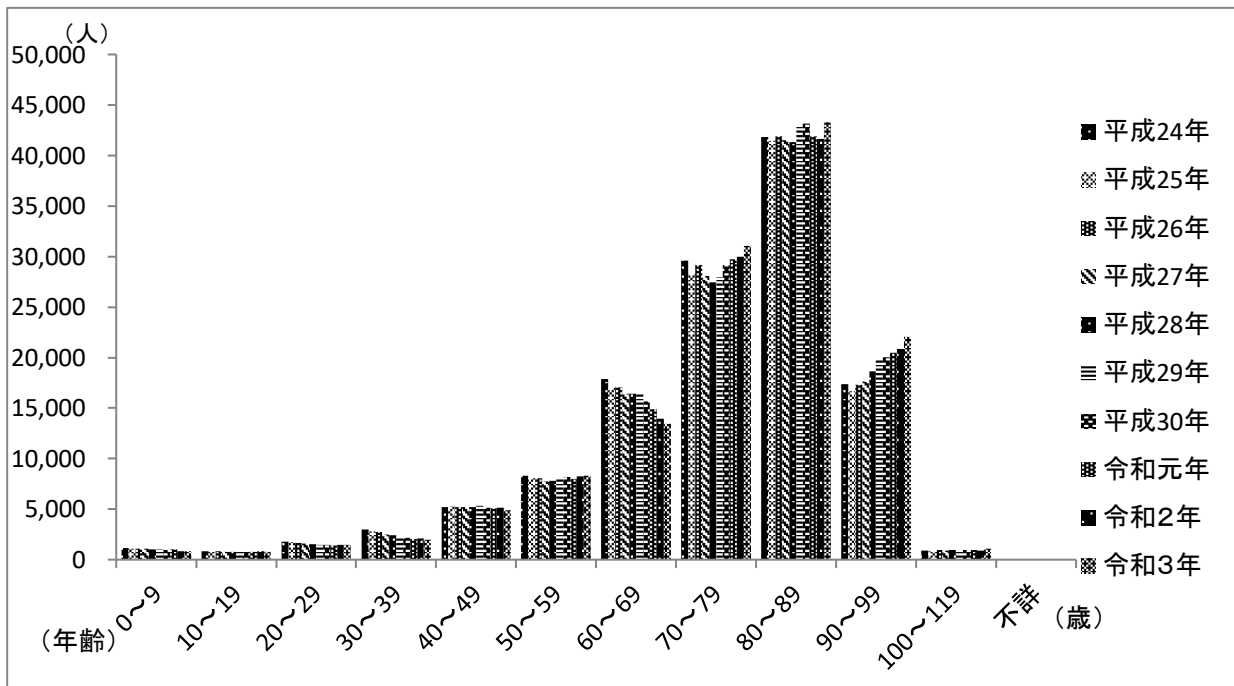
第76図 心肺機能停止傷病者の男女別人員(10ヵ年比較)



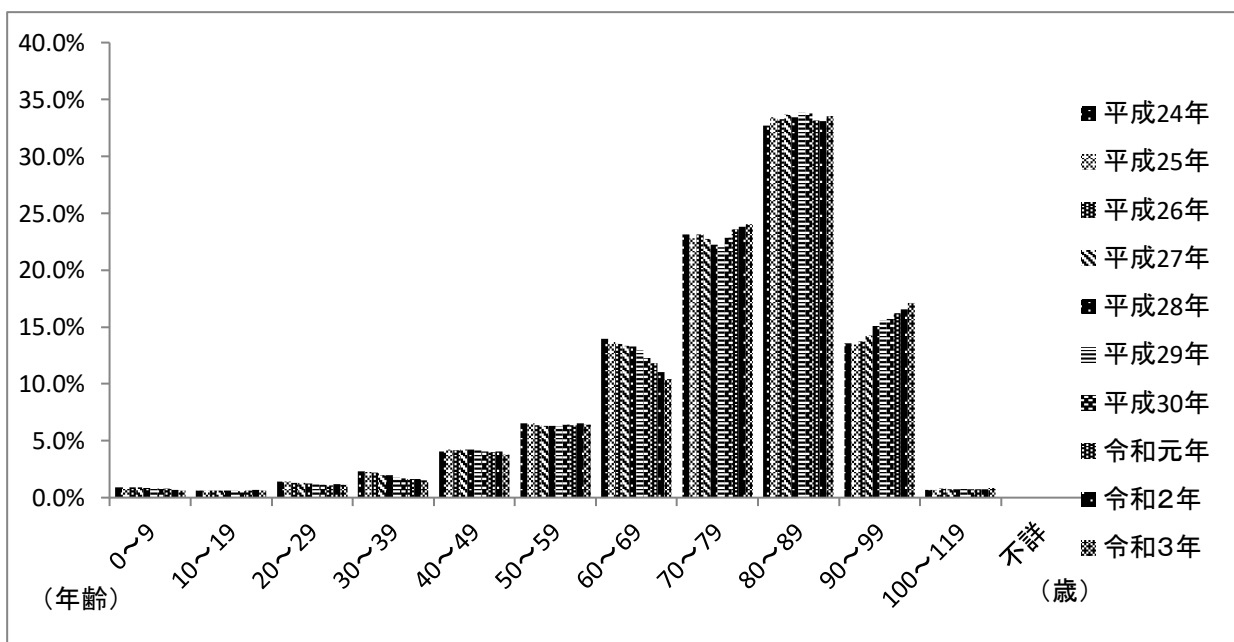
第77表 心肺機能停止傷病者の年齢区分別搬送人員（10ヵ年比較）

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	合計	
年齢区分(歳)	0～9	1,174	1,114	1,113	1,083	1,052	1,017	985	997	825	808	10,168
	10～19	813	797	803	760	778	786	753	789	833	776	7,888
	20～29	1,804	1,735	1,646	1,594	1,518	1,484	1,450	1,384	1,489	1,492	15,596
	30～39	2,980	2,771	2,756	2,466	2,438	2,254	2,175	2,048	2,067	1,966	23,921
	40～49	5,201	5,246	5,231	5,232	5,202	5,335	5,149	5,070	5,122	4,858	51,646
	50～59	8,333	8,076	8,037	7,760	7,790	7,968	8,201	8,012	8,229	8,314	80,720
	60～69	17,884	16,987	17,042	16,437	16,400	16,471	15,654	14,928	13,925	13,422	159,150
	70～79	29,614	28,265	29,157	28,073	27,442	27,983	29,173	29,753	30,005	31,040	290,505
	80～89	41,811	41,473	41,876	41,529	41,338	42,949	43,165	41,871	41,660	43,290	420,962
	90～99	17,349	16,700	17,320	17,605	18,652	19,785	20,055	20,458	20,850	22,081	190,855
	100～119	903	823	970	882	944	986	958	961	923	1,097	9,447
不詳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	127,866	123,987	125,951	123,421	123,554	127,018	127,718	126,271	125,928	129,144	1,260,858	

第78図 心肺機能停止傷病者の年齢区分毎の人員（10ヵ年集計）



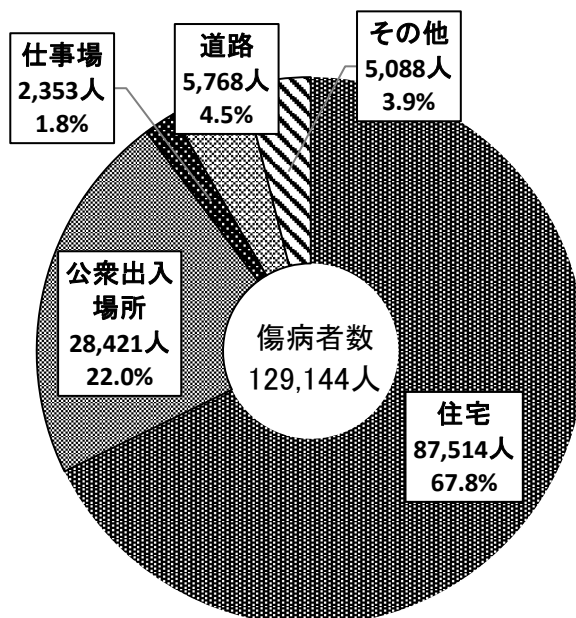
第79図 心肺機能停止傷病者の年齢区分毎の割合（10ヵ年集計）



#### (4) 心肺機能停止傷病者の事故発生場所・住居区分別の搬送人員

令和3年中に救急搬送された心肺機能停止傷病者を事故発生場所別にみると、住宅で発生した割合が67.8%（8万7,514人）で半数を超えており、続いて公衆出入場所が22.0%（2万8,421人）、道路4.5%（5,768人）となっている（第80図、第81表参照）。

第80図 発生場所別心肺機能停止傷病者（令和3年）



(注) 割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

第81表 心肺機能停止傷病者の事故発生場所別の搬送人員内訳

(住宅・公衆出入場所・道路：令和3年)

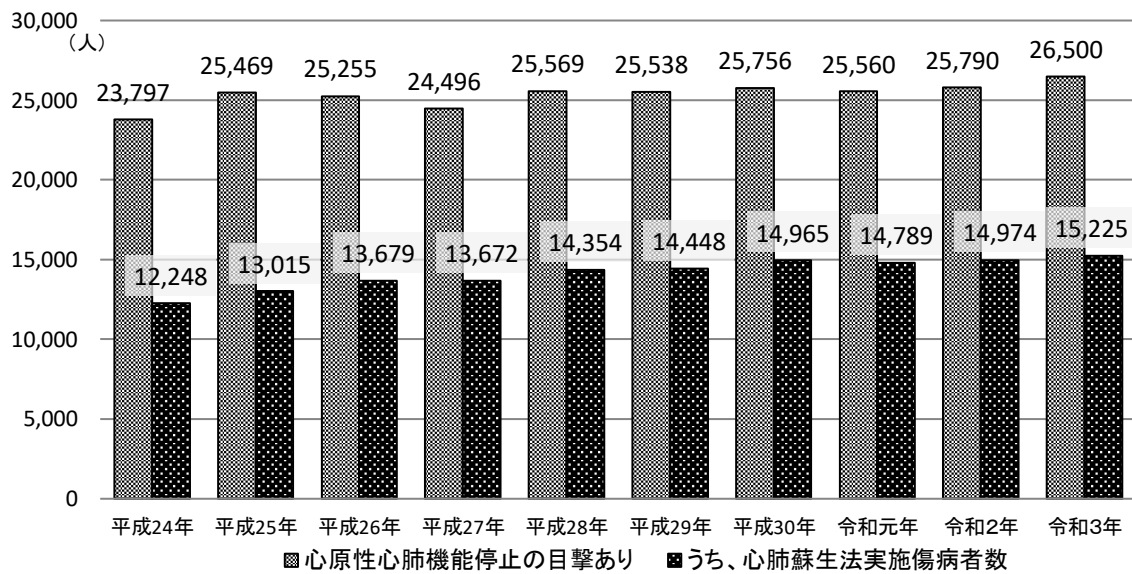
		傷病者数	構成比
住宅	1 居室	61,450人	47.6%
	2 浴室	9,465人	7.3%
	3 廊下・玄関等	5,185人	4.0%
	4 便所	4,384人	3.4%
	5 台所	2,167人	1.7%
	6 その他(庭、テラス・階段等)	4,863人	3.8%
	計	87,514人	67.8%
公衆出入場所	1 老人ホーム	20,867人	16.2%
	2 病院・診療所	1,607人	1.2%
	3 マーケット等	797人	0.6%
	4 駐車場等	683人	0.5%
	5 旅館・ホテル等	632人	0.5%
	6 その他(料理店・公衆浴場等)	3,835人	3.0%
	計	28,421人	22.0%
道路	1 一般道路等	4,784人	3.7%
	2 自動車専用道路	105人	0.1%
	3 高速自動車国道	120人	0.1%
	4 その他(交差点・横断歩道等)	759人	0.6%
	計	5,768人	4.5%

### (5) 心原性心肺機能停止傷病者に対する一般市民の応急手当実施傷病者数

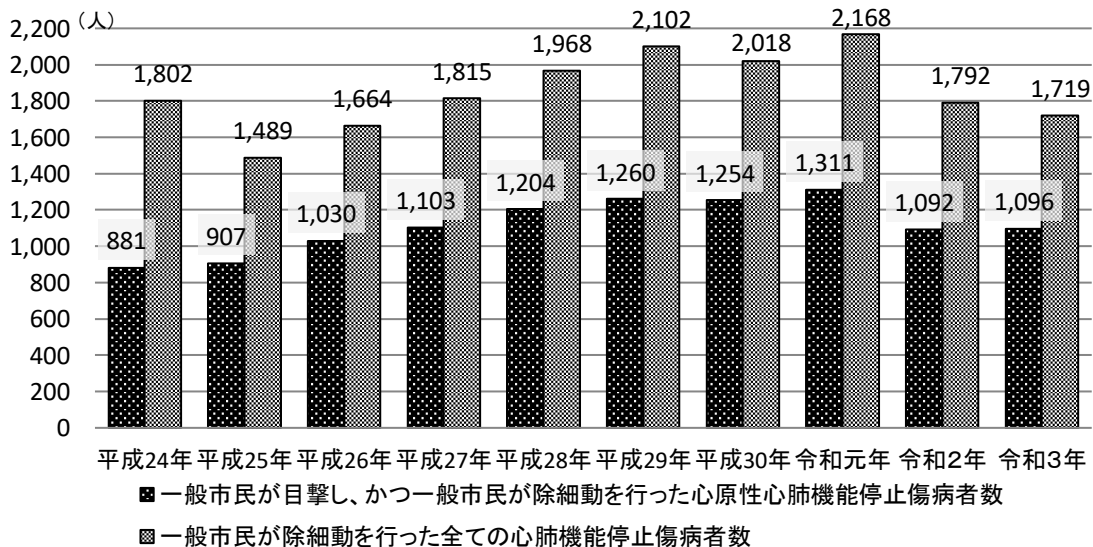
令和3年中に一般市民が心原性心肺機能停止の時点を目撃した傷病者は2万6,500人であり、そのうち一般市民が心肺蘇生を実施した傷病者数は1万5,225人となっている。令和2年の一般市民が心肺蘇生を実施した傷病者数と比較すると251人増加しており、平成24年と比較すると約1.2倍となっている（第82図参照、都道府県別は別表16参照）。

令和3年中に一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、一般市民により除細動が実施された傷病者は1,096人で、前年より4人増加している。平成24年と比較すると約1.2倍となっている（第83図参照）。

第82図 心原性心肺機能停止傷病者のうち、一般市民が目撃した傷病者数と一般市民が心肺蘇生を実施した傷病者数（10カ年推移）



第83図 心肺機能停止傷病者のうち、一般市民が除細動を実施した傷病者数（10カ年推移）



(注) 令和3年中の全ての除細動を行った心肺機能停止傷病者1,719人は、心原性心肺機能停止傷病者のほか除細動を行った非心原性心肺機能停止傷病者を含む（都道府県別は別表17参照）。

(6) 心原性心肺機能停止傷病者生存率（都道府県別及び年齢区分別）

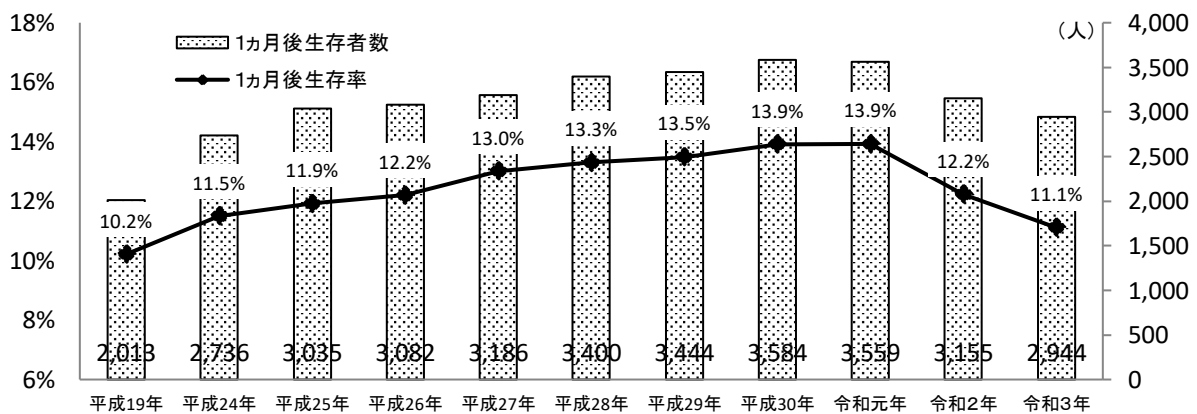
1. 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者の生存率の推移（都道府県別及び年齢区分別の10ヵ年集計、10ヵ年推移）

令和3年中に一般市民が心原性心肺機能停止の時点を目撃した傷病者は2万6,500人であり、1ヵ月後生存者は2,944人、1ヵ月後生存率は11.1%であった。また、1ヵ月後社会復帰者は1,838人であり、1ヵ月後社会復帰率は6.9%であった（第84図、第85図参照）。

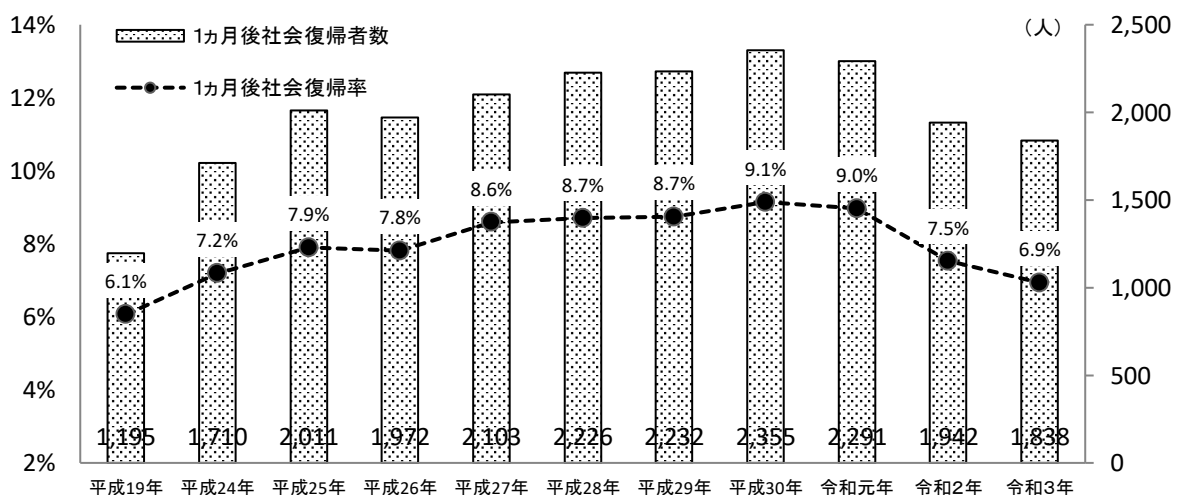
都道府県別の令和3年中の一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者の1ヵ月後生存率は、福岡県（18.8%）、滋賀県（15.9%）、石川県（15.7%）等で高く、1ヵ月後社会復帰率については、福岡県（13.4%）、滋賀県（13.1%）、石川県（11.4%）等で高かった（別表18参照）。平成24年から令和3年までの10ヵ年集計による1ヵ月後生存率は、福岡県（21.5%）、石川県（18.3%）、沖縄県（18.2%）等で高かった。また、10ヵ年集計による1ヵ月後社会復帰率は、福岡県（14.9%）、島根県（12.1%）、佐賀県（11.7%）等が高くなっている（別表19参照）。

10ヵ年の集計からみると、1ヵ月後生存率、1ヵ月後社会復帰率ともに女性に比べ、男性の方が高く、年齢区分では男女共に満10～19歳が最も高い（第86表参照）。

第84図 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者の1ヵ月後生存率（10ヵ年推移）



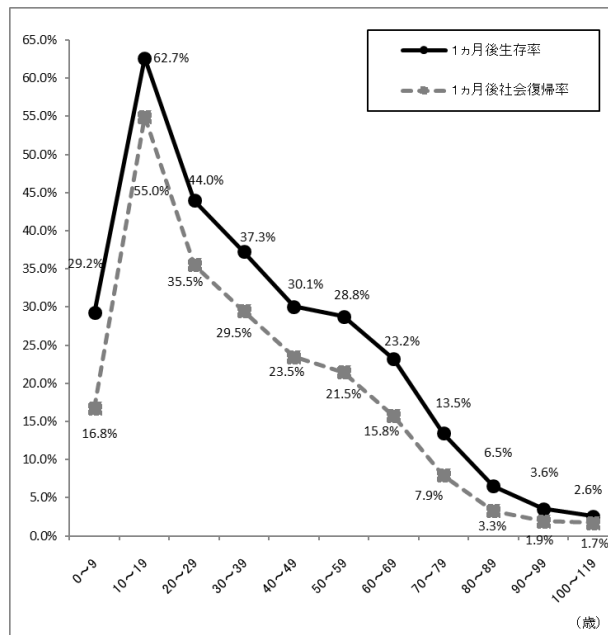
第85図 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者の1ヵ月後社会復帰率（10ヵ年推移）



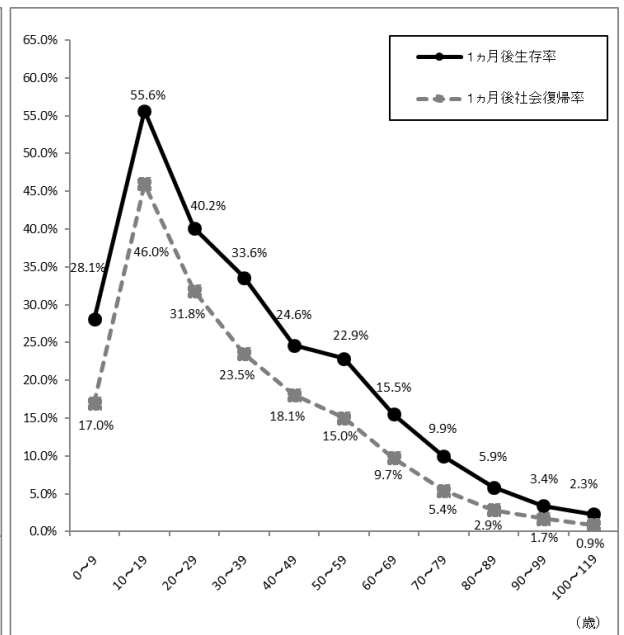
第86表 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者の男女別・年齢区別の生存率（10カ年集計）

		10カ年集計											
		総件数	一般市民が目撃した心原性心肺停止傷病者数										
			男性						女性				
			人数	1ヵ月後生存者数		1ヵ月後社会復帰者数		人数	1ヵ月後生存者数		1ヵ月後社会復帰者数		
1ヵ月後生存率	1ヵ月後社会復帰率	1ヵ月後生存率		1ヵ月後社会復帰率									
年齢区分	0～9	10,168	972	513	150	29.2%	86	16.8%	459	129	28.1%	78	17.0%
	10～19	7,888	923	675	423	62.7%	371	55.0%	248	138	55.6%	114	46.0%
	20～29	15,596	1,606	1,210	532	44.0%	430	35.5%	396	159	40.2%	126	31.8%
	30～39	23,921	3,443	2,681	999	37.3%	790	29.5%	762	256	33.6%	179	23.5%
	40～49	51,646	10,272	7,991	2,402	30.1%	1,876	23.5%	2,281	562	24.6%	412	18.1%
	50～59	80,720	17,783	14,425	4,150	28.8%	3,100	21.5%	3,358	769	22.9%	505	15.0%
	60～69	159,150	35,354	27,148	6,301	23.2%	4,278	15.8%	8,206	1,272	15.5%	800	9.7%
	70～79	290,505	59,418	41,004	5,517	13.5%	3,248	7.9%	18,414	1,832	9.9%	1,001	5.4%
	80～89	420,962	82,463	45,765	2,979	6.5%	1,506	3.3%	36,698	2,147	5.9%	1,054	2.9%
	90～99	190,855	39,404	13,335	474	3.6%	256	1.9%	26,069	885	3.4%	448	1.7%
100～119	9,447	2,092	346	9	2.6%	6	1.7%	1,746	40	2.3%	16	0.9%	
不詳	0	0	0	0	—	0	—	0	0	—	0	—	
合計	1,260,858	253,730	155,093	23,936	15.4%	15,947	10.3%	98,637	8,189	8.3%	4,733	4.8%	

男性



女性





2. 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、初期心電図がV F/無脈性V T波形の生存率（都道府県別の10ヵ年集計、10ヵ年推移）

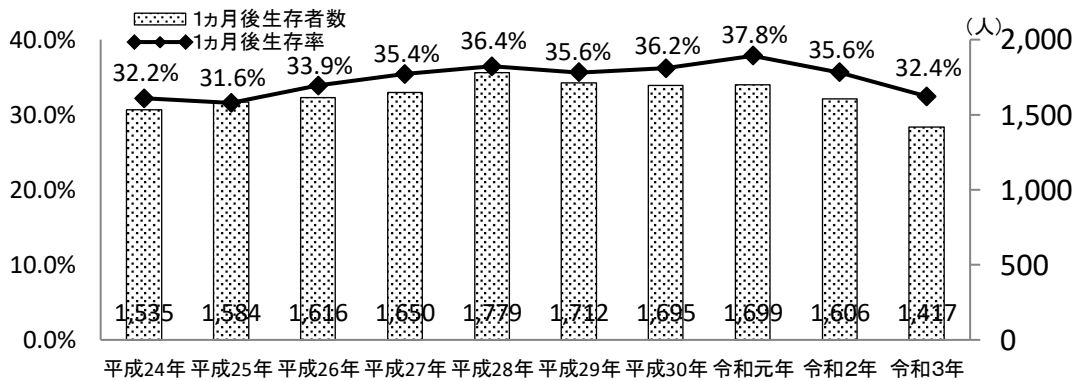
令和3年中に一般市民が心原性心肺機能停止の時点を目撃した傷病者2万6,500人のうち、初期心電図波形がV F又は無脈性V Tの傷病者は4,367人であり、そのうちの1ヵ月後生存者は1,417人、1ヵ月後生存率は32.4%であった。また、1ヵ月後社会復帰者は928人であり、1ヵ月後社会復帰率は21.3%であった（第87図第88図及び別表20参照）。

都道府県別の令和3年中の一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者で初期心電図波形がV F又は無脈性V Tの傷病者の1ヵ月後生存率は、岡山県（45.5%）、広島県（45.5%）、愛知県（44.6%）等が高く、1ヵ月後社会復帰率については、滋賀県（39.2%）、広島県（36.4%）、石川県（30.6%）等で高くなっている（別表20参照）。

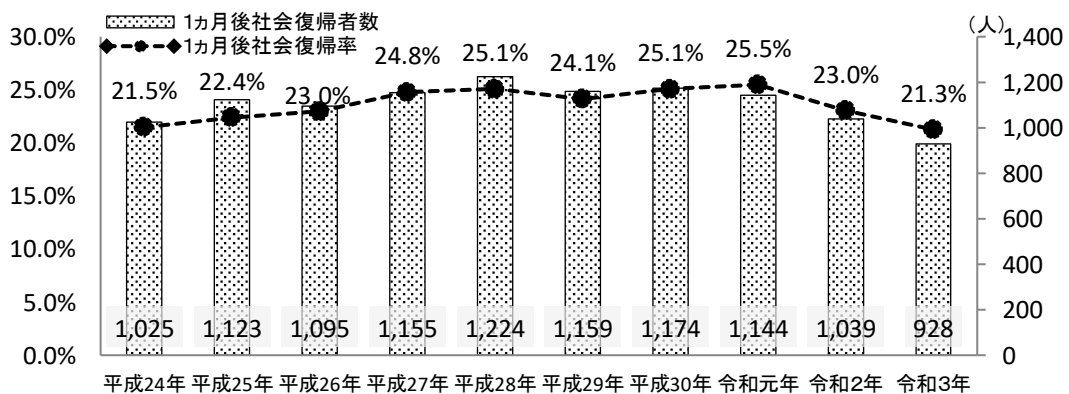
また、平成24年から令和3年までの10ヵ年の推移でみると、一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者で初期心電図波形がV F又は無脈性V Tの傷病者の1ヵ月後生存率及び1ヵ月後社会復帰率は増加傾向であったが、令和2年、令和3年は減少している（第87図、第88図）。

10ヵ年集計における都道府県別の1ヵ月後生存率は、福岡県（47.2%）、愛知県（45.7%）、石川県（44.8%）等が高く、1ヵ月後社会復帰率については、福岡県（34.8%）、滋賀県（33.2%）、愛知県（31.7%）等が高くなっている（別表21参照）。

第87図 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、初期心電図波形がV F又は無脈性V Tの1ヵ月生存率の推移（10ヵ年推移）



第88図 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、初期心電図波形がV F又は無脈性V Tの1ヵ月後社会復帰率の推移（10ヵ年推移）



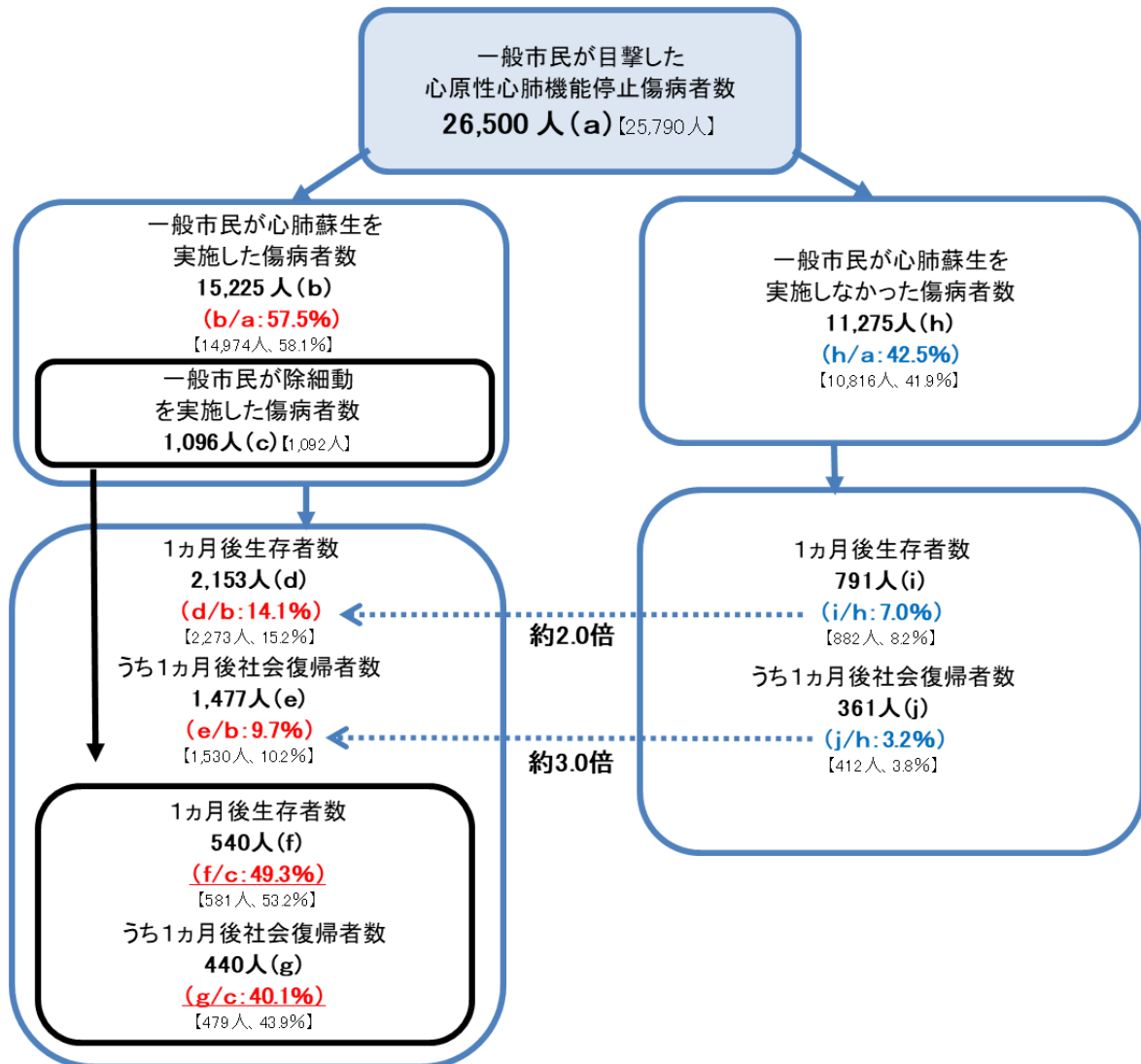
(7) 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、一般市民による心肺蘇生等実施の有無別の生存率

令和3年中に一般市民が心原性心肺機能停止の時点を目撃した傷病者は2万6,500人であり、一般市民が心肺蘇生を実施した傷病者は1万5,225人(57.5%)であった。そのうち1ヵ月後生存者は2,153人、1ヵ月後生存率は14.1%であり、心肺蘇生を実施しなかった場合の1ヵ月後生存率は7.0%となっている。

また、一般市民が心肺蘇生を実施した傷病者のうち1ヵ月後社会復帰者は1,477人、1ヵ月後社会復帰率は9.7%で、心肺蘇生が実施されなかった(適応でなかった傷病者を含む。)場合の1ヵ月後社会復帰率は3.2%となっている。

さらに、一般市民がAEDを使用し除細動を実施した傷病者は1,096人で、そのうち1ヵ月後生存者は540人、1ヵ月後生存率は49.3%であった。また、一般市民がAEDを使用して除細動を実施した傷病者のうち、1ヵ月後社会復帰者は440人で、1ヵ月後社会復帰率は40.1%であった(第89図参照)。

第89図 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、一般市民による心肺蘇生等実施の有無別の生存率(令和3年)

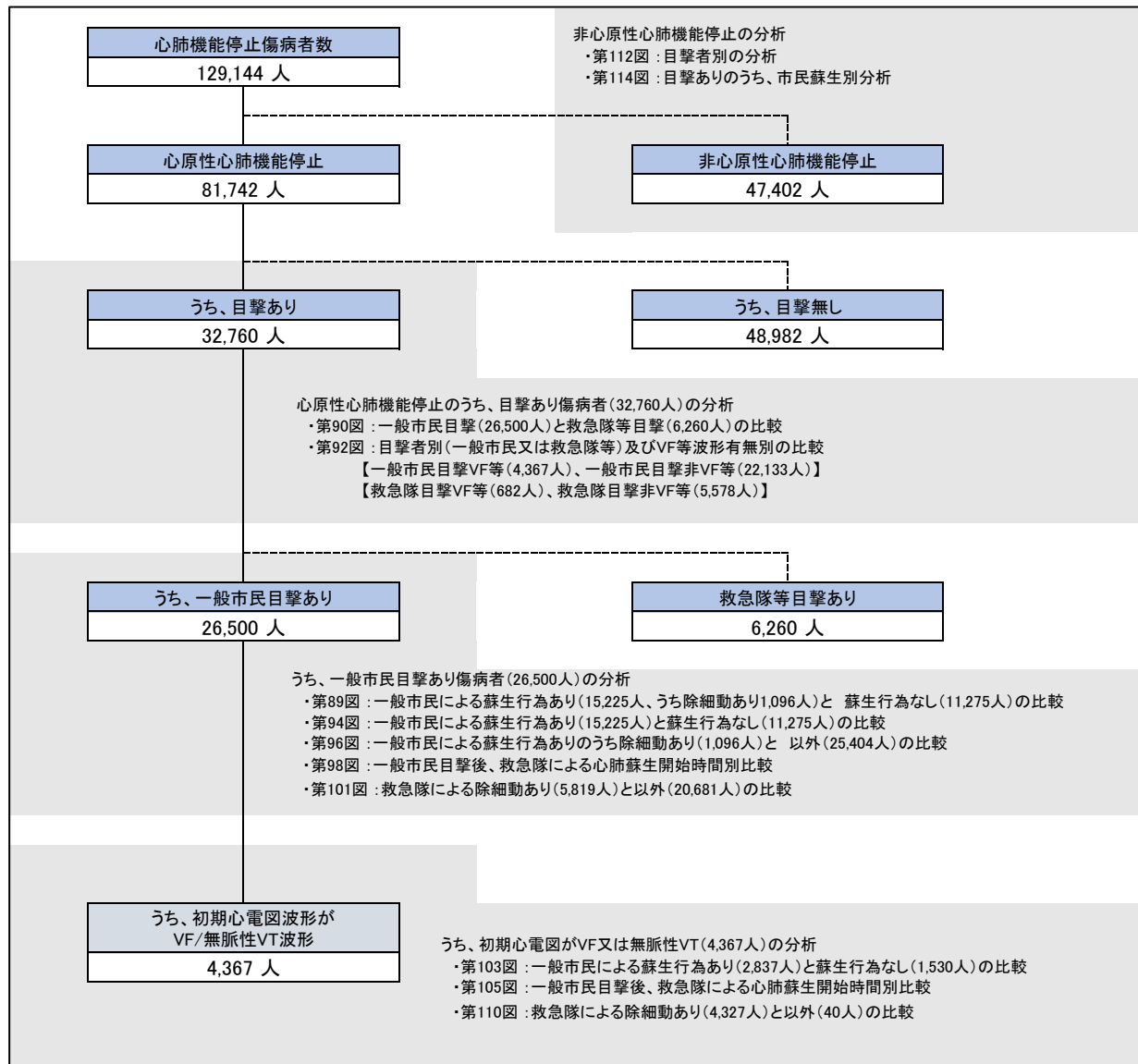


(注) 小文字【 】内数値は令和2年中の数値

## 2 目撃がある心原性心肺機能停止傷病者の分析

以下、心原性心肺機能停止傷病者の統計は「ウツタインの統計系統図」に従い、より詳細に分析を行う。

(再掲) ウツタインの統計系統図



※ 初期心電図とは、救急隊等が傷病者に接触し最初に確認した心電図波形をいう。

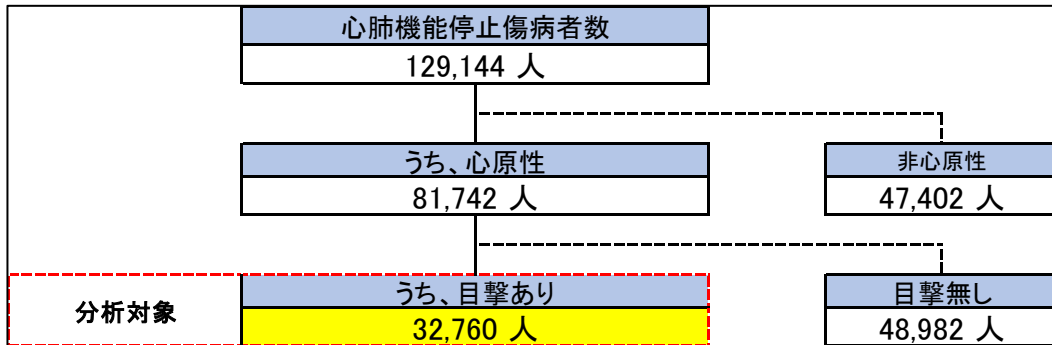
用語の詳細は「用語の定義及び収集方法について」を参照

## 1. 心原性心肺機能停止傷病者の目撃者別の生存率

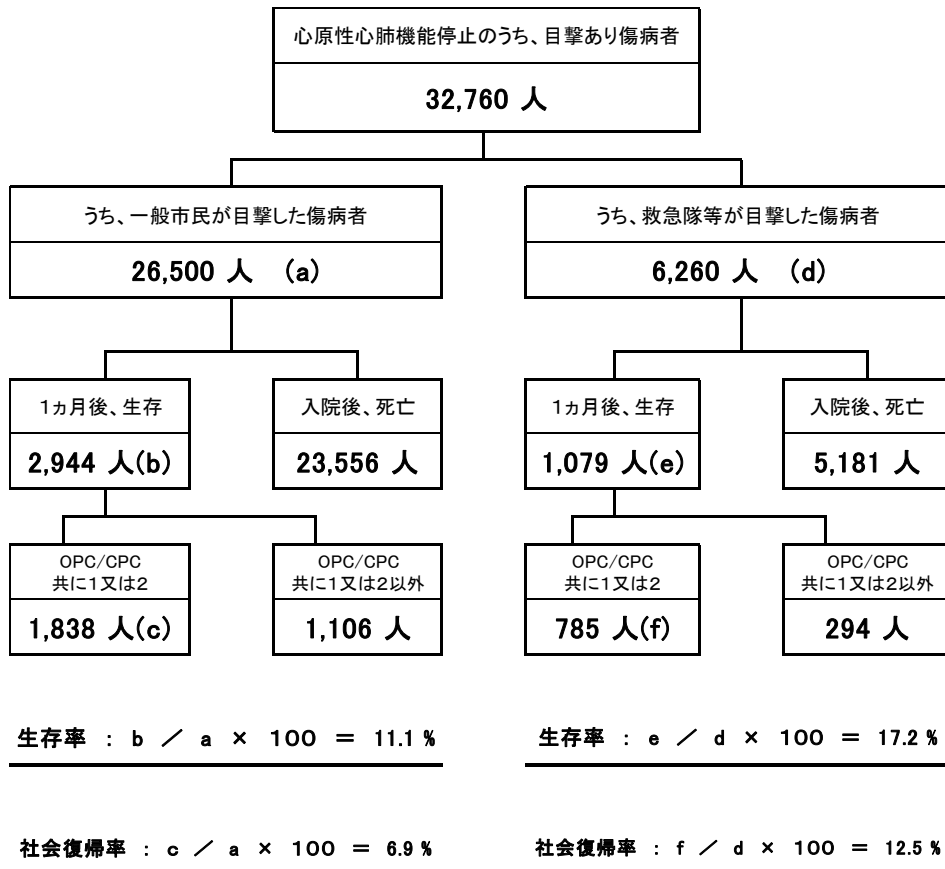
令和3年中に心原性心肺機能停止の時点を目撃した傷病者3万2,760人のうち、一般市民が目撃した傷病者2万6,500人の1ヵ月後生存率は11.1%で、1ヵ月後社会復帰率は6.9%であった。平成24年と比較すると、それぞれ0.4ポイント、0.3ポイント低下している。

また、救急隊等が目撃した傷病者6,260人の1ヵ月後生存率は17.2%、1ヵ月後社会復帰率は12.5%となっており、平成24年と比較すると、それぞれ0.2ポイント、0.6ポイント上昇している（第90図、第91表参照）。

(参考) ウツタイン統計系統図



第90図 心原性心肺機能停止の時点を目撃した傷病者の生存率（令和3年）



第91表 心原性心肺機能停止の時点を目撃した傷病者の生存率（10ヵ年比較）

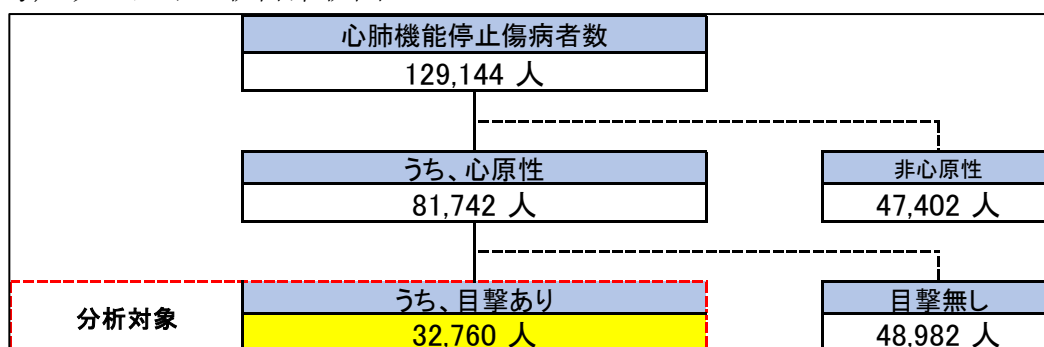
区分	年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
心原性的心肺機能停止傷病者		73,023	75,397	76,141	73,697	75,109	78,302	79,400	78,884	79,376	81,742
心肺機能停止の時点を目撃した傷病者		29,312	31,192	31,169	30,329	31,320	31,550	31,819	31,540	31,939	32,760
うち、一般市民が目撃した傷病者		23,797	25,469	25,255	24,496	25,569	25,538	25,756	25,560	25,790	26,500
1ヵ月後、生存		2,736	3,035	3,082	3,186	3,400	3,444	3,584	3,559	3,155	2,944
生存率		11.5%	11.9%	12.2%	13.0%	13.3%	13.5%	13.9%	13.9%	12.2%	11.1%
OPC/CPC共に1又は2		1,710	2,011	1,972	2,103	2,226	2,232	2,355	2,291	1,942	1,838
社会復帰率		7.2%	7.9%	7.8%	8.6%	8.7%	8.7%	9.1%	9.0%	7.5%	6.9%
うち、救急隊等が目撃した傷病者		5,515	5,723	5,914	5,833	5,751	6,012	6,063	5,980	6,149	6,260
1ヵ月後、生存		940	962	1,075	1,082	1,101	1,071	1,189	1,129	1,062	1,079
生存率		17.0%	16.8%	18.2%	18.5%	19.1%	17.8%	19.6%	18.9%	17.3%	17.2%
OPC/CPC共に1又は2		658	673	758	749	782	777	839	813	735	785
社会復帰率		11.9%	11.8%	12.8%	12.8%	13.6%	12.9%	13.8%	13.6%	12.0%	12.5%
うち、目撃者が不詳である傷病者		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心肺機能停止の時点を目撃していない傷病者		43,711	44,205	44,972	43,368	43,789	46,752	47,581	47,344	47,437	48,982

## 2. 心原性心肺機能停止傷病者の目撃者別及び初期心電図VF/無脈性VT波形別の生存率

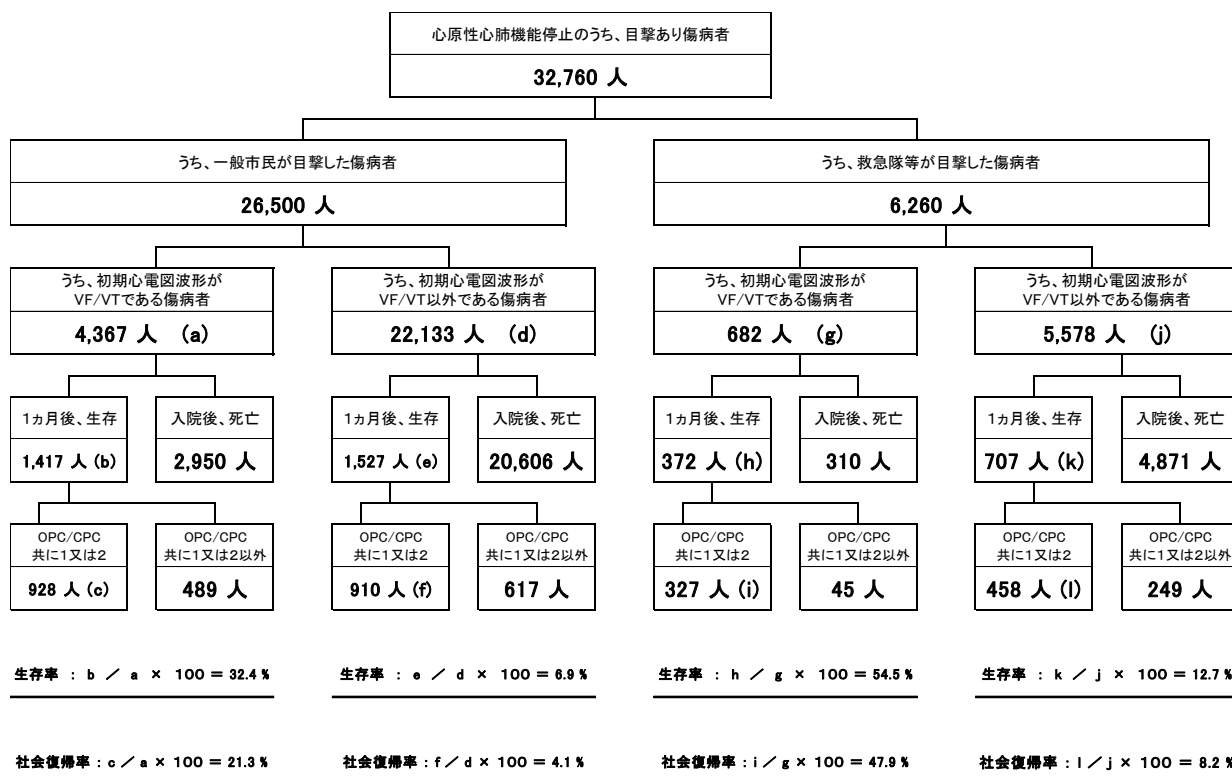
令和3年中に心原性心肺機能停止の時点を目撃した傷病者3万2,760人のうち、一般市民が心原性心肺機能停止の時点を目撃した傷病者は2万6,500人であり、そのうち初期心電図波形がVF及び無脈性VTであった傷病者の1ヵ月後生存率は32.4%、1ヵ月後社会復帰率は21.3%であった。平成24年と比較すると、1ヵ月後生存率は0.2ポイント上昇し、1ヵ月後社会復帰率は0.2ポイント低下した。

また、救急隊等が目撃した傷病者の1ヵ月後生存率は54.5%、1ヵ月後社会復帰率は47.9%であり、平成24年と比較すると、それぞれ8.0ポイント、9.3ポイント上昇している（第92図、第93表参照）。

（参考）ウツタイン統計系統図



第92図 心原性心肺機能停止を目撃した傷病者のうち、初期心電図波形がVF又は無脈性VTの生存率（令和3年）



第93表 心原性心肺機能停止を目撃した傷病者のうち、初期心電図波形がVF又は無脈性VTの生存率（10ヵ年比較）

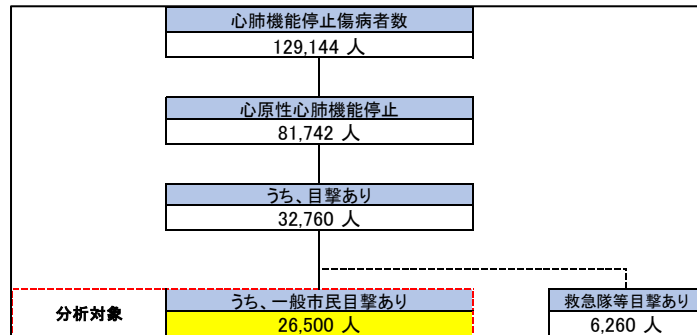
区分	年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
心原性的心肺機能停止傷病者		73,023	75,397	76,141	73,697	75,109	78,302	79,400	78,884	79,376	81,742
心肺機能停止の時点を目撃した傷病者		29,312	31,192	31,169	30,329	31,320	31,550	31,819	31,540	31,939	32,760
うち、一般市民が目撃した傷病者		23,797	25,469	25,255	24,496	25,569	25,538	25,756	25,560	25,790	26,500
うち、初期心電図波形がVF/VTである傷病者		4,773	5,017	4,770	4,660	4,882	4,804	4,684	4,490	4,508	4,367
1ヵ月後、生存		1,535	1,584	1,616	1,650	1,779	1,712	1,695	1,699	1,606	1,417
生存率		32.2%	31.6%	33.9%	35.4%	36.4%	35.6%	36.2%	37.8%	35.6%	32.4%
OPC/CPC共に1又は2		1,025	1,123	1,095	1,155	1,224	1,159	1,174	1,144	1,039	928
社会復帰率		21.5%	22.4%	23.0%	24.8%	25.1%	24.1%	25.1%	25.5%	23.0%	21.3%
うち、初期心電図波形がVF/VT以外である傷病者		19,024	20,452	20,485	19,836	20,687	20,734	21,072	21,070	21,282	22,133
1ヵ月後、生存		1,201	1,451	1,466	1,536	1,621	1,732	1,889	1,860	1,549	1,527
生存率		6.3%	7.1%	7.2%	7.7%	7.8%	8.4%	9.0%	8.8%	7.3%	6.9%
OPC/CPC共に1又は2		685	888	877	948	1,002	1,073	1,181	1,147	903	910
社会復帰率		3.6%	4.3%	4.3%	4.8%	4.8%	5.2%	5.6%	5.4%	4.2%	4.1%
うち、救急隊等により目撃された傷病者		5,515	5,723	5,914	5,833	5,751	6,012	6,063	5,980	6,149	6,260
うち、初期心電図波形がVF/VTである傷病者		622	620	714	680	658	680	666	648	627	682
1ヵ月後、生存		289	300	361	349	319	328	371	362	345	372
生存率		46.5%	48.4%	50.6%	51.3%	48.5%	48.2%	55.7%	55.9%	55.0%	54.5%
OPC/CPC共に1又は2		240	256	316	293	275	297	307	324	292	327
社会復帰率		38.6%	41.3%	44.3%	43.1%	41.8%	43.7%	46.1%	50.0%	46.6%	47.9%
うち、初期心電図波形がVF/VT以外である傷病者		4,893	5,103	5,200	5,153	5,093	5,332	5,397	5,332	5,522	5,578
1ヵ月後、生存		651	662	714	733	782	743	818	767	717	707
生存率		13.3%	13.0%	13.7%	14.2%	15.4%	13.9%	15.2%	14.4%	13.0%	12.7%
OPC/CPC共に1又は2		418	417	442	456	507	480	532	489	443	458
社会復帰率		8.5%	8.2%	8.5%	8.8%	10.0%	9.0%	9.9%	9.2%	8.0%	8.2%
うち、目撃者が不詳である傷病者		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心肺機能停止の時点を目撃していない傷病者		43,711	44,205	44,972	43,368	43,789	46,752	47,581	47,344	47,437	48,982

### 3. 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、一般市民による心肺蘇生実施の有無別の生存率

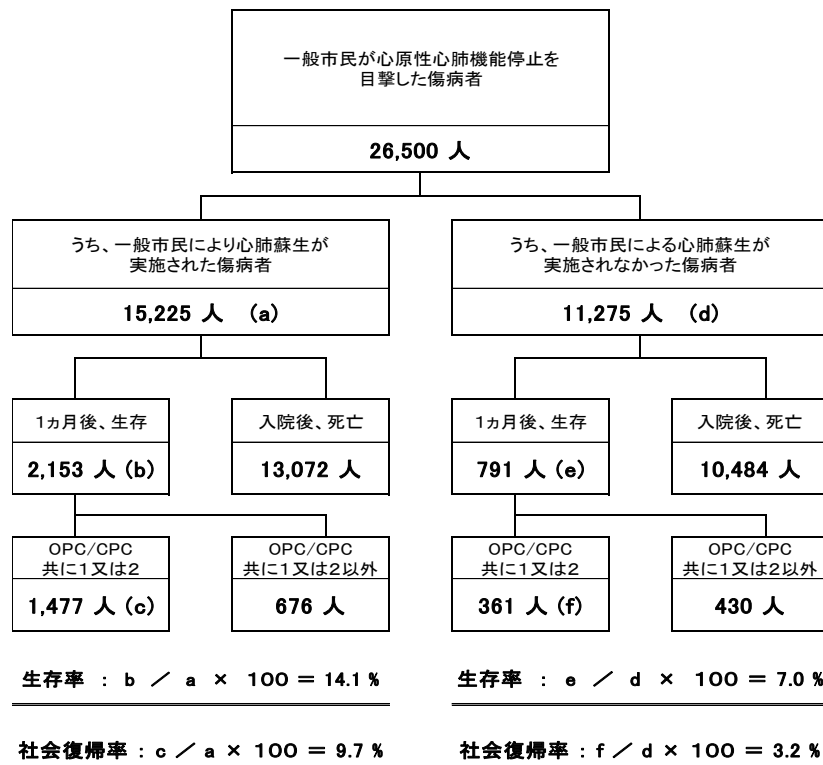
令和3年中に一般市民が心原性心肺機能停止の時点を目撃した傷病者は2万6,500人であり、一般市民が心肺蘇生を実施した傷病者は1万5,225人(57.5%)となっている。そのうち1ヵ月後生存者は2,153人、1ヵ月後生存率は14.1%であり、心肺蘇生を実施しなかった場合の1ヵ月後生存率7.0%と比較して約2.0倍高くなっている。また、一般市民が心肺蘇生を実施した傷病者のうち1ヵ月後社会復帰率は1,477人、1ヵ月後社会復帰率は9.7%であり、心肺蘇生を実施しなかった場合の1ヵ月後社会復帰率3.2%と比較して約3.0倍高くなっている。

また、平成24年と比較すると、一般市民が心肺蘇生を実施した傷病者の1ヵ月後生存率は0.1ポイント低下し、1ヵ月後社会復帰率は同率である(第94図、第95表参照)。

(参考) ウツタイン統計系統図



第94図 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、一般市民による心肺蘇生実施の有無別の生存率(令和3年)





第95表 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、一般市民による心肺蘇生実施の有無別の生存率（10カ年比較）

区 分	年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
一般市民が心原性心肺機能停止を目撃した傷病者		23,797	25,469	25,255	24,496	25,569	25,538	25,756	25,560	25,790	26,500
うち、一般市民により心肺蘇生が実施された傷病者		12,248	13,015	13,679	13,672	14,354	14,448	14,965	14,789	14,974	15,225
	1ヵ月後、生存	1,741	1,932	2,106	2,195	2,359	2,404	2,618	2,561	2,273	2,153
	生存率	14.2%	14.8%	15.4%	16.1%	16.4%	16.6%	17.5%	17.3%	15.2%	14.1%
	OPC/CPC共に1又は2	1,193	1,392	1,476	1,594	1,681	1,724	1,873	1,820	1,530	1,477
	社会復帰率	9.7%	10.7%	10.8%	11.7%	11.7%	11.9%	12.5%	12.3%	10.2%	9.7%
うち、一般市民による心肺蘇生が実施されなかった傷病者		11,549	12,454	11,576	10,824	11,215	11,090	10,791	10,771	10,816	11,275
	1ヵ月後、生存	995	1,103	976	991	1,041	1,040	966	998	882	791
	生存率	8.6%	8.9%	8.4%	9.2%	9.3%	9.4%	9.0%	9.3%	8.2%	7.0%
	OPC/CPC共に1又は2	517	619	496	509	545	508	482	471	412	361
	社会復帰率	4.5%	5.0%	4.3%	4.7%	4.9%	4.6%	4.5%	4.4%	3.8%	3.2%
うち、一般市民による心肺蘇生の有無が不明の傷病者		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

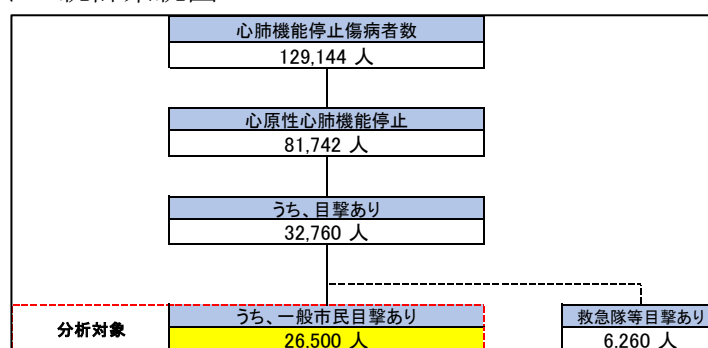
#### 4. 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、一般市民による除細動実施の有無別の生存率

令和3年中に一般市民が心原性心肺機能停止の時点を目撃した傷病者2万6,500人のうち、一般市民により除細動が実施された傷病者の1ヵ月後生存率は49.3%となっており、一般市民による除細動が実施されなかった傷病者（適応でなかった傷病者含む。）の1ヵ月後生存率9.5%と比較して約5.2倍高くなっている。

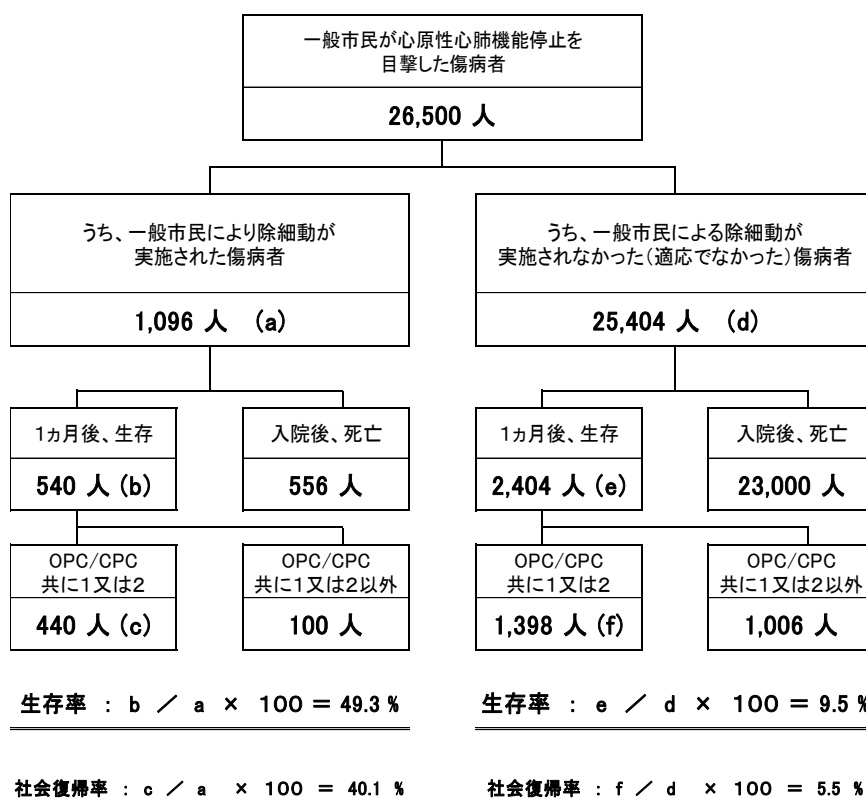
また、一般市民により除細動が実施された傷病者の1ヵ月後社会復帰率は40.1%であり、一般市民による除細動が実施されなかった傷病者（適応でなかった傷病者含む。）の1ヵ月後社会復帰率5.5%と比較して約7.3倍高くなっている。

さらに平成24年と比較すると、一般市民により除細動が実施された傷病者の1ヵ月後生存率、1ヵ月後社会復帰率は、それぞれ7.9ポイント、4.1ポイント上昇している（第96図、第97表参照）。

（参考）ウツタイン統計系統図



第96図 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、一般市民による除細動実施の有無別の生存率（令和3年）



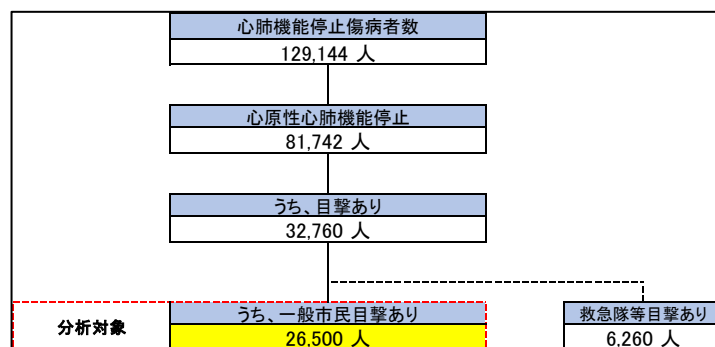
第97表 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、一般市民による除細動実施の有無別の生存率（10カ年比較）

区 分	年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
一般市民が心原性心肺機能停止を目撃した傷病者		23,797	25,469	25,255	24,496	25,569	25,538	25,756	25,560	25,790	26,500
うち、一般市民により除細動が実施された傷病者		881	907	1,030	1,103	1,204	1,260	1,254	1,311	1,092	1,096
1か月後、生存		365	455	519	596	642	674	701	703	581	540
生存率		41.4%	50.2%	50.4%	54.0%	53.3%	53.5%	55.9%	53.6%	53.2%	49.3%
OPC/CPC共に1又は2		317	388	446	508	547	576	605	603	479	440
社会復帰率		36.0%	42.8%	43.3%	46.1%	45.4%	45.7%	48.2%	46.0%	43.9%	40.1%
うち、一般市民による除細動が実施されなかった(適応でなかった)傷病者		22,916	24,562	24,225	23,393	24,365	24,278	24,502	24,249	24,698	25,404
1か月後、生存		2,371	2,580	2,563	2,590	2,758	2,770	2,883	2,856	2,574	2,404
生存率		10.3%	10.5%	10.6%	11.1%	11.3%	11.4%	11.8%	11.8%	10.4%	9.5%
OPC/CPC共に1又は2		1,393	1,587	1,526	1,595	1,679	1,656	1,750	1,688	1,463	1,398
社会復帰率		6.1%	6.5%	6.3%	6.8%	6.9%	6.8%	7.1%	7.0%	5.9%	5.5%
うち、一般市民による除細動の適応有無が不明の傷病者		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

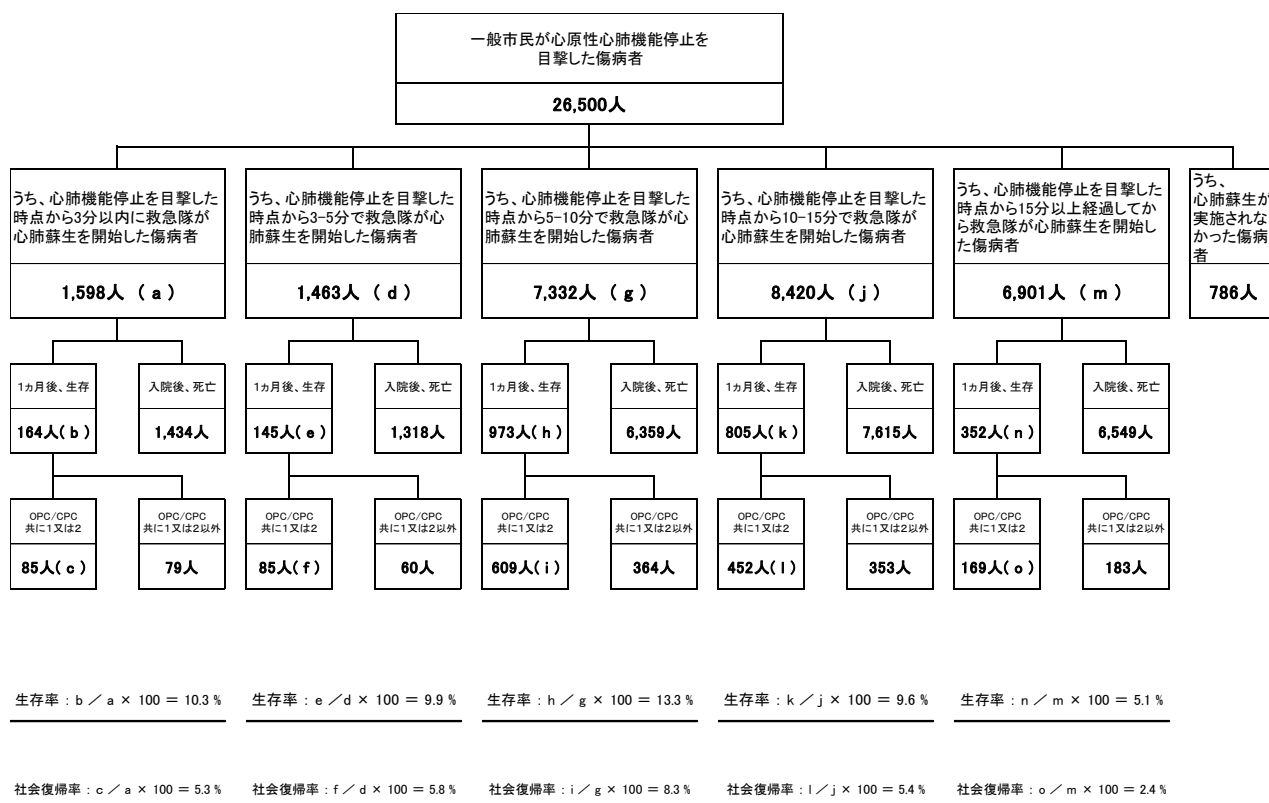
## 5. 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、救急隊が心肺蘇生を開始した時間別の生存率

令和3年中に一般市民が心原性心肺機能停止の時点を目撃した傷病者2万6,500人のうち、救急隊による心肺蘇生開始までの時間が10分以内に実施された場合の1ヵ月後生存率は9.9%~13.3%で、1ヵ月後社会復帰率は5.3%~8.3%であった。救急隊による心肺蘇生開始までの時間が10分を経過すると1ヵ月後生存率、1ヵ月後社会復帰率は低下傾向を示した(第98図、第99表及び第100図参照)。

(参考) ウツタイン統計系統図



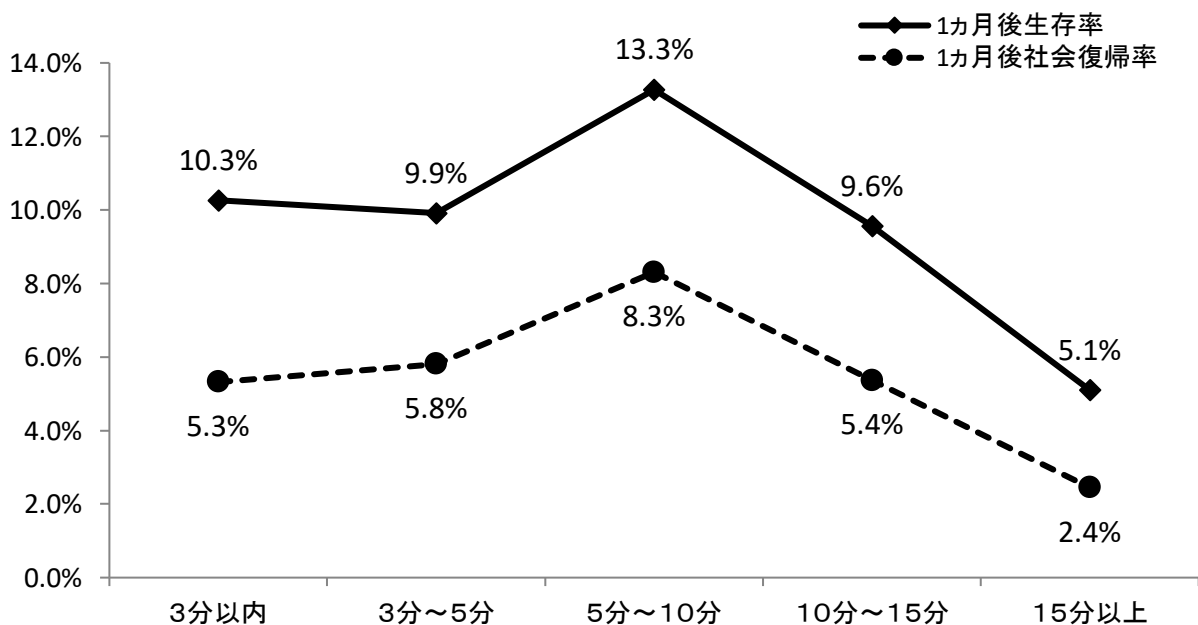
第98図 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、救急隊が心肺蘇生を開始した時間別の生存率(令和3年)



第99表 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、救急隊が心肺蘇生を開始した時間別の生存率（10カ年比較）

区分	年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
一般市民が心原性心肺機能停止を目撃した傷病者		23,797	25,469	25,255	24,496	25,569	25,538	25,756	25,560	25,790	26,500
うち、心肺機能停止を目撃した時点から3分以内に救急隊が心肺蘇生を開始した傷病者		1,719	1,667	1,697	1,569	1,604	1,698	1,659	1,701	1,568	1,598
	1ヵ月後、生存	205	193	208	208	198	222	213	223	171	164
	生存率	11.9%	11.6%	12.3%	13.3%	12.3%	13.1%	12.8%	13.1%	10.9%	10.3%
	OPC/CPC共に1又は2	123	118	124	129	124	135	130	138	91	85
社会復帰率	7.2%	7.1%	7.3%	8.2%	7.7%	8.0%	7.8%	8.1%	5.8%	5.3%	
うち、心肺機能停止を目撃した時点から3-5分で救急隊が心肺蘇生を開始した傷病者		1,746	1,712	1,580	1,621	1,555	1,577	1,580	1,578	1,367	1,463
	1ヵ月後、生存	239	235	210	214	187	194	204	208	152	145
	生存率	13.7%	13.7%	13.3%	13.2%	12.0%	12.3%	12.9%	13.2%	11.1%	9.9%
	OPC/CPC共に1又は2	147	156	122	141	119	117	118	120	91	85
社会復帰率	8.4%	9.1%	7.7%	8.7%	7.7%	7.4%	7.5%	7.6%	6.7%	5.8%	
うち、心肺機能停止を目撃した時点から5-10分で救急隊が心肺蘇生を開始した傷病者		7,981	8,278	8,509	8,079	8,472	8,268	8,112	8,072	7,587	7,332
	1ヵ月後、生存	1,057	1,098	1,171	1,142	1,256	1,257	1,216	1,220	1,090	973
	生存率	13.2%	13.3%	13.8%	14.1%	14.8%	15.2%	15.0%	15.1%	14.4%	13.3%
	OPC/CPC共に1又は2	647	708	726	747	808	779	766	740	650	609
社会復帰率	8.1%	8.6%	8.5%	9.2%	9.5%	9.4%	9.4%	9.2%	8.6%	8.3%	
うち、心肺機能停止を目撃した時点から10-15分で救急隊が心肺蘇生を開始した傷病者		6,336	6,797	7,075	6,921	7,360	7,306	7,369	7,321	7,845	8,420
	1ヵ月後、生存	602	625	709	744	833	800	829	829	772	805
	生存率	9.5%	9.2%	10.0%	10.7%	11.3%	10.9%	11.2%	11.3%	9.8%	9.6%
	OPC/CPC共に1又は2	339	364	416	420	483	465	486	451	405	452
社会復帰率	5.4%	5.4%	5.9%	6.1%	6.6%	6.4%	6.6%	6.2%	5.2%	5.4%	
うち、心肺機能停止を目撃した時点から15分以上経過してから救急隊が心肺蘇生を開始した傷病者		5,219	5,408	5,587	5,383	5,602	5,895	5,953	5,754	6,393	6,901
	1ヵ月後、生存	229	262	242	254	319	329	322	309	319	352
	生存率	4.4%	4.8%	4.3%	4.7%	5.7%	5.6%	5.4%	5.4%	5.0%	5.1%
	OPC/CPC共に1又は2	101	143	120	121	157	170	162	164	159	169
社会復帰率	1.9%	2.6%	2.1%	2.2%	2.8%	2.9%	2.7%	2.9%	2.5%	2.4%	
うち、心肺蘇生を実施しなかった傷病者 うち、目撃から心肺蘇生開始までの時間が不明の傷病者		796	1,607	807	923	976	794	1,083	1,134	1,030	786

第100図 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、救急隊が心肺蘇生を開始した時間別の生存率（令和3年）



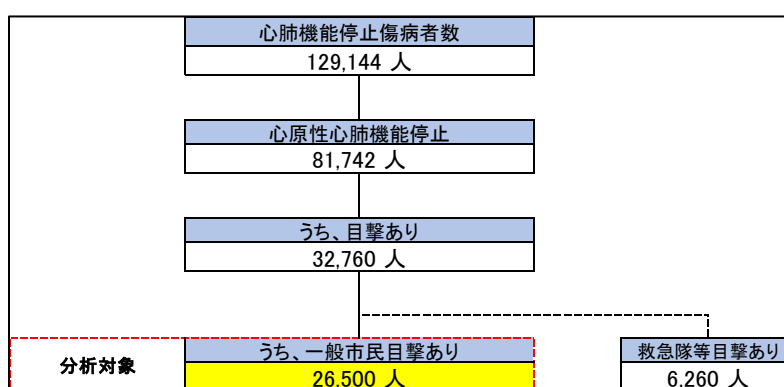
## 6. 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、救急隊による除細動実施の有無別の生存率

令和3年中に一般市民が心原性心肺機能停止の時点を目撃した傷病者2万6,500人のうち、救急隊により除細動が実施された傷病者の1ヵ月後生存率は26.9%となっており、救急隊による除細動が実施されなかった傷病者（適応でなかった傷病者を含む。）の1ヵ月後生存率6.7%と比較して約4.0倍高くなっている。

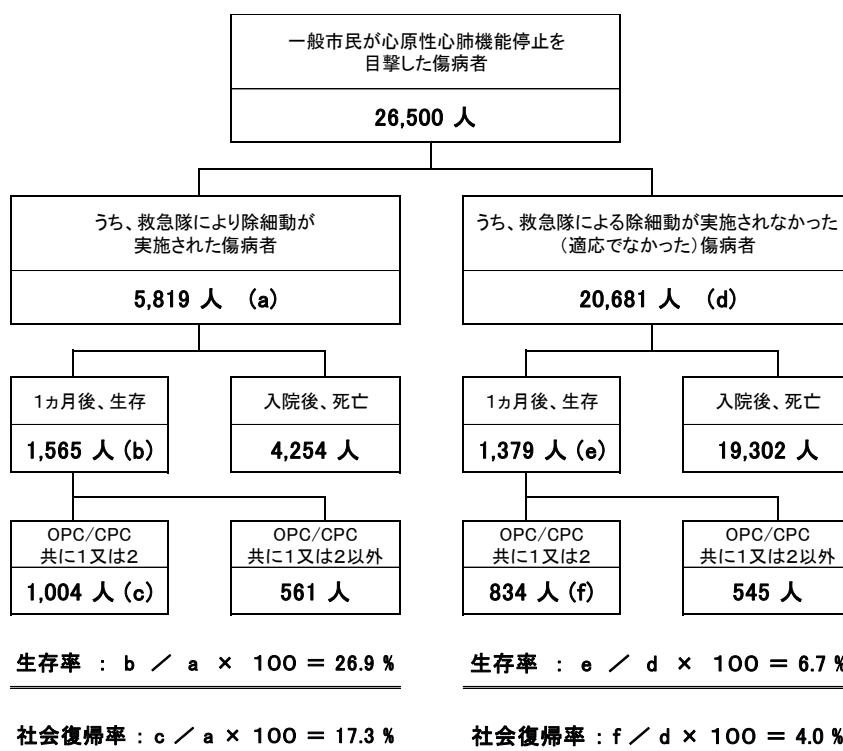
また、救急隊により除細動が実施された傷病者の1ヵ月後社会復帰率は17.3%であり、救急隊による除細動が実施されなかった傷病者（適応でなかった傷病者を含む。）の1ヵ月後社会復帰率4.0%と比較して約4.3倍高くなっている。

さらに平成24年と比較すると、救急隊活動により除細動が実施された傷病者の1ヵ月後生存率、1ヵ月後社会復帰率はそれぞれ0.5ポイント、0.6ポイント低下している（第101図、第102表参照）。

（参考）ウツタイン統計系統図



第101図 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、救急隊による除細動実施の有無別の生存率（令和3年）



第102表 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、救急隊による除細動実施の有無別の生存率（10カ年比較）

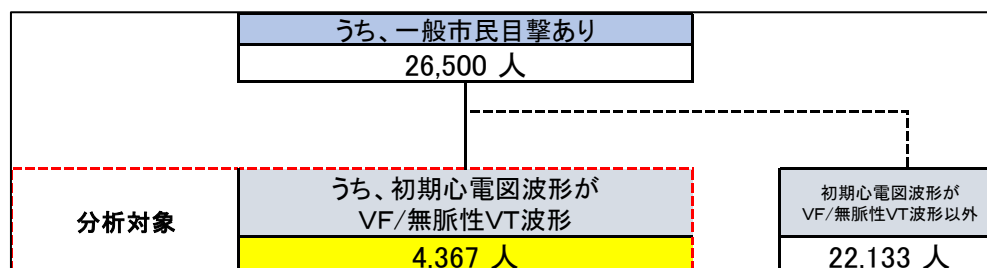
区 分	年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
一般市民が心原性心肺機能停止を目撃した傷病者		23,797	25,469	25,255	24,496	25,569	25,538	25,756	25,560	25,790	26,500
うち、救急隊により除細動が実施された傷病者		5,910	5,911	5,973	5,790	6,115	6,061	6,025	5,860	5,825	5,819
	1ヵ月後、生存	1,622	1,695	1,689	1,738	1,882	1,829	1,828	1,864	1,730	1,565
	生存率	27.4%	28.7%	28.3%	30.0%	30.8%	30.2%	30.3%	31.8%	29.7%	26.9%
	OPC/CPC共に1又は2	1,059	1,180	1,129	1,175	1,269	1,204	1,232	1,225	1,082	1,004
	社会復帰率	17.9%	20.0%	18.9%	20.3%	20.8%	19.9%	20.4%	20.9%	18.6%	17.3%
うち、救急隊による除細動が実施されなかった（適応でなかった）傷病者		17,887	19,558	19,267	18,706	19,454	19,477	19,731	19,700	19,965	20,681
	1ヵ月後、生存	1,114	1,340	1,392	1,444	1,518	1,615	1,756	1,695	1,425	1,379
	生存率	6.2%	6.9%	7.2%	7.7%	7.8%	8.3%	8.9%	8.6%	7.1%	6.7%
	OPC/CPC共に1又は2	651	831	842	927	957	1,028	1,123	1,066	860	834
	社会復帰率	3.6%	4.2%	4.4%	5.0%	4.9%	5.3%	5.7%	5.4%	4.3%	4.0%
うち、除細動の適用有無が不明の傷病者		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

## 7. 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、一般市民による心肺蘇生実施の有無別の生存率（初期心電図波形がVF/無脈性VTの傷病者）

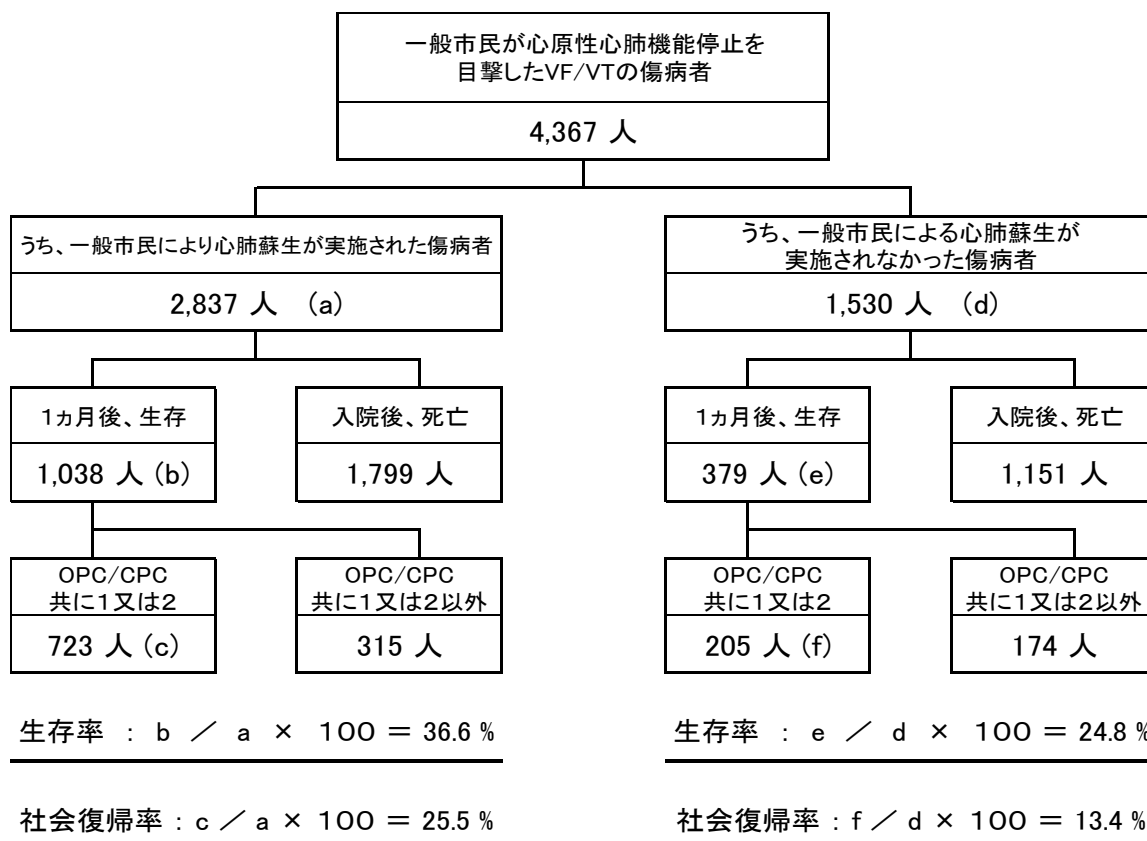
令和3年中に一般市民が心原性心肺機能停止の時点を目撃し、かつ初期心電図波形がVF又は無脈性VTであった傷病者4,367人のうち、一般市民が心肺蘇生を行った傷病者の1ヵ月後生存率は36.6%、1ヵ月後社会復帰率は25.5%であり、心肺蘇生が実施されなかった傷病者と比較し、1ヵ月後生存率は約1.5倍、1ヵ月後社会復帰率は約1.9倍高くなっている。

また、平成24年と比較すると、一般市民が心肺蘇生を行った傷病者の1ヵ月後生存率、1ヵ月後社会復帰率はそれぞれ0.7ポイント、0.3ポイント上昇している（第103図、第104表参照）。

（参考）ウツタイン統計系統図



第103図 一般市民が心原性心肺機能停止の時点を目撃し、かつ初期心電図波形がVF又は無脈性VTで、一般市民による心肺蘇生実施の有無別の生存率（令和3年）





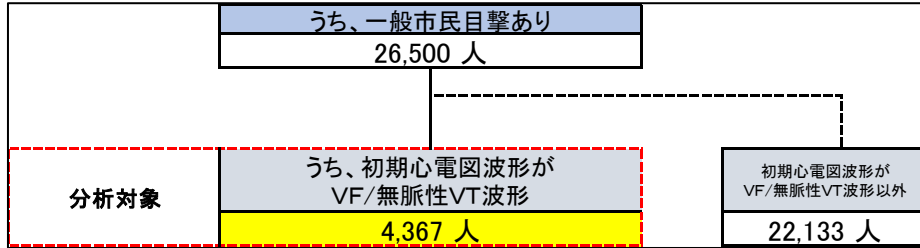
第104表 一般市民が心原性心肺機能停止の時点を目撃し、かつ初期心電図波形がVF又は無脈性VTで、一般市民による心肺蘇生実施の有無別の生存率（10カ年比較）

区 分	年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
一般市民が心原性心肺機能停止を目撃したVF/VTの傷病者		4,773	5,017	4,770	4,660	4,882	4,804	4,684	4,490	4,508	4,367
うち、一般市民により心肺蘇生が実施された傷病者		2,674	2,798	2,774	2,808	2,962	2,903	2,941	2,868	2,870	2,837
1か月後、生存		961	977	1,051	1,086	1,220	1,142	1,187	1,206	1,143	1,038
生存率		35.9%	34.9%	37.9%	38.7%	41.2%	39.3%	40.4%	42.1%	39.8%	36.6%
OPC/CPC共に1又は2		675	737	760	815	892	839	891	872	785	723
社会復帰率		25.2%	26.3%	27.4%	29.0%	30.1%	28.9%	30.3%	30.4%	27.4%	25.5%
うち、一般市民による心肺蘇生が実施されなかった傷病者		2,099	2,219	1,996	1,852	1,920	1,901	1,743	1,622	1,638	1,530
1か月後、生存		574	607	565	564	559	570	508	493	463	379
生存率		27.3%	27.4%	28.3%	30.5%	29.1%	30.0%	29.1%	30.4%	28.3%	24.8%
OPC/CPC共に1又は2		350	386	335	340	332	320	283	272	254	205
社会復帰率		16.7%	17.4%	16.8%	18.4%	17.3%	16.8%	16.2%	16.8%	15.5%	13.4%
うち、一般市民による心肺蘇生の有無が不明の傷病者		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

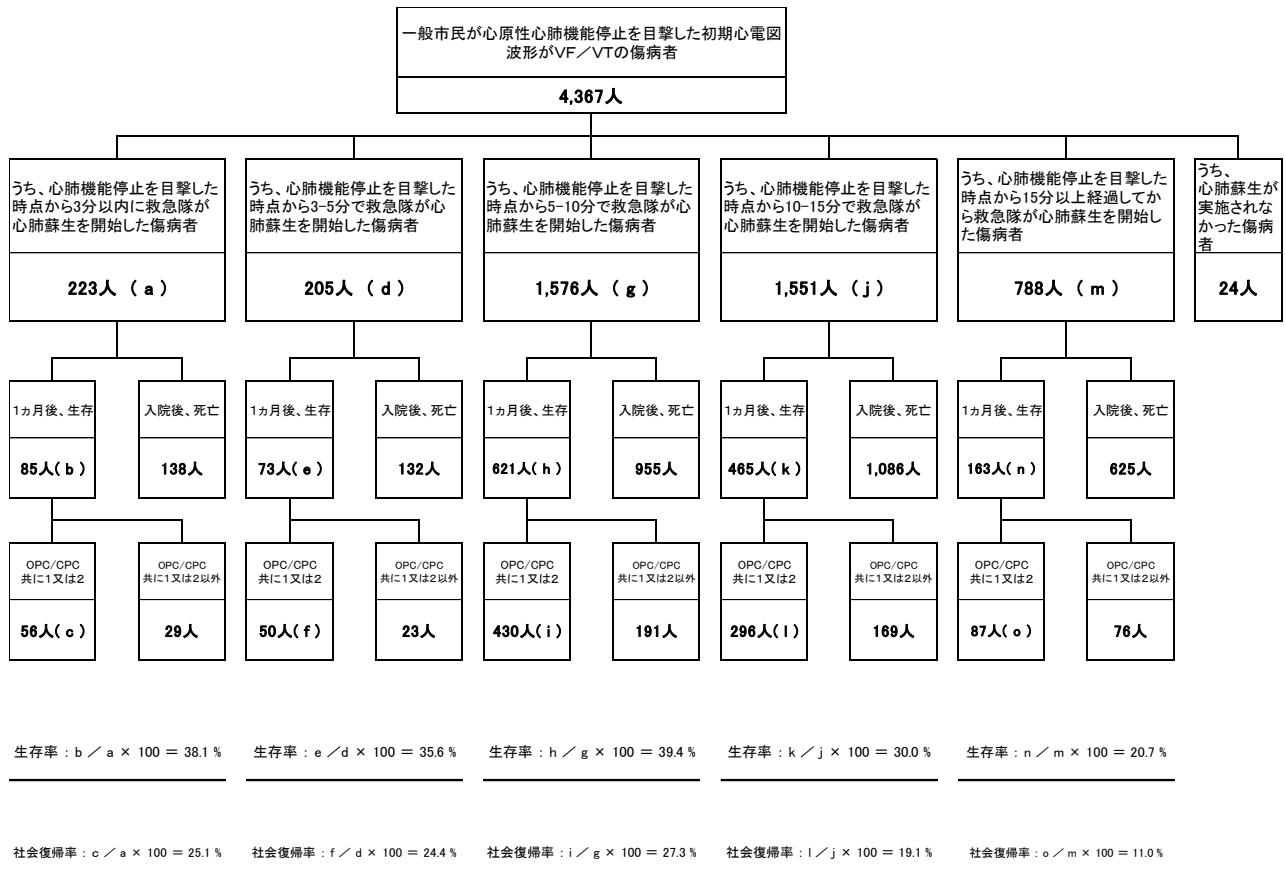
8. 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、救急隊が心肺蘇生を開始した時間別の生存率（初期心電図波形がVF/無脈性VTの傷病者）

令和3年中に一般市民が心原性心肺機能停止の時点を目撃し、かつ初期心電図波形がVF又は無脈性VTであった傷病者4,367人のうち、救急隊が心肺蘇生を開始するまでの時間が10分以内の場合、1ヵ月後生存率は35.6%～39.4%で、1ヵ月後社会復帰率は24.4%～27.3%であった。救急隊による心肺蘇生開始までの時間が10分を超えると1ヵ月後生存率、1ヵ月後社会復帰率は低下傾向を示した（第105図、第106表及び第107図参照）。

(参考) ウツタイン統計系統図



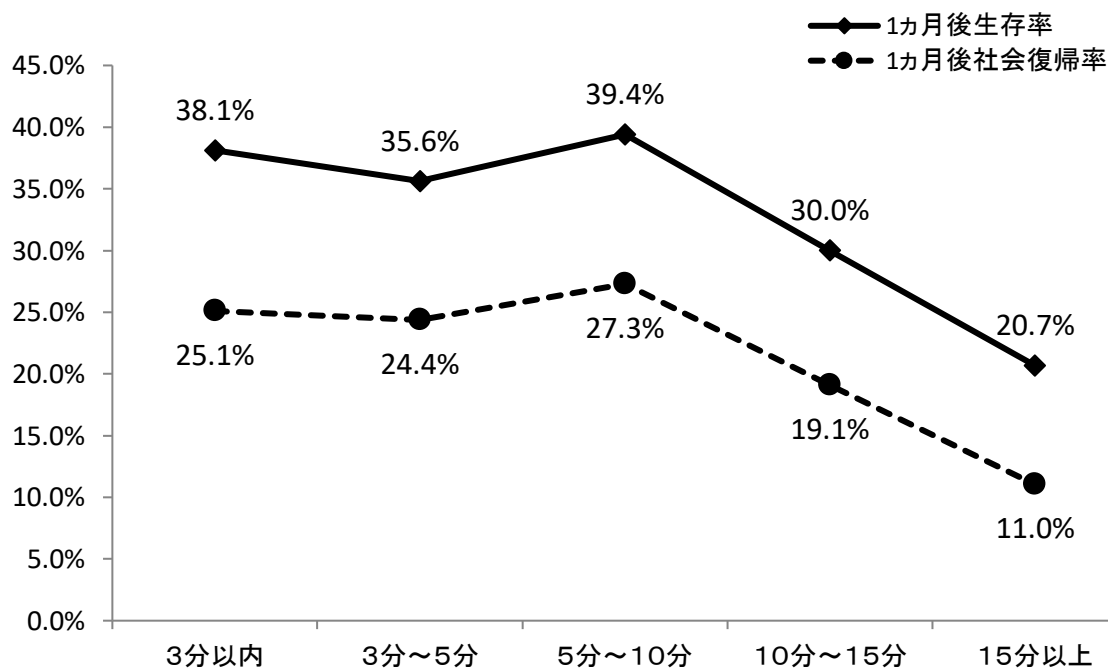
第105図 一般市民が心原性心肺機能停止の時点を目撃し、かつ初期心電図波形がVF又は無脈性VTで、救急隊が心肺蘇生を開始した時間別の生存率（令和3年）



第106表 一般市民が心原性心肺機能停止の時点を目撃し、かつ初期心電図波形がVF又は無脈性VTで、救急隊が心肺蘇生を開始した時間別の生存率（10カ年比較）

区分	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
一般市民が心原性心肺機能停止を目撃した初期心電図波形がVF/VTの傷病者	4,773	5,017	4,770	4,660	4,882	4,804	4,684	4,490	4,508	4,367
うち、心肺停止を目撃した時点から3分以内に救急隊が心肺蘇生を開始した傷病者	321	301	285	268	230	257	243	244	217	223
1ヵ月後、生存	115	101	111	104	100	106	102	100	86	85
生存率	35.8%	33.6%	38.9%	38.8%	43.5%	41.2%	42.0%	41.0%	39.6%	38.1%
OPC/CPC共に1又は2	80	74	77	77	73	73	66	70	56	56
社会復帰率	24.9%	24.6%	27.0%	28.7%	31.7%	28.4%	27.2%	28.7%	25.8%	25.1%
うち、心肺停止を目撃した時点から3-5分で救急隊が心肺蘇生を開始した傷病者	381	374	326	321	290	278	260	277	210	205
1ヵ月後、生存	158	152	134	136	118	109	101	110	78	73
生存率	41.5%	40.6%	41.1%	42.4%	40.7%	39.2%	38.8%	39.7%	37.1%	35.6%
OPC/CPC共に1又は2	109	110	88	97	88	71	75	71	56	50
社会復帰率	28.6%	29.4%	27.0%	30.2%	30.3%	25.5%	28.8%	25.6%	26.7%	24.4%
うち、心肺停止を目撃した時点から5-10分で救急隊が心肺蘇生を開始した傷病者	2,046	1,978	2,007	1,923	2,012	1,954	1,932	1,798	1,705	1,576
1ヵ月後、生存	746	727	792	782	826	838	805	778	730	621
生存率	36.5%	36.8%	39.5%	40.7%	41.1%	42.9%	41.7%	43.3%	42.8%	39.4%
OPC/CPC共に1又は2	518	526	539	574	593	574	575	550	487	430
社会復帰率	25.3%	26.6%	26.9%	29.8%	29.5%	29.4%	29.8%	30.6%	28.6%	27.3%
うち、心肺停止を目撃した時点から10-15分で救急隊が心肺蘇生を開始した傷病者	1,369	1,451	1,417	1,454	1,590	1,554	1,522	1,475	1,608	1,551
1ヵ月後、生存	381	405	451	467	544	495	521	525	516	465
生存率	27.8%	27.9%	31.8%	32.1%	34.2%	31.9%	34.2%	35.6%	32.1%	30.0%
OPC/CPC共に1又は2	241	266	303	300	360	330	355	327	304	296
社会復帰率	17.6%	18.3%	21.4%	20.6%	22.6%	21.2%	23.3%	22.2%	18.9%	19.1%
うち、心肺停止を目撃した時点から15分以上経過してから救急隊が心肺蘇生を開始した傷病者	608	699	686	641	698	733	671	625	696	788
1ヵ月後、生存	110	100	108	133	158	144	133	148	151	163
生存率	18.1%	14.3%	15.7%	20.7%	22.6%	19.6%	19.8%	23.7%	21.7%	20.7%
OPC/CPC共に1又は2	57	69	70	82	82	92	75	94	102	87
社会復帰率	9.4%	9.9%	10.2%	12.8%	11.7%	12.6%	11.2%	15.0%	14.7%	11.0%
その他	48	214	49	53	62	28	56	71	72	24

第107図 一般市民が心原性心肺機能停止の時点を目撃し、かつ初期心電図波形がVF又は無脈性VTで、救急隊が心肺蘇生を開始した時間別の生存率（令和3年）

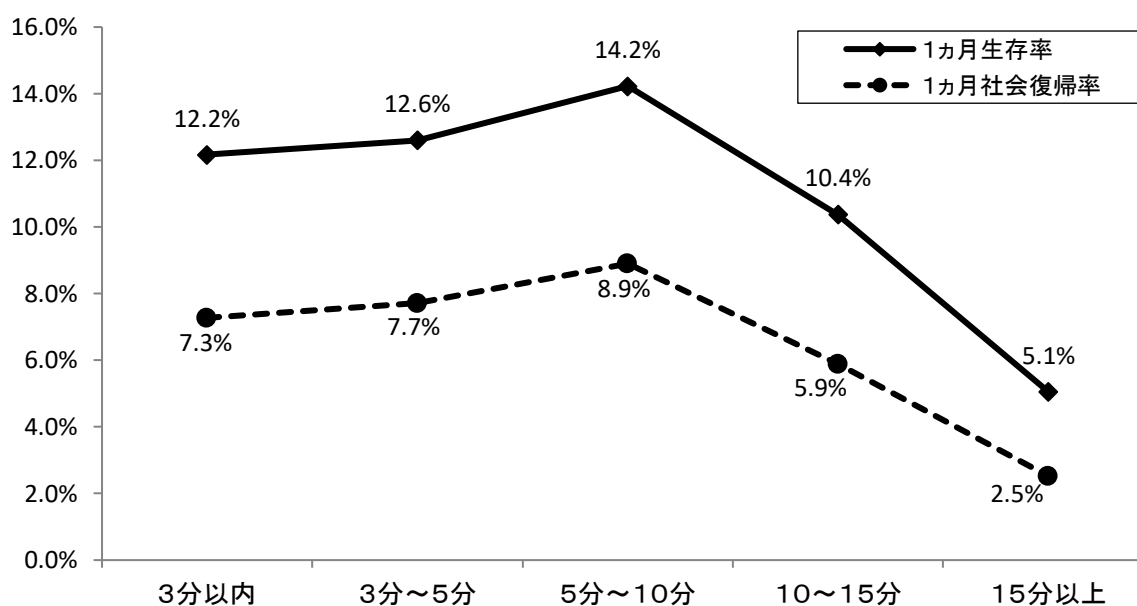


## 9. 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、救急隊が心肺蘇生を開始した時間区分別の生存率（10 ヶ年集計）

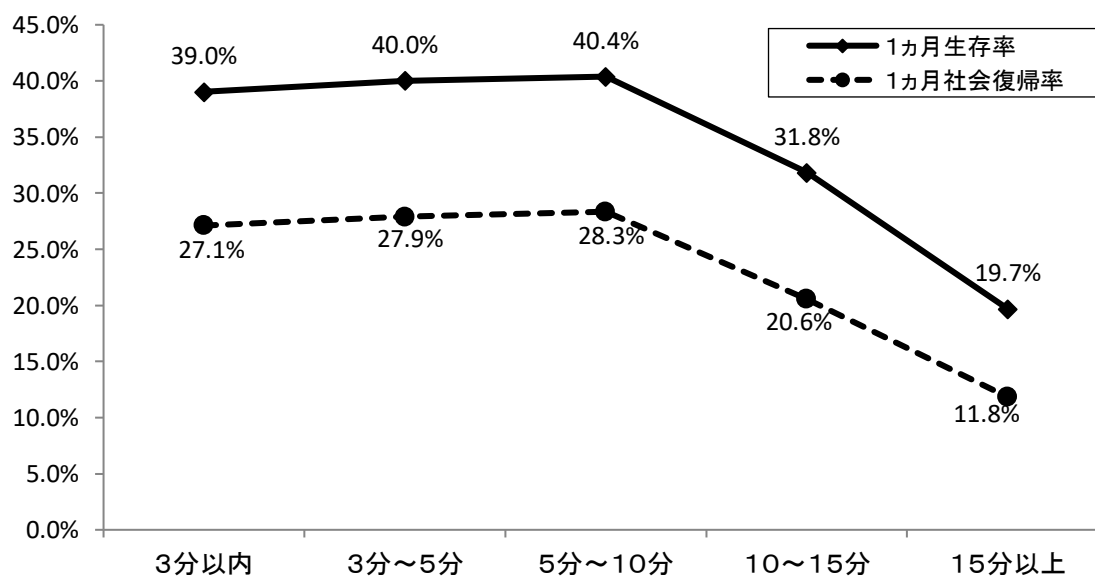
平成24年から令和3年までの10 ヶ年集計のうち、5分～10分以内に救急隊が心肺蘇生を開始した場合の1 ヶ月後生存率及び1 ヶ月後社会復帰率は、それぞれ14.2%、8.9%であった。

救急隊が心肺蘇生を開始するまで10分を超えると、1 ヶ月後生存率及び1 ヶ月後社会復帰率は低下傾向を示した。また、初期心電図波形がVF又は無脈性VTの場合は、救急隊が心肺蘇生を開始するまで10分を超えると、1 ヶ月後生存率及び1 ヶ月後社会復帰率は低下傾向を示した（第108図、第109図参照）。

**第108図 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、救急隊が心肺蘇生を開始した時間別の生存率（10 ヶ年集計）**



**第109図 一般市民が心原性心肺機能停止の時点を目撃し、かつ初期心電図波形がVF又は無脈性VTの傷病者（10 ヶ年集計）**





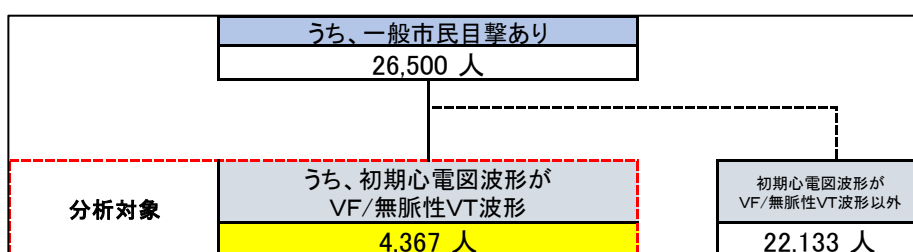
10. 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、救急隊による除細動実施の有無別の生存率（初期心電図波形がVF/無脈性VTの傷病者）

令和3年中に一般市民が心原性心肺機能停止の時点を目撃し、かつ初期心電図波形がVF又は無脈性VTであった傷病者4,367人のうち、救急隊により除細動が実施された傷病者の1ヵ月後生存率は32.5%で、救急隊による除細動が実施されなかった傷病者（適応でなかった傷病者を含む。）の1ヵ月後生存率は27.5%であった。

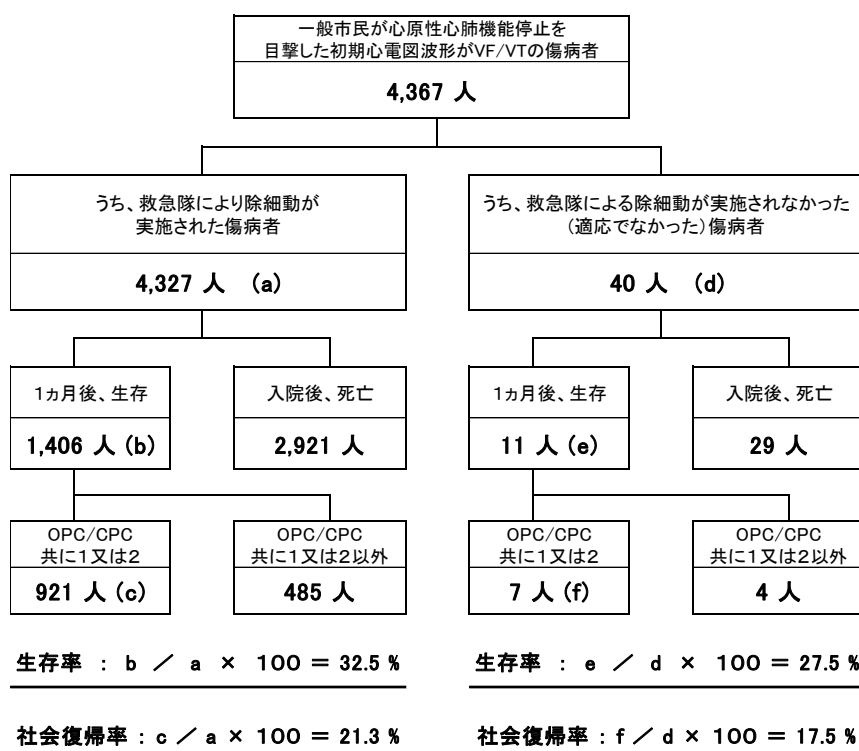
また、救急隊により除細動が実施された傷病者の1ヵ月後社会復帰率は21.3%で、救急隊による除細動が実施されなかった傷病者（適応でなかった傷病者を含む。）の1ヵ月後社会復帰率は17.5%であった。

平成24年と比較すると、救急隊により除細動を実施された傷病者の1ヵ月後生存率は0.2ポイント上昇し、1ヵ月後社会復帰率は0.2ポイント低下している（第110図、第111表参照）。

（参考）ウツタイン統計系統図



第110図 一般市民が心原性心肺機能停止を目撃し、かつ初期心電図波形がVF又は無脈性VTの傷病者で、救急隊による除細動実施の有無別の生存率（令和3年）



第111表 一般市民が心原性心肺機能停止を目撃し、かつ初期心電図波形がVF又は無脈性VTの傷病者で、救急隊による除細動実施の有無別の生存率（10カ年比較）

区 分	年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
一般市民が心原性心肺機能停止を目撃した初期心電図波形がVF/VTの傷病者		4,773	5,017	4,770	4,660	4,882	4,804	4,684	4,490	4,508	4,367
うち、救急隊により除細動が実施された傷病者		4,627	4,551	4,588	4,446	4,686	4,631	4,519	4,422	4,438	4,327
1か月後、生存		1,496	1,520	1,550	1,570	1,702	1,658	1,635	1,667	1,565	1,406
生存率		32.3%	33.4%	33.8%	35.3%	36.3%	35.8%	36.2%	37.7%	35.3%	32.5%
OPC/CPC共に1又は2		993	1,072	1,043	1,091	1,167	1,111	1,128	1,119	1,003	921
社会復帰率		21.5%	23.6%	22.7%	24.5%	24.9%	24.0%	25.0%	25.3%	22.6%	21.3%
うち、救急隊による除細動が実施されなかった(適応でなかった)傷病者		146	466	182	214	196	173	165	68	70	40
1か月後、生存		39	64	66	80	77	54	60	32	41	11
生存率		26.7%	13.7%	36.3%	37.4%	39.3%	31.2%	36.4%	47.1%	58.6%	27.5%
OPC/CPC共に1又は2		32	51	52	64	57	48	46	25	36	7
社会復帰率		21.9%	10.9%	28.6%	29.9%	29.1%	27.7%	27.9%	36.8%	51.4%	17.5%
うち、除細動の適用有無が不明の傷病者		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

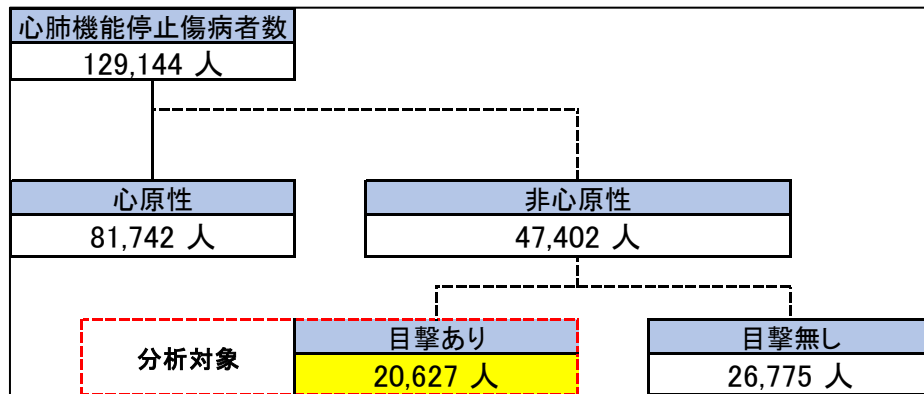
### 3 非心原性心肺機能停止傷病者の分析

#### 1. 非心原性心肺機能停止傷病者の目撃者別の生存率

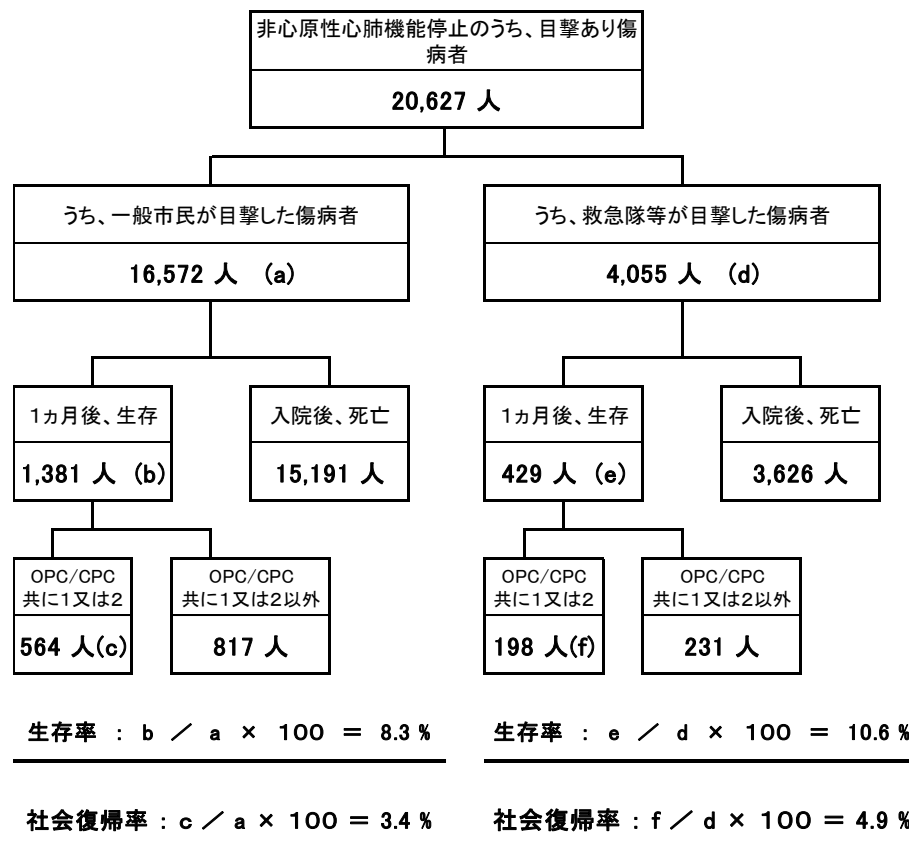
令和3年中に非心原性心肺機能停止の時点を目撃した傷病者2万627人のうち、一般市民が心肺機能停止の時点を目撃した傷病者の1ヵ月後生存率は8.3%で、1ヵ月後社会復帰率は3.4%であった。平成24年と比較すると、1ヵ月後生存率は0.2ポイント低下し、1ヵ月後社会復帰率は0.3ポイント上昇している。

また、救急隊等が目撃した傷病者の1ヵ月後生存率は10.6%で、1ヵ月後社会復帰率は4.9%であった。平成24年と比較すると、それぞれ0.4ポイント、0.7ポイント上昇している（第112図、第113表参照）。

（参考）ウツタイン統計系統図



第112図 非心原性心肺機能停止の時点を目撃した傷病者の生存率（令和3年）





第113表 非心原性心肺機能停止の時点を目撃した傷病者の生存率（10ヵ年比較）

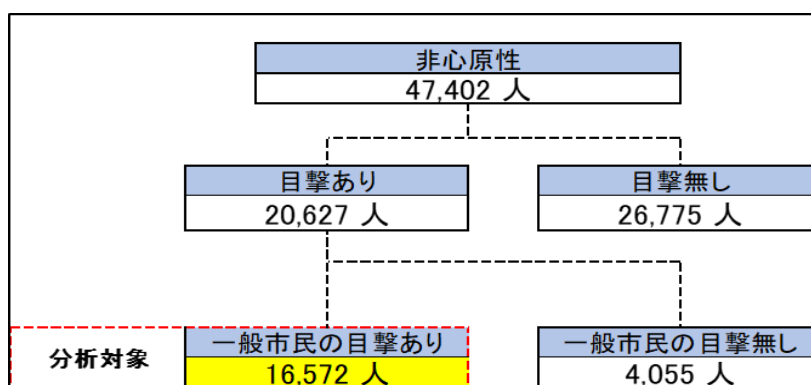
区 分	年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
非心原性的心肺機能停止傷病者		54,843	48,590	49,810	49,724	48,445	48,716	48,318	47,387	46,552	47,402
心肺機能停止の時点を目撃した傷病者		23,565	20,643	21,016	21,184	21,175	21,049	21,133	20,592	19,849	20,627
うち、一般市民が目撃した傷病者		18,903	16,546	16,802	17,116	17,159	17,131	17,186	16,777	16,064	16,572
1ヵ月後、生存		1,609	1,572	1,525	1,538	1,691	1,695	1,769	1,739	1,409	1,381
生存率		8.5%	9.5%	9.1%	9.0%	9.9%	9.9%	10.3%	10.4%	8.8%	8.3%
OPC/CPC共に1又は2		579	634	594	616	738	729	841	770	618	564
社会復帰率		3.1%	3.8%	3.5%	3.6%	4.3%	4.3%	4.9%	4.6%	3.8%	3.4%
うち、救急隊等が目撃した傷病者		4,662	4,097	4,214	4,068	4,016	3,918	3,947	3,815	3,785	4,055
1ヵ月後、生存		475	396	427	431	463	450	466	449	419	429
生存率		10.2%	9.7%	10.1%	10.6%	11.5%	11.5%	11.8%	11.8%	11.1%	10.6%
OPC/CPC共に1又は2		196	185	180	181	211	204	214	229	183	198
社会復帰率		4.2%	4.5%	4.3%	4.4%	5.3%	5.2%	5.4%	6.0%	4.8%	4.9%
うち、目撃者が不詳である傷病者		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心肺機能停止の時点が目撃されていない傷病者		31,278	27,602	28,561	28,540	27,270	27,667	27,185	26,795	26,703	26,775

## 2. 一般市民が目撃した非心原性心肺機能停止傷病者のうち、一般市民による心肺蘇生実施の有無別の生存率

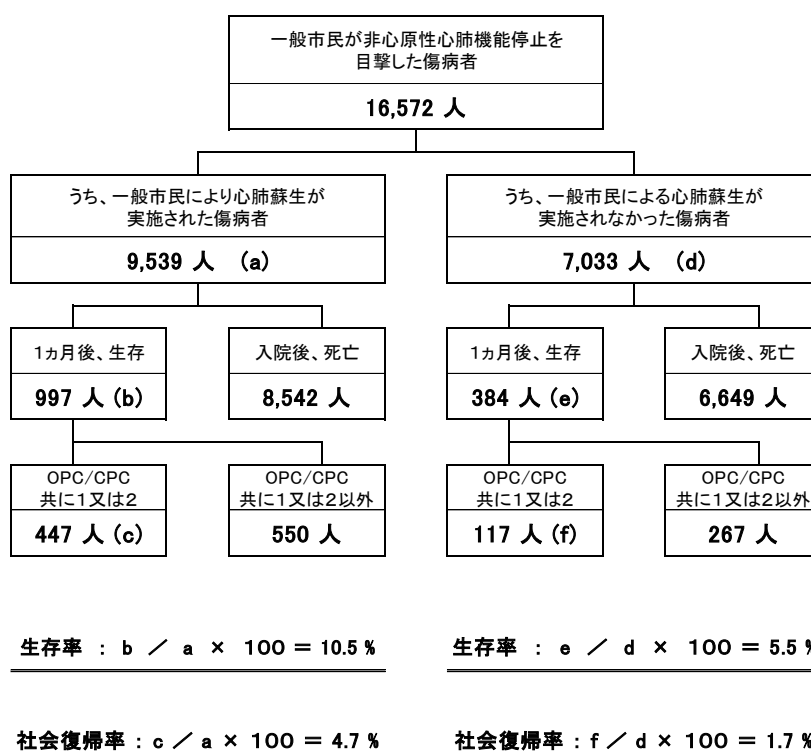
令和3年中に一般市民が非心原性心肺機能停止の時点を目撃した傷病者は1万6,572人であり、一般市民が心肺蘇生を実施した傷病者は9,539人(57.6%)であった。そのうち、1ヵ月後生存者は997人、1ヵ月後生存率は10.5%であり、心肺蘇生を実施しなかった場合の1ヵ月後生存率5.5%と比較して約1.9倍高くなっている。また、一般市民が心肺蘇生を実施した傷病者のうち1ヵ月後社会復帰者は447人、1ヵ月後社会復帰率は4.7%であり、心肺蘇生を実施しなかった場合の1ヵ月後社会復帰率1.7%と比較して約2.8倍高くなっている。

平成24年と比較すると、一般市民が心肺蘇生を実施した傷病者の1ヵ月後生存率、1ヵ月後社会復帰率はそれぞれ0.1ポイント、0.2ポイント上昇している(第114図、第115表参照)。

(参考) ウツタイン統計系統図



第114図 一般市民が目撃した非心原性心肺機能停止傷病者のうち、一般市民による心肺蘇生実施の有無別の生存率(令和3年)



第115表 一般市民が目撃した非心原性心肺機能停止傷病者のうち、一般市民による心肺蘇生実施の有無別の生存率（10カ年比較）

区 分	年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
一般市民が非心原性心肺機能停止を目撃した傷病者		18,903	16,546	16,802	17,116	17,159	17,131	17,186	16,777	16,064	16,572
うち、一般市民により心肺蘇生が実施された傷病者		9,250	8,295	8,938	9,240	9,293	9,600	9,932	9,659	9,255	9,539
	1ヵ月後、生存	965	933	1,000	1,010	1,149	1,192	1,277	1,219	1,028	997
	生存率	10.4%	11.2%	11.2%	10.9%	12.4%	12.4%	12.9%	12.6%	11.1%	10.5%
	OPC/CPC共に1又は2	418	423	462	456	550	572	674	605	489	447
	社会復帰率	4.5%	5.1%	5.2%	4.9%	5.9%	6.0%	6.8%	6.3%	5.3%	4.7%
うち、一般市民による心肺蘇生が実施されなかった傷病者		9,653	8,251	7,864	7,876	7,866	7,531	7,254	7,118	6,809	7,033
	1ヵ月後、生存	644	639	525	528	542	503	492	520	381	384
	生存率	6.7%	7.7%	6.7%	6.7%	6.9%	6.7%	6.8%	7.3%	5.6%	5.5%
	OPC/CPC共に1又は2	161	211	132	160	188	157	167	165	129	117
	社会復帰率	1.7%	2.6%	1.7%	2.0%	2.4%	2.1%	2.3%	2.3%	1.9%	1.7%
うち、一般市民による心肺蘇生の有無が不明の傷病者		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

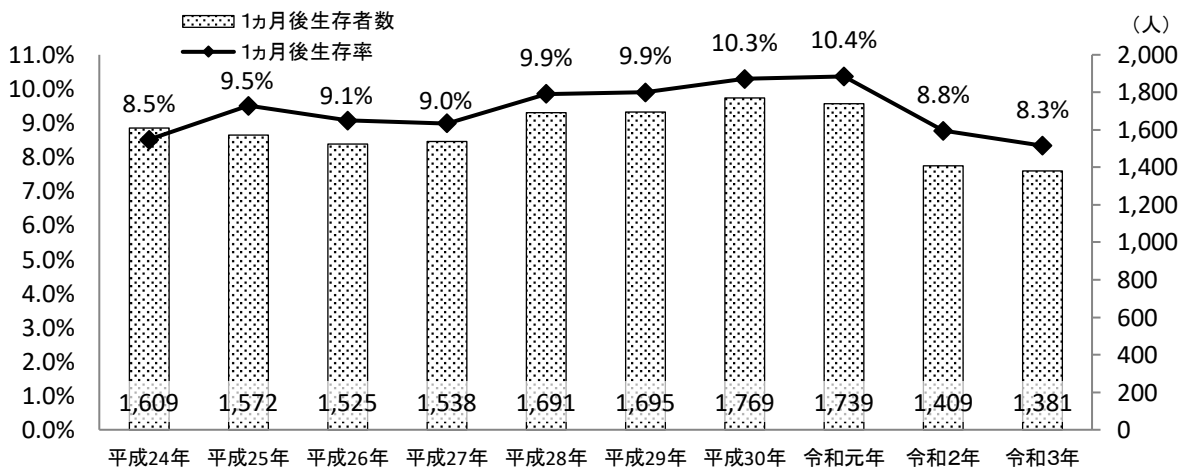
### 3. 一般市民が目撃した非心原性心肺機能停止傷病者の生存率の推移（都道府県別及び年齢区分別の10ヵ年集計、10ヵ年推移）

令和3年中に一般市民が非心原性心肺機能停止の時点を目撃した傷病者の1ヵ月後生存率は8.3%であり、1ヵ月後社会復帰率は3.4%であった（第116図、第117図参照）。

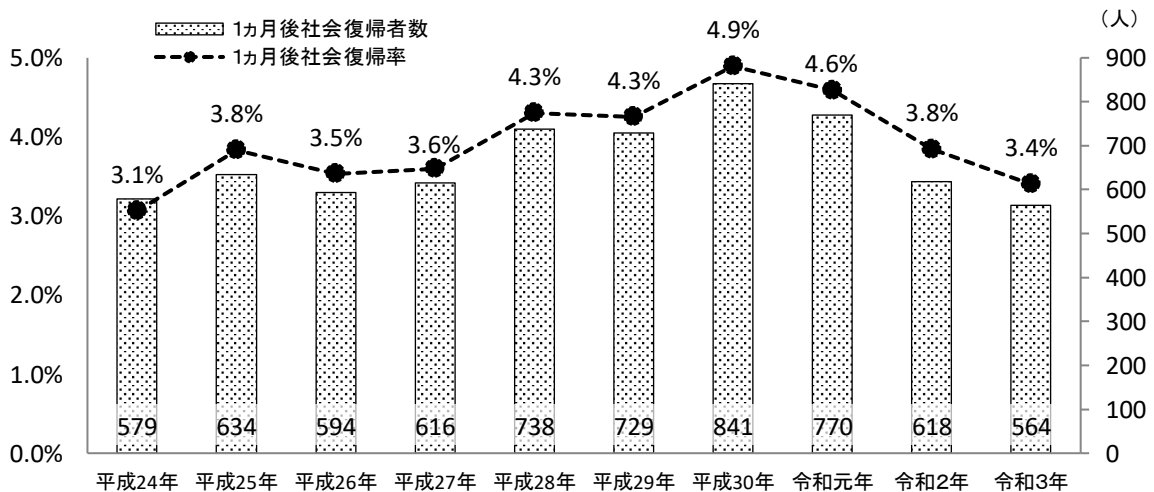
平成24年から令和3年までの10ヵ年集計による、一般市民が非心原性心肺機能停止の時点を目撃した傷病者の1ヵ月後生存率は9.4%であり、1ヵ月後社会復帰率は3.9%であった（別表22参照）。

一般市民が非心原性心肺機能停止の時点を目撃した傷病者について、年齢区分別にみると1ヵ月後生存率、1ヵ月後社会復帰率ともに満0～9歳が最も高い（第118表参照）。10ヵ年における都道府県別の1ヵ月後生存率は、沖縄県（16.6%）、島根県（15.5%）、鳥取県（14.5%）等が高く、1ヵ月後社会復帰率については、島根県（9.3%）、佐賀県（8.3%）、沖縄県（7.5%）等が高くなっている（別表22参照）。

第116図 一般市民が目撃した非心原性心肺機能停止傷病者の1ヵ月後生存率（10ヵ年推移）



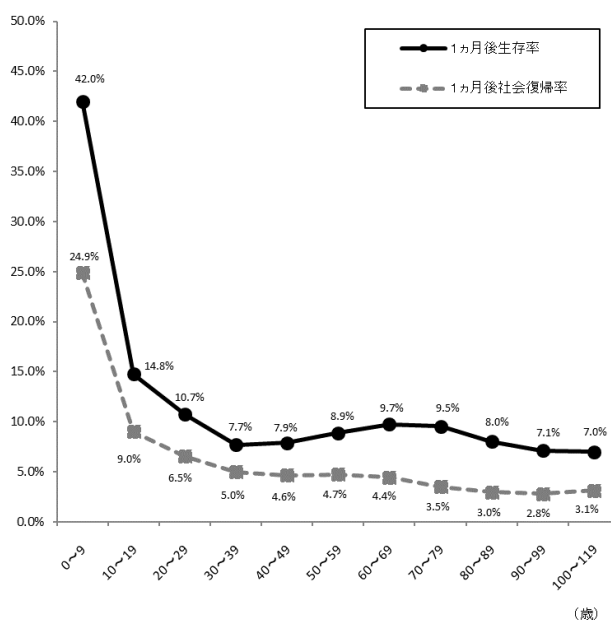
第117図 一般市民が目撃した非心原性心肺機能停止傷病者の1ヵ月後社会復帰率（10ヵ年推移）



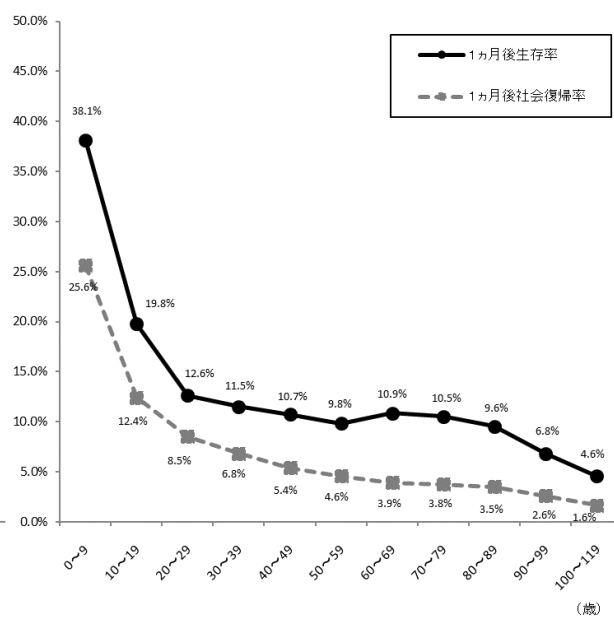
第118表 一般市民が目撃した非心原性心肺機能停止傷病者の男女別・年齢区分別の生存率（10カ年集計）

		10カ年集計											
		総件数	一般市民が目撃した非心原性心肺機能停止傷病者数										
			男性						女性				
			人数	1ヵ月後生存者数		1ヵ月後社会復帰者数		人数	1ヵ月後生存者数		1ヵ月後社会復帰者数		
1ヵ月後生存率	1ヵ月後社会復帰率	1ヵ月後生存率		1ヵ月後社会復帰率									
年齢区分	0～9	10,168	1,863	1,102	463	42.0%	274	24.9%	761	290	38.1%	195	25.6%
	10～19	7,888	1,782	1,266	187	14.8%	114	9.0%	516	102	19.8%	64	12.4%
	20～29	15,596	3,105	2,155	231	10.7%	141	6.5%	950	120	12.6%	81	8.5%
	30～39	23,921	3,968	2,724	210	7.7%	136	5.0%	1,244	143	11.5%	85	6.8%
	40～49	51,646	7,421	4,861	383	7.9%	226	4.6%	2,560	275	10.7%	138	5.4%
	50～59	80,720	10,408	6,978	620	8.9%	329	4.7%	3,430	337	9.8%	157	4.6%
	60～69	159,150	20,426	13,677	1,331	9.7%	606	4.4%	6,749	734	10.9%	264	3.9%
	70～79	290,505	38,657	25,062	2,390	9.5%	874	3.5%	13,595	1,431	10.5%	510	3.8%
	80～89	420,962	55,289	30,379	2,434	8.0%	898	3.0%	24,910	2,379	9.6%	876	3.5%
	90～99	190,855	25,918	8,832	627	7.1%	246	2.8%	17,086	1,170	6.8%	442	2.6%
100～119	9,447	1,419	257	18	7.0%	8	3.1%	1,162	53	4.6%	19	1.6%	
不詳	0	0	0	0	—	0	—	0	0	—	0	—	
合計	1,260,858	170,256	97,293	8,894	9.1%	3,852	4.0%	72,963	7,034	9.6%	2,831	3.9%	

男性



女性



## 4 用語の定義及び収集方法について （「平成20年度救急統計活用検討会」報告書による）

### （1） ウツタイン様式とは

「ウツタイン様式」とは、心肺機能停止傷病者について地域間・国際間での蘇生率等の統計比較を可能とするために、その原因別（心臓に原因があるものかそれ以外か）の分類、心肺機能停止時点の目撃の有無、バイスタンダー（その場に居合わせた人）や救急隊による心肺蘇生の有無やその開始時期、除細動の有無などに応じた傷病者の経過の記録に関するガイドラインのことを指し、平成2年にノルウェーの「ウツタイン修道院」で開催された国際蘇生会議において提唱されたことからこのように呼ばれる。

### （2） 各用語の定義について

#### ●心肺機能停止

脈拍が触知出来ない、反応が無い（意識が無い）、無呼吸あるいはあえぎ呼吸（死戦期呼吸）で確認される心臓機能の機械的な活動の停止をいう。

#### ●V F、無脈性V T傷病者

V F：心室細動（Ventricular Fibrillation）

無脈性V T：無脈性心室頻拍（Pulseless Ventricular Tachycardia）

#### ●A E D

A E D：自動体外式除細動器（Automated External Defibrillator）

小型の機器で、傷病者の胸に貼ったパッドから自動的に心臓の状態を判断し、もし心室細動や無脈性心室頻拍の不整脈があったと判断された場合は、電気ショックを心臓に与える機能を持っている。

#### ●一般市民による応急手当

胸骨圧迫、人工呼吸等の心肺蘇生法及びA E Dによる除細動の実施をいう。

※胸骨圧迫、人工呼吸、除細動のいずれかが実施された場合に「一般市民による応急手当あり」としている。

#### ●一般市民による目撃

心肺機能停止の時点を目撃、または音を聞いた人のことをいう。「目撃、または音を聞いた」に該当する例は、次のとおりである。

- ✓ 家族の目前で「倒れた」、「ぐったりした」等、また、物音を聞いてすぐに駆けつけたところ倒れていた場合。
- ✓ 交通事故等の目撃者からの通報で、救急隊（救急隊と連携して出動した消防隊も含む。以下同じ。）到着時には心肺機能停止状態であった場合。
- ✓ 通報時、通報者が傷病者の生存を確認できたが、救急隊到着時には心肺機能停止状態であった場合。

●除細動実施傷病者

AED又は半自動体外式除細動器で除細動が必要と判断され、実施したもの。

●除細動未実施傷病者

AED又は半自動体外式除細動器で、除細動が必要でないと判断されたもの、又は、AEDを装着していないもの。

●救急隊等

救急隊または救急隊と連携して出動した消防隊をいう。

●初期心電図波形

救急隊等が傷病者に接触し、最初に確認した心電図波形をいう。

※救急隊到着前に、一般市民により除細動が行われ、傷病者の心拍が再開した傷病者については、心電図波形上、VF、無脈性VTが救急隊によって確認されないため、「初期心電図波形が、VF、無脈性VT」には含まれない。

●社会復帰者

脳機能カテゴリー(CPC)、全身機能カテゴリー(OPC)が共に1又は2であったものをいう。

●CPC、OPC

グラスゴー・ピッツバーグ脳機能・全身機能カテゴリー(The Glasgow - Pittsburgh Outcome Categories)は、心肺蘇生が成功した傷病者のその後の生活の質(QOL:Quality of Life)を評価するために広く用いられている分類法であり、脳機能カテゴリー(CPC:Cerebral Performance Categories)と全身機能カテゴリー(OPC:Overall Performance Categories)に分類し評価している。

<p>●<b>脳機能カテゴリー(CPC)</b></p> <p>(1) <b>CPC1:機能良好</b> 意識は清明、普通の生活ができ、労働が可能である。障害があるが軽度の構音障害、脳神経障害、不完全麻痺などの軽い神経障害あるいは精神障害まで。</p> <p>(2) <b>CPC2:中等度障害</b> 意識あり。保護された状況でパートタイムの仕事ができ、介助なしに着替え、旅行、炊事などの日常生活ができる。片麻痺、痙攣失調、構音障害、嚥下障害、記憶力障害、精神障害など。</p> <p>(3) <b>CPC3:高度障害</b> 意識あり。脳の障害により、日常生活に介助を必要とする。少なくとも認識力は低下している。高度な記憶力障害や認知力障害、Locked-in症候群のように目でのみ意思表示ができるなど。</p> <p>(4) <b>CPC4:昏睡</b> 昏睡、植物状態。意識レベルは低下、認識力欠如、周囲との会話や精神的交流も欠如。</p> <p>(5) <b>CPC5:死亡、若しくは脳死</b></p> <p>●<b>全身機能カテゴリー(OPC)</b></p> <p>(1) <b>OPC1:機能良好</b> 健康で意識清明。正常な生活を営む。OPC1であるとともに脳以外の原因による軽度の障害。</p> <p>(2) <b>OPC2:中等度障害</b> 意識あり。OPC2の状態。あるいは脳以外の原因による中等度の障害、若しくは両者の合併。介助なしに着替え、旅行、炊事などの日常生活ができる。保護された状況でパートタイムの仕事ができるが厳しい仕事はできない。</p> <p>(3) <b>OPC3:高度障害</b> 意識あり。OPC3の状態。あるいは脳以外の原因による高度の障害、若しくは両者の合併。日常生活に介助が必要。</p> <p>(4) <b>OPC4:昏睡</b> CPC4に同じ。</p> <p>(5) <b>OPC5:死亡、もしくは脳死</b> CPC5に同じ。</p>
--

### (3) 収集方法、データクレンジング基本方針について

#### ●収集方法

全国の消防本部が、「ウツタイン様式オンライン入力要領」に従ってデータを収集し、収集したデータを次のいずれかの方法により消防庁システムへ登録することでデータ収集を行っている。

- ✓ 消防庁オンラインシステムの登録画面にデータを直接入力し、そのデータを登録する。
- ✓ 国が提供している「救急調査オフライン処理システム」の登録画面にデータを入力し、そのデータを消防庁オンラインシステムに登録する。
- ✓ 消防本部が独自に保有する統計システムを用いてデータを入力し、消防庁オンラインシステムに整合するようにデータ変換したものを登録する。

#### ●収集項目

事例No	_____	発生年月日	年	月	日	性別	□男 □女	年齢	_____
救急救命士乗車	□あり □なし	医師の乗車	□あり □なし	医師の2次救命処置		□あり □なし			
1. 心停止の目撃									
□ 目撃、または音を聞いた _____ 時 _____ 分									
□ 家族 □ その他のバイスタンダー(□友人 □同僚 □通行人 □その他)									
□ 消防隊 □ 救急隊(□救急救命士隊)									
□ 既に心肺機能停止(発見時)									
2. バイスタンダーCPR □あり (□胸骨圧迫 □人工呼吸 □市民等による除細動) □なし									
バイスタンダーCPRまたは市民等による除細動開始時刻 _____ 時 _____ 分 □確定 □推定 □不明									
□口頭指導あり									
3. 初期心電図波形									
□VF(心室細動) □Pulseless VT(無脈性心室頻拍) □PEA(無脈性電氣的活動)									
□心静止 □その他( _____ )									
4. 救急救命処置等の内容									
□除細動(□二相性 □単相性) 初回除細動実施時刻 _____ 時 _____ 分 施行回数 _____ 回									
実施者 □救急救命士 □救急隊員 □消防職員 □その他									
□気道確保 □特定行為器具使用( □LM □食道閉鎖式エアウェイ □気管内チューブ )									
□静脈路確保									
□薬剤投与 初回投与時刻 _____ 時 _____ 分 投与回数 _____ 回									
5. 時間経過									
覚知 _____ 時 _____ 分 現着 _____ 時 _____ 分 接触 _____ 時 _____ 分 CPR開始 _____ 時 _____ 分 病院収容 _____ 時 _____ 分									
6. 心停止の推定原因									
□心原性: □確定 □除外診断による心原性									
□非心原性: □脳血管障害 □呼吸器系疾患 □悪性腫瘍 □外因性 □その他( _____ )									
7. 転帰及び予後									
・病院収容前の心拍再開 □あり □なし 初回心拍再開時刻 _____ 時 _____ 分									
□ 1ヶ月予後 (回答: □あり □なし)									
□ 1ヶ月生存 □あり □なし									
○ 脳機能カテゴリー(CPC)									
□ CPC1 機能良好 □ CPC2 中等度障害 □ CPC3 高度障害									
□ CPC4 昏睡 □ CPC5 死亡、もしくは脳死									
○ 全身機能カテゴリー(OPC)									
□ OPC1 機能良好 □ OPC2 中等度障害 □ OPC3 高度障害									
□ OPC4 昏睡 □ OPC5 死亡、もしくは脳死									



#### ●データクリーニング基本方針

報告のあったデータを以下の方針に基づき、精査し、平成 17 年からの全てのウツタインデータを改めて見直し、全てのウツタイン統計データの再集計を行った。

- ✓ システムやコンバートによるエラーであることが明らかであるものについては、修正可能であれば修正、又は各消防本部に確認して修正する。
- ✓ 各消防本部別・各項目別のエラー件数が、それぞれの消防本部における心肺機能停止傷病者数からみて 25%以上だった場合、当該消防本部に確認し修正する。
- ✓ 最終的には都道府県にてデータを確認

#### (4) その他

都道府県別のデータについては、10 年分のデータを合わせて集計している。

一定の標本蓄積がなされたが、都道府県別で正確な比較をするには、地域ごとに医療提供体制に違いがあること、傷病者の背景因子に違いがあること、さらにデータの精度を向上させる必要があること等から、平成 22 年度救急業務高度化推進検討会（救急蘇生作業部会）において、都道府県別に単純比較を行うことについては適切でない指摘されており、データを活用する際には十分に注意を払う必要がある。



# 別 表

別表15 心肺機能停止傷病者全搬送人員（都道府県別）

都道府県	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
北海道	5,507	5,294	5,567	5,401	5,545	5,605	5,697	5,679	5,652	5,891
青森県	1,798	1,725	1,680	1,674	1,657	1,637	1,612	1,607	1,584	1,654
岩手県	1,641	1,569	1,664	1,566	1,523	1,489	1,625	1,603	1,614	1,613
宮城県	2,237	2,180	2,271	2,283	2,358	2,255	2,490	2,556	2,419	2,396
秋田県	1,616	1,667	1,497	1,558	1,498	1,481	1,480	1,435	1,377	1,490
山形県	1,561	1,559	1,549	1,455	1,424	1,352	1,435	1,477	1,331	1,337
福島県	2,203	2,228	2,331	2,158	2,183	2,221	2,220	2,207	2,230	2,291
茨城県	3,242	3,181	3,126	3,070	2,975	3,147	3,279	3,221	3,123	3,061
栃木県	2,151	2,127	2,093	2,036	2,102	2,201	2,146	2,134	2,088	2,173
群馬県	2,151	2,090	2,250	2,161	2,041	2,123	2,240	2,210	2,199	2,213
埼玉県	6,851	6,795	6,818	6,505	6,889	7,176	7,115	7,067	7,512	7,692
千葉県	5,657	5,579	5,595	5,676	5,649	5,869	6,030	6,170	5,914	6,342
東京都	13,476	12,864	12,941	12,446	12,449	12,574	12,679	12,405	12,414	12,766
神奈川県	9,182	8,675	8,896	8,613	8,518	8,794	8,904	8,830	9,059	9,057
新潟県	3,085	2,945	2,916	2,824	2,867	2,858	2,893	2,831	2,590	2,775
富山県	1,191	1,114	1,095	1,040	1,085	1,052	1,164	1,069	1,060	1,110
石川県	1,147	965	1,099	1,105	1,090	1,118	1,107	1,121	1,020	1,149
福井県	684	742	727	747	771	743	785	764	705	758
山梨県	928	1,002	918	982	812	979	871	952	936	989
長野県	2,534	2,495	2,544	2,382	2,375	2,530	2,385	2,387	2,294	2,402
岐阜県	2,333	2,366	2,389	2,331	2,193	2,312	2,231	2,132	2,090	2,160
静岡県	4,490	4,302	4,152	4,143	3,998	4,208	4,034	3,931	3,895	3,879
愛知県	6,946	6,818	6,990	6,980	6,775	7,146	7,122	7,187	7,050	7,217
三重県	2,174	2,145	2,065	2,072	2,087	2,125	2,197	2,093	2,056	1,968
滋賀県	1,311	1,285	1,286	1,208	1,180	1,288	1,298	1,327	1,289	1,395
京都府	2,350	2,160	2,479	2,425	2,471	2,553	2,526	2,550	2,578	2,562
大阪府	7,705	7,558	7,658	7,791	7,855	8,175	8,389	8,193	8,343	8,817
兵庫県	4,926	4,878	4,868	4,757	4,842	4,993	4,964	4,922	5,112	5,224
奈良県	1,282	1,295	1,239	1,296	1,303	1,329	1,342	1,334	1,305	1,445
和歌山県	1,269	1,190	1,179	1,075	1,100	1,142	1,139	1,106	1,103	1,198
鳥取県	677	670	495	419	621	632	587	592	468	437
島根県	1,003	934	1,002	891	867	853	857	799	716	798
岡山県	1,903	1,791	1,840	1,842	1,898	1,898	1,957	1,824	1,794	1,898
広島県	2,277	2,345	2,351	2,349	2,123	2,251	2,227	2,379	2,350	2,429
山口県	1,457	1,408	1,342	1,376	1,414	1,392	1,343	1,424	1,356	1,258
徳島県	756	736	734	758	727	733	722	743	756	766
香川県	979	927	1,008	954	861	948	849	893	914	940
愛媛県	1,485	1,596	1,652	1,560	1,510	1,611	1,515	1,541	1,494	1,472
高知県	784	852	785	750	794	781	748	742	749	762
福岡県	4,296	3,256	4,118	4,050	4,265	4,365	4,496	4,214	4,365	4,436
佐賀県	734	816	841	850	815	916	840	810	866	838
長崎県	1,274	1,356	1,274	1,286	1,320	1,408	1,343	1,255	1,351	1,342
熊本県	1,838	1,696	1,686	1,730	1,708	1,722	1,719	1,669	1,693	1,655
大分県	1,053	1,125	1,101	981	1,109	1,171	1,117	1,053	1,125	1,123
宮崎県	1,023	996	1,029	1,121	1,137	1,046	1,116	1,081	1,172	1,171
鹿児島県	1,529	1,547	1,623	1,612	1,520	1,556	1,547	1,472	1,544	1,522
沖縄県	1,170	1,143	1,188	1,132	1,250	1,260	1,336	1,280	1,273	1,273
全国	127,866	123,987	125,951	123,421	123,554	127,018	127,718	126,271	125,928	129,144

別表16 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、一般市民が心肺蘇生を実施した件数（都道府県別）

都道府県	年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
北海道		452	470	438	546	563	571	610	555	600	594
青森県		201	175	162	198	174	195	180	208	192	181
岩手県		194	186	190	192	180	194	175	215	223	208
宮城県		217	260	243	304	320	306	314	328	321	347
秋田県		223	181	146	195	205	168	182	191	169	174
山形県		173	159	153	198	188	169	186	173	173	159
福島県		266	302	317	284	298	286	295	272	302	285
茨城県		295	293	279	291	324	292	373	359	325	344
栃木県		221	251	212	231	263	252	268	269	299	283
群馬県		210	230	268	281	253	328	295	300	297	285
埼玉県		704	840	774	789	841	894	831	884	1,008	999
千葉県		504	517	536	544	517	543	622	705	702	715
東京都		1,243	1,506	1,572	1,207	1,364	1,458	1,459	1,429	1,460	1,544
神奈川県		905	918	965	985	1,044	1,084	1,238	1,100	1,135	1,123
新潟県		259	262	277	292	286	285	318	284	327	287
富山県		77	77	78	80	82	69	87	72	90	91
石川県		100	74	108	97	96	98	116	108	112	110
福井県		38	32	37	49	69	48	61	64	58	70
山梨県		100	102	105	103	96	112	104	136	133	137
長野県		224	221	249	231	239	257	241	236	281	260
岐阜県		231	217	275	237	251	290	299	261	271	306
静岡県		397	403	394	407	436	459	422	419	390	400
愛知県		866	926	913	948	959	954	925	962	859	917
三重県		185	188	223	229	242	250	267	247	252	215
滋賀県		111	127	133	139	131	118	123	145	143	137
京都府		228	206	247	249	286	292	298	316	341	297
大阪府		760	859	1,158	1,210	1,288	1,032	1,111	1,061	1,031	1,151
兵庫県		451	479	552	505	571	545	606	556	570	644
奈良県		155	181	159	182	195	194	208	192	209	224
和歌山県		94	92	102	117	92	110	93	117	123	110
鳥取県		67	70	56	59	78	71	77	71	45	52
島根県		113	97	98	109	97	89	77	74	81	81
岡山県		161	179	184	155	160	189	201	165	172	181
広島県		176	183	181	201	192	206	221	253	245	275
山口県		116	126	115	119	161	152	180	180	139	148
徳島県		65	55	59	62	62	72	57	50	58	66
香川県		71	74	70	66	66	74	67	57	91	82
愛媛県		130	178	194	187	171	189	196	191	180	196
高知県		64	84	65	60	81	80	68	80	63	65
福岡県		325	292	406	391	384	409	459	398	428	449
佐賀県		48	67	74	90	70	80	69	70	72	79
長崎県		128	141	158	134	151	174	178	161	160	169
熊本県		196	200	182	177	210	214	165	199	170	193
大分県		109	100	123	103	123	123	123	132	131	135
宮崎県		110	114	119	126	148	123	126	153	179	129
鹿児島県		152	188	180	180	176	203	182	178	146	162
沖縄県		133	133	150	133	171	147	212	213	218	166
全国		12,248	13,015	13,679	13,672	14,354	14,448	14,965	14,789	14,974	15,225

別表17 心肺機能停止傷病者全搬送人員のうち、一般市民により除細動が実施された件数（都道府県別）

都道府県	年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
北海道		57	37	47	78	60	66	74	84	63	75
青森県		17	23	18	18	14	18	13	19	11	12
岩手県		25	16	13	23	13	23	20	25	21	19
宮城県		17	18	25	29	33	29	47	47	30	24
秋田県		23	9	16	9	8	12	15	22	18	16
山形県		15	16	11	20	21	28	19	24	12	19
福島県		32	34	27	17	32	30	33	37	30	24
茨城県		36	33	34	43	41	32	41	50	42	34
栃木県		31	30	15	20	21	31	29	17	21	17
群馬県		28	18	42	41	56	58	50	57	37	23
埼玉県		90	90	79	106	118	109	114	116	131	123
千葉県		105	77	71	101	98	95	111	127	93	97
東京都		255	252	272	289	317	354	321	337	247	278
神奈川県		128	117	126	135	150	144	168	178	144	155
新潟県		62	23	28	46	35	50	51	40	32	32
富山県		10	9	5	4	14	8	12	14	15	14
石川県		10	4	16	10	21	18	20	26	21	11
福井県		9	3	8	8	8	13	8	10	5	8
山梨県		11	11	15	13	11	14	9	11	14	6
長野県		27	14	23	22	26	29	25	27	25	32
岐阜県		33	30	52	44	48	54	35	46	34	23
静岡県		46	54	46	48	59	64	54	68	44	44
愛知県		107	90	82	86	110	96	109	118	107	89
三重県		34	33	26	34	29	55	38	36	22	35
滋賀県		20	20	23	19	25	22	18	20	22	19
京都府		30	14	26	25	25	34	34	44	40	24
大阪府		86	42	94	90	93	102	121	127	104	95
兵庫県		47	46	68	81	73	81	83	72	68	67
奈良県		28	13	13	13	11	22	22	16	16	25
和歌山県		10	7	11	12	12	14	17	17	12	9
鳥取県		11	14	9	7	5	11	12	4	6	5
島根県		15	7	15	7	12	10	9	8	12	10
岡山県		9	17	22	22	21	14	19	20	16	11
広島県		40	53	74	64	71	83	15	24	25	28
山口県		17	20	17	25	25	37	25	20	14	10
徳島県		6	9	12	3	12	11	7	8	10	8
香川県		4	10	6	5	10	6	3	7	10	6
愛媛県		17	14	11	15	13	11	19	15	16	15
高知県		28	8	4	9	8	11	8	17	11	7
福岡県		133	55	57	49	57	49	48	44	58	66
佐賀県		7	6	9	15	17	12	8	14	13	17
長崎県		11	13	7	16	19	17	9	14	16	14
熊本県		11	17	17	24	13	18	19	18	20	18
大分県		17	13	15	15	15	20	9	16	11	12
宮崎県		11	17	18	23	22	22	21	23	19	11
鹿児島県		17	11	14	18	15	18	22	23	13	8
沖縄県		19	22	25	14	51	47	54	61	41	24
全国		1,802	1,489	1,664	1,815	1,968	2,102	2,018	2,168	1,792	1,719

別表18 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者の生存率（10ヵ年比較、都道府県別）

区分 都道府県	平成24年				平成25年				平成26年				平成27年								
	一般市民により心臓機能停止の時点が目撃された心原性心肺機能停止傷病者								一般市民により心臓機能停止の時点が目撃された心原性心肺機能停止傷病者												
	1ヵ月後生存者数		1ヵ月後社会復帰者数		1ヵ月後生存者数		1ヵ月後社会復帰者数		1ヵ月後生存者数		1ヵ月後社会復帰者数		1ヵ月後生存者数		1ヵ月後社会復帰者数						
		生存率		社会復帰率		生存率		社会復帰率		生存率		社会復帰率		生存率		社会復帰率					
北海道	937	144	15.4%	81	8.6%	953	158	16.6%	95	10.0%	北海道	886	135	15.2%	73	8.2%	959	163	17.0%	97	10.1%
青森県	357	31	8.7%	21	5.9%	285	30	10.5%	19	6.7%	青森県	300	28	9.3%	14	4.7%	332	30	9.0%	22	6.6%
岩手県	356	26	7.3%	15	4.2%	350	28	8.0%	19	5.4%	岩手県	334	24	7.2%	15	4.5%	348	30	8.6%	18	5.2%
宮城県	449	40	8.9%	27	6.0%	460	58	12.6%	43	9.3%	宮城県	470	44	9.4%	26	5.5%	536	74	13.8%	54	10.1%
秋田県	338	24	7.1%	12	3.6%	296	19	6.4%	12	4.1%	秋田県	254	30	11.8%	19	7.5%	317	30	9.5%	16	5.0%
山形県	271	23	8.5%	11	4.1%	263	29	11.0%	20	7.6%	山形県	245	18	7.3%	9	3.7%	264	32	12.1%	23	8.7%
福島県	469	47	10.0%	31	6.6%	501	42	8.4%	24	4.8%	福島県	516	45	8.7%	35	6.8%	450	37	8.2%	27	6.0%
茨城県	570	43	7.5%	24	4.2%	597	53	8.9%	33	5.5%	茨城県	549	58	10.6%	34	6.2%	592	56	9.5%	40	6.8%
栃木県	404	48	11.9%	30	7.4%	451	46	10.2%	37	8.2%	栃木県	465	50	10.8%	32	6.9%	417	46	11.0%	32	7.7%
群馬県	385	45	11.7%	21	5.5%	424	40	9.4%	28	6.6%	群馬県	445	64	14.4%	49	11.0%	482	75	15.6%	37	7.7%
埼玉県	1,490	199	13.4%	120	8.1%	1,636	199	12.2%	134	8.2%	埼玉県	1,499	183	12.2%	115	7.7%	1,534	177	11.5%	122	8.0%
千葉県	1,068	104	9.7%	64	6.0%	1,063	116	10.9%	75	7.1%	千葉県	1,082	133	12.3%	97	9.0%	1,119	145	13.0%	88	7.9%
東京都	2,916	191	6.6%	143	4.9%	3,662	308	8.4%	186	5.1%	東京都	3,783	364	9.6%	210	5.6%	2,751	327	11.9%	199	7.2%
神奈川県	1,650	208	12.6%	137	8.3%	1,635	217	13.3%	147	9.0%	神奈川県	1,663	238	14.3%	145	8.7%	1,683	224	13.3%	157	9.3%
新潟県	487	56	11.5%	38	7.8%	518	63	12.2%	39	7.5%	新潟県	469	53	11.3%	39	8.3%	443	63	14.2%	54	12.2%
富山県	152	19	12.5%	12	7.9%	143	19	13.3%	14	9.8%	富山県	147	17	11.6%	10	6.8%	134	13	9.7%	6	4.5%
石川県	177	30	16.9%	18	10.2%	141	22	15.6%	9	6.4%	石川県	176	32	18.2%	22	12.5%	136	31	22.8%	21	15.4%
福井県	99	11	11.1%	8	8.1%	90	12	13.3%	8	8.9%	福井県	92	2	2.2%	2	2.2%	104	15	14.4%	12	11.5%
山梨県	200	20	10.0%	15	7.5%	217	22	10.1%	14	6.5%	山梨県	198	20	10.1%	10	5.1%	202	14	6.9%	10	5.0%
長野県	371	35	9.4%	24	6.5%	376	50	13.3%	45	12.0%	長野県	377	50	13.3%	33	8.8%	364	31	8.5%	15	4.1%
岐阜県	441	53	12.0%	37	8.4%	455	51	11.2%	41	9.0%	岐阜県	492	62	12.6%	50	10.2%	419	59	14.1%	40	9.5%
静岡県	774	70	9.0%	39	5.0%	788	80	10.2%	56	7.1%	静岡県	725	79	10.9%	53	7.3%	736	89	12.1%	62	8.4%
愛知県	1,350	206	15.3%	132	9.8%	1,370	221	16.1%	154	11.2%	愛知県	1,342	226	16.8%	160	11.9%	1,369	216	15.8%	158	11.5%
三重県	383	40	10.4%	23	6.0%	393	44	11.2%	28	7.1%	三重県	412	43	10.4%	24	5.8%	409	41	10.0%	27	6.6%
滋賀県	239	29	12.1%	19	7.9%	244	33	13.5%	23	9.4%	滋賀県	246	37	15.0%	24	9.8%	250	42	16.8%	27	10.8%
京都府	459	64	13.9%	36	7.8%	420	68	16.2%	39	9.3%	京都府	512	60	11.7%	35	6.8%	473	67	14.2%	39	8.2%
大阪府	1,699	268	15.8%	167	9.8%	2,336	296	12.7%	188	8.0%	大阪府	2,074	258	12.4%	169	8.1%	2,246	297	13.2%	215	9.6%
兵庫県	979	121	12.4%	71	7.3%	960	145	15.1%	83	8.6%	兵庫県	1,021	137	13.4%	80	7.8%	933	148	15.9%	78	8.4%
奈良県	274	24	8.8%	16	5.8%	332	29	8.7%	31	9.3%	奈良県	277	30	10.8%	16	5.8%	311	39	12.5%	20	6.4%
和歌山県	181	20	11.0%	9	5.0%	183	17	9.3%	12	6.6%	和歌山県	171	31	18.1%	14	8.2%	191	23	12.0%	16	8.4%
鳥取県	134	25	18.7%	16	11.9%	121	14	11.6%	6	5.0%	鳥取県	112	24	21.4%	14	12.5%	99	18	18.2%	10	10.1%
島根県	194	40	20.6%	29	14.9%	158	24	15.2%	15	9.5%	島根県	154	29	18.8%	21	13.6%	166	33	19.9%	25	15.1%
岡山県	296	33	11.1%	24	8.1%	285	44	15.4%	35	12.3%	岡山県	291	39	13.4%	30	10.3%	253	38	15.0%	25	9.9%
広島県	373	43	11.5%	11	2.9%	367	39	10.6%	24	6.5%	広島県	344	42	12.2%	30	8.7%	391	52	13.3%	23	5.9%
山口県	235	15	6.4%	8	3.4%	240	24	10.0%	15	6.3%	山口県	213	28	13.1%	13	6.1%	231	19	8.2%	11	4.8%
徳島県	113	13	11.5%	9	8.0%	99	18	18.2%	10	10.1%	徳島県	104	12	11.5%	6	5.8%	110	13	11.8%	13	11.8%
香川県	142	20	14.1%	12	8.5%	159	21	13.2%	16	10.1%	香川県	147	8	5.4%	4	2.7%	144	10	6.9%	6	4.2%
愛媛県	255	10	3.9%	4	1.6%	323	26	8.0%	21	6.5%	愛媛県	365	18	4.9%	12	3.3%	334	23	6.9%	13	3.9%
高知県	107	15	14.0%	10	9.3%	134	13	9.7%	10	7.5%	高知県	109	12	11.0%	8	7.3%	117	19	16.2%	12	10.3%
福岡県	534	97	18.2%	72	13.5%	456	101	22.1%	62	13.6%	福岡県	574	119	20.7%	86	15.0%	586	124	21.2%	91	15.5%
佐賀県	93	18	19.4%	15	16.1%	128	14	10.9%	12	9.4%	佐賀県	119	15	12.6%	11	9.2%	139	17	12.2%	9	6.5%
長崎県	222	23	10.4%	17	7.7%	249	22	8.8%	18	7.2%	長崎県	259	27	10.4%	19	7.3%	222	28	12.6%	22	9.9%
熊本県	317	45	14.2%	27	8.5%	322	53	16.5%	37	11.5%	熊本県	284	38	13.4%	28	9.9%	297	42	14.1%	30	10.1%
大分県	180	18	10.0%	13	7.2%	163	16	9.8%	8	4.9%	大分県	201	32	15.9%	20	10.0%	149	17	11.4%	14	9.4%
宮崎県	189	18	9.5%	13	6.9%	184	23	12.5%	17	9.2%	宮崎県	195	23	11.8%	14	7.2%	223	23	10.3%	15	6.7%
鹿児島県	272	37	13.6%	20	7.4%	324	29	9.0%	19	5.9%	鹿児島県	324	31	9.6%	20	6.2%	315	31	9.8%	21	6.7%
沖縄県	216	27	12.5%	9	4.2%	215	39	18.1%	30	14.0%	沖縄県	238	34	14.3%	22	9.2%	216	45	20.8%	31	14.4%
全国	23,797	2,736	11.5%	1,710	7.2%	25,469	3,035	11.9%	2,011	7.9%	全国	25,255	3,082	12.2%	1,972	7.8%	24,496	3,186	13.0%	2,103	8.6%

区分	平成28年				平成29年				区分	平成30年				令和元年			
	一般市民により心臓機能停止の時点が目撃された心原性の心臓機能停止傷病者				一般市民により心臓機能停止の時点が目撃された心原性の心臓機能停止傷病者					一般市民により心臓機能停止の時点が目撃された心原性の心臓機能停止傷病者				一般市民により心臓機能停止の時点が目撃された心原性の心臓機能停止傷病者			
	1ヵ月後生存者数		1ヵ月後社会復帰者数		1ヵ月後生存者数		1ヵ月後社会復帰者数			1ヵ月後生存者数		1ヵ月後社会復帰者数		1ヵ月後生存者数		1ヵ月後社会復帰者数	
	1ヵ月後生存率		1ヵ月後社会復帰率		1ヵ月後生存率		1ヵ月後社会復帰率		1ヵ月後生存率		1ヵ月後社会復帰率		1ヵ月後生存率		1ヵ月後社会復帰率		
北海道	989	17.9%	105	10.6%	1,027	14.3%	87	8.5%	1,039	17.4%	107	10.3%	984	15.1%	79	8.0%	
青森県	330	10.9%	28	8.5%	357	9.0%	23	6.4%	314	17	5.4%	14	4.5%	351	27	7.7%	
岩手県	348	8.3%	19	5.5%	334	9.3%	16	4.8%	345	24	7.0%	16	4.6%	361	27	7.5%	
宮城県	523	13.8%	41	7.8%	544	11.6%	43	7.9%	572	68	11.9%	51	8.9%	594	80	13.5%	
秋田県	316	12.7%	24	7.6%	272	9.9%	16	5.9%	251	28	11.2%	13	5.2%	277	29	10.5%	
山形県	261	11.9%	26	10.0%	240	15.8%	21	8.8%	261	32	12.3%	21	8.0%	270	31	11.5%	
福島県	466	6.7%	15	3.2%	473	7.8%	24	5.1%	474	45	9.5%	29	6.1%	448	43	9.6%	
茨城県	591	10.5%	40	6.8%	553	9.9%	42	7.6%	607	66	10.9%	52	8.6%	584	66	11.3%	
栃木県	474	9.3%	30	6.3%	461	13.4%	42	9.1%	474	63	13.3%	39	8.2%	466	66	14.2%	
群馬県	449	13.6%	32	7.1%	520	12.3%	40	7.7%	524	82	15.6%	51	9.7%	506	55	10.9%	
埼玉県	1,656	20.2%	138	8.3%	1,741	23.2%	139	8.0%	1,612	240	14.9%	135	8.4%	1,675	232	13.9%	
千葉県	1,021	14.0%	88	8.6%	1,173	12.0%	80	6.8%	1,218	160	13.1%	115	9.4%	1,272	163	12.8%	
東京都	3,060	35.5%	229	7.5%	2,990	35.2%	211	7.1%	3,009	347	11.5%	240	8.0%	3,045	407	13.4%	
神奈川県	1,739	25.2%	161	9.3%	1,756	26.1%	171	9.7%	1,896	316	16.7%	201	10.6%	1,756	257	14.6%	
新潟県	486	7.0%	58	11.9%	487	8.4%	60	12.3%	518	77	14.9%	60	11.6%	458	51	11.1%	
富山県	154	28	22	14.3%	134	26	17	12.7%	168	26	15.5%	14	8.3%	147	29	19.7%	
石川県	155	28	17	11.0%	162	24	14	8.6%	169	34	20.1%	19	11.2%	163	36	22.1%	
福井県	121	20	16	13.2%	98	10	8	8.2%	110	13	11.8%	11	10.0%	116	15	12.9%	
山梨県	190	16	10	5.3%	206	24	14	6.8%	186	13	7.0%	9	4.8%	257	22	8.6%	
長野県	409	53	34	8.3%	424	49	26	6.1%	377	48	12.7%	31	8.2%	373	38	10.2%	
岐阜県	449	54	40	8.9%	493	57	43	8.7%	499	67	13.4%	50	10.0%	443	43	9.7%	
静岡県	809	88	61	7.5%	807	92	57	7.1%	784	103	13.1%	73	9.3%	768	81	10.5%	
愛知県	1,371	240	170	12.4%	1,414	221	148	10.5%	1,385	236	17.0%	161	11.6%	1,399	257	18.4%	
三重県	423	43	24	5.7%	431	65	36	8.4%	442	47	10.6%	37	8.4%	419	57	13.6%	
滋賀県	232	38	26	11.2%	218	38	28	12.8%	219	36	16.4%	26	11.9%	221	42	19.0%	
京都府	522	81	52	10.0%	535	94	64	12.0%	499	81	16.2%	56	11.2%	536	116	21.6%	
大阪府	2,386	301	210	8.8%	1,941	309	213	11.0%	2,035	301	14.8%	193	9.5%	1,944	282	14.5%	
兵庫県	1,034	156	81	7.8%	944	149	84	8.9%	1,044	160	15.3%	87	8.3%	969	151	15.6%	
奈良県	308	45	23	7.5%	305	33	22	7.2%	316	44	13.9%	21	6.6%	312	32	10.3%	
和歌山県	167	22	21	12.6%	178	22	14	7.9%	155	25	16.1%	16	10.3%	191	29	15.2%	
鳥取県	134	24	11	8.2%	140	14	8	5.7%	142	22	15.5%	14	9.9%	139	17	12.2%	
島根県	150	21	12	8.0%	125	21	17	13.6%	108	15	13.9%	10	9.3%	109	15	13.8%	
岡山県	274	34	21	7.7%	307	44	26	8.5%	305	43	14.1%	30	9.8%	288	39	13.5%	
広島県	366	43	25	6.8%	374	50	38	10.2%	400	46	11.5%	35	8.8%	430	59	13.7%	
山口県	280	32	21	7.5%	273	36	18	6.6%	281	34	12.1%	13	4.6%	294	36	12.2%	
徳島県	97	21	17	17.5%	118	19	14	11.9%	99	18	18.2%	12	12.1%	99	16	16.2%	
香川県	149	9	8	5.4%	151	18	12	7.9%	142	9	6.3%	8	5.6%	140	11	7.9%	
愛媛県	327	28	22	6.7%	346	30	18	5.2%	342	34	9.9%	25	7.3%	347	35	10.1%	
高知県	121	14	10	8.3%	129	15	5	3.9%	113	14	12.4%	8	7.1%	133	26	19.5%	
福岡県	569	139	93	16.3%	615	135	98	15.9%	637	161	25.3%	110	17.3%	572	124	21.7%	
佐賀県	121	19	15	12.4%	132	19	15	11.4%	123	20	16.3%	16	13.0%	123	30	24.4%	
長崎県	228	36	28	12.3%	289	33	27	9.3%	279	27	9.7%	21	7.5%	259	28	10.8%	
熊本県	348	47	26	7.5%	331	44	29	8.8%	291	34	11.7%	22	7.6%	284	37	13.0%	
大分県	190	23	13	6.8%	211	37	24	11.4%	179	17	9.5%	14	7.8%	212	28	13.2%	
宮崎県	225	24	18	8.0%	208	19	15	7.2%	199	26	13.1%	18	9.0%	236	25	10.6%	
鹿児島県	293	24	15	5.1%	330	47	37	11.2%	317	43	13.6%	23	7.3%	302	41	13.6%	
沖縄県	258	47	30	11.6%	241	49	28	11.6%	297	48	16.2%	28	9.4%	288	77	26.7%	
全国	25,569	3,400	2,226	8.7%	25,538	3,444	2,232	8.7%	25,756	3,584	2,355	9.1%	25,560	3,559	2,291	9.0%	



区分	令和2年					令和3年				
	一般市民により心臓機能停止の時点が目撃された心原性の心臓機能停止傷病者					一般市民により心臓機能停止の時点が目撃された心原性の心臓機能停止傷病者				
	1ヵ月後生存者数		1ヵ月後社会復帰者数			1ヵ月後生存者数		1ヵ月後社会復帰者数		
		1ヵ月後生存率		1ヵ月後社会復帰率		1ヵ月後生存率		1ヵ月後社会復帰率		
北海道	1,061	12.0%	62	5.8%	1,092	13.7%	89	8.2%		
青森県	349	11.2%	20	5.7%	329	7.9%	13	4.0%		
岩手県	366	6.6%	17	4.6%	359	7.2%	16	4.5%		
宮城県	561	11.2%	39	7.0%	601	9.8%	33	5.5%		
秋田県	265	10.6%	16	6.0%	273	9.9%	16	5.9%		
山形県	263	12.9%	25	9.5%	240	9.2%	14	5.8%		
福島県	509	11.2%	24	4.7%	469	7.5%	13	2.8%		
茨城県	577	11.3%	35	6.1%	587	6.8%	30	5.1%		
栃木県	489	10.6%	38	7.8%	506	7.5%	20	4.0%		
群馬県	517	11.6%	37	7.2%	509	12.0%	44	8.6%		
埼玉県	1,851	10.8%	110	5.9%	1,823	12.6%	134	7.4%		
千葉県	1,294	11.2%	85	6.6%	1,322	9.5%	85	6.4%		
東京都	2,974	10.1%	188	6.3%	3,241	9.4%	198	6.1%		
神奈川県	1,774	13.9%	143	8.1%	1,806	12.2%	148	8.2%		
新潟県	495	9.7%	37	7.5%	486	8.6%	34	7.0%		
富山県	151	13.2%	17	11.3%	169	13.0%	14	8.3%		
石川県	164	18.9%	20	12.2%	166	15.7%	19	11.4%		
福井県	105	6.7%	5	4.8%	128	9.4%	9	7.0%		
山梨県	234	8.5%	12	5.1%	243	7.0%	13	5.3%		
長野県	408	9.6%	26	6.4%	379	10.3%	31	8.2%		
岐阜県	463	11.0%	38	8.2%	492	10.6%	43	8.7%		
静岡県	705	8.4%	41	5.8%	733	9.3%	41	5.6%		
愛知県	1,303	15.6%	130	10.0%	1,358	14.4%	99	7.3%		
三重県	413	11.9%	29	7.0%	370	7.6%	17	4.6%		
滋賀県	229	19.7%	34	14.8%	252	15.9%	33	13.1%		
京都府	582	16.2%	52	8.9%	515	13.2%	38	7.4%		
大阪府	1,996	13.1%	151	7.6%	2,120	12.7%	155	7.3%		
兵庫県	998	13.4%	67	6.7%	1,096	11.9%	67	6.1%		
奈良県	327	9.2%	21	6.4%	355	11.5%	26	7.3%		
和歌山県	192	15.6%	19	9.9%	178	12.4%	15	8.4%		
鳥取県	86	11.6%	4	4.7%	89	5.6%	2	2.2%		
島根県	119	15.1%	17	14.3%	123	12.2%	9	7.3%		
岡山県	270	13.0%	24	8.9%	306	9.2%	21	6.9%		
広島県	430	14.4%	47	10.9%	477	12.6%	43	9.0%		
山口県	242	12.4%	14	5.8%	260	11.5%	10	3.8%		
徳島県	101	16.8%	11	10.9%	113	11.5%	8	7.1%		
香川県	171	10.5%	12	7.0%	179	5.0%	4	2.2%		
愛媛県	311	9.6%	23	7.4%	337	6.8%	19	5.6%		
高知県	107	13.1%	8	7.5%	101	10.9%	7	6.9%		
福岡県	624	20.8%	86	13.8%	633	18.8%	85	13.4%		
佐賀県	129	17.8%	15	11.6%	133	12.8%	12	9.0%		
長崎県	284	7.7%	15	5.3%	289	9.3%	19	6.6%		
熊本県	256	11.7%	18	7.0%	287	10.8%	21	7.3%		
大分県	210	10.5%	14	6.7%	217	11.1%	17	7.8%		
宮崎県	268	13.4%	29	10.8%	231	11.7%	14	6.1%		
鹿児島県	276	15.2%	31	11.2%	287	11.1%	20	7.0%		
沖縄県	291	18.2%	36	12.4%	241	15.4%	20	8.3%		
全国	25,790	12.2%	1,942	7.5%	26,500	11.1%	1,838	6.9%		

別表19 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者の生存率  
(10カ年集計、都道府県別)

都道府県	10カ年 全傷病者数	一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された心原性の心肺機能停止傷病者				
			1ヵ月後生存者数		1ヵ月後社会復帰者数	
				1ヵ月後 生存率		1ヵ月後 社会復帰率
北海道	55,838	9,927	1,522	15.3%	875	8.8%
青森県	16,628	3,304	296	9.0%	193	5.8%
岩手県	15,907	3,501	269	7.7%	165	4.7%
宮城県	23,445	5,310	621	11.7%	411	7.7%
秋田県	15,099	2,859	282	9.9%	163	5.7%
山形県	14,480	2,578	290	11.2%	192	7.4%
福島県	22,272	4,775	419	8.8%	237	5.0%
茨城県	31,425	5,807	564	9.7%	377	6.5%
栃木県	21,251	4,607	515	11.2%	341	7.4%
群馬県	21,678	4,761	607	12.7%	370	7.8%
埼玉県	70,420	16,517	2,094	12.7%	1,283	7.8%
千葉県	58,481	11,632	1,351	11.6%	884	7.6%
東京都	127,014	31,431	3,256	10.4%	2,091	6.7%
神奈川県	88,528	17,358	2,441	14.1%	1,561	9.0%
新潟県	28,584	4,847	607	12.5%	458	9.4%
富山県	10,980	1,499	219	14.6%	146	9.7%
石川県	10,921	1,609	294	18.3%	184	11.4%
福井県	7,426	1,063	117	11.0%	87	8.2%
山梨県	9,369	2,133	188	8.8%	121	5.7%
長野県	24,328	3,858	432	11.2%	296	7.7%
岐阜県	22,537	4,646	549	11.8%	416	9.0%
静岡県	41,032	7,629	809	10.6%	542	7.1%
愛知県	70,231	13,661	2,221	16.3%	1,482	10.8%
三重県	20,982	4,095	457	11.2%	288	7.0%
滋賀県	12,867	2,350	380	16.2%	269	11.4%
京都府	24,654	5,053	793	15.7%	485	9.6%
大阪府	80,484	20,777	2,843	13.7%	1,835	8.8%
兵庫県	49,486	9,978	1,431	14.3%	788	7.9%
奈良県	13,170	3,117	347	11.1%	216	6.9%
和歌山県	11,501	1,787	241	13.5%	154	8.6%
鳥取県	5,598	1,196	173	14.5%	94	7.9%
島根県	8,720	1,406	231	16.4%	170	12.1%
岡山県	18,645	2,875	377	13.1%	250	8.7%
広島県	23,081	3,952	496	12.6%	324	8.2%
山口県	13,770	2,549	284	11.1%	146	5.7%
徳島県	7,431	1,053	160	15.2%	112	10.6%
香川県	9,273	1,524	133	8.7%	87	5.7%
愛媛県	15,436	3,287	257	7.8%	179	5.4%
高知県	7,747	1,171	153	13.1%	94	8.0%
福岡県	41,861	5,800	1,249	21.5%	865	14.9%
佐賀県	8,326	1,240	192	15.5%	145	11.7%
長崎県	13,209	2,580	273	10.6%	207	8.0%
熊本県	17,116	3,017	401	13.3%	259	8.6%
大分県	10,958	1,912	234	12.2%	157	8.2%
宮崎県	10,892	2,158	244	11.3%	168	7.8%
鹿児島県	15,472	3,040	357	11.7%	230	7.6%
沖縄県	12,305	2,501	456	18.2%	283	11.3%
全国	1,260,858	253,730	32,125	12.7%	20,680	8.2%

別表20 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、初期心電図波形がVF又は無脈性VTの傷病者の生存率  
(10ヵ年比較、都道府県別)

区分	平成24年				平成25年				区分	平成26年				平成27年			
	一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された心原性かつ初期心電図波形がVF/VTである心肺機能停止傷病者				一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された心原性かつ初期心電図波形がVF/VTである心肺機能停止傷病者					一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された心原性かつ初期心電図波形がVF/VTである心肺機能停止傷病者				一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された心原性かつ初期心電図波形がVF/VTである心肺機能停止傷病者			
	1ヵ月後生存者数	1ヵ月後生存率	1ヵ月後社会復帰者数	1ヵ月後社会復帰率	1ヵ月後生存者数	1ヵ月後生存率	1ヵ月後社会復帰者数	1ヵ月後社会復帰率		1ヵ月後生存者数	1ヵ月後生存率	1ヵ月後社会復帰者数	1ヵ月後社会復帰率	1ヵ月後生存者数	1ヵ月後生存率	1ヵ月後社会復帰者数	1ヵ月後社会復帰率
北海道	228	79	34.6%	48	212	90	42.5%	57	206	80	38.8%	43	241	104	43.2%	65	27.0%
青森県	68	14	20.6%	11	69	17	24.6%	14	68	19	27.9%	10	63	21	33.3%	15	23.8%
岩手県	65	18	27.7%	9	73	17	23.3%	12	60	16	26.7%	10	63	20	31.7%	13	20.6%
宮城県	85	23	27.1%	18	98	31	31.6%	24	98	28	28.6%	16	108	39	36.1%	27	25.0%
秋田県	53	18	34.0%	10	42	10	23.8%	7	42	13	31.0%	8	51	13	25.5%	11	21.6%
山形県	70	14	20.0%	4	49	18	36.7%	11	34	6	17.6%	5	44	13	29.5%	9	20.5%
福島県	88	27	30.7%	21	82	22	26.8%	15	93	32	34.4%	25	82	20	24.4%	15	18.3%
茨城県	106	27	25.5%	20	131	32	24.4%	20	119	32	26.9%	21	90	29	32.2%	24	26.7%
栃木県	82	27	32.9%	20	98	26	26.5%	22	90	32	35.6%	19	94	27	28.7%	23	24.5%
群馬県	86	22	25.6%	13	79	21	26.6%	16	90	38	42.2%	30	82	35	42.7%	17	20.7%
埼玉県	300	115	38.3%	72	279	95	34.1%	74	272	90	33.1%	62	267	88	33.0%	57	21.3%
千葉県	199	61	30.7%	38	215	55	25.6%	40	259	85	32.8%	62	217	79	36.4%	56	25.8%
東京都	491	75	15.3%	54	532	120	22.6%	63	518	132	25.5%	72	457	112	24.5%	66	14.4%
神奈川県	314	113	36.0%	78	479	65	13.6%	43	338	122	36.1%	82	307	98	31.9%	72	23.5%
新潟県	111	39	35.1%	26	112	37	33.0%	26	99	28	28.3%	20	80	24	30.0%	20	25.0%
富山県	41	14	34.1%	12	42	14	33.3%	10	47	12	25.5%	8	32	9	28.1%	5	15.6%
石川県	51	22	43.1%	13	37	13	35.1%	6	45	23	51.1%	18	37	18	48.6%	14	37.8%
福井県	27	8	29.6%	7	26	8	30.8%	6	13	1	7.7%	1	23	9	39.1%	8	34.8%
山梨県	29	9	31.0%	8	42	14	33.3%	9	31	11	35.5%	6	22	7	31.8%	6	27.3%
長野県	93	21	22.6%	15	78	25	32.1%	20	77	28	36.4%	22	68	14	20.6%	6	8.8%
岐阜県	80	28	35.0%	23	99	34	34.3%	29	78	27	34.6%	21	74	32	43.2%	24	32.4%
静岡県	143	39	27.3%	21	166	48	28.9%	34	170	45	26.5%	32	158	53	33.5%	42	26.6%
愛知県	297	132	44.4%	94	285	135	47.4%	97	300	139	46.3%	101	297	131	44.1%	99	33.3%
三重県	77	18	23.4%	13	86	33	38.4%	22	65	22	33.8%	14	67	18	26.9%	9	13.4%
滋賀県	55	21	38.2%	13	48	16	33.3%	13	36	17	47.2%	12	50	20	40.0%	14	28.0%
京都府	100	42	42.0%	26	93	35	37.6%	27	102	41	40.2%	24	112	40	35.7%	26	23.2%
大阪府	345	141	40.9%	99	364	149	40.9%	111	332	126	38.0%	91	374	155	41.4%	123	32.9%
兵庫県	209	76	36.4%	48	174	81	46.6%	57	189	67	35.4%	44	167	73	43.7%	40	24.0%
奈良県	47	8	17.0%	7	58	16	27.6%	13	44	10	22.7%	6	64	18	28.1%	11	17.2%
和歌山県	41	11	26.8%	7	41	11	26.8%	8	35	17	48.6%	11	31	9	29.0%	5	16.1%
鳥取県	24	16	66.7%	12	28	9	32.1%	4	23	13	56.5%	9	18	8	44.4%	6	33.3%
島根県	22	11	50.0%	6	27	6	22.2%	3	34	10	29.4%	8	27	13	48.1%	10	37.0%
岡山県	56	20	35.7%	17	56	24	42.9%	21	60	21	35.0%	16	50	19	38.0%	16	32.0%
広島県	84	33	39.3%	11	90	28	31.1%	18	64	27	42.2%	23	81	36	44.4%	22	27.2%
山口県	38	10	26.3%	6	41	10	24.4%	6	42	16	38.1%	11	43	10	23.3%	7	16.3%
徳島県	31	11	35.5%	8	31	12	38.7%	6	24	7	29.2%	2	32	12	37.5%	12	37.5%
香川県	22	7	31.8%	5	40	13	32.5%	10	24	5	20.8%	3	18	6	33.3%	5	27.8%
愛媛県	29	3	10.3%	1	50	15	30.0%	12	41	7	17.1%	5	38	10	26.3%	7	18.4%
高知県	22	8	36.4%	4	30	11	36.7%	8	24	7	29.2%	6	29	12	41.4%	8	27.6%
福岡県	147	59	40.1%	45	122	57	46.7%	39	144	68	47.2%	51	171	83	48.5%	59	34.5%
佐賀県	25	12	48.0%	9	31	10	32.3%	9	24	6	25.0%	5	34	9	26.5%	5	14.7%
長崎県	52	13	25.0%	9	44	15	34.1%	13	48	14	29.2%	10	46	14	30.4%	11	23.9%
熊本県	69	19	27.5%	10	58	24	41.4%	19	56	18	32.8%	13	60	26	43.3%	20	33.3%
大分県	48	14	29.2%	10	45	9	20.0%	6	43	17	39.5%	10	34	10	29.4%	9	26.5%
宮崎県	38	10	26.3%	8	33	12	36.4%	12	41	7	17.1%	5	39	9	23.1%	5	12.8%
鹿児島県	45	15	33.3%	11	51	17	33.3%	12	61	13	21.3%	6	60	16	26.7%	12	20.0%
沖縄県	40	12	30.0%	5	51	24	47.1%	19	67	21	31.3%	16	58	29	50.0%	19	32.8%
全国	4,773	1,535	32.2%	1,025	5,017	1,584	31.6%	1,123	4,770	1,616	33.9%	1,095	4,660	1,650	35.4%	1,155	24.8%

区分	平成28年					平成29年					区分	平成30年					令和元年														
	一般市民により心臓機能停止の時点が自覚された心原性かつ初期心電図波形がVF/VTである心臓機能停止傷病者											一般市民により心臓機能停止の時点が自覚された心原性かつ初期心電図波形がVF/VTである心臓機能停止傷病者										一般市民により心臓機能停止の時点が自覚された心原性かつ初期心電図波形がVF/VTである心臓機能停止傷病者									
	1ヵ月後生存者数		1ヵ月後生存率		1ヵ月後社会復帰者数	1ヵ月後生存者数		1ヵ月後生存率		1ヵ月後社会復帰者数		1ヵ月後生存者数		1ヵ月後生存率		1ヵ月後社会復帰者数	1ヵ月後生存者数		1ヵ月後生存率		1ヵ月後社会復帰者数										
	数	率	数	率	数	数	率	数	率	数		数	率	数	率	数	数	率	数	率	数	数	率	数	率	数	率				
北海道	239	104	43.5%	65	27.2%	233	91	39.1%	61	26.2%	北海道	225	97	43.1%	68	30.2%	196	79	40.3%	43	21.9%										
青森県	62	23	37.1%	21	33.9%	69	17	24.6%	12	17.4%	青森県	51	11	21.6%	9	17.6%	50	12	24.0%	8	16.0%										
岩手県	60	18	30.0%	11	18.3%	53	18	34.0%	8	15.1%	岩手県	53	14	26.4%	11	20.8%	65	16	24.6%	11	16.9%										
宮城県	96	40	41.7%	23	24.0%	111	34	30.6%	25	22.5%	宮城県	109	38	34.9%	28	25.7%	102	47	46.1%	34	33.3%										
秋田県	62	26	41.9%	15	24.2%	33	9	27.3%	7	21.2%	秋田県	41	13	31.7%	6	14.6%	48	17	35.4%	10	20.8%										
山形県	52	14	26.9%	13	25.0%	44	20	45.5%	11	25.0%	山形県	42	10	23.8%	7	16.7%	39	16	41.0%	10	25.6%										
福島県	92	14	15.2%	7	7.6%	86	23	26.7%	14	16.3%	福島県	77	21	27.3%	14	18.2%	78	18	23.1%	10	12.8%										
茨城県	117	34	29.1%	21	17.9%	113	34	30.1%	27	23.9%	茨城県	127	36	28.3%	31	24.4%	103	28	27.2%	23	22.3%										
栃木県	97	20	20.6%	14	14.4%	86	32	37.2%	21	24.4%	栃木県	96	35	36.5%	22	22.9%	89	37	41.6%	26	29.2%										
群馬県	90	36	40.0%	21	23.3%	99	31	31.3%	22	22.2%	群馬県	108	42	38.9%	25	23.1%	72	20	27.8%	12	16.7%										
埼玉県	299	105	35.1%	74	24.7%	321	112	34.9%	68	21.2%	埼玉県	250	91	36.4%	49	19.6%	271	105	38.7%	60	22.1%										
千葉県	229	68	29.7%	50	21.8%	199	57	28.6%	41	20.6%	千葉県	224	87	38.8%	66	29.5%	235	86	36.6%	60	25.5%										
東京都	497	128	25.8%	76	15.3%	465	138	27.5%	76	15.2%	東京都	465	102	21.9%	66	14.2%	474	131	27.6%	92	19.4%										
神奈川県	303	114	37.6%	78	25.7%	323	116	35.9%	78	24.1%	神奈川県	340	138	40.6%	94	27.6%	295	112	38.0%	62	21.0%										
新潟県	101	34	33.7%	28	27.7%	92	40	40.4%	27	27.3%	新潟県	92	35	38.0%	30	32.6%	69	28	40.6%	21	30.4%										
富山県	39	17	43.6%	13	33.3%	33	18	54.5%	12	36.4%	富山県	38	13	34.2%	8	21.1%	32	11	34.4%	7	21.9%										
石川県	36	12	33.3%	8	22.2%	40	17	42.5%	9	22.5%	石川県	45	19	42.2%	11	24.4%	33	17	51.5%	15	45.5%										
福井県	27	12	44.4%	10	37.0%	18	5	27.8%	4	22.2%	福井県	29	10	34.5%	8	27.6%	23	8	34.8%	3	13.0%										
山梨県	29	8	27.6%	6	20.7%	37	8	21.6%	5	13.5%	山梨県	26	6	23.1%	4	15.4%	29	10	34.5%	8	27.6%										
長野県	77	26	33.8%	16	20.8%	74	24	32.4%	15	20.3%	長野県	72	25	34.7%	17	23.6%	65	15	23.1%	12	18.5%										
岐阜県	86	34	39.5%	26	30.2%	86	24	27.9%	16	18.6%	岐阜県	76	35	46.1%	27	35.5%	77	24	31.2%	21	27.3%										
静岡県	124	41	33.1%	30	24.2%	160	43	26.9%	25	15.6%	静岡県	147	51	34.7%	42	28.6%	143	46	32.2%	33	23.1%										
愛知県	288	154	53.5%	110	38.2%	280	118	42.1%	79	28.2%	愛知県	292	135	46.2%	93	31.8%	291	137	47.1%	95	32.6%										
三重県	78	22	28.2%	13	16.7%	95	28	29.5%	21	22.1%	三重県	66	20	30.3%	17	25.8%	67	26	38.8%	21	31.3%										
滋賀県	50	22	44.0%	18	36.0%	43	22	51.2%	17	39.5%	滋賀県	37	13	35.1%	10	27.0%	46	21	45.7%	16	34.8%										
京都府	94	45	47.9%	32	34.0%	89	41	46.1%	30	33.7%	京都府	84	34	40.5%	25	29.8%	102	52	51.0%	31	30.4%										
大阪府	435	160	36.8%	118	27.1%	384	157	40.9%	118	30.7%	大阪府	380	162	42.6%	117	30.8%	312	137	43.9%	99	31.7%										
兵庫県	187	71	38.0%	37	19.8%	162	80	49.4%	49	30.2%	兵庫県	191	80	41.9%	46	24.1%	185	89	48.1%	58	31.4%										
奈良県	56	27	48.2%	14	25.0%	60	14	23.3%	9	15.0%	奈良県	56	19	33.9%	10	17.9%	56	16	28.6%	13	23.2%										
和歌山県	37	12	32.4%	12	32.4%	35	12	34.3%	8	22.9%	和歌山県	33	8	24.2%	6	18.2%	38	15	39.5%	9	23.7%										
鳥取県	24	13	54.2%	7	29.2%	17	4	23.5%	4	23.5%	鳥取県	19	5	26.3%	4	21.1%	14	4	28.6%	2	14.3%										
島根県	30	7	23.3%	4	13.3%	32	9	28.1%	8	25.0%	島根県	19	9	47.4%	6	31.6%	24	8	33.3%	8	33.3%										
岡山県	58	22	37.9%	13	22.4%	60	22	36.7%	15	25.0%	岡山県	59	19	32.2%	13	22.0%	51	19	37.3%	9	17.6%										
広島県	83	32	38.6%	23	27.7%	70	29	41.4%	19	27.1%	広島県	80	23	28.8%	17	21.3%	83	36	43.4%	28	33.7%										
山口県	47	13	27.7%	12	25.5%	44	18	40.9%	13	29.5%	山口県	46	19	41.3%	7	15.2%	45	19	42.2%	15	33.3%										
徳島県	25	12	48.0%	10	40.0%	34	12	35.3%	9	26.5%	徳島県	19	7	36.8%	3	15.8%	28	10	35.7%	6	21.4%										
香川県	23	4	17.4%	4	17.4%	26	9	34.6%	9	34.6%	香川県	21	5	23.8%	5	23.8%	24	8	33.3%	4	16.7%										
愛媛県	51	21	41.2%	16	31.4%	47	13	27.7%	8	17.0%	愛媛県	57	18	31.6%	15	26.3%	44	12	27.3%	10	22.7%										
高知県	24	14	58.3%	10	41.7%	26	7	26.9%	3	11.5%	高知県	25	11	44.0%	7	28.0%	32	14	43.8%	10	31.3%										
福岡県	168	84	50.0%	62	36.9%	168	75	44.6%	60	35.7%	福岡県	156	85	54.5%	66	42.3%	141	68	48.2%	46	32.6%										
佐賀県	24	9	37.5%	8	33.3%	20	7	35.0%	6	30.0%	佐賀県	31	13	41.9%	9	29.0%	29	11	37.9%	10	34.5%										
長崎県	41	15	36.6%	11	26.8%	43	11	25.6%	9	20.9%	長崎県	46	13	28.3%	9	19.6%	38	14	36.8%	10	26.3%										
熊本県	61	26	42.6%	17	27.9%	74	31	41.9%	19	25.7%	熊本県	53	17	32.1%	13	24.5%	65	24	36.9%	13	20.0%										
大分県	39	13	33.3%	8	20.5%	40	18	45.0%	11	27.5%	大分県	32	9	28.1%	8	25.0%	42	14	33.3%	11	26.2%										
宮崎県	33	15	45.5%	12	36.4%	31	13	41.9%	11	35.5%	宮崎県	36	13	36.1%	8	22.2%	34	12	35.3%	7	20.6%										
鹿児島県	50	10	20.0%	9	18.0%	64	29	45.3%	24	37.5%	鹿児島県	63	20	31.7%	11	17.5%	51	19	37.3%	10	19.6%										
沖縄県	62	28	45.2%	18	29.0%	42	22	52.4%	16	38.1%	沖縄県	50	9	18.0%	6	12.0%	60	31	51.7%	22	36.7%										
全国	4,882	1,779	36.4%	1,224	25.1%	4,804	1,712	35.6%	1,159	24.1%	全国	4,684	1,695	36.2%	1,174	25.1%	4,490	1,699	37.8%	1,144	25.5%										

区分	令和2年				令和3年					
	一般市民により心臓機能停止の時点が目撃された心原性かつ初期心電図波形がVF/VTである心臓機能停止傷病者				一般市民により心臓機能停止の時点が目撃された心原性かつ初期心電図波形がVF/VTである心臓機能停止傷病者					
	1か月後生存者数	1か月後生存率	1か月後社会復帰者数	1か月後社会復帰率	1か月後生存者数	1か月後生存率	1か月後社会復帰者数	1か月後社会復帰率		
北海道	206	74	35.9%	37	18.0%	222	83	37.4%	48	21.6%
青森県	61	26	42.6%	14	23.0%	52	16	30.8%	9	17.3%
岩手県	56	10	17.9%	8	14.3%	57	19	33.3%	13	22.8%
宮城県	112	34	30.4%	20	17.9%	101	25	24.8%	14	13.9%
秋田県	47	14	29.8%	8	17.0%	45	11	24.4%	7	15.6%
山形県	37	14	37.8%	12	32.4%	37	10	27.0%	8	21.6%
福島県	82	25	30.5%	13	15.9%	76	21	27.6%	9	11.8%
茨城県	94	36	38.3%	24	25.5%	107	24	22.4%	19	17.8%
栃木県	71	24	33.8%	17	23.9%	75	12	16.0%	8	10.7%
群馬県	81	34	42.0%	23	28.4%	85	30	35.3%	23	27.1%
埼玉県	282	76	27.0%	41	14.5%	269	97	36.1%	59	21.9%
千葉県	200	69	34.5%	40	20.0%	223	45	20.2%	31	13.9%
東京都	507	115	22.7%	72	14.2%	499	121	24.2%	78	15.6%
神奈川県	312	116	37.2%	73	23.4%	269	85	31.6%	53	19.7%
新潟県	86	30	34.9%	23	26.7%	88	23	26.1%	20	22.7%
富山県	36	15	41.7%	12	33.3%	39	11	28.2%	8	20.5%
石川県	42	24	57.1%	18	42.9%	36	15	41.7%	11	30.6%
福井県	21	4	19.0%	2	9.5%	23	8	34.8%	7	30.4%
山梨県	31	11	35.5%	7	22.6%	30	8	26.7%	7	23.3%
長野県	74	24	32.4%	15	20.3%	64	22	34.4%	17	26.6%
岐阜県	67	32	47.8%	27	40.3%	67	24	35.8%	20	29.9%
静岡県	106	26	24.5%	18	17.0%	120	39	32.5%	24	20.0%
愛知県	276	114	41.3%	75	27.2%	249	111	44.6%	62	24.9%
三重県	76	29	38.2%	19	25.0%	41	9	22.0%	4	9.8%
滋賀県	60	31	51.7%	25	41.7%	51	22	43.1%	20	39.2%
京都府	99	47	47.5%	24	24.2%	80	32	40.0%	18	22.5%
大阪府	338	131	38.8%	79	23.4%	321	121	37.7%	87	27.1%
兵庫県	181	73	40.3%	42	23.2%	186	67	36.0%	35	18.8%
奈良県	50	11	22.0%	9	18.0%	49	17	34.7%	12	24.5%
和歌山県	47	21	44.7%	12	25.5%	37	14	37.8%	9	24.3%
鳥取県	8	3	37.5%	2	25.0%	7	0	0.0%	0	0.0%
島根県	23	9	39.1%	8	34.8%	20	7	35.0%	4	20.0%
岡山県	41	19	46.3%	12	29.3%	44	20	45.5%	13	29.5%
広島県	83	39	47.0%	30	36.1%	88	40	45.5%	32	36.4%
山口県	38	10	26.3%	7	18.4%	30	11	36.7%	3	10.0%
徳島県	22	8	36.4%	3	13.6%	26	3	11.5%	2	7.7%
香川県	26	9	34.6%	6	23.1%	28	4	14.3%	2	7.1%
愛媛県	42	12	28.6%	11	26.2%	44	13	29.5%	11	25.0%
高知県	18	7	38.9%	3	16.7%	23	7	30.4%	5	21.7%
福岡県	162	80	49.4%	59	36.4%	160	67	41.9%	48	30.0%
佐賀県	25	12	48.0%	7	28.0%	27	5	18.5%	3	11.1%
長崎県	42	10	23.8%	7	16.7%	39	13	33.3%	10	25.6%
熊本県	44	12	27.3%	10	22.7%	43	18	41.9%	13	30.2%
大分県	37	15	40.5%	10	27.0%	37	16	43.2%	11	29.7%
宮崎県	56	25	44.6%	19	33.9%	37	15	40.5%	7	18.9%
鹿児島県	51	25	49.0%	19	37.3%	57	18	31.6%	13	22.8%
沖縄県	52	21	40.4%	17	32.7%	59	18	30.5%	11	18.6%
全国	4,508	1,606	35.6%	1,039	23.0%	4,367	1,417	32.4%	928	21.3%

別表21 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、初期心電図波形がVF又は無脈性VTの生存率（10カ年集計、都道府県別）

都道府県	10カ年 全傷病者数	一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された 心原性かつ初期心電図波形がVF/VTである心肺機能停止症例				
			1ヵ月後生存者数		1ヵ月後社会復帰者数	
				1ヵ月後 生存率		1ヵ月後 社会復帰率
北海道	55,838	2,208	881	39.9%	535	24.2%
青森県	16,628	613	176	28.7%	123	20.1%
岩手県	15,907	605	166	27.4%	106	17.5%
宮城県	23,445	1,020	339	33.2%	229	22.5%
秋田県	15,099	464	144	31.0%	89	19.2%
山形県	14,480	448	135	30.1%	90	20.1%
福島県	22,272	836	223	26.7%	143	17.1%
茨城県	31,425	1,107	312	28.2%	230	20.8%
栃木県	21,251	878	272	31.0%	192	21.9%
群馬県	21,678	872	309	35.4%	202	23.2%
埼玉県	70,420	2,810	974	34.7%	616	21.9%
千葉県	58,481	2,200	692	31.5%	484	22.0%
東京都	127,014	4,941	1,174	23.8%	715	14.5%
神奈川県	88,528	3,280	1,079	32.9%	713	21.7%
新潟県	28,584	937	318	33.9%	241	25.7%
富山県	10,980	379	134	35.4%	95	25.1%
石川県	10,921	402	180	44.8%	123	30.6%
福井県	7,426	230	73	31.7%	56	24.3%
山梨県	9,369	306	92	30.1%	66	21.6%
長野県	24,328	742	224	30.2%	155	20.9%
岐阜県	22,537	790	294	37.2%	234	29.6%
静岡県	41,032	1,437	431	30.0%	301	20.9%
愛知県	70,231	2,855	1,306	45.7%	905	31.7%
三重県	20,982	718	225	31.3%	153	21.3%
滋賀県	12,867	476	205	43.1%	158	33.2%
京都府	24,654	955	409	42.8%	263	27.5%
大阪府	80,484	3,585	1,439	40.1%	1,042	29.1%
兵庫県	49,486	1,831	757	41.3%	456	24.9%
奈良県	13,170	540	156	28.9%	104	19.3%
和歌山県	11,501	375	130	34.7%	87	23.2%
鳥取県	5,598	182	75	41.2%	50	27.5%
島根県	8,720	258	89	34.5%	65	25.2%
岡山県	18,645	535	205	38.3%	145	27.1%
広島県	23,081	806	323	40.1%	223	27.7%
山口県	13,770	414	136	32.9%	87	21.0%
徳島県	7,431	272	94	34.6%	61	22.4%
香川県	9,273	252	70	27.8%	53	21.0%
愛媛県	15,436	443	124	28.0%	96	21.7%
高知県	7,747	253	98	38.7%	64	25.3%
福岡県	41,861	1,539	726	47.2%	535	34.8%
佐賀県	8,326	270	94	34.8%	71	26.3%
長崎県	13,209	439	132	30.1%	99	22.6%
熊本県	17,116	583	215	36.9%	147	25.2%
大分県	10,958	397	135	34.0%	94	23.7%
宮崎県	10,892	378	131	34.7%	94	24.9%
鹿児島県	15,472	553	182	32.9%	127	23.0%
沖縄県	12,305	541	215	39.7%	149	27.5%
全国	1,260,858	46,955	16,293	34.7%	11,066	23.6%

別表22 一般市民が目撃した非心原性心肺機能停止傷病者の生存率  
(10カ年集計、都道府県別)

都道府県	10カ年 全傷病者数	一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された非心原性の心肺機能停止傷病者				
		1ヵ月後生存者数	1ヵ月後社会復帰者数			
			1ヵ月後 生存率	1ヵ月後 社会復帰率		
北海道	55,838	6,580	691	10.5%	233	3.5%
青森県	16,628	2,027	145	7.2%	48	2.4%
岩手県	15,907	2,067	131	6.3%	62	3.0%
宮城県	23,445	2,835	265	9.3%	123	4.3%
秋田県	15,099	2,285	196	8.6%	79	3.5%
山形県	14,480	1,961	184	9.4%	79	4.0%
福島県	22,272	2,291	136	5.9%	49	2.1%
茨城県	31,425	3,777	266	7.0%	123	3.3%
栃木県	21,251	2,418	184	7.6%	82	3.4%
群馬県	21,678	2,410	300	12.4%	134	5.6%
埼玉県	70,420	7,790	764	9.8%	287	3.7%
千葉県	58,481	7,568	567	7.5%	236	3.1%
東京都	127,014	16,367	943	5.8%	391	2.4%
神奈川県	88,528	10,564	1,052	10.0%	446	4.2%
新潟県	28,584	4,684	310	6.6%	166	3.5%
富山県	10,980	1,631	154	9.4%	75	4.6%
石川県	10,921	1,994	197	9.9%	64	3.2%
福井県	7,426	1,068	48	4.5%	16	1.5%
山梨県	9,369	950	84	8.8%	39	4.1%
長野県	24,328	4,250	386	9.1%	189	4.4%
岐阜県	22,537	2,459	246	10.0%	135	5.5%
静岡県	41,032	6,529	412	6.3%	180	2.8%
愛知県	70,231	10,576	1,008	9.5%	398	3.8%
三重県	20,982	2,814	327	11.6%	142	5.0%
滋賀県	12,867	2,076	225	10.8%	90	4.3%
京都府	24,654	2,819	300	10.6%	123	4.4%
大阪府	80,484	9,010	1,217	13.5%	484	5.4%
兵庫県	49,486	7,841	779	9.9%	224	2.9%
奈良県	13,170	1,331	123	9.2%	35	2.6%
和歌山県	11,501	2,018	219	10.9%	105	5.2%
鳥取県	5,598	615	89	14.5%	25	4.1%
島根県	8,720	1,503	233	15.5%	140	9.3%
岡山県	18,645	3,013	268	8.9%	121	4.0%
広島県	23,081	3,908	270	6.9%	95	2.4%
山口県	13,770	1,684	164	9.7%	46	2.7%
徳島県	7,431	1,236	127	10.3%	63	5.1%
香川県	9,273	1,193	101	8.5%	46	3.9%
愛媛県	15,436	1,902	158	8.3%	88	4.6%
高知県	7,747	1,254	137	10.9%	26	2.1%
福岡県	41,861	8,083	1,020	12.6%	480	5.9%
佐賀県	8,326	1,381	190	13.8%	114	8.3%
長崎県	13,209	1,798	195	10.8%	108	6.0%
熊本県	17,116	2,279	292	12.8%	120	5.3%
大分県	10,958	1,560	158	10.1%	72	4.6%
宮崎県	10,892	1,689	153	9.1%	76	4.5%
鹿児島県	15,472	2,245	195	8.7%	82	3.7%
沖縄県	12,305	1,923	319	16.6%	144	7.5%
全国	1,260,858	170,256	15,928	9.4%	6,683	3.9%

